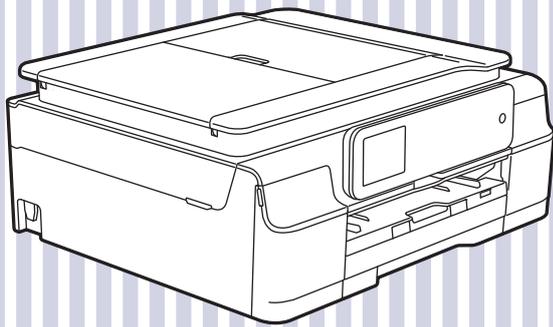


PRIVIO

MFC-J827DN/J827DWN MFC-J897DN/J897DWN ユーザーズガイド －基本編－



《 複合機本体 》



《 通信ボックス 》



《 子機 》

本書「ユーザーズガイド 基本編」は、製品に関する全ての情報を含んでいません。
本書にない情報の詳細は、「マニュアルの構成」をご確認の上、それぞれのマニュアルをご覧ください。

2ページ

ブラザーのサポートサイトにアクセスして 最新の情報を調べる

<http://support.brother.co.jp/>

サポート ブラザー

検索



オンラインユーザー登録をお勧めします。

Brother Online ▶ <https://online.brother.co.jp/>

ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

第1章
ご使用の前に

第2章
電話

第3章
ファクス

第4章
電話帳

第5章
留守番機能

第6章
コピー

第7章
デジカメ
プリント

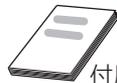
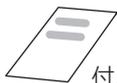
第8章
こんなときは

第9章
付録 (索引)

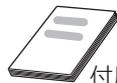
マニュアルの構成

本製品には次のマニュアルが用意されています。目的に応じて各マニュアルをご活用ください。

■はじめにお読みください

1. 安全にお使いいただくために（冊子） 本製品を使用する上での注意事項や守っていただきたいことを記載しています。	 付属
2. かんたん設置ガイド 本製品の設置・接続に関する手順を説明しています。	 付属

■用途に応じてお読みください

3. ユーザーズガイド 基本編（冊子） 本製品の基本的な使いかたと、困ったときの対処方法について詳しく説明しています。	 付属
4. ユーザーズガイド パソコン活用編（PDF形式） 本製品をパソコンとつないでプリンターやスキャナーとして使うときの操作方法や、付属の各種アプリケーションについて詳しく説明しています。	Windows®  付属
5. ユーザーズガイド ネットワーク編（PDF形式） 本製品を手動でネットワークに接続するときの設定方法や、ネットワークに関して困ったときの対処方法を説明しています。	Macintosh  http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/

■サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてご利用ください

クラウド接続ガイド（PDF形式） パソコンを介さずに、本製品でスキャンしたデータを直接ウェブサービスにアップロードする方法や、ウェブサービス上のデータを本製品で直接印刷する方法を説明しています。	 http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/
AirPrint ガイド（PDF形式） iOS を搭載した携帯端末や、OS X v10.7.5 以降の Macintosh からデータを直接印刷する方法を説明しています。	
Google クラウドプリントガイド（PDF形式） 本製品に Google アカウント情報を登録し、Google クラウドプリントサービスを利用してデータを印刷する方法を説明しています。	
モバイルプリント&スキャンガイド（PDF形式） Android™ や iOS を搭載した携帯端末からデータを印刷する方法や、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に転送する方法を説明しています。	

最新版のマニュアルは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードできます。
<http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/>

ユーザーズガイドを見るときは

Windows® の場合

付属の CD-ROM からプリンタードライバーをパソコンにインストールすると、PDF 形式のユーザーズガイドも自動的にダウンロードされます。スタートメニューから [すべてのプログラム] - [Brother] - [MFC-XXXX*1] - [ユーザーズガイド] の順にクリックして、見たいユーザーズガイドを選んでください。

Windows® 8 をお使いの方は下記をご覧ください。

⇒ 4 ページ「Windows® 8 または Windows® 8.1 をお使いの方へ」

*1 「XXXX」はモデル名です。

プリンタードライバーをインストールしない場合は、次の手順で CD-ROM から直接、PDF 形式のユーザーズガイドを見ることができます。

1 付属の CD-ROM を、パソコンの CD-ROM ドライブにセットする

トップメニューが表示されます。

 トップメニューの画面が表示されないときは、「コンピューター (マイ コンピュータ)」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、「start.exe」をダブルクリックしてください。

2 [ユーザーズガイド] をクリックする



3 [画面で見るユーザーズガイド] をクリックする



収録されているユーザーズガイドの目次が表示されます。

4 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする



ユーザーズガイドが表示されます。

Windows® 8 または Windows® 8.1 をお使いの方へ

パソコンに本製品のプリンタードライバーをインストールすると [Brother Utilities] アイコンが表示されます。

Windows® 8 をご使用の場合は、スタート画面およびデスクトップ画面に表示されます。

Windows® 8.1 をご使用の場合は、アプリ画面に表示されます。

[Brother Utilities] は、本製品のユーザーズガイドを見たり、さまざまな機能を実行したりできるソフトウェアです。

(1) [Brother Utilities] を選ぶ

• Windows® 8 の場合

スタート画面またはデスクトップ上の



(Brother Utilities) をクリックまたはタップします。

• Windows® 8.1 の場合

スタート画面の左下の  をクリックします。(タッチパネルをご使用の場合は、下から上へスワイプしても、アプリ画面が表示されます。)

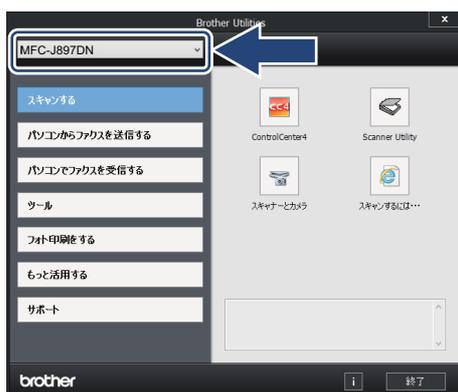
アプリ画面が表示されたら



(Brother Utilities) をクリックまたはタップします。

◆ [Brother Utilities] ダイアログボックスが表示されます。

(2) モデル名を選択する



(3) ナビゲーションバーのメニューから [サポート] をクリックする

◆ ナビゲーションバーのメニューからは、他のさまざまな機能がお使いになれます。

(4) [ユーザーズガイド] をクリックする

(5) 見たいユーザーズガイドのタイトルをクリックする

Macintosh の場合

サポートサイト (ブラザーソリューションセンター) (<http://support.brother.co.jp/j/d/b4m2/>) からダウンロードしてご覧ください。

目次

マニュアルの構成	2
ユーザズガイドを見るときは	3
目次	5
本書の見かた	9
編集ならびに出版における通告	9
ソフトウェアは最新の状態でお使いいただく ことをお勧めします	9

使ってみよう<基本編> 10

電話をかける	10
電話のかけ方	10
電話の受け方	10
ファクスを送る	11
ファクスを受ける	12
コピーする	13
スキャンする	14
はがき（年賀状）に印刷する	15
ディスクレーベルにプリントする （MFC-J897DN/J897DWNのみ）	17
NFC機能を使って印刷/スキャンする （MFC-J897DN/J897DWNのみ）	18
NFC（近距離無線通信）で印刷する	18
NFC（近距離無線通信）でスキャンする	18
こんなこともできます	19

第1章 ご使用の前に 21

必ずお読みください

各部の名称とはたらき	22
全体図	22
複合機本体	24
メニュー	26
画面の操作方法	27
通信ボックス	29
子機	30
電源について	33
はじめに設定する	34
回線種別を設定する	34
子機の設置場所を確認する	35
日付と時刻を設定する	35
送信したファクスに印刷される自分の名前と 番号を登録する	37
電話とファクスの受信設定	39
お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき	39
電話・ファクスの受けかたを変更する	40
ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない （無鳴動受信）	43
呼出ベル回数を設定する	44
再呼出の設定をする	45
電話会社の有料サービス利用の有無を設定する	46

お気に入り登録する	48
お気に入りに機能や設定条件を登録する	48
登録したお気に入りを呼び出す	50
お気に入りを編集する	50
記録紙のセット	51
使用できる記録紙	51
専用紙・推奨紙	52
記録紙の印刷範囲	53
トレイの種類	53
最大排紙枚数について	54
記録紙トレイにセットする	54
スライドトレイにセットする	58
手差しトレイにセットする（MFC-J827DN/ J827DWNのみ）	60
記録紙の種類を設定する	62
記録紙のサイズを設定する	62
原稿のセット	63
原稿の読み取り範囲	63
原稿をセットする	63
記録ディスクをセットする（MFC-J897DN/ J897DWNのみ）	66
記録ディスクをセットする	66
記録ディスクを取り出す	67

お好みで設定してください

音量を設定する	68
複合機本体のボタン確認音量を設定する	68
子機の音量を設定する	68
保留/着信メロディを設定する	70
保留メロディを選ぶ	70
着信メロディを選ぶ	71
画面の設定を変更する	72
複合機本体の画面設定を変更する	72
子機の画面のコントラストを変更する	72
スリープモードに入る時間を設定する	73
いろいろな接続	74
ひかり電話をご利用の場合	74
ADSLをご利用の場合	75
ISDNをご利用の場合	75
構内交換機（PBX）・ホームテレホン・ ビジネスホンをご利用の場合	76

第2章 電話 77

電話の基本機能

電話をかける/受ける	78
電話をかける	78
電話を受ける	78
電話帳からかける	79
通話を保留にする	79

通話を録音する	80
録音した通話を再生 / 消去する	80
いろいろな電話のかけかた	81
通話中の各種操作	82
電話を取り次ぐ	83
電話を取り次ぐ	83
用件を伝えずに電話を取り次ぐ	83
内線通話をする	84
子機から子機へかける	84
3人で同時に話す (トリプル通話)	84
かかってきた電話を拒否する	85
通話中に電話を拒否する	85
通話前に電話を拒否する	85
キャッチホンで電話を受ける	86
キャッチホンで電話を受けた場合	86
キャッチホンでファクスを受けた場合	86

オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する	88
ナンバー・ディスプレイサービスとは	88
ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能	88
電話番号表示機能	89
着信履歴を利用する	89
着信鳴り分けを設定する	90
迷惑電話指定する	90
キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する	91
キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する	92

第3章 ファクス93

送信

本製品のファクス送信のしくみ	94
通信ボックスとの接続を確認する	94
ファクス送信時の画面とボタンについて	95
ファクスの送りかた	96
ファクスを送る	96
ADF (自動原稿送り装置) からファクスを送る (MFC-J897DN/J897DWN のみ)	97
送信中のいろいろな操作	98
内容を確認してからファクスを送る	99
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る	101
電話帳を使ってファクスを送る	102
ファクスの便利な送りかた	103
設定を変えてファクスするには	103
海外へ送る	107
複数の相手先に同じ原稿を送る	109
パソコンからファクスを送る	111

受信

本製品のファクス受信のしくみ	112
ファクスの受けかた	113
本製品に自動で受信させる	113
電話に出てから受ける	114

電話に出ると自動的に受ける (親切受信)	115
ファクスの見かた	116
受信したファクスを画面で見る (みるだけ受信)	116
みるだけ受信を設定する / 解除する (ファクスを印刷して見る)	118
ファクスの便利な受けかた	119
自動的に縮小して受ける	119
受信したファクスをパソコンに送る (Windows® のみ)	120
ファクスをメモリーで受信する	121
メモリー受信したファクスを印刷する	122
ファクスメッセージをメモリーから消去する	122
メモリー受信 (PC ファクス受信・メモリー保持) を解除する	123

通信管理

通信状態を確かめる	124
通信管理レポートを印刷する	124
送信結果レポートを印刷する	125
着信履歴リストを印刷する	126
送信待ちファクスを確認・解除する	126
ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する	127

第4章 電話帳129

複合機本体電話帳【ファクス用】

複合機本体の電話帳に登録する	130
電話帳に登録する	130
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	132
グループダイヤルに登録する	133
複合機本体の電話帳を子機に転送する	134
電話帳リストを印刷する	135
パソコンを使って電話帳に登録する (リモートセットアップ)	136

子機電話帳【電話用】

子機の電話帳に登録する	137
電話帳に登録する	137
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	138
子機の電話帳を複合機本体に転送する	139

第5章 留守番機能141

留守録機能

留守番機能を設定する	142
留守番機能で設定できること	142
メッセージの録音時間を設定する	143
応答メッセージを録音する	144
留守録モニターを設定する	145
出かけるとき	146
留守番機能をセットする	146
留守応答メッセージを選ぶ	146
帰ってきたとき	147
留守番機能を解除する	147

リモコンアクセス

外出先から本製品を操作する	149
暗証番号を設定する	149
外出先から本製品を操作する	150

留守録転送

外出先に転送する	152
留守録転送を設定する	152

第6章 コピー 155

基本

コピーする	156
コピーモード時の画面とボタンについて	156
コピーする	156
設定を変えてコピーするには	157

応用

いろいろなコピー	160
スタック/ソートコピーする	160
レイアウトコピーする	161
両面コピーする (MFC-J897DN/J897DWN のみ)	164
インクを節約してコピーする	165
コピー時の裏写りを抑える	166
ブックコピーする	166
コピーに文字を重ねる	167
原稿の地色を除去してコピーする	168

第7章 デジカメプリント 169

デジカメプリント

写真をプリントする前に	170
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを セットする	171
動画プリントについて	173
写真をプリントする	174
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の 写真を見る/プリントする	174
設定を変えてプリントするには	176
いろいろなプリント方法	179
インデックスシートをプリントする	179
インデックスシートの写真の番号を指定して プリントする	180
多様な補正機能を使ってプリントする	181
証明写真プリントをする	184
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の 画像を自動で順番に表示する	185
メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の 画像をまとめてプリントする	186
PictBridge機能を使ってデジタルカメラから 直接プリントする	187
PictBridgeとは	187
デジタルカメラで行う設定について	187
写真をプリントする	188

その他の機能

スキャンしたデータをメディアに保存する	189
スキャンした画像をメモリーカードまたは USBフラッシュメモリーに保存する	189

第8章 こんなときは 193

日常のお手入れ

本製品が汚れたら	194
複合機本体	194
子機/子機充電器/通信ボックス	200
インクがなくなったときは	201
インクカートリッジを交換する	202
インク残量を確認する	204
子機のバッテリーを交換するときは	205

困ったときは

紙が詰まったときは	207
MFC-J827DN/J827DWNをご利用の場合	207
MFC-J897DN/J897DWNをご利用の場合	213
原稿がADF(自動原稿送り装置)に詰まったとき (MFC-J897DN/J897DWN)	219
ディスクが詰まったときは (MFC-J897DN/ J897DWN)	220
【記録ディスクが詰まっています 前】と表示された とき	220
【記録ディスクが詰まっています 後ろ】と表示された とき	220
印刷品質が良くないときは	222
定期メンテナンスについて	222
プリントヘッドをクリーニングする	222
記録紙のうら面が汚れるときは	222
印刷テストを行う	223
画面にメッセージが表示されたときは	225
複合機本体のメッセージ	225
エラーが発生したときのファクスの転送方法	233
子機のメッセージ	234
故障かな?と思ったときは (修理を依頼される前に)	236
動作がおかしいときは (修理を依頼される前に)	257
複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかない ときは	258
通信ボックスとの接続を確認する	258
通信ボックスと複合機本体の接続をお買い上げ時の 状態に戻す (通信ボックスの再接続)	258
通信や通話がうまくいかないときに回線環境を 改善する	259
特別な回線に合わせて設定する	259
安心通信モードに設定する	260
ダイヤルトーン検出の設定をする	261
回線状況に応じて通話音質を設定する	262
初期状態に戻す	263
目的別に初期化する	264
初期化内容一覧	265
初期化のしかた	266

こんなときは	268
最新のドライバーやファームウェアをサポート	
サイトからダウンロードして使うときは	268
子機を増設する / 登録抹消する	269
停電になったときは	269
本製品のシリアルナンバーを確認する	270
本製品の設定内容や機能を確認する	270
本製品を輸送するときは	271
本製品を廃棄するときは	271

第9章 付録273

文字の入力方法	274
複合機本体	274
子機	276
機能一覧	278
複合機本体	278
子機	295
仕様	297
使用環境	304
用語解説	305
索引	307
関連製品のご案内	314
innobella	314
消耗品	314
リモコンアクセスカード	315
子機操作早見表	317
消耗品などのご注文について	319
インクカートリッジの回収・リサイクルの ご案内	319
アフターサービスのご案内	

本書の見かた

本書で使用されている記号

本書では、下記の記号が使われています。

 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷に至る可能性があります。かつその切迫の度合いが高い内容を示します。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性のある内容を示します。
 重要	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性のある内容を示しています。
 お願い	お使いいただく上での注意事項、制限事項などを記載しています。
	知っていると便利なことや、補足を記載しています。
	参照先を記載しています。

 本書に掲載されている画面は、実際の画面と異なることがあります。

本書で対象となる製品

本書は MFC-J827DN、MFC-J827DWN、MFC-J897DN、MFC-J897DWN を対象としています。お使いの製品の型番は操作パネル上に記載されていますので、ご確認ください。

本書で使用されているイラスト / 画面

本書では本製品や操作パネルおよび画面の説明に、MFC-J897DN のイラストを代表して使用しています。ただし、モデル限定のある機能については、該当製品のイラストを使用して説明します。

編集ならびに出版における通告

本マニュアルならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。ブラザー工業株式会社は、本マニュアルに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© 2014 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

ソフトウェアは最新の状態でお使いいただくことをお勧めします

弊社ではソフトウェアの改善を継続的に行っております。最新のドライバーに入れ替えると、パソコンの新しい OS に対応したり、印刷やスキャンなどの際のトラブルを解決できることがあります。また、本体のトラブルは、ファームウェア（本体ソフトウェア）を新しくすることで解決できることがあります。最新のドライバーやファームウェアは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）からダウンロードしてください。ダウンロードやインストールの手順についても、サポートサイトに掲載されています。<http://support.brother.co.jp/>ダウンロードを始める前に、まず、⇒ 268 ページ「最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは」をご覧ください。

電話をかける

基本的な電話のかけ方および受け方です。

電話のかけ方

- 1 充電器から子機を取って **外線** を押し、ダイヤルボタンで相手の電話番号を入力する

相手が出たら話します。

保留にすることは、**内線保留** を押します。保留ののち、通話を再開するときは、再度 **内線保留** を押します。

- 2 通話を終わるときは、**切** を押す

電話の受け方

- 1 着信音が鳴ったら、充電器から子機を取る（充電器に置いていないときは、**外線** を押す）

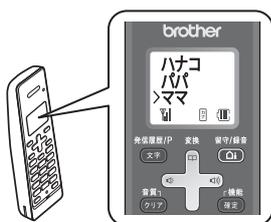
かけてきた相手と話します。

電話を取り次ぐとき（子機 1 台付きモデルの MFC-J827DN/J897DN では、別売りの子機を増設してご利用の場合）は、**内線保留** を押し、**+** で取り次ぎたい子機の番号を選び **機能確定** を押します。内線の相手が応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて **切** を押します。内線の相手が応答しない場合は、**内線保留** を押して、外線の手との通話を再開します。

- 2 通話を終わるときは、**切** を押す

こんなこともできます

- 電話帳や履歴から電話をかける



79 ページ

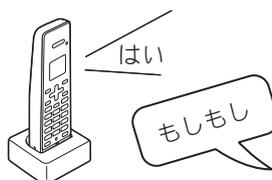
81 ページ

- 通話を録音する



80 ページ

- 子機を持たずに電話をかける



81 ページ

- 通話中のいろいろな機能

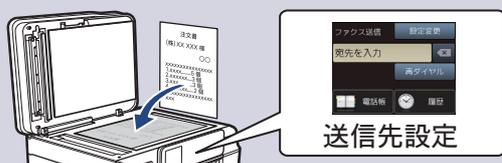
- ・迷惑電話を拒否する
- ・スピーカーホンに切り替える
- ・プッシュホンサービスを利用する
- ・受話音質を調節する
- ・内緒話モードにする

85 ページ

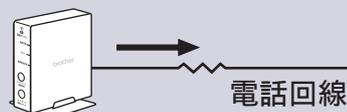
82 ページ

ファクスを送る

本製品のファクス送信のしくみ



①原稿データは、複合機本体で読み取っていったんメモリーに保存したのち、自動的に通信ボックスに転送されます。



②通信ボックスが原稿データと送信先情報を受け取り、電話回線を使って送信します。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する

2 複合機本体の原稿台ガラスに原稿をセットする



3 待ち受け画面の  を押す

みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合は、手順 **5** に進んでください。

4 【ファクス送信】を押す

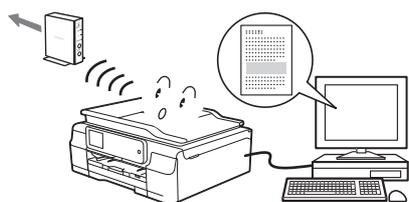
5 操作パネル上のダイヤルボタンで相手のファクス番号を入力する

6 【スタート】を押す

原稿の読み取りが開始されます。原稿が複数枚ある場合は、読み取り後の画面で【はい】を押し、原稿を入れ替えた上で【OK】を押してください。次の原稿がない場合は【いいえ】を押してください。ファクスが送信されます。

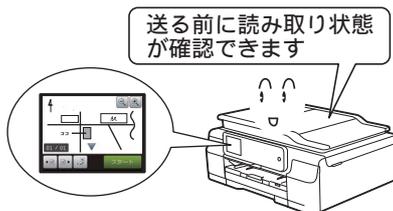
こんなこともできます

●パソコンからファクスを送る (PC-FAX送信)



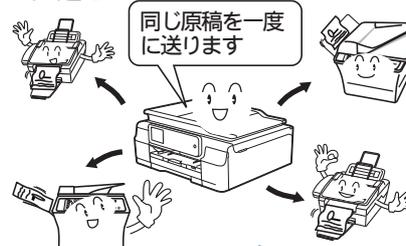
111 ページ

●読み取った原稿を画面で確認してから送る



99 ページ

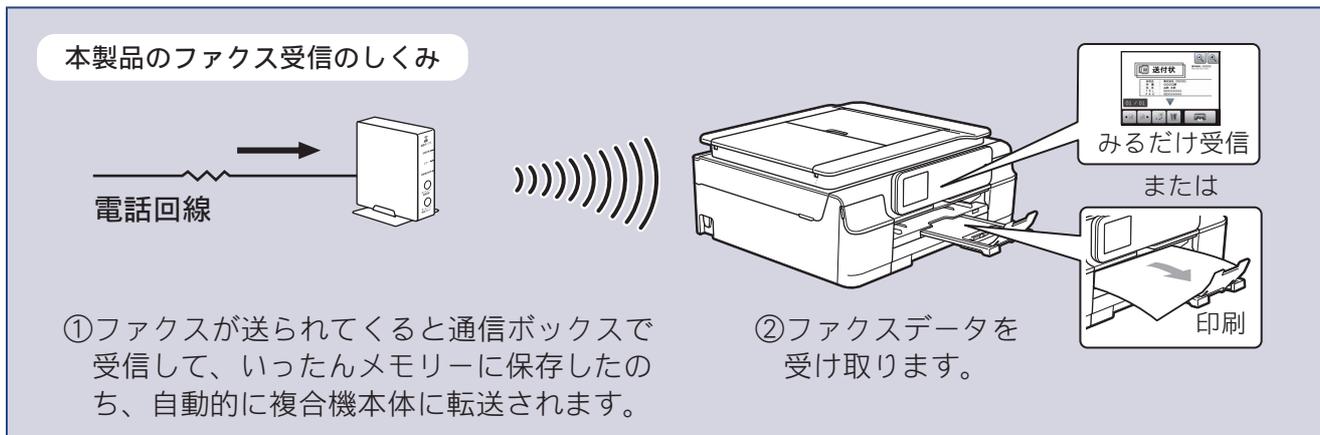
●一度の操作で複数の相手に同時に送る



109 ページ

ファクスを受ける

ファクスの見かたを、みるだけ受信【する（画面で確認）】に設定した場合の、画面での確認方法です。



ファクスを受信すると、本製品は次のようにお知らせします。

- 複合機本体の画面に【新着ファクス：XX】とメッセージを表示します。
- 子機のファクス受信ランプ  が点滅します。

1 新着メッセージの右側に表示されている【確認】を押す

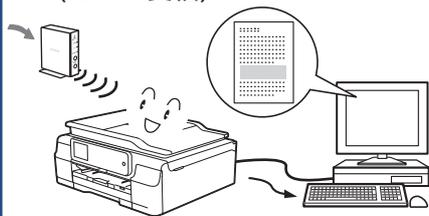
2 確認したいファクスを選ぶ

最新の受信ファクスが最も上段に表示されます。画面は、▼ / ▲ を押して送ります。



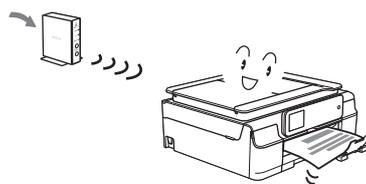
こんなこともできます

- ファクスをパソコンで受信する (PC-FAX受信)



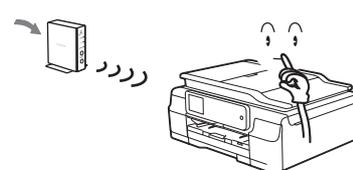
120 ページ

- ファクス受信後、自動的に印刷する (みるだけ受信しない)



118 ページ

- 着信音を鳴らさず自動で受ける

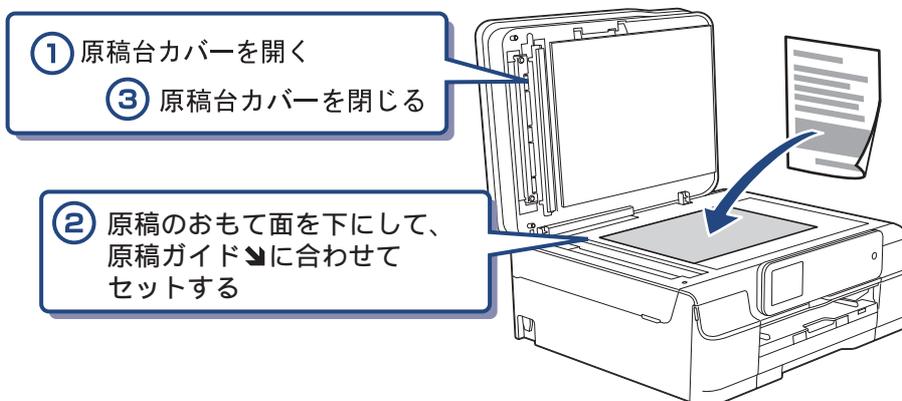


43 ページ

コピーする

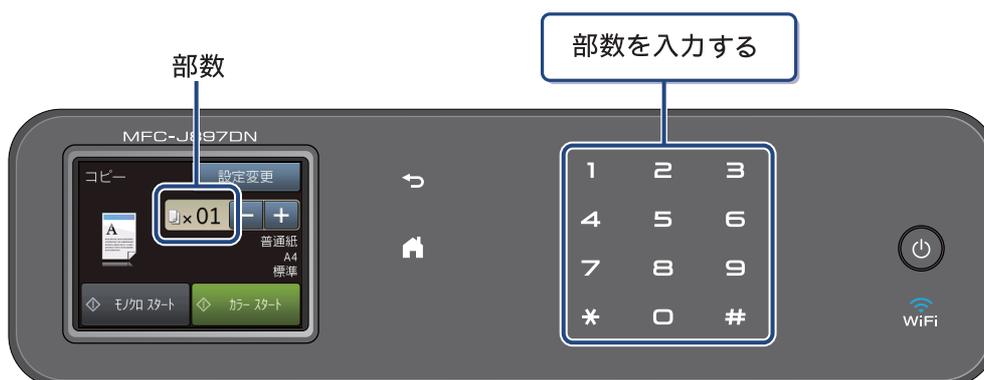
原稿を原寸でコピーします。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする



2 待ち受け画面の を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンでコピー部数を入力する

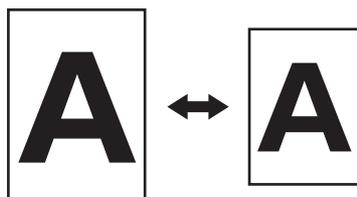


4 【モノクロ スタート】 または 【カラー スタート】 を押す

コピーが開始されます。

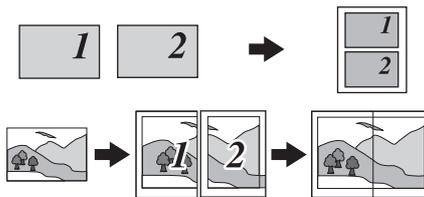
こんなこともできます

● 拡大・縮小コピー



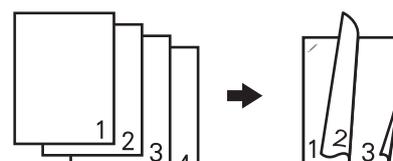
159 ページ

● N in 1コピー/ポスターコピー



161 ページ

● 両面コピー (MFC-J897DN/J897DWNのみ)



164 ページ

スキャンする

本製品でスキャンしたデータをパソコンに送ります。

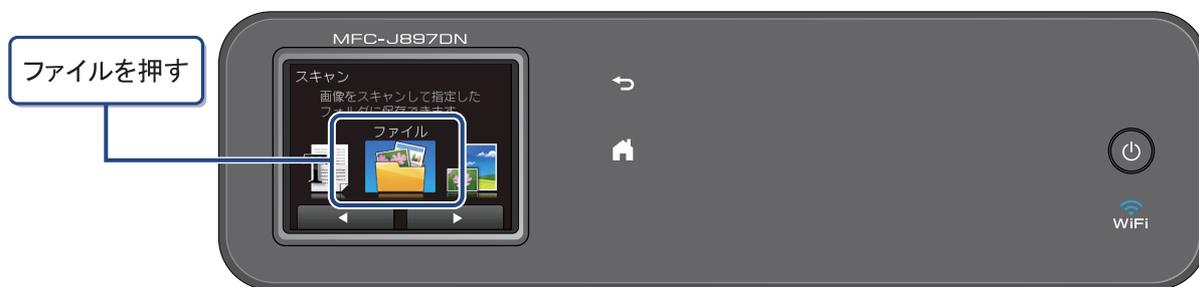
お願い

- パソコンとの接続や、プリンタードライバーおよびソフトウェア のインストール方法は、「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

2 待ち受け画面の を押す

3 【ファイル】 を押す



本製品を、パソコンに USB のみで接続している場合は、手順 5 に進んでください。

4 スキャンした画像を保存するパソコンを選ぶ

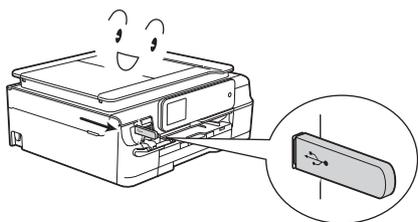
画面に表示されている中から希望のパソコンを選びます。
(USB でも接続している場合は、【< USB >】とパソコン名が両方表示されています。)

5 【スタート】 を押す

スキャンが開始されます。

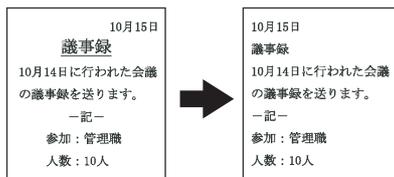
こんなこともできます

- 原稿をスキャンしてメディアに保存する



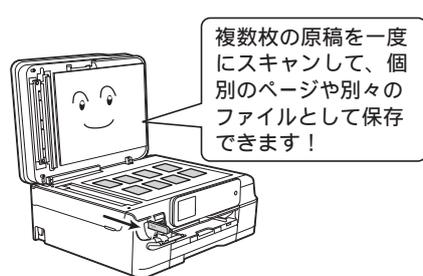
189 ページ

- スキャンした原稿の中の文章をテキストデータに変換してパソコンに保存する



パソコン活用編

- 複数枚の原稿を一度にスキャンしてメディアに保存する (おまかせ一括スキャン)



複数枚の原稿を一度にスキャンして、個別のページや別々のファイルとして保存できます！

191 ページ

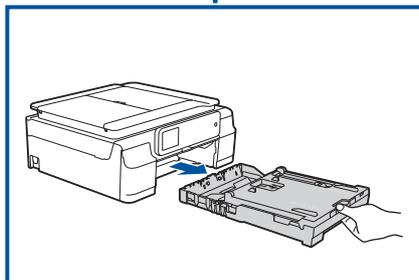
はがき（年賀状）に印刷する

パソコンで作成したデータを、年賀状や暑中見舞いなどはがきに印刷します。印刷手順はお使いの OS やアプリケーションソフトによって異なることがありますが、ここでは基本的な操作方法を説明します。

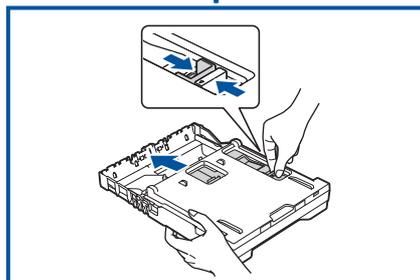
1 はがきをスライドトレイにセットする

⇒ 58 ページ「スライドトレイにセットする」

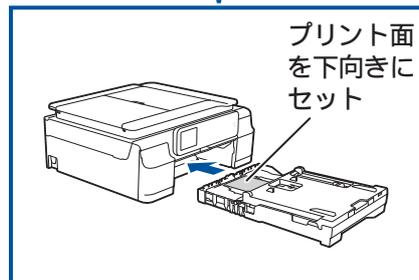
① 記録紙トレイを引き出す



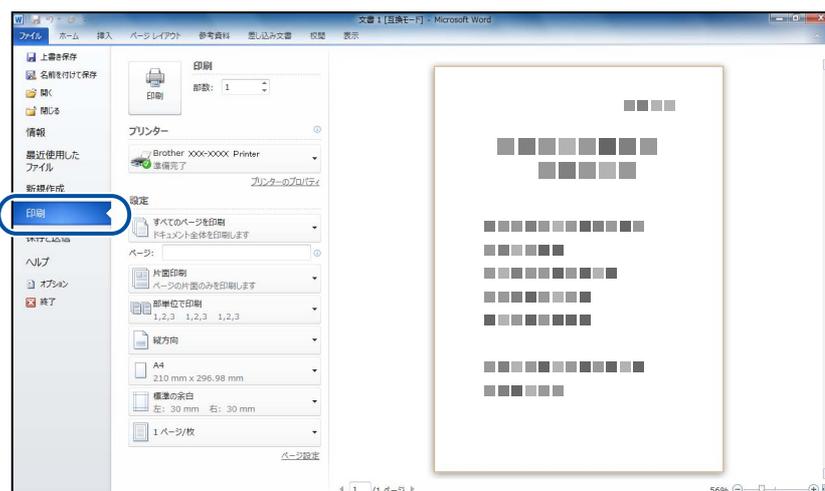
② リリースボタンをつまみ、スライドトレイを奥にずらす



③ 記録紙をセットして、記録紙トレイを戻す

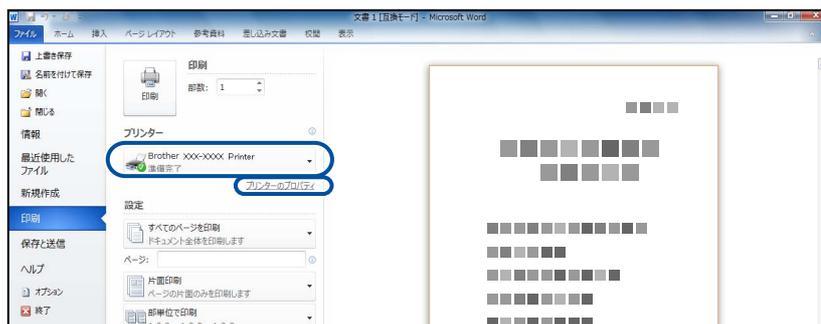


2 パソコンで、はがき用データを作成したアプリケーションソフトの【ファイル】メニューから【印刷】を選ぶ



※上図は、アプリケーションに Microsoft® Word を使用した例です。
Microsoft® Word ではがきを作成する場合は、Microsoft® Word のページ設定で、用紙サイズを [ハガキ] に設定してください。

3 【印刷】ダイアログボックスで、接続している本製品のモデル名を選び、【プリンターのプロパティ】をクリックする

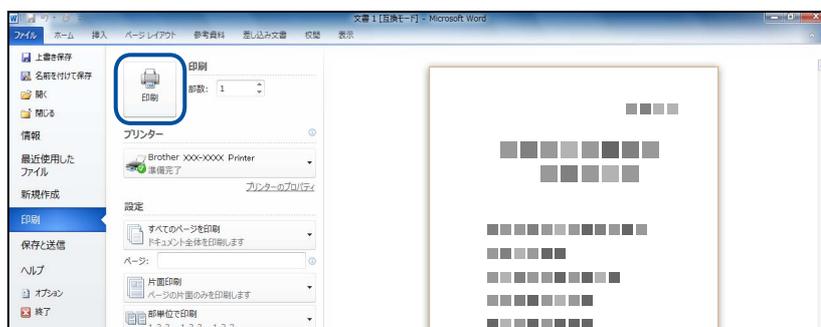


4 [基本設定] 項目の中から、[用紙種類] と [用紙サイズ] を設定し、[OK] をクリックする

例：インクジェット紙のはがきに印刷する場合は、[用紙種類] を [インクジェット紙]、[用紙サイズ] を [ハガキ] に設定します。



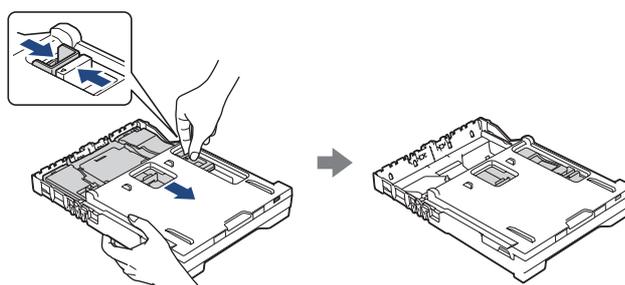
5 [印刷] をクリックする



印刷が開始されます。

お願い

- 印刷後、はがき、L判以外のサイズの記録紙に入れかえたときは、リリースボタンをつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いてください。

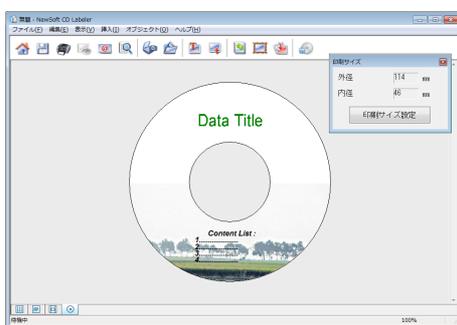


- 印刷後、種類やサイズの違う記録紙に入れ替えて印刷するときは、プリンタードライバーの [用紙種類] および [用紙サイズ] を設定し直してください。

ディスクレーベルにプリントする (MFC-J897DN/J897DWN のみ)

本製品は、記録ディスク (CD-R/RW、DVD-R/RW、Blu-ray Disc™) のレーベル面へ直接印刷やコピーをすることができます。ここでは、NewSoft CD Labeler を使って、パソコン (Windows® の場合) から印刷する方法を簡単に説明します。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編「レーベルプリント」

- 1 パソコンのスタートメニューから **[すべてのプログラム] – [NewSoft CD Labeler] – [NewSoft CD Labeler]** を選ぶ
Windows® 8 の場合は、[NewSoft CD Labeler] アイコンをクリックします。
- 2 **[プログラムを開始]** をクリックする
- 3 ディスクレーベルの画像を作成し、**[ファイル] – [印刷]** をクリックする



- 4 **[プリンタ名]** と **[用紙サイズ]** を設定して、**[OK]** をクリックする
[プリンタ名] を本製品のモデル名に、[用紙サイズ] を 12cm ディスクに設定します。



- 5 本製品のタッチパネルに表示されるメッセージに従って、操作を続ける
記録ディスクのセット方法については、⇒ 66 ページ「記録ディスクをセットする (MFC-J897DN/ J897DWN のみ)」をご覧ください。

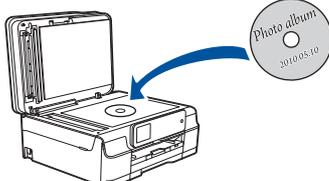
こんなこともできます

- レーベルPCプリント (Macintoshの場合)



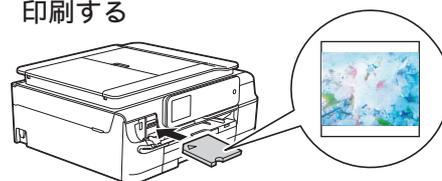
パソコン活用編

- ディスクレーベルや写真などをコピーする



パソコン活用編

- メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーからデータを選んで印刷する

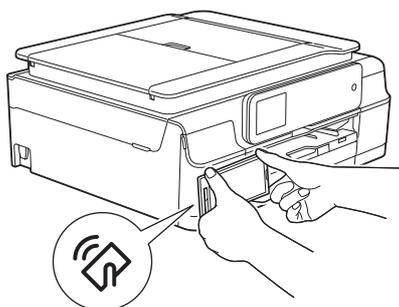


パソコン活用編

NFC 機能を使って印刷/スキャンする (MFC-J897DN/J897DWN のみ)

NFC (近距離無線通信) で印刷する

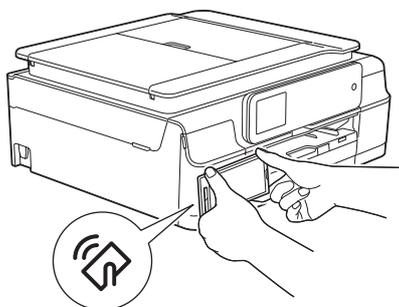
NFC 機能に対応している Android™ 端末を本製品正面の左下にある NFC ロゴマークに当てると、Android™ 端末上のデータ (写真、PDF ファイル、テキストファイル、ウェブページおよび電子メールメッセージ) を印刷することができます。



本機能を使用するためには、Android™ 端末に、「Brother iPrint&Scan」をインストールする必要があります。「Brother iPrint&Scan」について詳しくは、「モバイルプリント&スキャンガイド」－「第1章 Android™ 編」をご覧ください。

NFC (近距離無線通信) でスキャンする

NFC 機能に対応している Android™ 端末を本製品正面の左下にある NFC ロゴマークに当てると、本製品でスキャンした写真や書類を Android™ 端末に送ることができます。



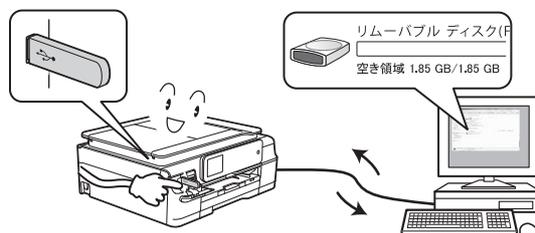
本機能を使用するためには、Android™ 端末に、「Brother iPrint&Scan」をインストールする必要があります。「Brother iPrint&Scan」について詳しくは、「モバイルプリント&スキャンガイド」－「第1章 Android™ 編」をご覧ください。

 NFC (近距離無線通信) 機能を備えていれば、至近距離にある2つの装置のあいだで、簡単なデータ処理やデータ交換および無線接続が可能になります。

こんなこともできます

● 本製品をパソコンの外付けドライブとして利用する (リムーバブルディスクドライブ)

本製品にセットしたメモリーカードや USB フラッシュメモリーが、パソコン上で [リムーバブル ディスク] として使用できます。



※リムーバブルディスクドライブとして使用できるのは、USB 接続した場合のみです。パソコンから、ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、下記をご覧ください。

172 ページ

● 撮影日を付けて写真をプリントする (日付印刷)

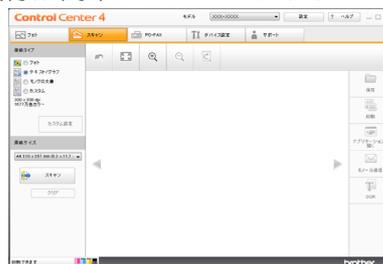
デジカメプリント機能を使って写真をプリントするときに、撮影日を付けることができます。



177 ページ

● スキャナー、メモリーカードアクセスなどを簡単に起動する (ControlCenter)

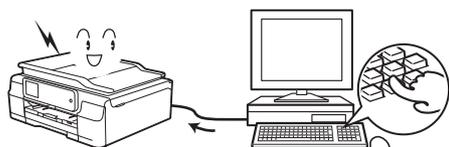
プリンタードライバーと同時にインストールされる「ControlCenter」は、パソコンの画面上でスキャンや写真プリント、PC ファクスの設定および実行が簡単にできるソフトウェアです。



パソコン活用編

● 本製品の設定をパソコンから変更する (リモートセットアップ)

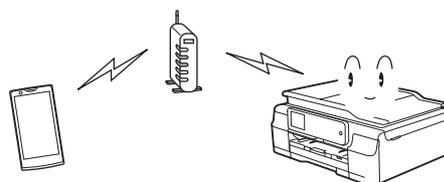
パソコンで電話帳を編集したり、本製品の設定を変更したりできます。



パソコン活用編

● 携帯端末と直接アクセスして印刷 / スキャンする

パソコン (プリンタードライバー) を介さずに、携帯端末上のデータを本製品で印刷したり、本製品でスキャンしたデータを携帯端末に送ることができます。



モバイルプリント & スキャンガイド (ダウンロード)

Memo

第1章

ご使用の前に

必ずお読みください

各部の名称とはたらき	22
全体図	22
外観	22
内部	23
複合機本体	24
操作パネル	24
待ち受け画面	25
メニュー	26
画面の操作方法	27
操作例	27
通信ボックス	29
子機	30
操作パネル	30
画面	32
電源について	33
複合機本体のオン/オフのしかた	33
複合機本体の電源とヘッドクリーニングについて	33
通信ボックスの電源	33
はじめに設定する	34
回線種別を設定する	34
子機の設置場所を確認する	35
日付と時刻を設定する	35
複合機本体の時計設定	35
子機の時計設定	37
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する	37
電話とファクスの受信設定	39
お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき	39
在宅モード：留守番機能がセットされていないとき	39
留守モード：子機の留守/録音ボタンを押して、留守番機能をセットしたとき	39
電話・ファクスの受けかたを変更する	40
ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない(無鳴動受信)	43
呼出ベル回数を設定する	44
再呼出の設定をする	45
電話会社の有料サービス利用の有無を設定する	46
ナンバー・ディスプレイ機能を設定する	46
キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する	47
お気に入り登録する	48
お気に入りに機能や設定条件を登録する	48
登録したお気に入りを呼び出す	50
お気に入りを編集する	50
お気に入りの登録名を変更する	50
お気に入りの設定条件を変更する	50
登録したお気に入りを削除する	50
記録紙のセット	51
使用できる記録紙	51
専用紙・推奨紙	52

記録紙の印刷範囲	53
トレイの種類	53
記録紙トレイ	53
スライドトレイ	53
給紙トレイマーカーの見かた	53
手差しトレイ (MFC-J827DN/J827DWNのみ)	53
最大排紙枚数について	54
記録紙トレイにセットする	54
スライドトレイにセットする	58
手差しトレイにセットする (MFC-J827DN/J827DWNのみ)	60
記録紙の種類を設定する	62
記録紙のサイズを設定する	62
原稿のセット	63
原稿の読み取り範囲	63
原稿をセットする	63
原稿台ガラスに原稿をセットする	63
ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする (MFC-J897DN/J897DWNのみ)	64
ADF (自動原稿送り装置) にセットできる原稿	65
ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする場合の注意事項	65
記録ディスクをセットする (MFC-J897DN/J897DWNのみ)	66
記録ディスクをセットする	66
記録ディスクを取り出す	67

お好みで設定してください

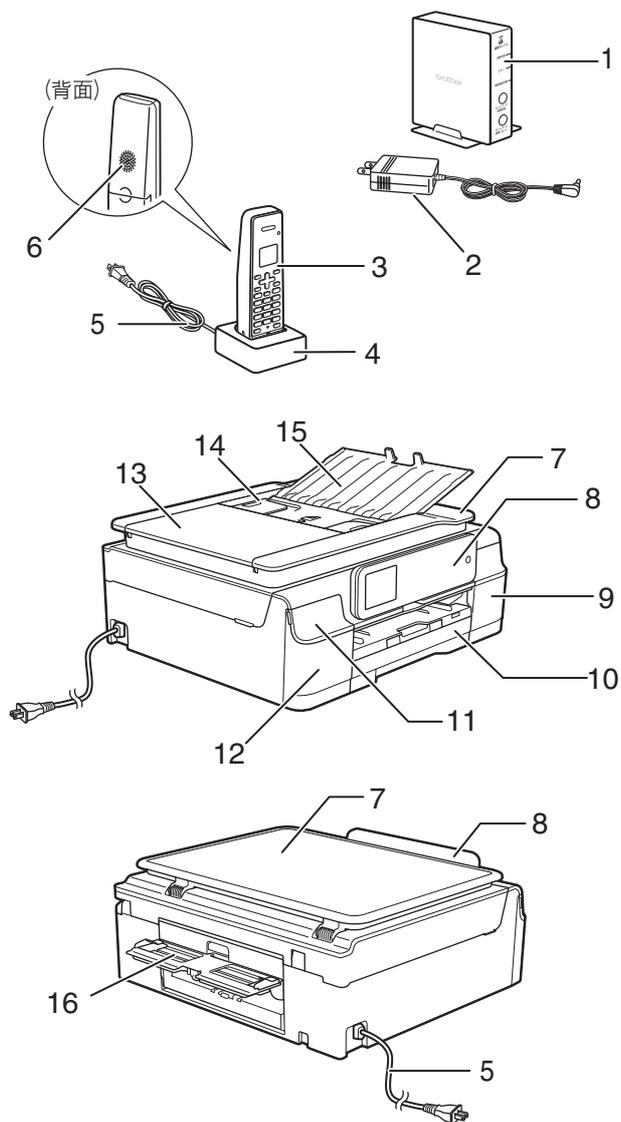
音量を設定する	68
複合機本体のボタン確認音量を設定する	68
子機の音量を設定する	68
着信音量を設定する	68
ボタン確認音を設定する	68
スピーカー音量を設定する	69
受話音量を設定する	69
保留/着信メロディを設定する	70
保留メロディを選ぶ	70
着信メロディを選ぶ	71
画面の設定を変更する	72
複合機本体の画面設定を変更する	72
子機の画面のコントラストを変更する	72
スリープモードに入る時間を設定する	73
いろいろな接続	74
ひかり電話をご利用の場合	74
ADSLをご利用の場合	75
ISDNをご利用の場合	75
電話番号が1つの場合	75
電話番号が2つの場合	75
構内交換機 (PBX) ・ホームテレホン・ビジネスホンをご利用の場合	76

各部の名称とはたらき

必ずお読みください

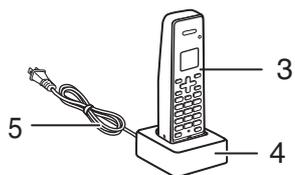
全体図

外観

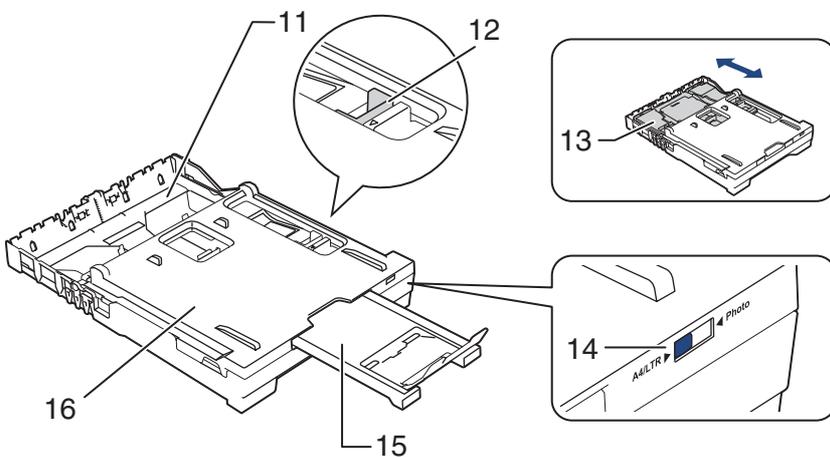
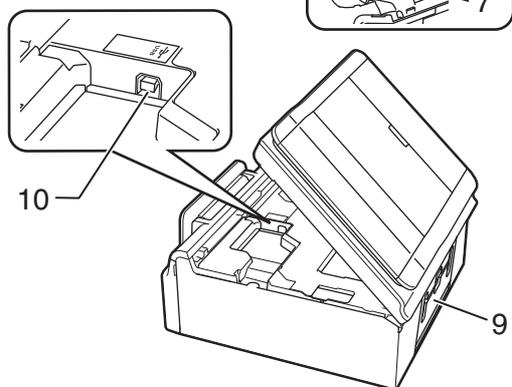
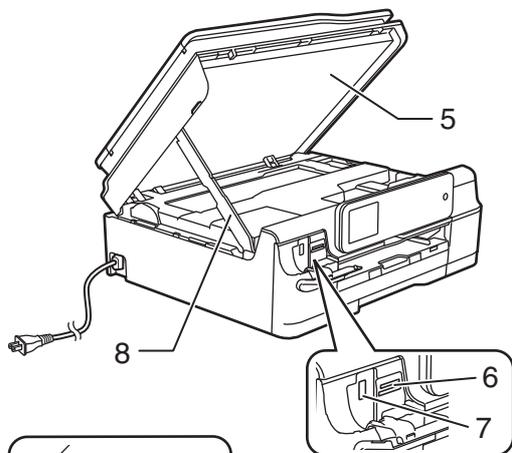
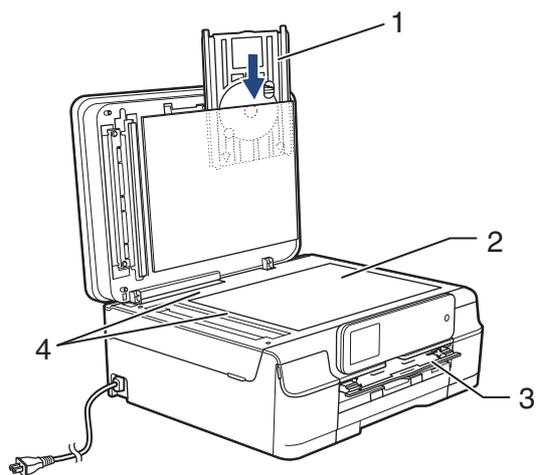


1	通信ボックス	
2	AC アダプター	
3	子機	
4	子機充電器	
5	AC 電源コード	
6	子機スピーカー	
7	原稿台カバー	
8	操作パネル	
9	インクカバー (インクカートリッジ挿入口)	
10	記録紙トレイ	
11	メディアスロットカバー	
12	NFC (近距離無線通信) マーク (MFC-J897DN/J897DWN のみ)	
13	ADF (自動原稿送り装置) (MFC-J897DN/J897DWN のみ)	ADF カバー
14		ADF ガイド
15		ADF 原稿トレイ
16	手差しトレイ (MFC-J827DWN/J827DWN のみ)	

MFC-J827DWN/J897DWNには子機と子機充電器1セットが付属します



内部

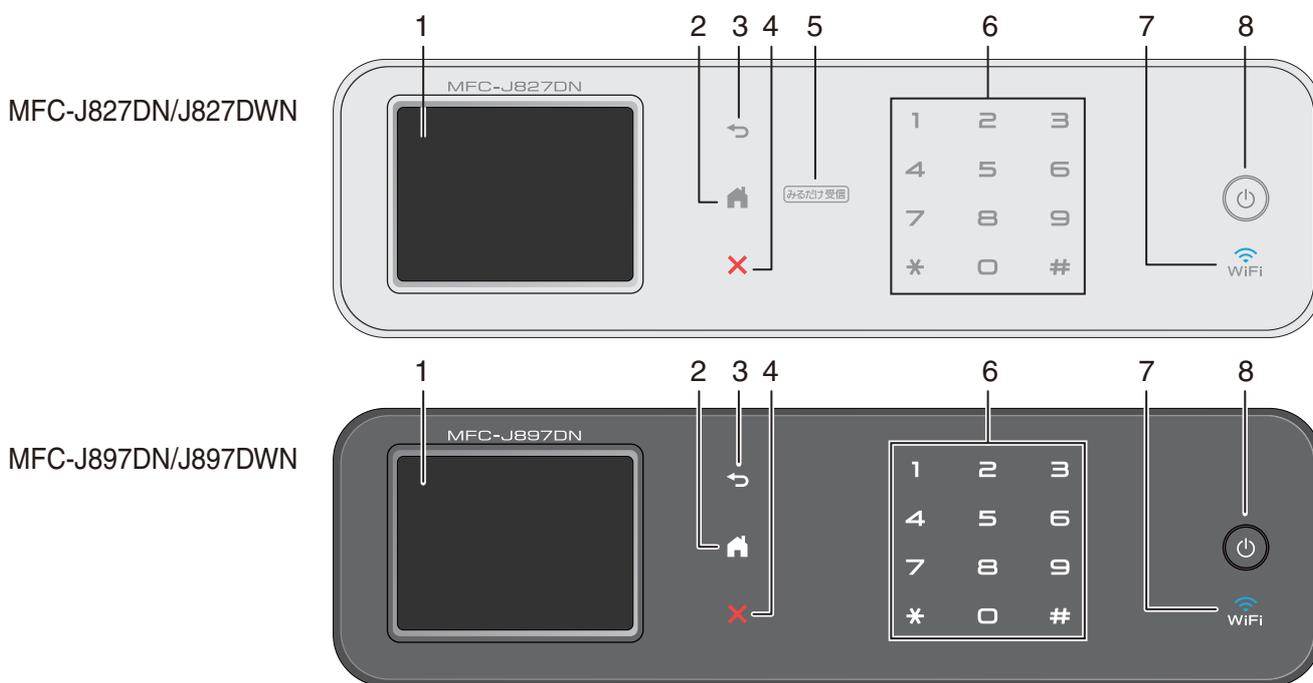


1	ディスクトレイ (MFC-J897DN/J897DWNのみ)
2	原稿台ガラス
3	ディスクガイド (MFC-J897DN/J897DWNのみ) レーベルプリントを行うときに引き出して、ディスクトレイをセットします。ディスクトレイを正しい位置に引き込むための装置です。
4	原稿ガイド
5	本体カバー
6	カードスロット
7	PictBridge ケーブル差し込み口 / USB フラッシュメモリー差し込み口
8	カバーサポート
9	紙づまり解除カバー
10	USB ケーブル差し込み口
11	記録紙トレイ
12	リリースボタン
13	スライドトレイ L判記録紙やはがきなどをセットするときに、リリースボタンをつまんでカバー部分を奥にスライドさせます。スライドトレイを使用しないときは必ず手前に戻しておきます。
14	給紙トレイマーカー 記録紙トレイとスライドトレイのどちらが有効であることを示します。
15	記録紙ストッパー
16	トレイカバー 排紙トレイのはたらきもしています。

ご使用の前に
電話
ファクス
電話帳
留守番機能
コピー
デジタルプリント
こんなときは
付録

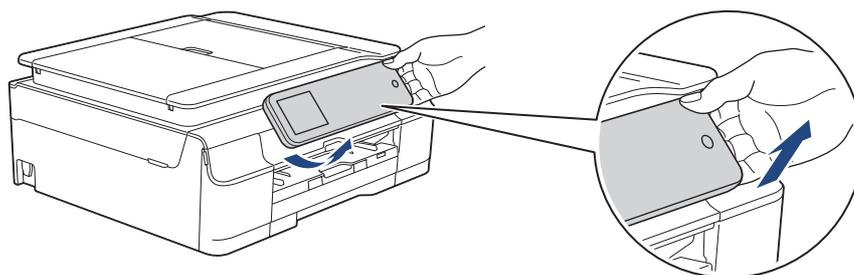
複合機本体

操作パネル



1	タッチパネル	各種のメニューボタンから、または操作方法を案内するメッセージに従い、画面に直接タッチして操作/設定を行います。 ⇒ 25 ページ「待ち受け画面」
2	ホームボタン	設定を中止するときや待ち受け画面に戻るときに押します。
3	戻るボタン	1つ前の画面に戻すときに押します。
4	停止ボタン	処理中の動作を中止するときには押します。
5	みるだけ受信ランプ	MFC-J827DN/J827DWN にのみ、複合機本体にこのランプが搭載されています。「みるだけ受信」が設定されていれば、ファクスを受信すると点滅して知らせます。
6	ダイヤルボタン	ダイヤルするときや各種設定の数値入力時に使用します。
7	Wi-Fi ランプ	点灯して、本製品の無線が使用可能になったことを示します。
8	電源ボタン	電源をオン/オフするときに押します。

■ 操作パネルは使いやすい角度に調整してください



※操作ボタンに触れないように、パネルは端を持って動かしてください。

待ち受け画面

本製品の現在の状態やメッセージが表示されます。通常は、以下のように「待ち受け画面」が表示され、現在の日時やインク残量などが確認できます。画面中央には、ファクスやコピーなど各機能のボタンが並び、画面下部には、各種の設定が行えるメニューボタンなどが配置されています。



1	日時 / メッセージ表示		現在の日時が表示されます。
			年賀状サービスに新しい機能が追加されたときに、お知らせが表示されます。(本製品がインターネット接続されている場合のみ) みただけ受信設定時に新着ファクスの件数が表示されます。【確認】を押すと受信ファクスを確認することができます。
			エラーが発生した場合は、メッセージを表示してお知らせします。メッセージ右側の【詳細】を押すと現在の状態や、保守手順を表示します。⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」の手順に従って操作、保守を行ってください。❌を押すと待ち受け画面に戻ります。
2	モードボタン		ファクス / コピー / スキャン / クラウド / デジカメプリント / レーベルプリント (MFC-J897DN/J897DWN のみ) / 年賀状アプリの各モードに切り替えます。
3	Wi-Fi 設定ボタン / 無線 LAN 電波状態		Wi-Fi® 設定を行うときに押します。(Wi-Fi 接続されていることを示す表示ではありません。)
			無線 LAN 設定後は、電波状態を 4 段階 (0 1 2 3) で表示します。
4	メニューボタン		メニューを表示させるときに押します。 ⇒ 26 ページ「メニュー」
5	インク残量表示 / インクメニューボタン		マゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。押すとインクメニューが表示されます。
6	お気に入りボタン		よく使う機能やこだわりの設定内容を登録してワンタッチで呼び出せるようにします。 ⇒ 48 ページ「お気に入りを登録する」

本製品には ARPHIC TECHNOLOGY CO.,LTD. 製のフォントを採用しております。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

メニュー

待ち受け画面の  【メニュー】 を押すと表示されるメニューです。



1	インク残量表示/インクメニューボタン	マゼンタ、シアン、イエロー、ブラックの各インクについてそれぞれ残量の目安が表示されます。押すと下記のインクメニューが表示されます。 テストプリント/ヘッドクリーニング/インク残量
2	接続確認ボタン	通信ボックスとの接続状態が確認できます。
3	記録紙設定ボタン	複合機本体にセットした記録紙に合わせて、記録紙の種類およびサイズを設定します。
4	Wi-Fi 接続・電波状態表示 /Wi-Fi 設定ボタン	無線 LAN 設定のオン/オフが表示されます。押すと、Wi-Fi 設定の画面に飛びます。無線 LAN 設定後は、電波状態を 4 段階 (0 1 2 3) で表示します。
5	みるだけ受信オン・オフ表示 / みるだけ受信設定ボタン	現在のファクスの見かたが表示されており、押すとみるだけ受信のオン・オフ設定ができます。 ・オン (チェックマーク) : 受信したファクスは印刷されず、画面上で確認します。 ・オフ (×マーク) : 受信したファクスは印刷されます。
6	全てのメニューボタン	本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューの入り口です。以下 7 つに分類された項目のボタンから各種の設定を行います。 基本設定・お気に入り設定・ファクス/電話・ネットワーク・レポート印刷・製品情報・初期設定 ⇒ 288 ページ「全てのメニューボタン」

画面の操作方法

画面に表示された項目やアイコンを押して操作します。画面上に▲/▼/◀/▶が表示されているときは、▲/▼/◀/▶を押すとその方向に画面が送られます。

◀/▶を押して画面を送ります。



項目のボタンを押すと次の画面が表示されます。



ボタンを押すと設定が有効になります。



キーボードを押して入力します。



入力値を確定します。

◀/▶を押して、目的のメニューアイコンを中央に移動させます。



目的のメニューアイコンを押します。



灰色表示は、続きがないことを示します。

重要

- タッチパネルは先のとがったもので押さないでください。先のとがったもの、ペンなどを使用するとタッチパネルの損傷や汚れの原因になります。

お願い

- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や電源ボタンを押したあすぐには、操作パネルに触れないでください。エラーを引き起こす恐れがあります。本製品の操作は待ち受け画面が表示されてから行ってください。

操作例

【基本設定】の【画面の明るさ】の設定方法を例に説明します。

1 【メニュー】を押す



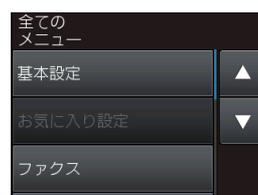
- ☞ 操作パネル上の◀を押すと、1つ前の画面に戻ることができます。

2 【全てのメニュー】(1)を押す



メニュー画面が表示されます。

3 【基本設定】を押す



次の階層が表示されます。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

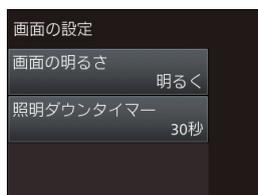
4 【画面の設定】を押す

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。



次の階層が表示されます。

5 【画面の明るさ】を押す



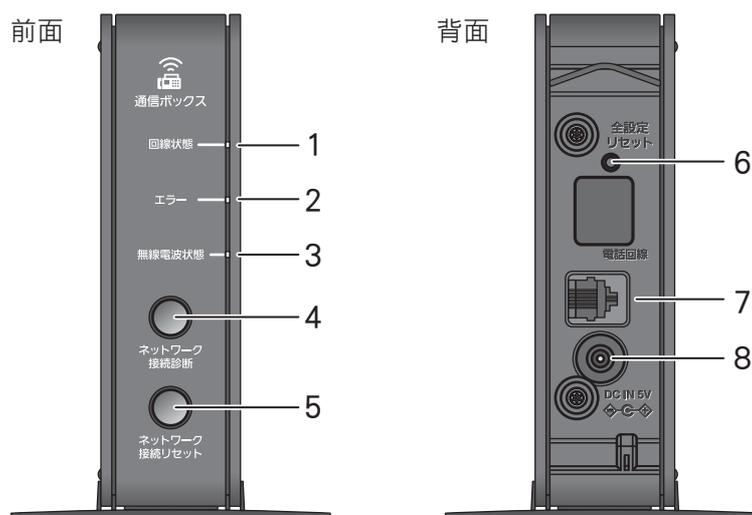
6 好みの明るさを選ぶ



ボタンを押すと、その明るさにすぐに画面が変わります。

7 を押して設定を終了する

通信ボックス



ランプ			
1	回線状態	点灯	通信ボックスに電源が入っており、電話回線の使用待ちの状態です。
		点滅	呼び出し、回線判定、子機増設/消去など通信中であることを示しています。
2	エラー	点灯	通信ボックスのメモリー残量がないことを示しています。みただけ受信やメモリー受信によってメモリーに保存されているファクスや留守録メッセージ、録音通話を整理してください。
		点滅	回線の自動判定ができなかったことを示しています。複合機本体にて手動で回線設定を行ってください。 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」
3	無線電波状態	点灯	電波強度は強～中で、複合機本体と無線で良好につながっていることを示しています。
		規則的な点滅	電波強度が弱いことを示しています。
		不規則な点滅	接続診断中であることを示しています。
		消灯	複合機本体と無線がつながっていないことを示しています。
ボタン			
4	ネットワーク接続診断	通信ボックスのネットワーク設定リストを印刷するときに押します。リストは複合機本体から印刷されます。	
5	ネットワーク接続リセット	通信ボックスと複合機本体の 2 者間のネットワークをお買い上げ時の状態に戻すときに押します。両機それぞれの電源プラグがしっかりと差し込まれ、両機のあいだに障害物がないのに通信ができない場合に行ってください。操作方法については下記をご覧ください。 ⇒ 258 ページ「通信ボックスと複合機本体の接続をお買い上げ時の状態に戻す (通信ボックスの再接続)」	
6	全設定リセット	本製品をお買い上げ時の状態に戻すときに使用します。複合機本体からの【全設定リセット】がうまくいかない場合に限って、通信ボックス単体で初期化を行うときに使用します。 ⇒ 263 ページ「初期状態に戻す」	
端子			
7	電話回線接続	付属の電話機コードを接続します。	
8	ACアダプタープラグ接続	付属の AC アダプターを接続します。	

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

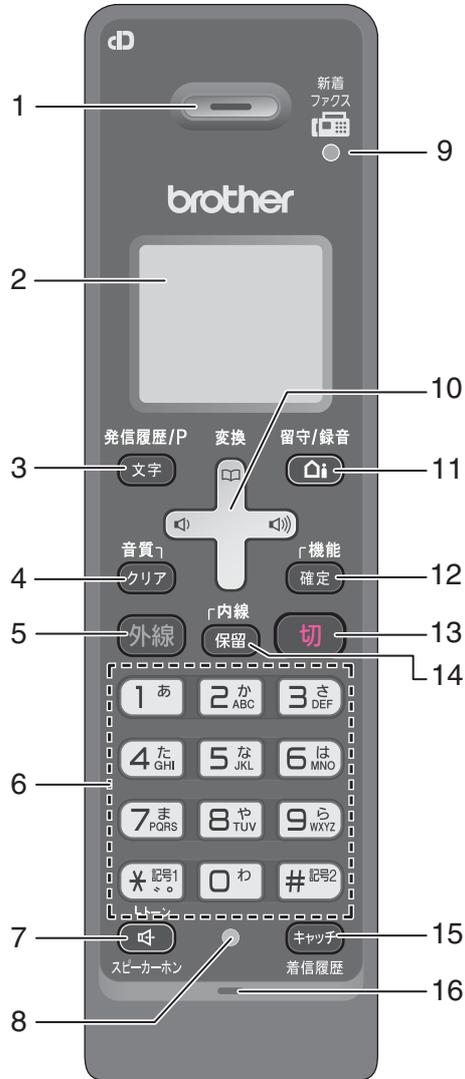
デジタルプリント

こんなときは

録付

子機

操作パネル



1	スピーカー (受話口)		相手の声が聞こえます。
2	画面		子機の状態やメニュー項目、メッセージなどが表示されます。
3	再ダイヤル / 発信履歴 / 文字切替 / ポーズ入力ボタン	待機中	最近かけた相手 (最大 10 件) を検索し、ダイヤルします。
		文字入力中	入力文字の種類 (英・カナ・かな) を切り替えます。
		ダイヤル中 / 電話帳登録中	ポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入力します。
		通話中	「ツー音」が鳴っているときに押して、最後にかけた相手に発信します。(リダイヤル)

4	クリア / 音質ボタン	文字入力中	文字を消します。
		通話中	相手の声の聞こえかたを調整することができます。長押しすると内緒話モードになり、小さい声での会話が可能になります。
		メニュー操作中	【再生 / 消去】メニューおよび【留守番設定】メニューの操作中に押し、1つ前の画面に戻ることができます。
5	外線ボタン		電話をかけるときや受けるときに押します。電話がかかってくると点滅します。
6	ダイヤルボタン		ダイヤルするときや文字や記号を入力するときに押します。
			一時的にプッシュホンサービス(トーン信号によるサービス)に切り替えることができます。
7	スピーカーホンボタン		子機を持たずに通話したいときに押します。通話中に押しと通常の通話に切り替わります。
8	充電ランプ		充電中は点灯します。
9	ファクス受信ランプ		ファクスを受信すると点滅して知らせます。
10	マルチセレクトボタン	機能設定中	「上下」を押して項目を選択します。
	電話帳ボタン 	待機中	「上下」を押して電話帳を開きます。
		文字入力中	「上下」を押すと漢字変換ができます。
	音量ボタン 		「左右」を押して着信音量、受話音量、スピーカー音量を調整します。
文字入力中		カーソルを移動します。	
11	留守 / 録音ボタン	待機中 (電話がかかってきたときに受話器を取る前を含む)	留守モードのオン / オフを切り替えます。留守モードの解除時、留守中に入ったメッセージが自動的に再生されます。留守モード中は点灯、留守中に録音されたメッセージがあるときは点滅して知らせます。
		外線通話中	会話の録音を開始します。
12	機能 / 確定ボタン	待機中	子機のメニュー操作 (機能設定) を開始するとき、設定内容を確定するときに押します。
		通話中	通話拒否 (おことわり) またはファクス受信をするときに押します。電話を取る前に押ししても通話拒否ができます。
13	切ボタン		電話を切るとき、メニュー操作を中止するときに押します。
14	内線 / 保留ボタン		内線通話、外線保留にするときに押します。
15	キャッチ / 着信履歴ボタン		キャッチホンを使うとき、着信履歴を表示するときに押します。 ※これらの機能を利用するためには、電話会社とのキャッチホン機能およびナンバー・ディスプレイ機能の契約が必要となります。
16	マイク (送話口)		子機を持って通話するときやスピーカーホンで通話するときを使用します。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

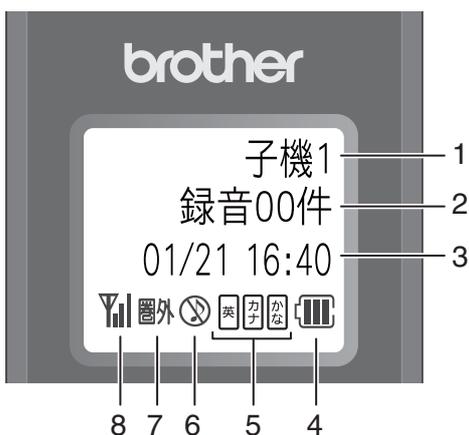
デジタルプリント

こんなときは

付録

画面

—非接続中/各種設定中—



※上図の表示は、すべてが同時に
出るわけではありません。

—外線接続中—



1	内線番号 (子機名)
2	メモリー内の留守録メッセージおよび録音した会話の保存件数を表示します。
3	日時表示
4	 バッテリーの残量の目安を表示します。 <バッテリー残量の目安>  : 20%以上  : 20%未満  : 10%未満  : 要充電
5	現在入力できる文字の種類が表示されます。文字種は  を押して切り替えます。  : ひらがな(全角)と、変換キーを使用することにより漢字および記号が入力できます。  : カタカナ(半/全角)および記号が入力できます。  : アルファベット(大/小文字)、記号および数字が入力できます。
6	 着信音量を OFF に設定しているときに表示されます。
7	 電波の届かない場所にいるときに表示されます。
8	 通話中の電波の状態が表示されます。 の数が多いほど、電波状態が良好です。
9	外線接続時間の目安 (相手につながってからの時間ではなく子機の  を押してからの経過時間)

電源について

複合機本体のオン / オフのしかた

- オンにするとき：  を押す
- オフにするとき：  を 2 秒以上押す

お願い

- 本製品は、複合機本体の電源をオンにすると、自動的に通信ボックスとの接続が開始されます。もし、複合機本体の電源オフ時にファクスを受信していると、電源オンののち、通信ボックスとの接続に加えファクスデータの転送に時間を要します。ファクスの確認をはじめ、複合機本体で操作ができるようになるまでしばらくお待ちください。

複合機本体の電源とヘッドクリーニングについて

本製品は、電源ボタンでオフにしているときも、電源プラグが接続されているときは自動でヘッドクリーニングが行われます。これは、本製品の印刷品質を維持するための機能です。

定期的にヘッドクリーニングを行って印刷品質を維持するため、電源プラグは抜かないで本製品をご利用ください。なお、ヘッドクリーニングの頻度は、ご利用の環境によって異なります。

⇒ 222 ページ「定期メンテナンスについて」

-  電源ボタンで電源を切ることにより、待機状態（スリープモード）よりも更に消費電力を抑えることができます。
-  複合機本体の電源が入っていない（操作パネル上の  を押して、電源オンになっていない）場合は、次の機能が使用できません。
 - ファクス
 - コピー
 - デジカメプリント
 - スキャン
 - パソコンからの印刷
 - レポート印刷
 - クラウド
 - (MFC-J897DN/J897DWN のみ) レーベルプリント / NFC
-  自動ヘッドクリーニング時は、全色のヘッドをクリーニングするため、カラーインクも消費します。
-  複合機本体の電源がオフの場合でも、通信ボックスの AC 電源コードおよび電話機コードが接続されていれば、電話は使用できます。

通信ボックスの電源

通信ボックスの電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しで行います。電源プラグが抜かれているときは、電話（内線通話を含む）およびファクスが使用できなくなります。電話機コードが接続されているだけでは電話はつながりません。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

録付

はじめに設定する

「かんたん設置ガイド」に沿って回線種別の設定が完了している場合は、次のページにお進みください。引越しなどで電話回線の環境に変更があったときは設定し直してください。

回線種別を設定する

【回線種別設定】

通信ボックスの設置時に回線種別が自動設定できなかった場合や、引越しなどで電話回線の環境が変わったときなどに手動で回線種別を設定します。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

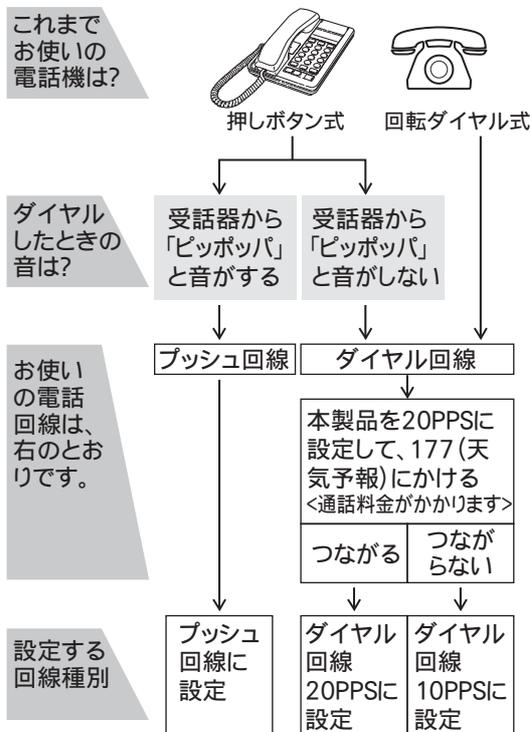
3 、を順に押す

4 子機の を押して、「ツー」という音が聞こえることを確認する

- 聞こえないときは、電話機コードを正しく接続し直してください。
⇒かんたん設置ガイド
- 正しく接続し直しても聞こえないときは、別の電話からご利用の電話会社にお問い合わせください。

5 を押す

6 回線種別を確認する



7 複合機本体の 【メニュー】を押す

8 【全てのメニュー】、【初期設定】、【回線種別設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

9 回線種別を選ぶ

- ☑ 回線種別がわからないときは、【ダイヤル 20PPS】、【プッシュ回線】、【ダイヤル 10PPS】の順に設定してみてください。
- ☑ ひかり電話サービス、直収電話サービスをご利用の場合は、【プッシュ回線】に設定してください。

10 を押して設定を終了する

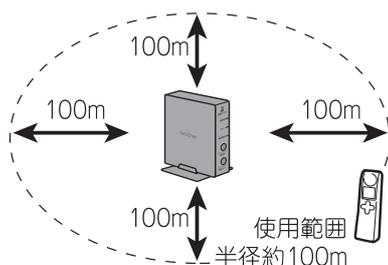
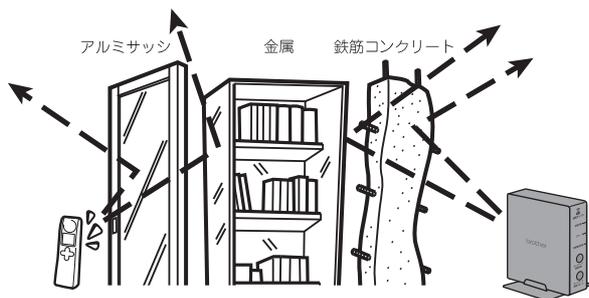
回線種別の手動設定終了後、「177」(天気予報) などにつながることをご確認ください。(通話料金がかかります)

子機の設置場所を確認する

子機（充電器）の設置場所については、以下のような点に注意してください。

- 通信ボックスから障害物のない直線距離で約100m以内のところでお使いください。マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や金属製の扉・家具の近くなど、周辺的环境によっては電波の届く範囲が短くなることがあります。

MFC-J827DWN/J897DWN の場合は、子機同士で内線通話をして、通話ができる範囲をお確かめください。



- 子機は複合機本体や他の子機から離して（推奨3m以上）設置してください。
- 本製品は、BCL-D120K-BK、BCL-D120K-WH 以外の子機を増設することはできません。

日付と時刻を設定する

日付と時刻を設定します。複合機本体で設定した日付と時刻は待ち受け画面に表示され、下記の用途に利用されます。

- 電話の発信・着信履歴
- ファクスの送信・受信履歴
- スキャンした画像に自動で付くファイル名の一部

子機で設定した日付と時刻も、子機の待ち受け画面に表示されます。子機が複数ある場合は、それぞれの子機で設定してください。

複合機本体の時計設定

通信ボックスとの接続確認後、複合機本体で時計を設定します。

- 🔧 本製品は、通信ボックスにも時計を内蔵しており、最初は、複合機本体で設定した時刻が同期されるしくみです。【時計セット】の操作は、複合機本体と通信ボックスが正常に接続されていなくても行うことができますが、はじめに正しい時刻を通信ボックスの時計に記憶させるため、設定前に、両機の接続を確認してください。

1 🛠️【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

4 【全てのメニュー】、【初期設定】、【時計セット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

5 【日付】を押す

年の入力画面が表示されます。



6 画面に表示されているテンキーで西暦の下2桁を押し、【OK】を押す

例：2014年の場合は、【1】【4】と押します。

 日付や時刻を間違えて入力したときは、 を押すと、入力し直すことができます。

月の入力画面が表示されます。

7 画面に表示されているテンキーで月を2桁で押し、【OK】を押す

例：1月の場合は、【0】【1】と押します。

日付の入力画面が表示されます。

8 画面に表示されているテンキーで日付を2桁で押し、【OK】を押す

例：21日の場合は、【2】【1】と押します。

9 【時刻】を押す

時刻の入力画面が表示されます。

10 画面に表示されているテンキーで時刻を24時間制で押し、【OK】を押す

例：午後0時45分の場合は、【1】【2】【4】【5】と押します。

日付と時刻が設定されます。

11 を押して設定を終了する

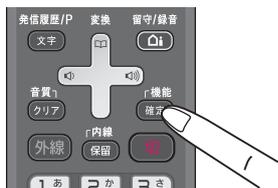
待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



-  時間の経過により、設定した時刻に誤差が生じてきます。定期的に設定し直すことをお勧めします。
-  時計設定がしてあっても、発信元登録をしないと、ファクス送信時、相手側の記録紙に日時は印刷されません。

子機の時計設定

1 子機の「機能確定」を押す



2 + で【時計設定】を選び、「機能確定」を押す

3 日付を入力し、「機能確定」または + を押す

例：2014年1月21日の場合

1 あ 4 た GH 0 わ 1 あ 2 か ABC 1 あ と押します。

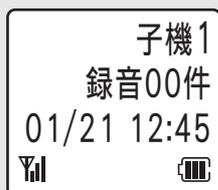
4 時刻を24時間制(4桁)で入力し、「機能確定」を押す

例：12時45分の場合

1 あ 2 か ABC 4 た GH 5 な JKL と押します。

5 切 を押して設定を終了する

待ち受け画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



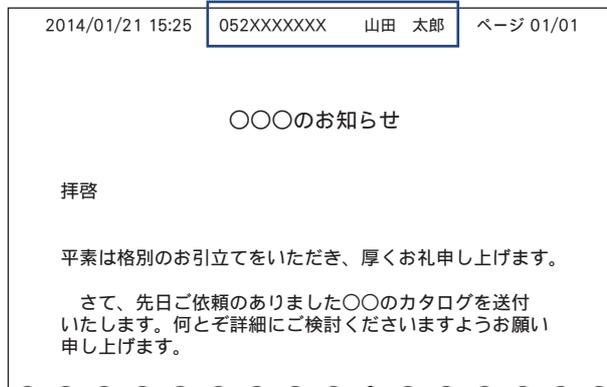
✎ 数字を入れ間違えたときは、+ で間違えた箇所までカーソルを移動し、入力し直してください。

✎ 設定を途中で中止するときは 切 を押してください。

送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する

【発信元登録】

自分の名前とファクス番号を本製品に登録します。登録した名前とファクス番号は、ファクス送信したときに相手側の記録紙の一番上に印刷されます。



お願い

- 発信元情報は、ファクスをモノクロで送信するときのみ付けることができます。カラーで送信する場合は付けられません。発信元情報を付ける必要がある通信の場合は、モノクロで送信してください。カラーで送信する必要がある場合は、別途、手書きの送付案内状などを付けてください。
- 発信元登録をしていない場合は、相手側の記録紙に、日時も印刷されません。送信時間などを正しく記録して送信するためには、必ず発信元登録を行ってください。

1 工具【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【発信元登録】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【ファクス】を押す

ファクス番号の入力画面が表示されます。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

4 画面に表示されているテンキーで ファクス番号を入力し、【OK】を押す

20桁まで入力できます。ハイフンは入力できません。

 ファクス番号と電話番号を共通で使用している場合は、電話番号を入力してください。

5 【名前】を押す

名前の入力画面が表示されます。

6 名前を入力し、【OK】を押す

⇒ 274 ページ「文字の入力方法」

16文字まで入力できます。

設定が有効になります。

7 を押して設定を終了する

発信元登録を削除するときは

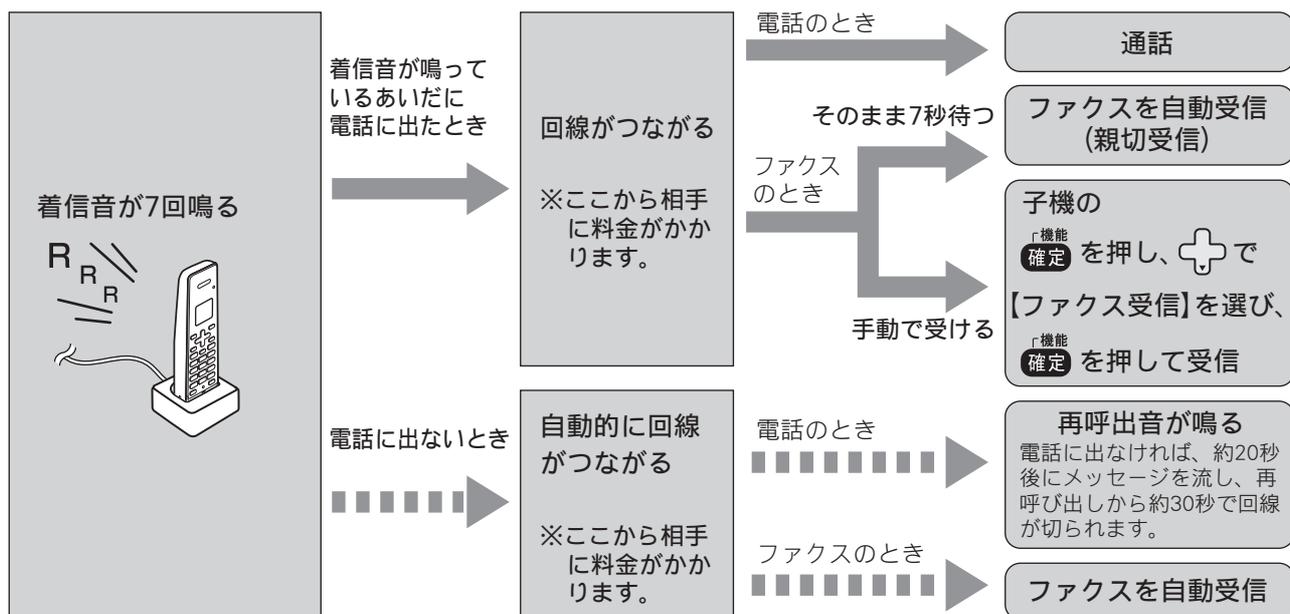
- (1) 「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」(37 ページ) の手順 ③ までを行う
- (2)  を 1 秒以上押して、ファクス番号を削除し、【OK】を押す
- (3)  を押して操作を終了する

電話とファクスの受信設定

お買い上げ時の状態で電話・ファクスを受けるとき

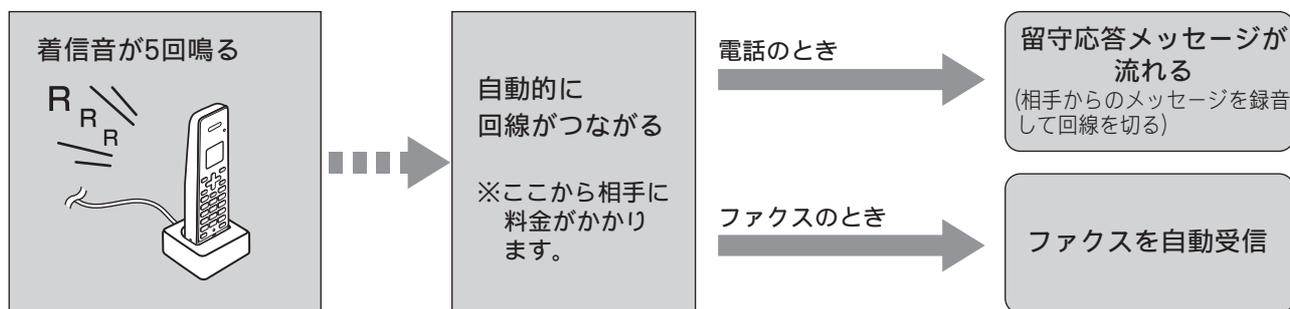
お買い上げ時は、次のように設定されています。留守番機能がセットされていない場合（在宅モード）と、セットされている場合（留守モード）とでは、本製品の動作は違います。40 ページから 45 ページでは、下表、破線部分に関わる流れを、お客様の使いかたにあった設定に変更する手順をご案内しています。

在宅モード：留守番機能がセットされていないとき



7回の着信音が鳴ったあと自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先には再呼出音が聞こえています。このとき電話に出ないでいると、約20秒後に「ただ今近くにおりません。のちほどおかけ直してください。」というメッセージを流し、再呼び出し開始から約30秒で回線が切れます。

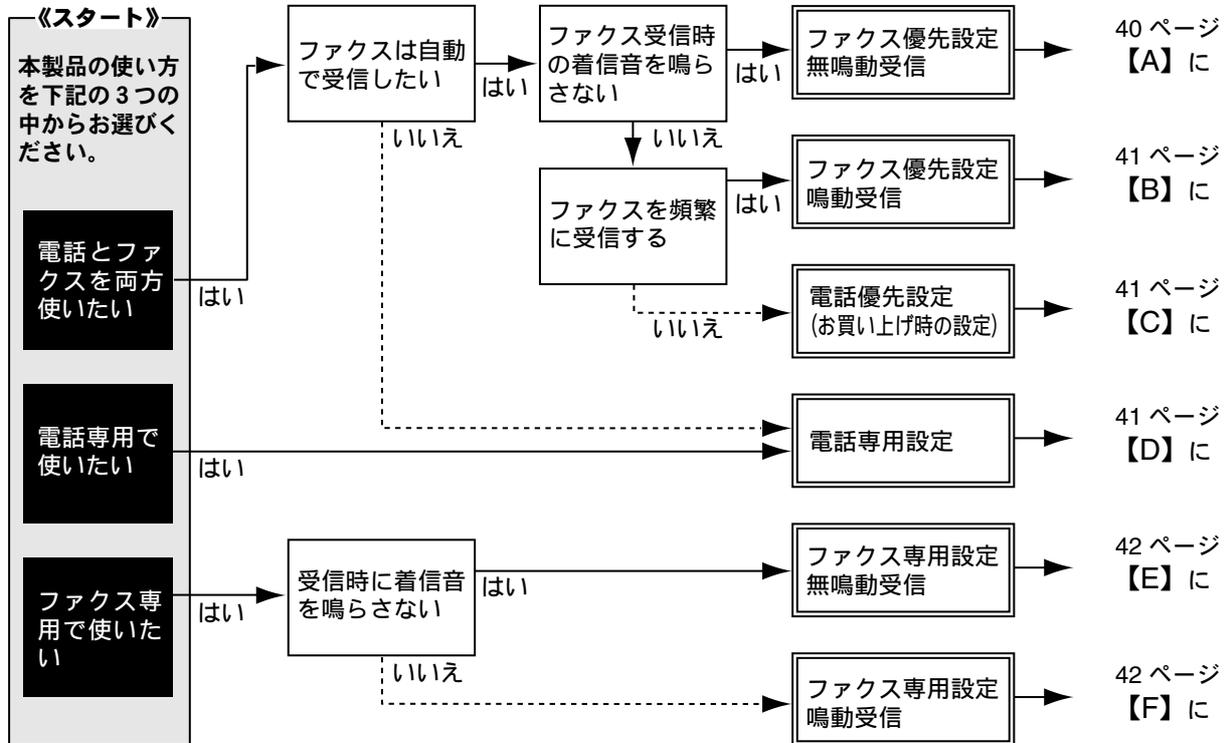
留守モード：子機の留守/録音ボタンを押して、留守番機能をセットしたとき



5回の着信音が鳴ったあと自動的に回線がつながると、電話をかけてきた相手先に「ただいま留守しております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」というメッセージを流します。相手からのメッセージを録音後、回線が切れます。

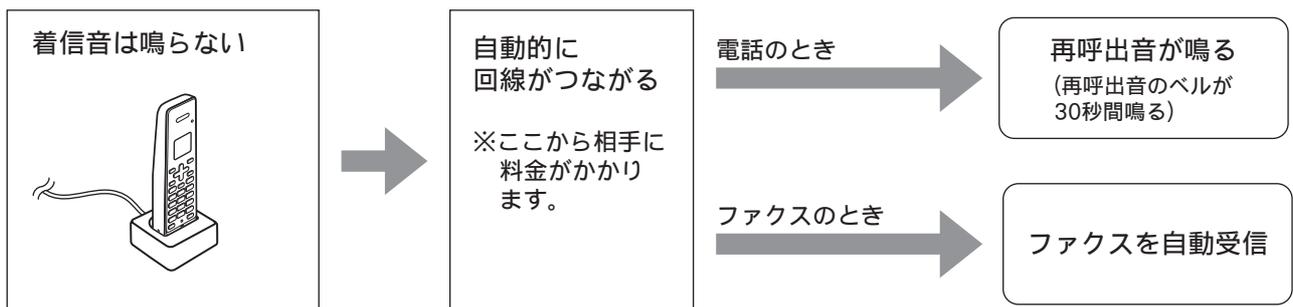
電話・ファクスの受けかたを変更する

在宅モードに設定しているときの電話・ファクスの受け方を変更することができます。
下記のチャートから用途に合わせた設定を選び、各設定の説明ページへお進みください。



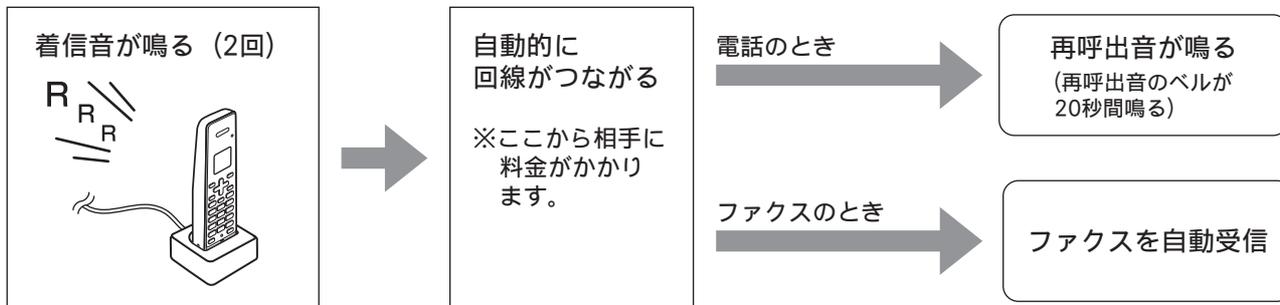
【A】 本製品の着信音を鳴らさずにファクスを優先的に受ける (ファクス優先設定無鳴動受信)

無鳴動受信を設定します。
⇒ 43 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない (無鳴動受信)」



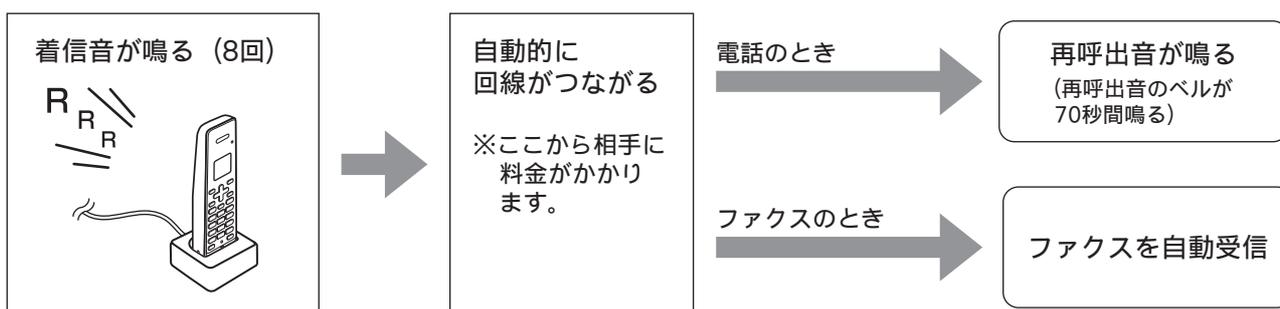
【B】 着信音を鳴らしてファクスを優先的に受ける（ファクス優先設定鳴動受信）

着信を知らせる呼出ベル回数を1～2回にし、再呼出ベル設定を【オン（電話呼び出し）】に設定します。
 ⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」
 ⇒ 45 ページ「再呼出の設定をする」
 例：呼出ベル回数を2回、再呼出ベル設定を【オン（電話呼び出し）】、再呼出方法を【相手にベル】、再呼出時間を【20秒】に設定した場合



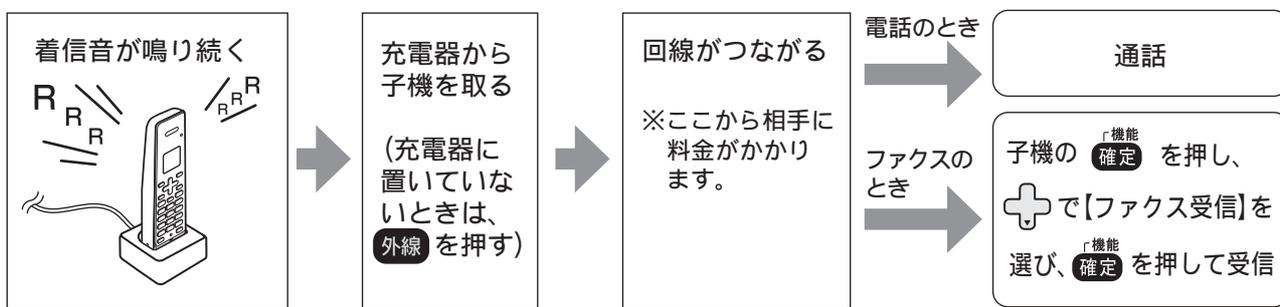
【C】 電話を優先的に受ける（電話優先設定）

着信を知らせる呼出ベル回数を7～15回にし、再呼出ベル設定を【オン（電話呼び出し）】に設定します。
 ⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」
 ⇒ 45 ページ「再呼出の設定をする」
 例：呼出ベル回数を8回、再呼出ベル設定を【オン（電話呼び出し）】、再呼出方法を【相手にベル】、再呼出時間を【70秒】に設定した場合



【D】 電話専用として使いたい場合（電話専用設定）

着信を知らせる呼出ベル回数を【無制限】に設定します。
 ⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」



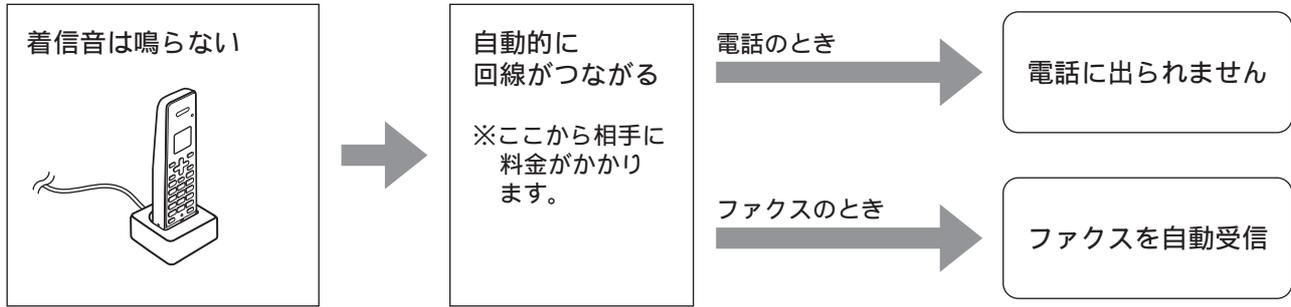
ご使用の前に
 電話
 ファクス
 電話帳
 留守機能
 コピー
 デジカメプリント
 こんなときは
 録

【E】 本製品の着信音を鳴らさずにファクスを受ける（ファクス専用設定無鳴動受信）

着信を知らせる呼出ベル回数を0回にし、再呼出ベル設定を【オフ（ファクス専用）】に設定します。

⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

⇒ 45 ページ「再呼出の設定をする」



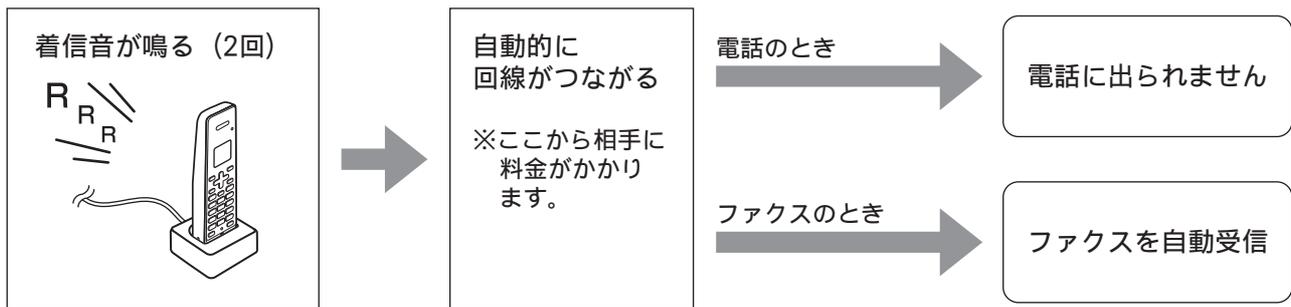
【F】 本製品の着信音を鳴らしてファクスを受ける（ファクス専用設定鳴動受信）

着信を知らせる呼出ベル回数を1～2回にし、再呼出ベル設定を【オフ（ファクス専用）】に設定します。

⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

⇒ 45 ページ「再呼出の設定をする」

例：呼出ベル回数を2回、再呼出ベル設定を【オフ（ファクス専用）】に設定した場合



ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）

【ファクス無鳴動受信】

電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らして、ファクスを受信したときは着信音を鳴らさないようにすることができます。お買い上げ時は、【しない】に設定されており、電話、ファクスともにかかってきたときには着信音が鳴ります。

- ① 無鳴動受信を有効にすると、かかってきた電話がファクスでない場合は、再呼び出しに切り替わると着信音が鳴り始めます。
- ② 無鳴動受信を有効にすると、相手が電話をかけた（ファクスを送信した）時点で、本製品は電話かファクスかを判断するために回線を接続します。したがって、本製品で電話を取らなくても相手側には通話料金が発生します。
- ③ 無鳴動受信を有効にしても、回線状況が悪い場合はファクスの着信音が数回鳴ることがあります。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

4 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【ファクス無鳴動受信】を順に押す

5 【する】を押す

- 【する】：
ファクス受信を優先する無鳴動受信が設定されます。
無鳴動受信を設定すると、呼出ベル回数は在宅モード時、留守モード時ともに【0】、再呼出ベル設定が自動的に、【オン（電話呼び出し）】、【相手にベル】、【30秒】に設定されます。
- 【しない】：
無鳴動受信は設定されません。
電話、ファクスどちらの場合も着信音が鳴ります。無鳴動受信を設定しない場合、呼出ベル回数は在宅モード時【7】、留守モード時【5】になり、再呼出ベル設定が自動的に、【オン（電話呼び出し）】、【相手にベル】、【30秒】に設定されます。

【しない】を選んだ場合は、メッセージを確認して【OK】を押します。

6 を押して設定を終了する

呼出ベル回数を設定する

[呼出ベル回数]

本製品が応答してから回線が自動的につながる（電話かファクスかを自動判定する）までに鳴る着信音の回数を設定します。

お買い上げ時は「在宅モード 7 回」、「留守モード 5 回」に設定されています。呼出回数を 0 回に設定すると、ファクスのときは自動受信し、電話のときだけベル音を鳴らすことができます。（回線状況が悪い場合は、ファクスのときでも着信音が数回鳴ることがあります。）なお、電話のときは本製品で電話を取らなくても相手に料金がかかります。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

4 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【呼出ベル回数】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

5 【在宅モード】を押す

6 呼出回数を選ぶ

- 【0 ~ 15 (回)】 :
設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【無制限】 :
子機を取るまで着信音が鳴り続けます。子機を取ると回線につながります。

7 【留守モード】を押す

8 呼出回数を選ぶ

- 【0 ~ 7 (回)】 :
設定した回数の着信音が鳴ったあと、回線が自動的につながります。
- 【トールセーバー】 :
外出先から留守録メッセージの有無を確認できるモードです。
⇒ 44 ページ「トールセーバーを利用する」

9 家を押し設定を終了する

トールセーバーを利用する

トールセーバーとは、留守番機能がセットされているときに、外出先から留守録メッセージが入っているかどうかを呼出音の回数で確認できる機能です。外出先からメッセージの有無を確認するときは、自宅に電話をかけて、留守応答メッセージが再生されるまでの呼出回数を確認します。

- 2 回 : 音声メッセージがある
- 5 回 : 音声メッセージがない

呼出音の 3 回目が鳴った時点で、留守録メッセージがないことがわかります。留守応答メッセージが再生される前に電話を切れば、通話料金がかかりません。呼出音が 2 回鳴って電話がつながったときは、留守録メッセージがあることがわかります。この場合は通話料金はかかりますが、リモコンアクセスを利用すれば外出先から本製品を操作して留守録メッセージを確認することもできます。

⇒ 149 ページ「外出先から本製品を操作する」

再呼出の設定をする

【再呼出ベル設定】

着信を知らせる呼出音が、⇒44 ページ「呼出ベル回数を設定する」で設定された回数鳴ったあと、本製品は電話かファクスかを判断するために自動的に電話回線を接続します。留守モードに設定されているときは、留守モードの場合の設定動作を自動的に行います。ここでは、在宅モード時の、電話回線接続後の本製品の動作を設定します。お買い上げ時は、ファクスの場合はすぐに受信を開始、電話の場合は30秒のベル音が鳴ってから電話が切れるように設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

4 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【再呼出ベル設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

5 【再呼出ベル設定】を押して、自動着信後の動作を選ぶ

- 【オン（電話呼び出し）】：
電話とファクスの両方を使うときに選びます。電話のときは再呼出音が鳴ります。ファクスは自動的に受信します。
- 【オフ（ファクス専用）】：
本製品をファクス専用として使うときに選びます。回線接続後は再呼び出しをせず、すぐにファクス受信を開始するため電話は受けられません。

- 【オン（電話呼び出し）】を選んだ場合：
⇒手順 6 へ
- 【オフ（ファクス専用）】を選んだ場合：
⇒手順 8 へ

6 【再呼出方法】を押して、再呼出音を選ぶ

再呼出音が鳴っている間に、相手に流す音（声）を選びます。

- 【相手にベル】：
「トゥルルルルル」という音が相手に流れます。
- 【相手にメッセージ】：
在宅応答メッセージが相手に流れます。お買い上げ時は、「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」というメッセージが流れます。
在宅応答メッセージを自分の声で録音することもできます。
⇒144 ページ「応答メッセージを録音する」

7 【再呼出時間】を押して、再呼び出し時間を選ぶ

再呼出音を何秒鳴らすかを設定します。

【20秒 / 30秒 / 40秒 / 70秒】から選びます。

8 を押して設定を終了する

電話会社の有料サービス利用の有無を設定する

電話会社と下記の有料サービスを契約している場合に設定します。電話会社と契約するだけでは、正しく動作しない場合がありますので、契約の有無に従って設定を行ってください。

- ナンバー・ディスプレイ機能
- キャッチホン・ディスプレイ機能

- 📎 本製品はキャッチホン機能にも対応していますが、特に設定を必要としません。
- 📎 本製品はネーム・ディスプレイ機能には対応していません。

ナンバー・ディスプレイ機能を設定する

お買い上げ時は、【あり】に設定されています。契約されていない場合は、【なし】に設定してください。ナンバー・ディスプレイ機能をご契約の上、【あり】に設定しているときは、各種のオプション機能が利用できます。詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 88 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

お願い

- ナンバー・ディスプレイ機能を契約されている場合は、必ず【あり】にしてください。【なし】に設定すると、電話を受けたとき、すぐに電話が切れてしまう場合があります。

1 🛠️【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

4 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

5 【あり】または【なし】を押す

6 🏠を押して設定を終了する

- 📎 ナンバー・ディスプレイ機能を利用するときは、呼出回数を3回以上に設定してください。2回以下に設定していると、相手先の電話番号を画面に表示できないことがあります。
⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する

お買い上げ時は、【なし】に設定されています。
 キャッチホン・ディスプレイ機能を契約されている場合は、下記の手順で【あり】に設定してください。
 キャッチホン・ディスプレイについて詳しくは、下記をご覧ください。
 ⇒ 92 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

1 【メニュー】を押す



2 **【接続確認】**を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 **【OK】**を押す

4 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【ナンバーディスプレイ】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

5 **【あり】**を押す

6 **【キャッチディスプレイ】**を押す

7 **【あり】**を押す

8 を押して設定を終了する

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

お気に入り登録する

よく使う機能や設定を「お気に入り」として合計 12 個まで登録することができます。登録できるメニューおよび設定条件は次の通りです。

機能	第 1 選択項目 (メニュー)	第 2 選択項目 (設定条件)
コピー	コピー画質 記録紙タイプ 記録紙サイズ 拡大/縮小 コピー濃度 スタック/ソート レイアウトコピー 両面コピー (MFC-J897DN/ J897DWN のみ) 便利なコピー設定	各項目の設定値については下記をご覧ください。 ⇒ 157 ページ「設定を変えてコピーするには」 本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。
ファクス	相手先の電話番号	ファクス画質、原稿濃度、同報送信、みてから送信、カラー設定、海外送信モード
スキャン	ファイル OCR イメージ E メール添付	PC 名
	メディア	カラー設定、解像度、ファイル形式、スキャンサイズ、(MFC-J897DN/J897DWN のみ) ADF 長尺原稿モード、ファイル名、おまかせ一括スキャン、地色除去
クラウド	ウェブサービスに、スキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができる機能をお気に入りに登録することができます。クラウドをお気に入り登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。(「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)からダウンロードできます。)	

お気に入りに機能や設定条件を登録する

- 1 待ち受け画面の **お気に入り** を押す
 - 2 未登録の **+** を押す
未登録のお気に入りが表示されていないときは、**◀/▶** を押して画面を送ります。
-
- 3 登録したい機能を選ぶ
【コピー/ファクス/スキャン/クラウド】から選びます。

コピーを選んだ場合

- 4 **【OK】** を押す
- 5 好みの設定条件に変更する
メニューが表示されていないときは、**▼/▲** を押して画面を送ります。
本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。
- 6 設定できたら **【お気に入り登録】**、**【OK】** を順に押す

⇒手順 8 へ

ファクスを選んだ場合

4 【OK】を押す

同報送信をお気に入り登録する場合は、このあと【設定変更】、【同報送信】を順に押し、送信先をすべて選択後、【OK】を押します。設定条件を変更する場合は、再度【設定変更】を押して設定し、【OK】を押します。⇒手順 7 へ

5 ダイヤルボタンまたは【電話帳】、【履歴】で相手先のファクス番号を入力する

【電話帳】または【履歴】から選ぶ場合は、相手先を選んで表示された画面で、【送信先に設定】を押します。

- 設定条件を変更する場合は、【設定変更】を押す
- 設定条件を変更しない場合は、⇒手順 7 へ

6 設定条件を変更し、【OK】を押す

本製品の機能にあっても、お気に入り登録画面に表示されない項目や、灰色表示される項目は設定できません。

⇒手順 7 へ

スキャンを選んだ場合

スキャン機能をお気に入りに登録する場合は、あらかじめ以下のように準備をしておいてください。

- ファイル/OCR/イメージ/Eメール添付：本製品をパソコンに接続してください。
- メディア：メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを本製品にセットしてください。

4 スキャンメニューを選ぶ

メニューが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

5 【OK】を押す

6 選んだスキャンメニューに応じた項目を設定する

- ファイル/OCR/イメージ/Eメール添付：保存するパソコンを選び、【OK】を押します。⇒手順 8 へ
- メディア：ファイルの保存条件を変更したい場合は【設定変更】を押して設定し直し、【OK】を押します。灰色表示される項目は設定できません。⇒手順 7 へ

クラウドを選んだ場合

クラウドをお気に入り登録するには、あらかじめ、ご利用になるサービスのアカウントを登録しておく必要があります。

詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラウザソリューションセンター）からダウンロードできます。）

4 【OK】を押す

 を押すと、設定は中断されます。

5 クラウド サービスを選ぶ

メニューが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

6 アカウントを選択して、【OK】を押す

アカウントが PIN コードを必要とする場合は、PIN コードを入力し、【OK】を押してください。また、選んだサービスによっては、更にアップロードやダウンロードを選択する必要があります。画面の指示に従って設定してください。

⇒手順 8 へ

7 設定できたら【お気に入り登録】、【OK】を順に押す

8 画面に表示されたテンキーで名前を入力して、【OK】を押す

 を押して今付いている名前はいったん消してください。

⇒ 274 ページ「文字の入力方法」

【ファクス】を登録した場合は、登録した相手先が電話帳（⇒ 130 ページ）にも反映されるため【ヨミガナ】の編集画面が表示されます。必要に応じて読みがなを編集し、【OK】を押してください。

 お気に入り名は、あとで変更することもできます。
⇒ 50 ページ「お気に入りの登録名を変更する」

9 【OK】を押して登録を終了する

登録したお気に入り呼び出す

- 1 待ち受け画面の **お気に入り** を押す
- 2 呼び出したいお気に入りを押す
呼び出したいお気に入りが表示されていないときは、◀ / ▶ を押して画面を送ります。



呼び出したお気に入りの設定画面が表示されます。機能を実行する場合はスタートキーを押します。

お気に入りを編集する

お気に入りの登録名を変更する

- 1 待ち受け画面の **お気に入り** を押す
 - 2 呼び出したいお気に入りを2秒以上押す
呼び出したいお気に入りが表示されていないときは、◀ / ▶ を押して画面を送ります。
- 【メニュー】、【全てのメニュー】、【お気に入り設定】の順に押して表示されるお気に入り一覧から編集対象のお気に入りを選ぶこともできます。
- 3 **【お気に入り名の編集】** を押す
 - 4 **✕** を押して古い名前を消去する
長押しすると登録名は一度に消去されます。
 - 5 名前を再入力して、**【OK】** を押す
 - 6 **🏠** を押して設定を終了する

お気に入りの設定条件を変更する

クラウドは設定変更できません。クラウドの設定を変更したいときは、いったん削除してあらためて登録してください。

- 1 **変更したいお気に入りを呼び出す**
⇒ 50 ページ「登録したお気に入り呼び出す」
- 2 **設定条件を変更する**
機能により、変更画面が違います。
⇒ 48 ページ「お気に入りを登録する」
- 3 **【お気に入り登録】、【OK】** を順に押す
- 4 **【はい（上書き）】** を押す

このあと設定条件を保存せずにスタートすると、変更を一時的に有効にして機能を実行できます。

【いいえ（新規作成）】を押すと、条件を変更した設定で新たにお気に入りを登録します。名前をつけて、【OK】を押してください。

- 5 **【OK】** を押して設定を終了する

登録したお気に入りを削除する

- 1 待ち受け画面の **お気に入り** を押す
 - 2 呼び出したいお気に入りを2秒以上押す
呼び出したいお気に入りが表示されていないときは、◀ / ▶ を押して画面を送ります。
- 【メニュー】、【全てのメニュー】、【お気に入り設定】の順に押して表示されるお気に入り一覧から削除対象のお気に入りを選ぶこともできます。
- 3 **【消去】** を選ぶ
 - 4 **【はい】** を押す
 - 5 **🏠** を押して設定を終了する

記録紙のセット

印刷品質は記録紙の種類によって大きく左右されます。目的に合った記録紙を選んでください。記録紙をセットしたときは、本製品で【記録紙タイプ】を設定してください。

⇒ 62 ページ「記録紙の種類を設定する」

パソコンから印刷する場合は、プリンタードライバーの「用紙種類」の設定を変更してください。

⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」または「Macintosh 編」- 「印刷の設定を変更する」

記録紙には色々な種類があるので、大量に購入される前に試し印刷することをお勧めします。

使用できる記録紙

種類	坪量 (厚さ)	サイズ			一度にセットできる枚数		
		コピー	デジカメ プリント	プリンター	記録紙 トレイ	スライド トレイ	手差しト レイ ^{*4}
普通紙	64g/m ² ~ 120g/m ² (0.08mm ~ 0.15mm)	A4 B5 (JIS) A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5 (JIS) A5 A6	100 ^{*1}	-	1
インクジェット紙	64g/m ² ~ 200g/m ² (0.08mm ~ 0.25mm)	A4 B5 (JIS) A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5 (JIS) A5 A6	20		
光沢紙	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下) ^{*2}	A4 B5 (JIS) A5	A4	A4 レター エグゼクティブ B5 (JIS) A5 A6	20		
OHP フィルム	(0.13mm 以下)	A4 B5 (JIS) A5	-		10		
封筒	75g/m ² ~ 95g/m ²	-	-	長形 3号封筒 長形 4号封筒 洋形 2号封筒 洋形 4号封筒 Com-10 DL 封筒	10		
インデックスカード (127mm × 203.2mm)	120g/m ² 以下 (0.15mm 以下)	-	-	インデックス カード	30		
往復はがき (折っていないもの)	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	-	-	往復ハガキ	20		
2L 判 ^{*3} (127mm × 178mm)	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	2L 判	2L 判	2L 判	20		
ポストカード (101.6mm × 152.4mm)	(0.25mm 以下)	-	-	ポストカード	20		
L 判 ^{*3}	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下) ^{*2}	L 判	L 判	L 判	-		
はがき ^{*3}	220g/m ² 以下 (0.25mm 以下)	ハガキ	ハガキ	ハガキ	20		

^{*1} 80g/m² の記録紙を使用した場合の目安です。

^{*2} ブラザー BP71 写真光沢紙の坪量は 260g/m² ですが、本製品の専用紙として作られていますのでご使用いただけます。また、手差しトレイであれば、0.28mm までの光沢紙がご使用いただけます。

^{*3} 普通紙、インクジェット紙、光沢紙に対応しています。

^{*4} MFC-J827DN/J827DWN のみ

専用紙・推奨紙

印刷品質維持のため、下記の弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。

記録紙種類	商品名	型番 (サイズ)	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA (A4)	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4 (A4)	20 枚入り
		BP71GLJ50 (L判)	50 枚入り
		BP71GLJ100 (L判)	100 枚入り
		BP71GLJ300 (L判)	300 枚入り
		BP71GLJ500 (L判)	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙(マット仕上げ)	BP60MA (A4)	25 枚入り

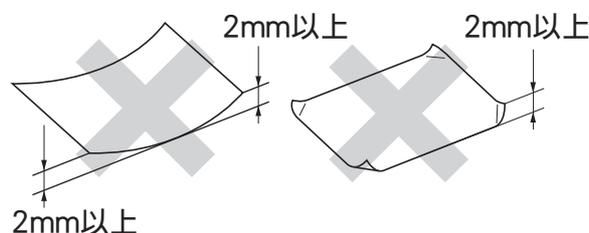
重要

- 指定された記録紙でも、以下の状態の記録紙は使用できません。
傷がついている記録紙、カールしている記録紙、シワのある記録紙、留め金のついた記録紙
- 指定以外の記録紙は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。封筒の場合は斜めに送り込まれたり、汚れたりします。
- ラベル用紙は使用しないでください。めくれたラベルが内部に貼り付き、故障の原因となることがあります。

お願い

- 使用していない記録紙は袋に入れ、密封してください。湿気のある場所、直射日光の当たる場所には保管しないでください。
- 往復はがきには、「折ってあるタイプのもの」と「折り目はあるが折っていないタイプのもの」があります。「折ってあるタイプのもの」を使用すると往復はがきの後端に汚れなどが発生することがありますので、「折り目はあるが折っていないタイプのもの」をご使用ください。

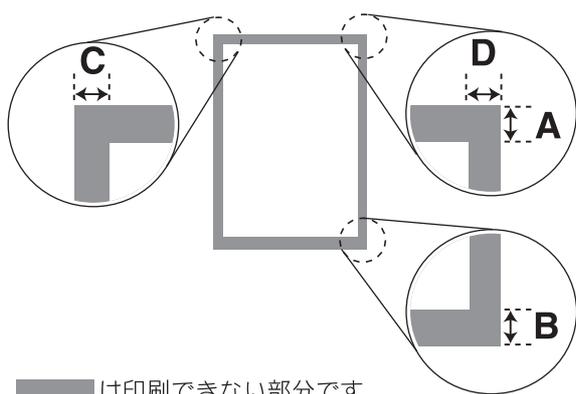
- 📎 OHP フィルムとブラザー写真光沢紙をセットするときは、実際にプリントしたい枚数より 1 枚多くトレイにセットしてください。
※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1 枚多く光沢紙が同封されています。
- 📎 ブラザー BP71 写真光沢紙をお使いの場合は、光沢紙に同封されている「取扱説明書」と「取扱説明書－印刷後の乾燥・保存方法について」をよくお読みください。
- 📎 カールしている記録紙について
特に、はがきや光沢紙 (L判、2L判) はカールしている場合があるため、曲がりや反りを直して使用してください。
カールしている記録紙をそのまま使用すると、インク汚れ、印刷のずれ、記録紙づまりが発生します。



記録紙の印刷範囲

記録紙には印刷できない部分があります。以下の図と表に、印刷できない部分を示します。なお、図と表の A、B、C、D はそれぞれ対応しています。

☞ 下記の数値は、プリンター機能でふちなし印刷を行っていない場合の数値です。ふちなし印刷を選択すると、印刷できない部分（余白）は、基本的に「0」になりますが、お使いのパソコンの OS によっては、完全に「0」にならない場合もあります。



■ は印刷できない部分です

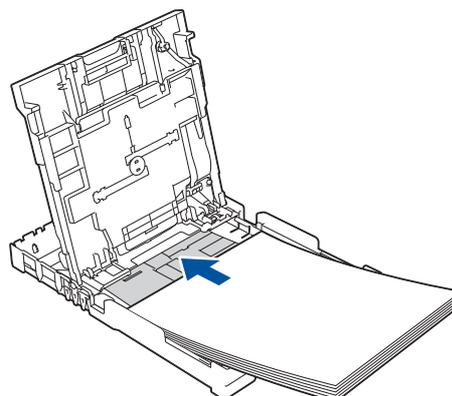
(単位：mm)

記録紙	A	B	C	D
A4/A5/A6/B5 (JIS) レター/エグゼクティブ 2L判/L判 インデックスカード ポストカード はがき	3	3	3	3
長形 3号封筒 長形 4号封筒 洋形 2号封筒 洋形 4号封筒	12	22	3	3
Com-10 封筒 DL 封筒	22	22	3	3

※印刷できない部分の数値 (A、B、C、D) は、概算値です。この数値はお使いの記録紙によっても変わることがあります。

トレイの種類

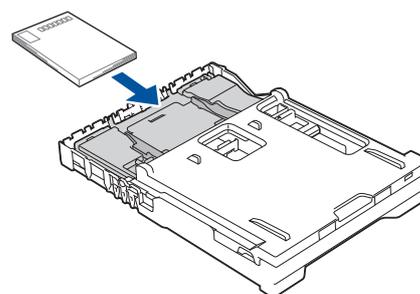
記録紙トレイ



L判、はがき、ポストカード以外の記録紙と、封筒をセットします。

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

スライドトレイ



L判記録紙とはがき、ポストカードをセットします。

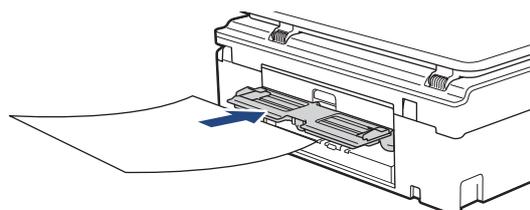
⇒ 58 ページ「スライドトレイにセットする」

給紙トレイマーカーの見かた

記録紙トレイ正面右側の給紙トレイマーカーで、現在、記録紙トレイとスライドトレイのどちらが有効であるかがわかります。スライドトレイの位置によって、青色のマーカーが自動的に切り替わります。

A4/LTR 側：記録紙は記録紙トレイから供給されます。
Photo 側：記録紙はスライドトレイから供給されます。

手差しトレイ (MFC-J827DN/J827DWN のみ)



記録紙トレイの記録紙を入れ替えることなく、現在、記録紙トレイにセットされていない記録紙にすぐに印刷したいときに使用します。本製品で対応可能なすべての記録紙がセットできます。

⇒ 60 ページ「手差しトレイにセットする (MFC-J827DN/J827DWN のみ)」

ご使用の前に

電話

フアクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

最大排紙枚数について

坪量 80g/m^2 の A4 記録紙の場合、最大 50 枚まで排紙トレイ上に保持できます。大量の印刷を行うときは、記録紙があふれないように、順次排紙トレイから取り出してください。

写真用光沢紙や OHP フィルムに印刷した場合は、インク汚れを防ぐため、排紙トレイから 1 枚ずつ取り出してください。

記録紙トレイにセットする

記録紙トレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

- 普通紙
- インクジェット紙
- 光沢紙
- OHP フィルム
- 封筒
- インデックスカード
- 往復はがき

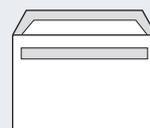
L 判記録紙およびはがき、ポストカードは、スライドトレイにセットしてください。

⇒ 58 ページ「スライドトレイにセットする」

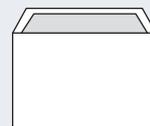
重要

■ 以下の封筒は使用できません。誤って使用すると、故障や紙づまりの原因になります。

- ・ 窓付き封筒
- ・ エンボス加工がされたもの
- ・ 留め金のついたもの
- ・ 内側に印刷がほどこされているもの
- ・ ふたにのりが付いているもの



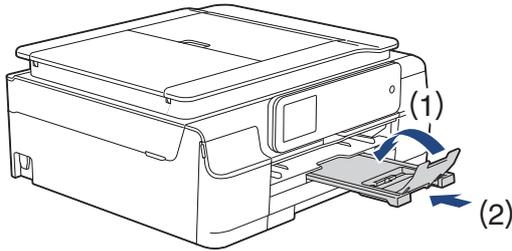
- ・ 二重封筒（ふたの部分が二重になった封筒）



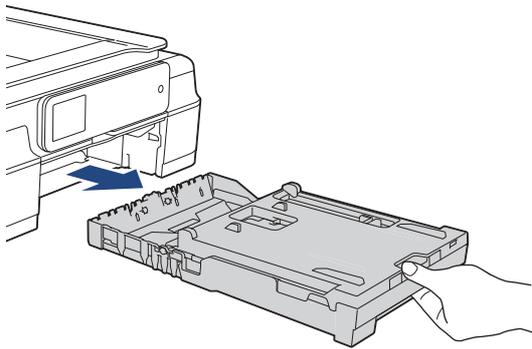
お願い

- 光沢紙の印刷面に直接手を触れないでください。
- インクジェット紙、光沢紙、OHP フィルムには表側と裏側があります。記録紙の取扱説明書をお読みください。
- 種類の異なる記録紙を一緒にセットしないでください。
- 封筒は、坪量 $75\text{g/m}^2 \sim 95\text{g/m}^2$ のものをお使いください。

- 1** 記録紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)

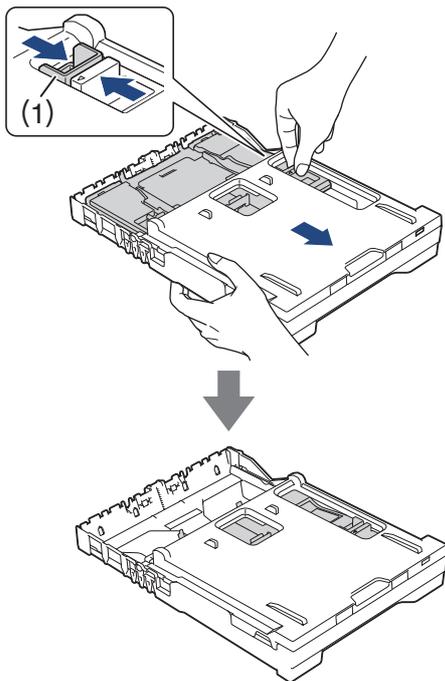


- 2** 記録紙トレイを引き出す



お願い

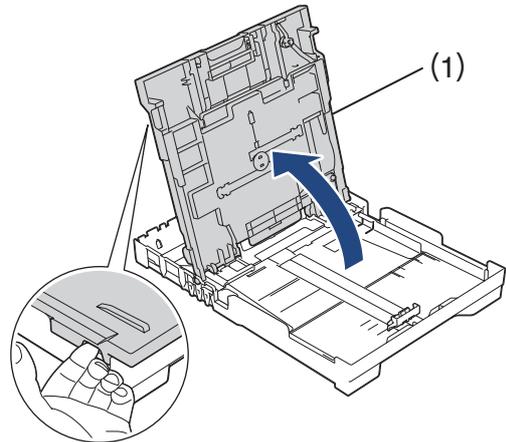
■ 記録紙トレイから給紙させるときは、スライドトレイを手前に引いておく必要があります。リリースボタン (1) をつまんで、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に手前に引いておいてください。



- 3** トレイカバー (1) を開く

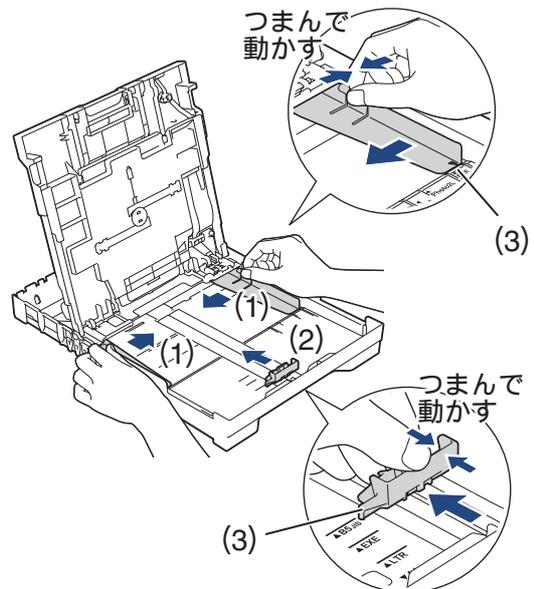
注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。



- 4** 幅のガイド (1) と長さのガイド (2) の△の目印 (3) を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる

幅のガイドは両手で動かしてください。



ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

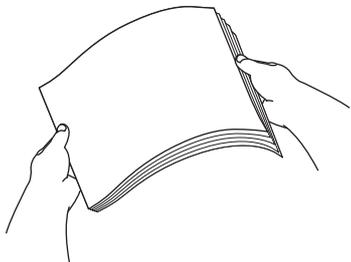
こんなときは

録付

5 記録紙をさばく

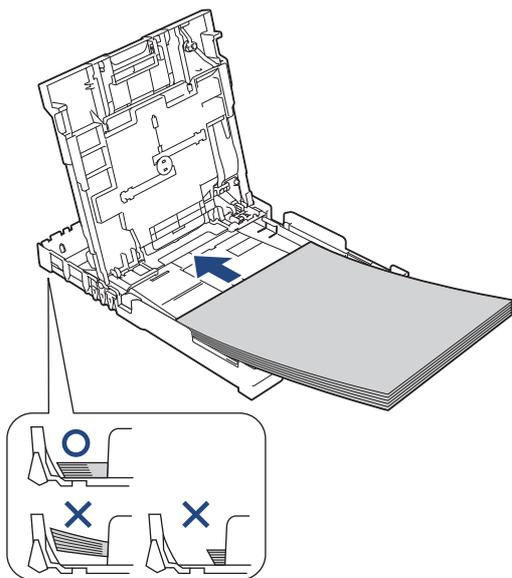
記録紙がカールしていないこと、しわがないことを確認してください。

記録紙がカールしていたり、しわがあると紙づまりの原因になります。



6 印刷したい面を下にして、記録紙の上端から先にセットする

記録紙は、強く押し込まないでください。用紙先端が傷ついたり、装置内に入り込んでしまうことがあります。



お願い

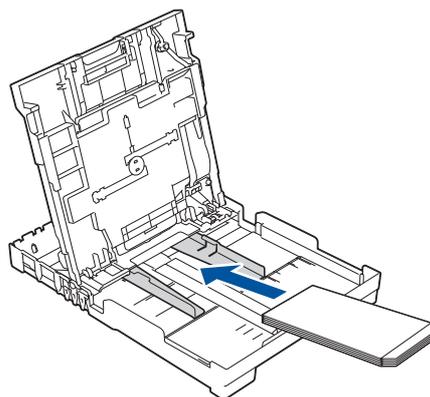
- 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- ブラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
※ブラザー BP71 写真光沢紙には、1枚多く光沢紙が同封されています。
- 縦長封筒は、ふたを開いた状態で、ふたのない方向からセットしてください。ふたのある方向から給紙すると、印刷面が汚れたり封筒が重なって給紙されたりすることがあります。また、上下が反転して印刷されますので、プリンタードライバーで次の設定をしてください。

• Windows® の場合

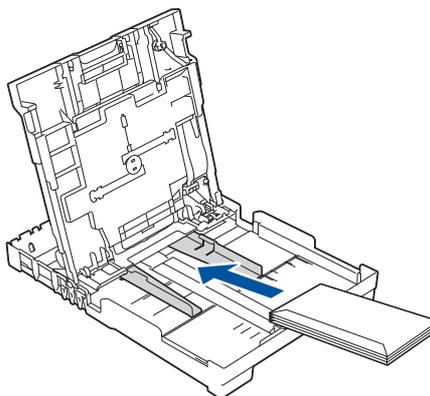
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」－「[拡張機能] タブの設定」で [上下反転]

• Macintosh の場合

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「レイアウト」で [ページの方向を反転]



- 横長封筒は、ふたを折りたたんだ状態でセットしてください。



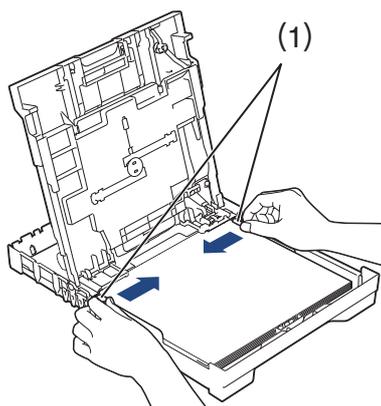
- 封筒の厚みやサイズ、ふたの形状によっては、うまく給紙されない場合があります。重なって吸い込まれるなどうまく給紙されない場合は、封筒を1枚ずつセットしてください。

7 幅のガイド (1) を、記録紙にぴったりと合わせる

注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。

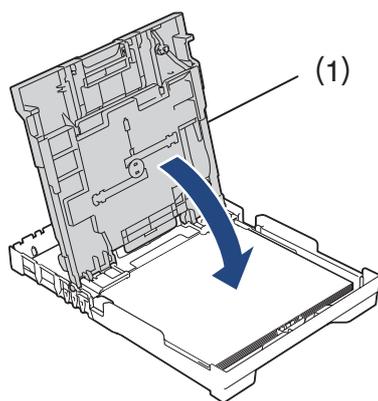
幅のガイドは両手で動かしてください。



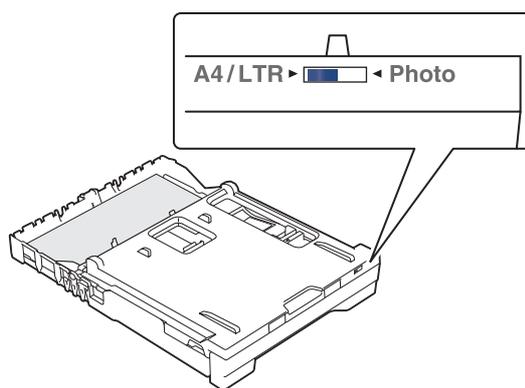
お願い

- 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつけてください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

8 トレイカバー (1) を閉じる

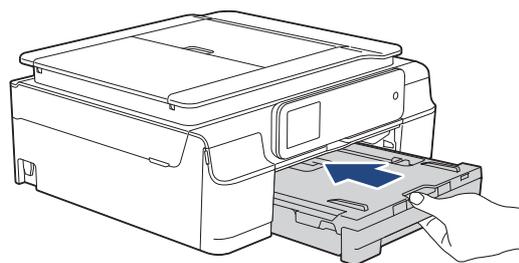


9 給紙トレイマーカーが「A4/LTR」側になっていることを確認する

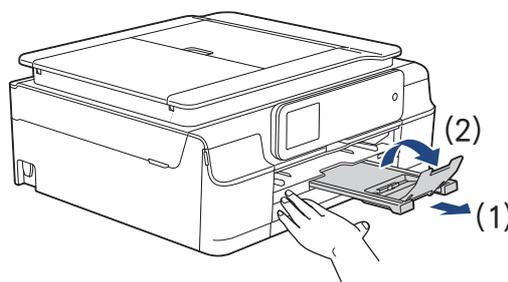


10 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に複合機本体に戻します。
トレイを勢いよく押し込むと、紙づまりの原因になります。



11 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



- ☞ 印刷時にパソコンのアプリケーション上で余白の設定が必要なことがあります。印刷する前に、同じ大きさの用紙などを使用して、試し印刷を行ってください。
- ☞ 封筒にうまく印刷できない場合は、使用しているパソコンのアプリケーションで、用紙サイズ、余白を調整してみてください。

スライドトレイにセットする

スライドトレイには、下記の記録紙をセットすることができます。

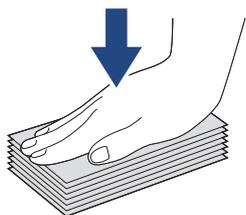
- L判記録紙
- はがき
- ポストカード

お願い

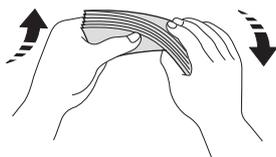
■ MFC-J897DN/J897DWN のみ

- インクジェット紙はがきと写真用光沢はがきは自動両面印刷できません。宛先面、通信面ともに印刷する場合は、片面ずつ印刷してください。この場合、宛先面から先に印刷し、よく乾かしたのち、通信面を印刷することをお勧めします。
- 普通紙はがきは自動両面印刷できます。この場合、通信面から先に印刷すると、印刷速度や印刷品質が落ちる場合があります。宛先面から先に印刷することをお勧めします。

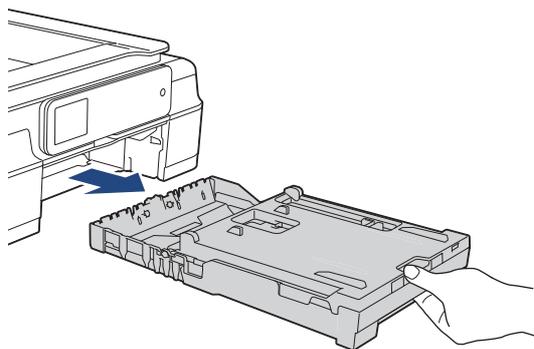
1 記録紙の端をそろえて、まっすぐにする



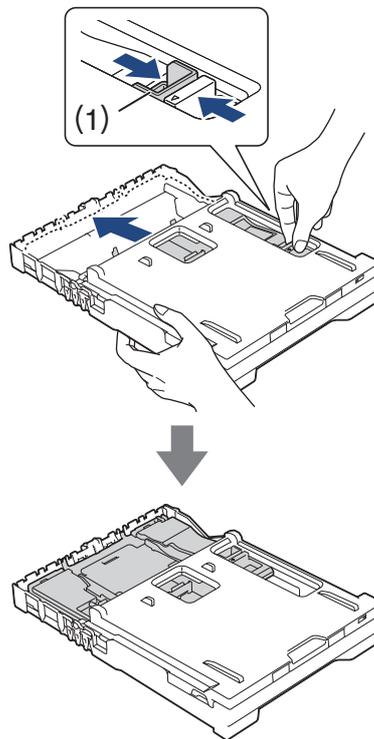
☞ 記録紙が反っているときは、対角線上の端を持ってゆっくり曲げ、反りを直します。



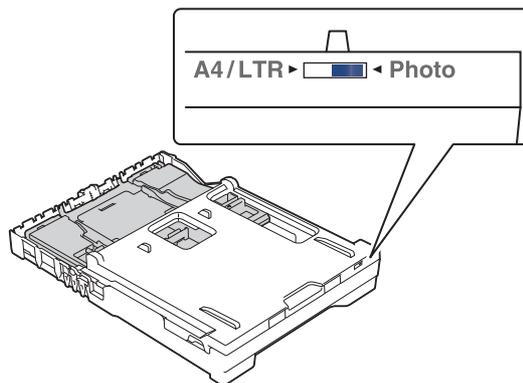
2 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す



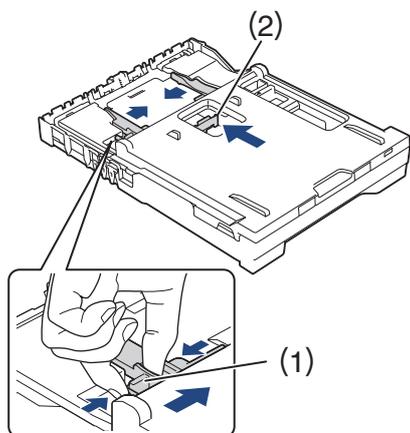
3 リリースボタン (1) をつまみ、スライドトレイをカチッと音がするまで完全に奥にずらす



4 給紙トレイマーカーが「Photo」側になっていることを確認する



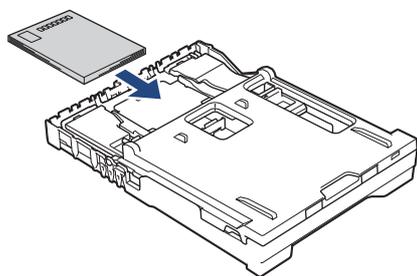
5 幅のガイド (1) と長さのガイド (2) を、記録紙のサイズの目盛りに合わせる



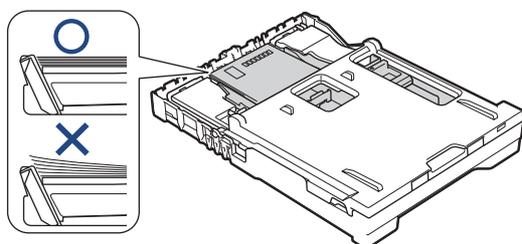
6 印刷したい面を下にして、記録紙の下端から先に、図のようにセットする

はがきを印刷する場合は、上側（郵便番号欄）が記録紙トレイの奥になるようにセットしてください。

 印刷時は、一番上にある記録紙から順に給紙されます。



記録紙がスライドトレイの中で平らになっていることを確認してください。また、幅と長さのガイドが記録紙に合っていることを確認してください。



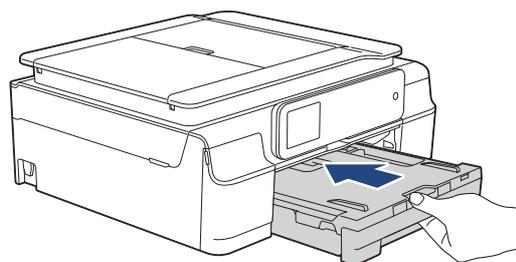
お願い

- 印刷する枚数が少ない場合など、光沢紙がうまく引き込まれないときは、光沢紙に付属している同サイズの補助紙または余分に光沢紙をセットしてください。
- プラザー写真光沢紙をセットするときは、プリントしたい枚数より1枚多くトレイにセットしてください。このとき用紙の表と裏をそろえてください。
※プラザー BP71 写真光沢紙には、1枚多く光沢紙が同封されています。
- 幅と長さのガイドで記録紙を強くはさみつかないでください。記録紙が浮いたり、傾いたりしてうまく給紙されない場合があります。

7 記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。

トレイを強く押し込むと、紙づまりの原因になります。力を入れて押し込まないでください。



- 年賀状や暑中見舞いなど、はがきの印刷の設定方法については下記をご覧ください。
⇒ 15 ページ「はがき（年賀状）に印刷する」

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

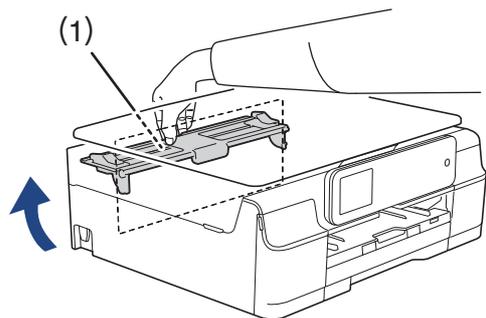
録付

手差しトレイにセットする (MFC-J827DN/J827DWN のみ)

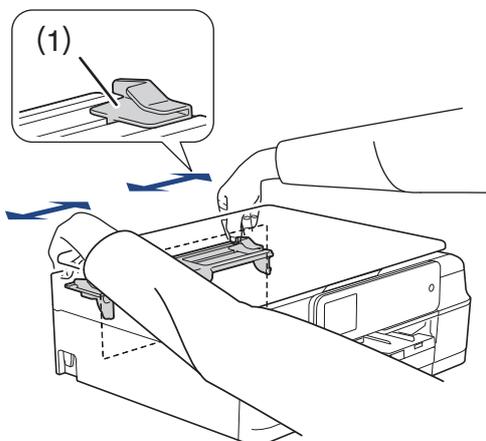
記録紙トレイやスライドトレイの記録紙を入れ替えることなく、すぐに1枚だけ印刷したいときにセットします。本製品で対応可能なすべての記録紙がセットできます。

一度にセットできるのは1枚です。

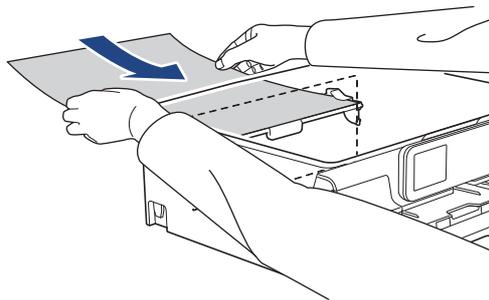
1 背面の手差しトレイ (1) を起こす



2 ガイド (1) をつまんで動かし、記録紙のサイズの目盛りに合わせる



3 印刷する面を上にして、記録紙を1枚だけセットする

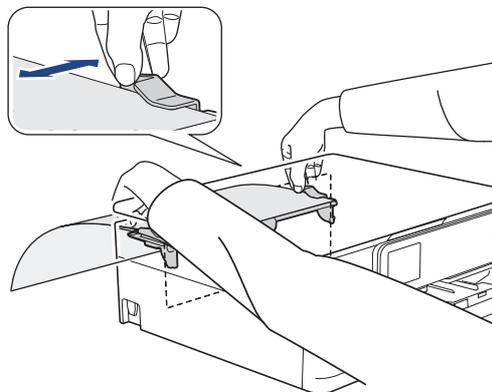


お願い

- 記録紙を2枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- 記録紙トレイから給紙させた記録紙での印刷中に、手差しトレイに記録紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。

4 ガイドを記録紙のサイズに合わせる

記録紙がトレイの中央にセットされるように、両手でガイドを調節します。

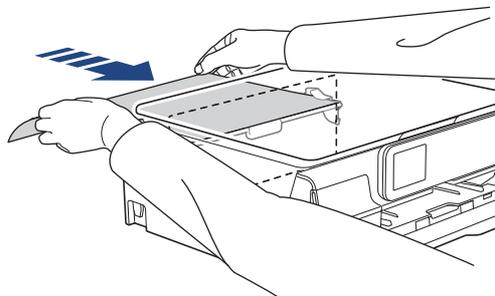


お願い

- ガイドで記録紙を強くはさまないでください。記録紙が折れて、うまく給紙されない場合があります。
- 中央にセットされなかった場合は、記録紙を取り出してセットし直してください。

5 両手で記録紙を挿入し、記録紙の上端が奥に当たるまで差し込む

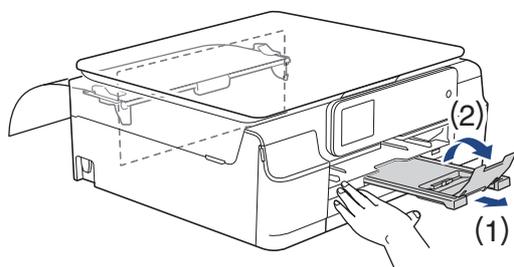
記録紙が奥に当たって、記録紙が本製品に少し引き込まれたら手を離してください。一度にセットできるのは1枚です。



お願い

- 封筒や厚紙は、本製品に引き込まれにくいことがあります。引き込まれるまで奥に差し込んでください。

6 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



記録紙の準備ができました。印刷（またはコピー）をスタートします。

- ☞ 印刷が終了してから手差しトレイを閉じてください。
- ☞ 記録紙が手差しトレイにセットされていると、常に手差しトレイから給紙されます。
- ☞ レポート印刷 (⇒ 270 ページ)、テストプリント (⇒ 223 ページ)、受信ファクスは、手差しトレイからは印刷できません。手差しトレイの記録紙は自動的に排紙され、記録紙トレイから印刷されます。
- ☞ ヘッドクリーニングが始まると、手差しトレイの記録紙は自動的に排紙されます。ヘッドクリーニングが終了してからもう一度記録紙をセットしてください。
- ☞ 記録紙を手差しトレイにセットしたあと、印刷せずに給紙をやめたいときは、記録紙を両手で持ちゆっくりと引き抜いてください。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

記録紙の種類を設定する

【記録紙タイプ】

セットした記録紙の種類を本製品で設定します。
お買い上げ時は、【普通紙】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【記録紙設定】、【記録紙タイプ】を順に押す

3 記録紙の種類を選ぶ

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム】から選びます。

-  ブラザー BP71 写真光沢紙以外の光沢紙をお使いの場合は【その他光沢】を選んでください。
-  カラーやグラフなどを多く含むビジネス文書を印刷するときは、【インクジェット紙】を選ぶと、よりきれいに印刷できます。

設定が有効になります。

4 を押して設定を終了する

-  コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙の種類を変更することもできます。
⇒ 159 ページ「L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）」
⇒ 178 ページ「L 判記録紙やはがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）」
-  パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙の種類を設定します。
 - Windows® の場合
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編 「Windows® 編」 - 「印刷の設定を変更する」
 - Macintosh の場合
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編 「Macintosh 編」 - 「印刷の設定を変更する」

記録紙のサイズを設定する

【記録紙サイズ】

セットした記録紙のサイズを本製品で設定します。
お買い上げ時は【A4】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【記録紙設定】、【記録紙サイズ】を順に押す

3 記録紙のサイズを選ぶ

【A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判】から選びます。

設定が有効になります。

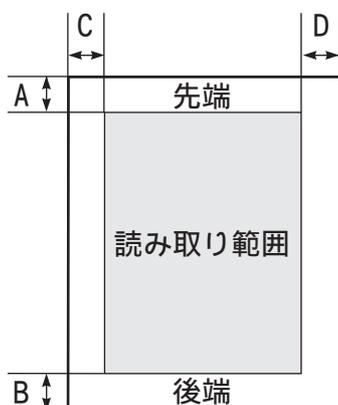
4 を押して設定を終了する

-  コピーやデジカメプリントを行うときに、一時的に記録紙のサイズを変更することもできます。
⇒ 159 ページ「L 判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）」
⇒ 178 ページ「L 判記録紙やはがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）」
-  パソコンから印刷するときは、パソコンで記録紙のサイズを設定します。
 - Windows® の場合
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編 「Windows® 編」 - 「印刷の設定を変更する」
 - Macintosh の場合
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編 「Macintosh 編」 - 「印刷する」

原稿のセット

原稿の読み取り範囲

原稿をセットしたときの最大読み取り範囲は下記のとおりです。



(単位：mm)

使用する機能 (モード)	A	B	C	D
ファクス	3	3	3	3
ADF (自動原稿送り装置) *1 使用時	3	3	1	1
コピー (ADF 使用を含む)	3	3	3	3
スキャン (ADF 使用を含む)	1	1	1	1

*1 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載

原稿をセットする

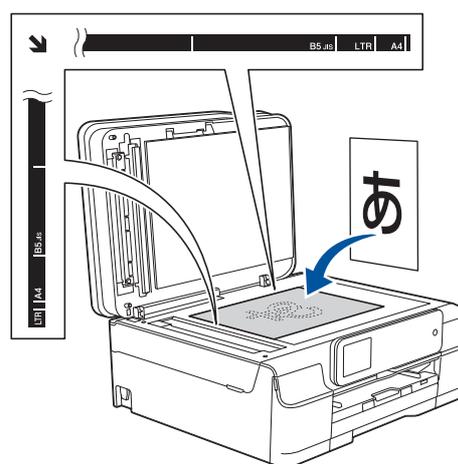
原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿台ガラスの原稿ガイドに合わせて、原稿をセットします。原稿台には、最大重量 2kg までの原稿をセットできます。

お願い

- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。

- 1 原稿台カバーを持ち上げる
- 2 原稿ガイドの左奥に合わせて、原稿のおもて面を下にしてセットする



- 3 原稿台カバーを閉じる

- 🔪 本など厚みのある原稿は、原稿台カバーの上から軽く押さえると、隙間から光が入らずきれいに読み取ることができます。

お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開いたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。
- 原稿台カバーを閉じるときは、静かに閉じてください。また、強く押さえないでください。

ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする (MFC-J897DN/J897DWN のみ)

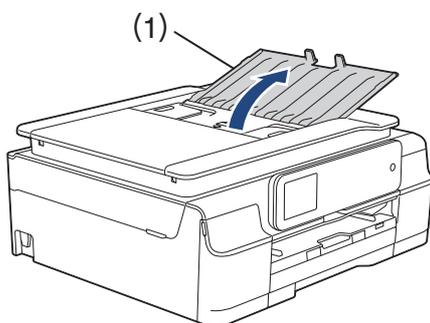
MFC-J897DN/J897DWN には、ADF (自動原稿送り装置) が搭載されています。複数枚の原稿を読み取るときに便利です。

ADF (自動原稿送り装置) を使用する前に、セットできる原稿のサイズや注意点をよくお読みください。

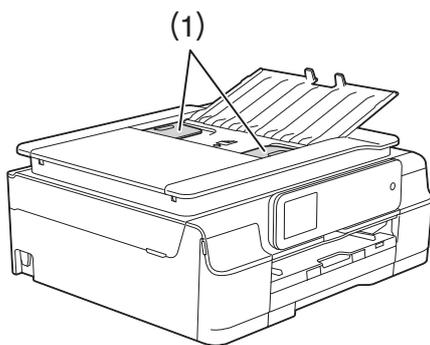
⇒ 65 ページ「ADF (自動原稿送り装置) にセットできる原稿」

⇒ 65 ページ「ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする場合の注意事項」

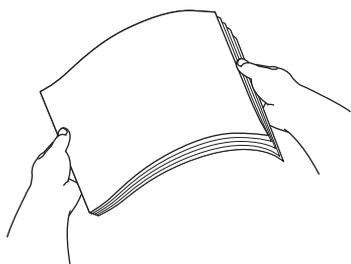
1 ADF 原稿トレイ (1) を開く



2 ADF ガイド (1) を原稿の幅に合わせる

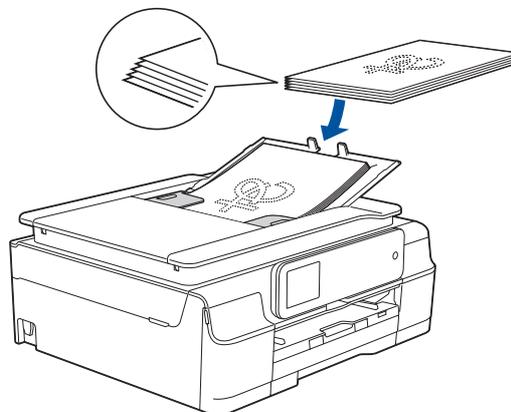


3 原稿をさばく



4 原稿をそろえ、読み取りたい面を下にして、画面に【原稿セット OK】と表示されるところまで差し込む

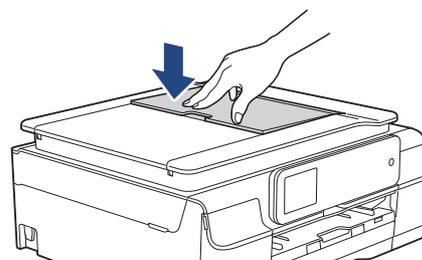
一度に 20 枚までセットできます。原稿は、一番下から順番に読み取られます。



☞ 複数枚のコピーをする場合、最後にコピーされた記録紙が一番上に上向きで排出されます。

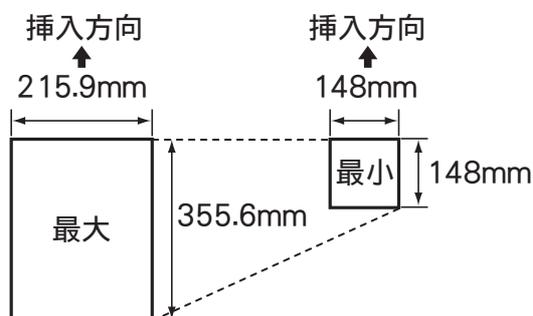
お願い

- ADF ガイドで左右から原稿を強くはさみつけてください。原稿が浮いたり、位置がずれたりして、うまく読み取りができなくなることがあります。
- ADF (自動原稿送り装置) を使用しないときは、ほこりなどが入らないように ADF 原稿トレイを閉じておいてください。



ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿

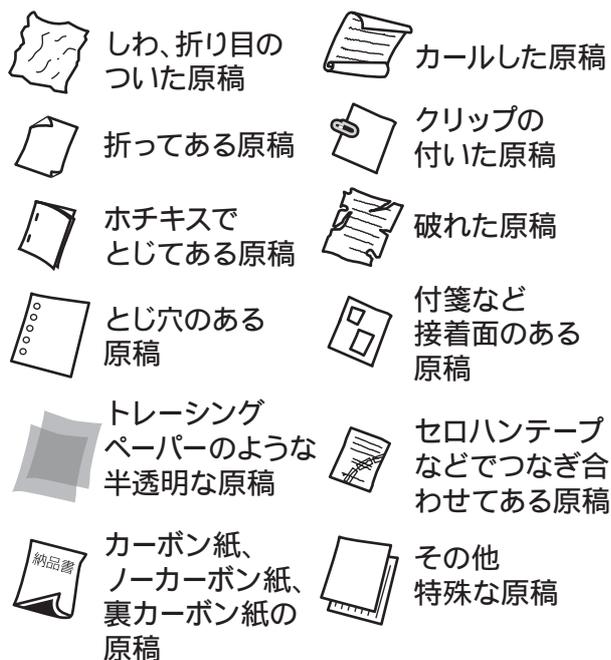
ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿サイズは下記のとおりです。これ以外のサイズの原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。



厚さ：0.08mm～0.12mm
坪量：64g/m²～90g/m²

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする場合の注意事項

- インクやのり、修正液などが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿にクリップやホチキスの針が付いていると、故障の原因になります。取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてADFにセットしないでください。
- ADFに原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 以下のような原稿は、ADFにセットしないでください。原稿台ガラスにセットしてください。



ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

記録ディスクをセットする (MFC-J897DN/J897DWN のみ)

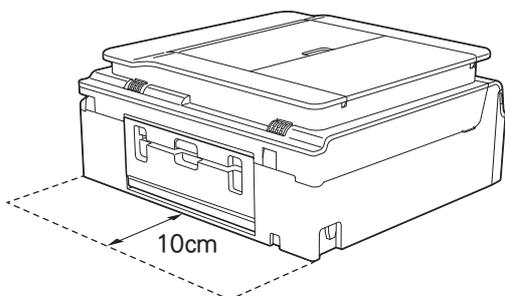
ここでは記録ディスクのセット方法について説明します。印刷方法については、「ユーザーズガイド パソコン活用編」をご覧ください。

- ① レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した 12cm サイズの CD/DVD/BD です。

記録ディスクをセットする

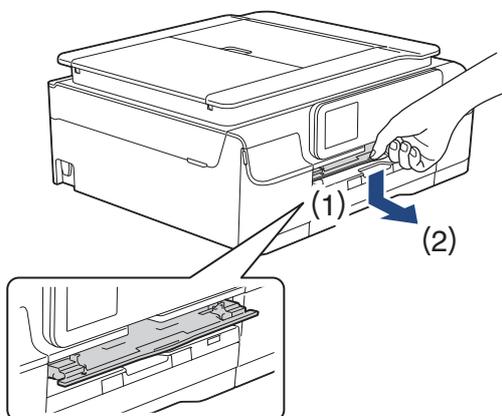
1 複合機本体の背面に 10cm 以上のスペースがあることを確認する

印刷時、ディスクトレイが複合機本体の背面にいったん突き出るため、背面にスペースが必要です。

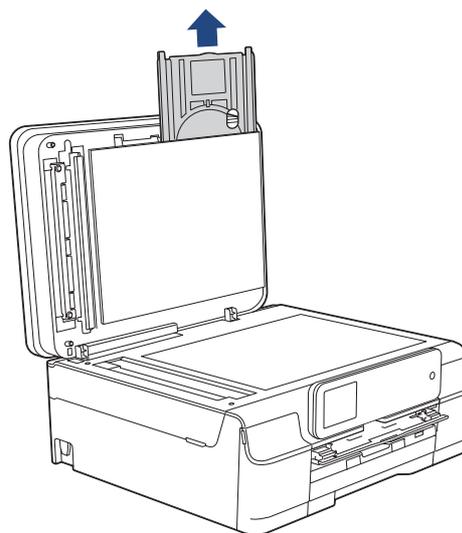


2 ディスクガイドを押し下げ (1)、手前に引きながらゆっくりと手を離す (2)

手の力をゆるめると、強いスプリング機構によりディスクガイドがせり出し、自動的に固定されます。



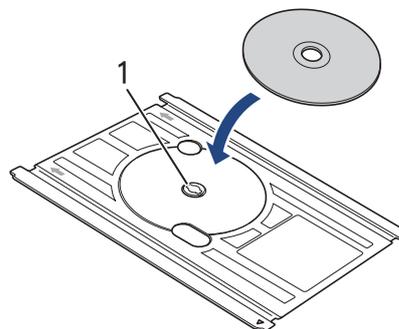
3 原稿台カバーを持ち上げてディスクトレイを引き抜き、原稿台カバーを閉じる



4 記録ディスクの穴を、ディスクトレイの爪 (1) にしっかりはめる

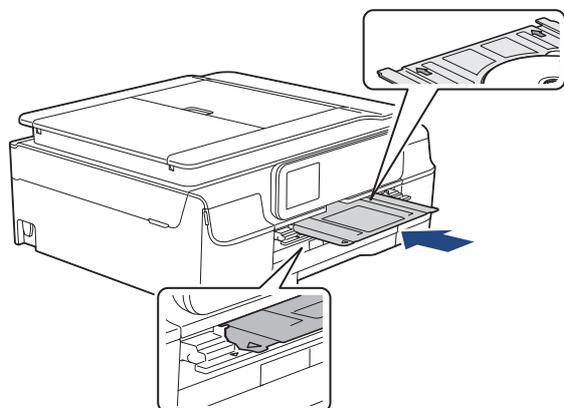
印刷面を上にしてセットします。

- ① 記録ディスクをセットする前に、トレイ上に、記録面を傷付けたり汚したりするようなゴミがないことを確認してください。



5 ディスクトレイをディスクガイドに挿入し、トレイとガイドの三角マークを合わせる

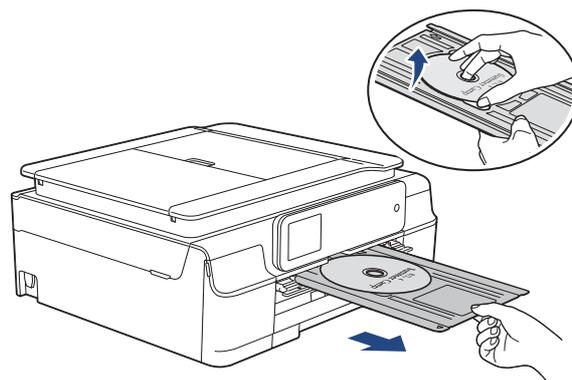
ディスクトレイ上に刻印されている矢印の方向に挿入します。



記録ディスクを取り出す

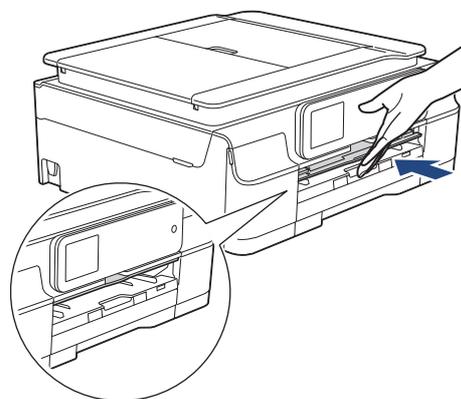
印刷が終わると、画面に【印刷が完了しました ディスクトレイを取り出してディスクガイドを閉じてください】と表示されます。

1 画面の【OK】を押して、ディスクトレイを引き抜き、記録ディスクをはずす



2 ディスクガイドを水平に複合機本体に押し込む

強く押し込むようにするとスプリング機構により、ディスクトレイが元の位置に戻り、固定されます。



3 原稿台カバーを持ち上げ、ディスクトレイを収納する

お願い

- 印刷位置がずれてディスクトレイ上に印刷された場合や、記録ディスク中央の透明部分に印刷された場合はすぐに拭き取ってください。
- ディスクトレイは、印刷が終了したら必ず原稿台カバーに収納してください。ディスクトレイが反ったり変形したりすると動作不良の原因になる恐れがあります。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

音量を設定する

お好みで設定してください

複合機本体のボタン確認音量を設定する

操作パネル上のボタンを押したときに鳴る、音の大きさを調整できます。

1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【ボタン確認音量】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 好みの音量を選ぶ

【切/小/中/大】から選びます。

4 を押して設定を終了する

 ボタン確認音量を【切】に設定していても、エラーのときはブザー音が鳴ります。

子機の音量を設定する

着信音量を設定する

着信を知らせる呼出音の音量が調整できます。お買い上げ時は、【■■■□】(3段階目)に設定されています。

1 を繰り返し押して音量を選ぶ

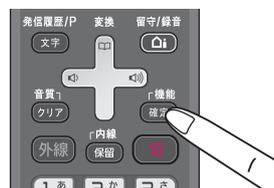
音量はオフ【□□□□】を含めて5段階から選べ、オフにすると画面にが表示されます。

 2秒間操作しないと元の画面に戻ります。

ボタン確認音を設定する

ボタンを押したときに鳴る音の【ON / OFF】を設定します。お買い上げ時は、【ON】に設定されています。

1 子機の を押す



2 で【鳴動音設定】を選び、を押す

3 で【3. ボタン確認音】を選び、を押す

4 で【ON】または【OFF】を選び、を押す

5 を押して設定を終了する

スピーカー音量を設定する

スピーカーホンで通話するときの音量を調整します。

 を押して、「ツー」という音が聞こえているとき、またはスピーカーホンで通話中に設定できます。お買い上げ時は、【■■□□】(2段階目)に設定されています。

- 1  を押す
スピーカーホン
- 2  を繰り返し押して音量を選ぶ
スピーカー音量は4段階から選べます。
- 3 通話中の変更であれば、そのまま通話を続け、通話中でなければ、 を押して設定を終了する

-  2秒間操作しないと元の画面に戻ります。
-  通話中に「キーン」という音(ハウリング)がしたときは、スピーカー音量を下げて使用してください。

受話音量を設定する

受話口から聞こえる相手の声の大きさが調整できます。お買い上げ時は、【■■□□】(2段階目)に設定されています。

- 1 通話中に  を押して音量を選ぶ
受話音量は4段階から選べます。

-  2秒間操作しないと元の画面に戻ります。
-  通話中に「キーン」という音(ハウリング)がしたときは、受話音量を下げて使用してください。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

保留 / 着信メロディを設定する

保留メロディは複合機本体で、着信メロディは子機で設定します。

 通話中に保留 / 着信メロディを設定することはできません。

保留メロディを選ぶ

【保留メロディ】

保留メロディは下表にある 30 曲の中から選べます。お買い上げ時は、「花のワルツ」に設定されています。

曲名		曲名	
1	アイネクライネ	16	小フーガト短調
2	愛の喜び	17	ダットン人の踊り
3	アヴェ・マリア	18	ちょうちょう
4	仰げば尊し	19	トルコ行進曲
5	威風堂々	20	ドナドナ
6	うれしいひなまつり	21	ノクターン第 2 番
7	大きな古時計	22	小さな白鳥の踊り
8	歓喜の歌 (交響曲第 9 番)	23	花
9	ガボット	24	花のワルツ
10	きらきら星	25	春の声
11	グリーンスリーブス	26	ハッピーバースデー
12	ケンタッキーの我が家	27	故郷 (ふるさと)
13	木枯らしのエチュード	28	蛍の光
14	四季より「春」	29	メヌエット
15	主よ人の望みよ喜びよ	30	諸人こぞりて

1 【メニュー】 を押す



2 【接続確認】 を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】 を押す

4 【全てのメニュー】、【ファクス/電話】、【保留メロディ】 の順に押す

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

5 ▼ / ▲ で画面を送り、好みのメロディを選んで、【OK】 を押す

現在選択されているメロディが流れます。

6 を押して設定を終了する

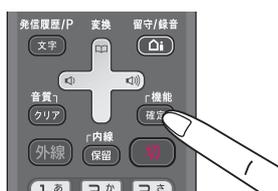
着信メロディを選ぶ

着信メロディは、ベル音 1 種類と下表にある 6 曲の中から選べます。お買い上げ時は、ベル音に設定されています。

子機の個体それぞれで好みの着信メロディに設定できます。

曲名	
1	アヴェ・マリア
2	大きな古時計
3	ガボット
4	きらきら星
5	四季より「春」
6	花のワルツ

1 子機の「機能 確定」を押す



2 + で【鳴動音設定】を選び、「機能 確定」を押す

3 + で【1. 着信音】を選び、「機能 確定」を押す

現在選択されているメロディが流れます。

4 + で好みのメロディを選び、「機能 確定」を押す

5 切 を押して設定を終了する

電話帳登録先の着信音を変える

ナンバー・ディスプレイ機能を契約しているときは、電話帳に登録した相手の電話番号のみ着信音を変えることができます。
⇒ 90 ページ「着信鳴り分けを設定する」

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

画面の設定を変更する

本製品の画面の設定を変更します。

複合機本体の画面設定を変更する

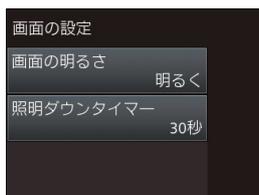
1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【画面の設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 変更したい項目を選ぶ



- 【画面の明るさ】：
画面の明るさを調整します。
- 【照明ダウンタイマー】：
画面のバックライトを暗くするまでの時間を設定します。(暗くなっても画面の表示は確認できます。)

4 設定値を選ぶ

- 画面の明るさ：
【明るく／標準／暗く】
- 照明ダウンタイマー：
【切／10秒／20秒／30秒】

5 を押して設定を終了する

画面の表示言語を「英語」に変更する

画面の表示言語を英語に切り替えることができます。

- (1)  【メニュー】、【全てのメニュー】、【初期設定】、【表示言語設定】、【英語】を順に押す
◆キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。
- (2)  を押して設定を終了する

アルファベットキーボードの文字配列を変更する

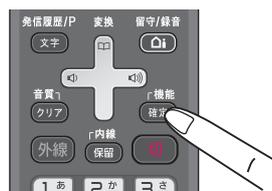
アルファベットキーボードの文字配列を2種類の中から選べます。お買い上げ時は、市販されている一般的なパソコンのキーボードで使われている、QWERTY配列に設定されています。

- (1)  【メニュー】、【全てのメニュー】、【基本設定】、【キーボード設定 (英字入力)】を順に押す
◆キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。
- (2) 【QWERTY入力】または【かなめくり入力】を押す
- (3)  を押して設定を終了する

子機の画面のコントラストを変更する

お買い上げ時は、7段階の中間に設定されています。

1 子機の を押す



2 で【画面コントラスト】を選び、 を押す

3 画面を見ながら、 で好みのコントラストを選び、 を押す

4 を押して設定を終了する

スリープモードに入る時間を設定する

本製品は、設定した時間内にファクスの送受信やパソコンからの印刷、コピーなどが行われなかったとき、自動的に待機状態（スリープモード）に切り替わります。待機中でもファクスやパソコンからの印刷には影響はなく、受け付けるとただちに再起動します。この待機状態（スリープモード）に切り替わるまでの時間を設定します。お買い上げ時は【5分】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【基本設定】、【スリープモード】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 希望の時間を選ぶ

【1分 / 2分 / 3分 / 5分 / 10分 / 30分 / 60分】から選びます。

4 を押して設定を終了する

 使用するときには、操作パネル上のボタンのいずれかを押すかタッチパネルに軽く触れれば、すぐに再起動します。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

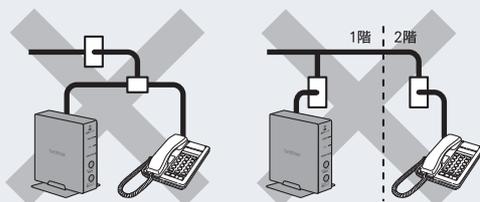
こんなときは

付録

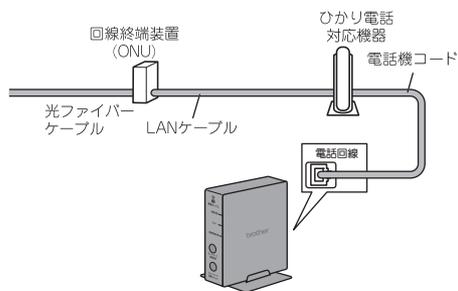
いろいろな接続

重要

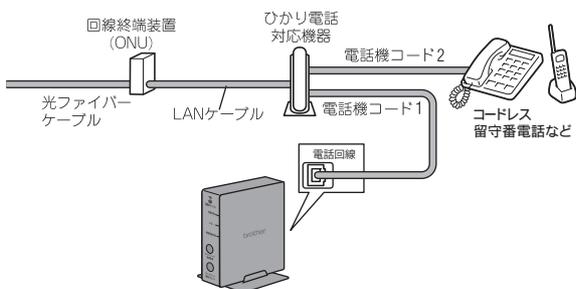
- ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
ブランチ接続（並列接続／一つの電話回線を分岐して複数台の電話機を接続すること）をすると、以下のような支障があり、正常に動作できなくなります。
 - ・ ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の手話器を上げるとファクスの画像が乱れたり通信エラーが起こる場合があります。
 - ・ 電話がかかってきたとき、ベルが鳴り遅れたり、途中で鳴りやんだり、相手がファクスのときに受信できない場合があります。
 - ・ コードレスタイプの電話機を接続すると、子機が使えなくなる可能性があります。
 - ・ 本製品で保留にした場合、並列電話機では本製品の保留状態を解除できません。
 - ・ 並列に接続された電話機から本製品への転送はできません。
 - ・ ナンバー・ディスプレイ、キャッチホン、キャッチホン・ディスプレイなどのサービスが正常に動作しません。
 - ・ パソコンを接続すると、本製品が正常に動作しない場合があります。



ひかり電話をご利用の場合



● ひかり電話で複数番号を使う場合



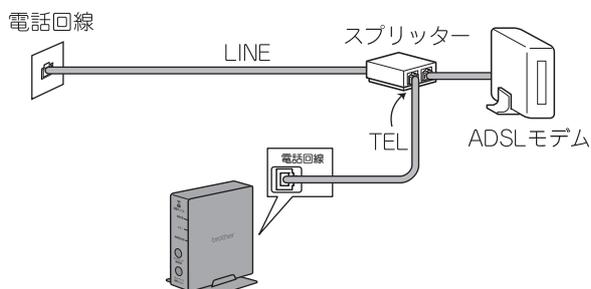
お願い

- ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できないことがあります。その場合は、手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。
⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」
- 特定の番号だけつながらない、音量が小さい、ファクスを送受信できない、非通知相手からの着信ができないなどの問題がありましたら、ご利用の光回線の電話会社にお問い合わせください。

- ☞ ひかり電話についてのご質問はご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ☞ ひかり電話対応機器などに設定するデータは、ご利用の電話会社から送付される資料をご覧ください。
- ☞ 回線終端装置 (ONU)、ひかり電話対応機器などの接続方法や不具合は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
- ☞ お住まいの環境やご利用の電話会社により、配線方法や接続する機器がイラストと異なる場合があります。

ADSL をご利用の場合

本製品を ADSL 環境で使用する場合は、通信ボックスを ADSL スプリッターの TEL 端子または PHONE 端子に接続してください。
 スプリッターに接続した状態で、ファクスが送受信できることを確認してください。



- ❏ お使いの機器によっては、ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されている場合があります。
- ❏ 詳しい設定については、スプリッターや ADSL モデムの取扱説明書をご覧ください。
- ❏ ADSL 環境で自分の声が響く、または相手の声が聞きづらいときは、ADSL のスプリッターを交換すると改善する場合があります。

お願い

- ADSL モデムにスプリッター機能が内蔵されていない場合、通信ボックスと ADSL モデムは必ず「スプリッター」で分岐してください。「スプリッター」より前（電話回線側）で分岐すると、ブランチ接続（並列接続）となり、通話中に雑音が入ったり、音量が小さくなるなどの支障が発生します。

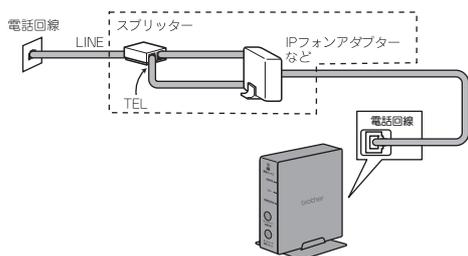
IP フォンなどの IP 網をご利用の場合

(1) IP フォンをご利用の場合

回線種別を自動設定できないことがあります。
 その場合は、手動で回線種別を設定してください。
 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」

(2) IP 網を利用してファクス通信を行う場合

契約しているプロバイダーの通信品質が保証されていることを確認してください。



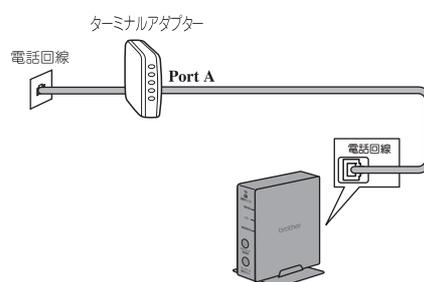
ISDN をご利用の場合

通信ボックスを ISDN 回線のターミナルアダプターに接続するときは、以下の設定と確認を行ってください。

- 本製品：
回線種別を【プッシュ回線】に設定する
- ターミナルアダプター：
本製品を接続して電話がかけられるか、電話が受けられるかを確認する

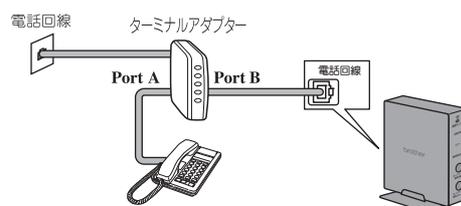
電話番号が1つの場合

通信ボックスを、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。電話とファクスの同時使用はできません。



電話番号が2つの場合

通信ボックスを、ターミナルアダプターのアナログポートに接続します。2回線分使用できるので、ファクス送信中でも通話できます。



- ❏ 詳しい設定については、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

お願い

- ISDN回線でファクスの送受信がうまくいかない場合は、【特別回線対応】で【光・ISDN】を設定してください。
⇒ 259 ページ「特別な回線に合わせて設定する」
- 本製品が使用できないときは、⇒ 236 ページ「故障かな？と思ったときは（修理を依頼される前に）」をご覧ください。また、ターミナルアダプターの設定を確認してください。ターミナルアダプターの設定の詳細は、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。製造メーカーにお問い合わせください。
- ナンバー・ディスプレイサービスを契約されている場合は、ターミナルアダプター側のデータ設定と、本製品側の設定が必要です。
⇒ 88 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

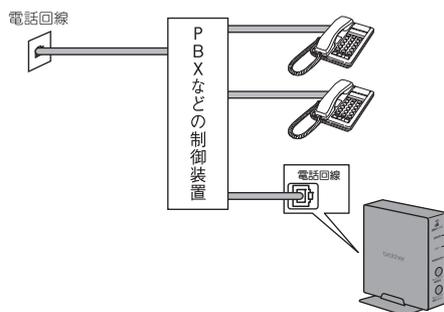
構内交換機 (PBX)・ホームテレホン・ビジネスホンをご利用の場合

構内交換機またはビジネスホンの内線に通信ボックスを接続する場合、構内交換機またはビジネスホン主装置の設定をアナログ2芯用に変更してください。設定変更を行わないと、本製品をお使いいただくことはできません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご相談ください。

お願い

- 構内交換機、ホームテレホン、ビジネスホンに接続している場合、回線種別の自動設定ができないことがあります。その場合は、手動で回線種別を設定してください。
⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」
- 着信音が鳴っても本製品が自動応答しない場合、本製品の【特別回線対応】の設定を【PBX】にしてください。
⇒ 259 ページ「特別な回線に合わせて設定する」

- 📌 ホームテレホンとは
電話回線 1、2 本で複数の電話機を接続して、内線通話やドアホンも使用できる家庭用の簡易交換機です。
- 📌 ビジネスホンとは
電話回線を 3 本以上収容可能で、その回線を多くの電話機で共有でき、内線通話などもできる簡易交換機です。
- 📌 PBX などの制御装置がナンバー・ディスプレイに対応していない場合は「ナンバー・ディスプレイサービス」がご利用になれません。【特別回線対応】の設定を【PBX】に設定すると、本製品の【ナンバーディスプレイ】の設定は自動的に【なし】になります。
⇒ 88 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」



第2章

電話

電話の基本機能

電話をかける / 受ける	78
電話をかける	78
電話を受ける	78
電話帳からかける	79
通話を保留にする	79
通話を録音する	80
録音した通話を再生 / 消去する	80
いろいろな電話のかけかた	81
通話中の各種操作	82
電話を取り次ぐ	83
電話を取り次ぐ	83
用件を伝えずに電話を取り次ぐ	83
内線通話をする	84
子機から子機へかける	84
3人で同時に話す（トリプル通話）	84
かかってきた電話を拒否する	85
通話中に電話を拒否する	85
通話前に電話を拒否する	85
キャッチホンで電話を受ける	86
キャッチホンで電話を受けた場合	86
キャッチホンでファクスを受けた場合	86

オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する	88
ナンバー・ディスプレイサービスとは	88
ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能	88
電話番号表示機能	89
電話がかかってきたときは	89
着信履歴を利用する	89
着信履歴の見かた	89
着信鳴り分けを設定する	90
迷惑電話指定する	90
キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する	91
キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する	92

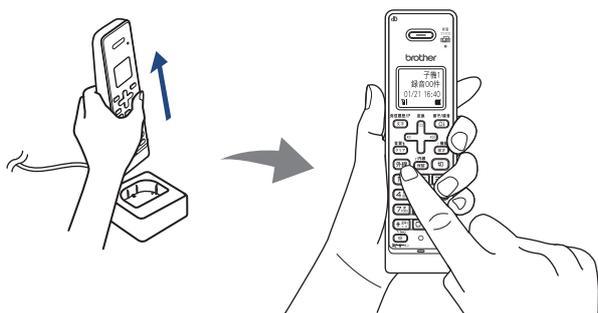
電話をかける / 受ける

電話の基本機能

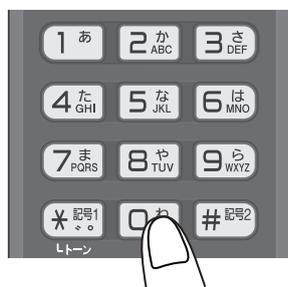
電話をかけたり受けたりするときの基本操作です。

電話をかける

- 1 子機を充電器から取り、**外線** を押す
子機を充電器に置いていないときは、**外線** を押します。



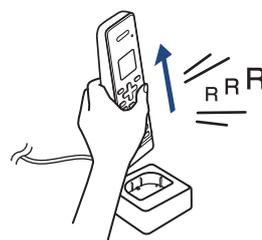
- 2 **0**わ ~ **9**ら WXYZ を押して相手に電話をかける



通話が終わったら、子機を充電器に戻します (または **切** を押します)。

電話を受ける

- 1 電話がかかってきたら、子機を充電器から取る
子機を充電器に置いていないときは、**外線** を押します。



または



通話が終わったら、子機を充電器に戻します (または **切** を押します)。

電話帳からかける

電話帳に登録した電話番号から相手を検索して電話をかけます。

- 1 子機を充電器から取る
- 2  を押す
- 3  で電話をかける相手を選ぶ
- 4  を押す

選んだ相手先に電話がかかります。

通話を保留にする

- 1 通話中に  を押す

保留メロディが流れ、相手にはこちらの声が聞こえなくなります。

- 2 通話に戻る時は、 を押す

ご利用の前に

電話

フックス

電話帳

留守機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

通話を録音する

本製品には、通話中の会話を録音する機能があります。

- 1 回の操作で録音できるのは 180 秒です。180 秒を過ぎると、録音は自動で終了します。録音を続けたいときは操作を繰り返します。
- 電話を切ると録音も自動的に終了します。
- 録音できる通話数は最大 99 件、総録音時間は合計で 29 分です。記録した通話はこまめに整理することをお勧めします。
- 内線通話、三者間通話は録音できません。また、保留中も録音できません。
- 再生は、別の子機（2 台以上ある場合）からできます。
- 録音中は保留にできません。

1 通話中に、子機の を押す

録音が始まります。

2 録音をやめるときは、、、 のいずれかを押す

録音した通話を再生 / 消去する

1 子機の を押す

2 で【再生 / 消去】を選び、 を押す

3 で【会話】を選び、 を押す

4 で【1 件ずつ】または【全件】を選び、 を押す

【1 件ずつ】を選ぶと記録されているメッセージの 1 件目の詳細が表示されます。

 で操作の対象を選んで  を押してください。

5 で【再生】または【消去】を選び、 を押す

- 【再生】を選んだ場合：再生が始まります。 を押すと再生を中止できます。
- 【消去】を選んだ場合：【消去？ 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。 を押して消去します。

6 を押して操作を終了する

いろいろな電話のかけかた

再ダイヤルや発信履歴・着信履歴を使って電話がかけられます。

最後にかけた相手にかける（再ダイヤル）

- (1) 子機を充電器から取り、**外線** を押す
- (2) **発信履歴/P**
文字 を押す

最近かけた相手にかける（発信履歴）

- (1) 充電器から子機を取る
- (2) **発信履歴/P**
文字 を押す
- (3) **+** で相手先を選ぶ
- (4) **外線** を押す

最近かかってきた相手にかける（着信履歴）

※着信履歴は、ナンバー・ディスプレイ機能をご契約の場合のみ使用できます。

- (1) 充電器から子機を取る
- (2) **キャッチ**
着信履歴 を押す
- (3) **+** で相手先を選ぶ
- (4) **外線** を押す

充電器に置いたままかける（スピーカーホン）

- (1) **スピーカーホン** を押す
- (2) 相手先の電話番号を押す
- (3) 相手が出たら、マイクに向かって話す



※まわりの騒音などによって声が聞き取りにくいときは、子機を充電器から取って話してください。

- (4) 通話が終わったら、**切** を押す

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

通話中の各種操作

通話中の電話のいろいろな使いかたです。

スピーカーホン通話に切り替える

スピーカーホン通話にすると、子機のスピーカーから相手の声が聞こえ、子機を置いたままで通話することができます。

(1) 通話中に  を押す

◆スピーカーホン通話が始まります。

(2) スピーカーホン通話をやめるときは、

 を押す

スピーカーホン

プッシュホンサービスを利用する

プッシュ回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルして、サービスを利用することができます。

ダイヤル回線をお使いの場合は、プッシュホンサービスのサービス番号をダイヤルする前に、トーンボタンを押してください。

※ダイヤルしたときに「ピッポッパ」と音がするのがプッシュ回線、音がしないのがダイヤル回線です。

(1)  を押して、プッシュホンサービスの電話番号をダイヤルする

(2) ダイヤル回線の場合は、 を押す

(3) サービスの指示に従ってダイヤルボタンを押す

※プッシュホンサービスには、交通機関やチケットの予約、銀行の残高照会などさまざまなサービスがあります。

受話音質を調節する

相手の声を好みの音質に 5 段階で調節できます。お買い上げ時は 3 段階目に設定されています。

(1) 通話中に  を押す

◆設定画面が表示されます。2 秒間操作しないと、通話中の画面に戻ります。

(2)  を押して音質を調整する

◆5 段階から選びます。

※通話終了後、設定は 3 段階目に戻ります。

内緒話モードを設定する

お互いに小さい声で話しても、通常の音量で聞くことができます。

(1) 通話中に  を約 2 秒押す

◆【内緒：ON】と表示されます。

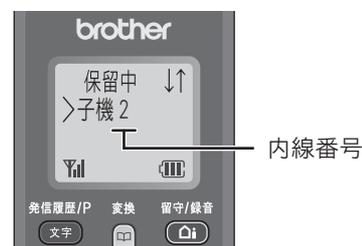
※設定を解除するには、もう一度  を約 2 秒押します。

電話を取り次ぐ

電話を別の子機（MFC-J827DN/J897DN は増設した場合）に取り次ぐときの操作方法です。電話の取り次ぎに際しては、子機は互いの内線番号を選んで呼び出します。

内線番号表（表示名）

機種名	子機種類	付属子機	別売り		
			増設子機 1台目	増設子機 2台目	増設子機 3台目
MFC-J827DN	子機 1	—	子機 2	子機 3	子機 4
MFC-J827DWN		子機 2	子機 3	子機 4	
MFC-J897DN		—	子機 2	子機 3	子機 4
MFC-J897DWN		子機 2	子機 3	子機 4	



電話を取り次ぐ

ここでは、「子機 1 で受け、子機 2 に取り次ぐ場合」を例として説明します。

1 子機 1 で通話中に「内線保留」を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 【子機 2】が選ばれていることを確認して、「機能確定」を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

取り次ぎの内線呼び出しをされたときは、子機を充電器から取り出す（子機を充電器に置いていないときは、「内線保留」または「外線」を押します）。

呼び出している子機が出ないときなど、外線の相手ともう一度話すときは、「内線保留」を押します。

3 子機 2 が内線に応答したら、電話を取り次ぐことを伝えて、子機 1 の「切」を押す

子機 2 と外線の相手が通話できるようになります。

用件を伝えずに電話を取り次ぐ

内線通話をはさまずに、直接別の子機に外線を取り次ぐ方法です。居間で自分が受けた電話を、自分の部屋の子機にまわすなど、ひとりで取り次ぎ操作を完結させたいときなどにも使えます。ここでは、「子機 1 で受け、子機 2 に取り次ぐ場合」を例として説明します。

1 子機 1 で通話中に「内線保留」を押す

外線の相手との通話が保留になります。

2 【子機 2】が選ばれていることを確認して、「機能確定」を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

3 子機 1 の「切」を押す

子機 2 の呼び出し音が、内線呼出音から外線着信音に変わります。

4 子機 2 を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、「外線」を押します。

子機 2 と外線の相手が通話できるようになります。

内線通話をする

子機から子機へかける

子機どうしで通話する操作方法です。
外線通話中でも、通話を保留にして子機間通話することができます。
⇒ 83 ページ「電話を取り次ぐ」
ここでは、「子機 1 から子機 2 に内線にかける場合」を例として説明します。

- 1 子機 1 を充電器から取り、**「内線保留」**を押す
- 2 【子機 2】が選ばれていることを確認して、**「機能確定」**を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

- 3 子機 2 を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、**「内線保留」**または**「外線」**を押します。

子機 1 と子機 2 のあいだで通話できます。

 電波状態がよくない場合、子機間通話中に待ち受け状態に戻ったり、接続できないことがあります。このときは子機間通話をやり直してください。

3人で同時に話す(トリプル通話)

子機どうしと外線の相手の 3 人で同時に話すことができます。
ここでは、「子機 1 と外線で通話中に、子機 2 を参加させる場合」を例として説明します。

-  外線の相手 2 人と同時に通話することはできません。
-  トリプル通話中は、保留にできません。

- 1 子機 1 で外線通話中に**「内線保留」**を押す
通話が保留になります。

- 2 【子機 2】が選ばれていることを確認して、**「機能確定」**を押す

子機 2 の内線呼出音が鳴ります。

- 3 子機 2 を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、**「内線保留」**または**「外線」**を押します。

- 4 子機 2 の相手に 3 人で話すことを伝えて、子機 1 の**「内線保留」**を押す

トリプル通話が始まります。

■二者間の外線通話に戻すときは
トリプル通話から通常(二者間)の外線通話に戻す場合は、通話から外れる子機の**「切」**を押してください。

かかってきた電話を拒否する

通話中に電話を拒否する

しつこい勧誘やいたずら電話など、かかってきた電話の相手とそれ以上話したくないときに、自動音声による拒否メッセージを流し、回線を切ることができます。

1 通話中に、子機の^{「機能」}確定を押す



通話中専用のメニューが表示されます。

2 ⁺で【おことわり】を選び、^{「機能」}確定を押す

「恐れ入りますが、この電話を切らせていただきます。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

3 子機を充電器に戻す

通話前に電話を拒否する

番号表示機能などにより電話を取る前に、話したくない相手だとわかったときは、次の手順で回線を切ることができます。

1 着信音が鳴っているときに、充電器

から取らずに子機の^{「機能」}確定を押す

子機を充電器に置いていないときは、そのまま^{「機能」}確定を押します。



通話中専用のメニューが表示されます。

2 ⁺で【おことわり】を選び、^{「機能」}確定を押す

「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージが流れ、電話が切れます。

ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は

各電話会社とナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信音を鳴らしたくない電話番号をあらかじめ本製品に登録して、着信拒否することもできます。
⇒ 90 ページ「迷惑電話指定する」

キャッチホンで電話を受ける

キャッチホン（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合の電話の受けかたです。

- ☎ ご利用には別途、電話会社との契約（NTT の場合、「キャッチホン／キャッチホンII」）が必要です。（有料）
- ☎ ISDN 回線を利用しているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。
- ☎ ブランチ接続（並列接続）をしているときは、キャッチホンが正常に動作しません。
- ☎ 電話回線にガス検針器やセキュリティ装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- ☎ ファクスの送信中や受信中にキャッチホンを受けると、画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になる場合は「キャッチホンII」のご利用をお勧めします。

キャッチホンで電話を受けた場合

1 通話中に「プップッ」と聞こえたら、子機の **キャッチ** 着信履歴 を押す

- ☎ 別途、ナンバー・ディスプレイ機能をご契約の場合は、かかってきたキャッチホンの相手の電話番号を画面に表示させて、取る前に相手を確認することもできます。

⇒ 92 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

先の相手との通話は保留になり、新しくかかってきた相手との回線がつながります。

2 新しくかかってきた相手と通話する

3 最初の相手に戻るときは、**キャッチ** 着信履歴 を押す

最初の相手に戻ります。

- ☎ **キャッチ** 着信履歴 を押すたびに、通話の相手が切り替わります。
- ☎ キャッチホンを受けなかったときは、相手が電話を切ったあともしばらくキャッチホンの着信音が鳴り続けることがあります。

キャッチホンでファクスを受けた場合

- ☎ 親切受信を【する】（お買い上げ時の設定）に設定していると、キャッチホンで受けた相手がファクスであれば、自動的にファクスを受信します。ただし、お使いの状況によっては、自動的に受信しないことがあります。その場合は、下記手順 4、5 のとおりに手動で受信してください。

1 通話中に「プップッ」と聞こえたら、子機の **キャッチ** 着信履歴 を押す

「ピーピー」という音が聞こえます。先の相手との通話は保留になります。

2 再度 **キャッチ** 着信履歴 を押して、いったん最初の相手に戻る

最初の相手につながります。

3 最初の相手との通話を手短かに終えて、もう一度 **キャッチ** 着信履歴 を押す

キャッチの相手（ファクス）につながります。

お願い

- 最初の相手との回線がつながったままでは、ファクスを受信できません。ファクスを受ける場合は、最初の相手に戻ってから、なるべく手短かに話を終えてください。会話が長くなるとファクスが受信できなくなることがあります。

- 4 を押す
- 5 で【ファクス受信】を選び、
を押す
- 6 画面に【ファクス受信を開始します】と表示されたら、子機を充電器に戻す

- ご利用の前に
- 電話
- ファクス
- 電話帳
- 留守番機能
- コピー
- デジタルプリント
- こんなときは
- 付録

ナンバー・ディスプレイサービスを利用する オプションサービス

ナンバー・ディスプレイサービス（NTT の場合のサービス名）の契約をしている場合は、本製品でも当サービスの機能をご利用いただくことができます。電話会社と当サービスの契約をしていない場合、本製品は着信履歴に相手の番号を表示させることはできません。

ナンバー・ディスプレイサービスとは

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示させることができる電話会社の有料サービスです。サービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

- 📎 本製品の設定だけでは、ナンバー・ディスプレイサービスは利用できません。ご利用の電話会社との契約（有料）が必要です。
- 📎 構内交換機（PBX）に接続しているときは、構内交換機（PBX）がナンバー・ディスプレイに対応していなければ利用できません。
- 📎 ブランチ接続（並列接続）をしているときは、ナンバー・ディスプレイが正常に動作しません。なお、ナンバー・ディスプレイを利用する/しないにかかわらず、本製品をブランチ接続で使用しないでください。
- 📎 ISDN 回線を利用しているときは、ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプターの設定が必要です。
- 📎 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。
- 📎 転送電話など同時に利用できないサービスがあります。
- 📎 IP 電話による発信や着信は、契約しているプロバイダーや、接続している機器により、ナンバー・ディスプレイの動作が異なります。ご不明な点は、お客さまが契約しているプロバイダー、接続している機器メーカーへお問い合わせください。
- 📎 本製品は「ネーム・ディスプレイサービス」には対応していません。

ナンバー・ディスプレイサービスを契約すると利用できる機能

ナンバー・ディスプレイサービスを契約し、本製品の設定を【あり】に設定しているときは、下記のような機能が利用できます。

- 【あり】に設定されていれば使える機能
 - 番号表示機能
 - 名前と電話番号を含めた着信履歴を残す（「名前」表示は、本製品の電話帳に登録されている相手先に限る）
- 【あり】に設定した上で、更に本製品の設定を必要とする機能
 - 着信鳴り分け
 - 非通知着信拒否
 - 公衆電話拒否
 - 表示圏外拒否
 - キャッチホン・ディスプレイ（電話会社とキャッチホン機能のご契約が必要です）

お買い上げ時は、【ナンバーディスプレイ】は【あり】に設定されています。設定方法について詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 46 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」

電話番号表示機能

電話がかかってきたときは

着信音が鳴り、相手の名前や電話番号が表示されます。

外線着信
ブラザー太郎
04XXXXXXXX
Yil 

● その他の表示例

- 【非通知】：
相手が電話番号非通知契約のとき、電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき
- 【公衆電話】：
公衆電話からかけてきたとき
- 【表示圏外】：
相手がサービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からかけてきたとき

着信履歴を利用する

【着信履歴】

ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴に相手の電話番号と（本製品の電話帳に登録した）名前を残すことができます。また、着信履歴は、過去の通話相手を見るだけでなく、見てそのまま電話をかけたり、電話帳に登録したりできます。更に、着信履歴から、迷惑電話の相手として本製品に登録し、その後の着信を拒否することもできます。

着信履歴の見かた

● 複合機本体

1 、【履歴】、【着信履歴】を順に押す

新しい着信から順に履歴が表示されます。

着信履歴	
01/25 08:15	ブラザー花子 ▲
01/22 18:28	ブラザー太郎 ▼
01/21 22:25	ブラザー次郎

2 確認を終えるときは、を押す

● 子機

1 子機の を押す

 を押すと、新しい着信から順に履歴が表示されます。

01/23 02:32 ◆
ブラザー花子
052XXXXXX
Yil 

2 確認を終えるときは、を押す

-  着信履歴は最新の 30 件が記録されています。
-  着信履歴から電話をかけたり、電話帳に登録できます。
⇒ 81 ページ「最近かかってきた相手にかける（着信履歴）」
⇒ 130 ページ「電話帳に登録する」

着信履歴を印刷する

⇒ 126 ページ「着信履歴リストを印刷する」

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

着信鳴り分けを設定する

【着信鳴り分け】

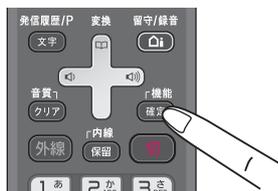
ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、電話帳に登録してある相手の着信音を、それ以外の外線着信とは異なるメロディに変更して区別することができます。

登録してある相手先について、子機は個体それぞれで設定できます。

1 【ナンバーディスプレイ】の設定が【あり】になっていることを確認する

⇒ 46 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」

2 子機の「機能確定」を押す



3 + で【鳴動音設定】を選び、「機能確定」を押す

4 + で【2. 着信鳴り分け】を選び、「機能確定」を押す

5 + で着信音を選び、「機能確定」を押す

⇒ 70 ページ「保留/着信メロディを設定する」

6 切を押して設定を終了する

☞ 電話番号によって着信音を個別に設定することはできません。

☞ 電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。

迷惑電話指定する

【迷惑番号指定】

ナンバー・ディスプレイ機能を契約している場合は、着信履歴から 100 件まで、迷惑先として本製品に登録することができます。登録後は指定した先からかかってきても着信音が鳴りません。

☞ 迷惑指定を設定している相手から電話がかかってきた場合、相手には呼出音が聞こえています。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

4 【全てのメニュー】、【ファクス/電話】、【着信拒否】、【迷惑番号指定】の順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

5 【着信履歴から登録】を押す

迷惑指定を解除するときは、【消去】を選んでください。

6 ▼/▲で迷惑指定する番号を選び、メッセージを確認して【はい】を押す

解除するときは、リストから番号を選んでチェックマークを付け、【OK】を押し、メッセージを確認して【はい】を押します。

7 家を押して設定を終了する

番号非通知の電話や公衆電話、サービス対象地域外からの着信を拒否する

【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】のときは設定できません。

- (1)  【メニュー】を押す
- (2) 【接続確認】を押して、通信ボックスと複合機本体が接続されていることを確認し、【OK】を押す
 - ◆接続されていない場合は、いったんエラー画面を閉じて、下記をご覧ください。
⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」
- (3) 【全てのメニュー】、【ファクス/電話】を順に押す
- (4) ▼/▲で画面を送り、【着信拒否】を押す
 - ◆項目が灰色表示されている場合は、【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】になっています。【あり】にしてください。
- (5) 【非通知着信拒否】または【公衆電話拒否】、【表示圏外拒否】を押す
- (6) 【する】を押す
- (7) 他の項目も設定する場合は、手順 (5)、(6) を繰り返す
- (8)  を押して設定を終了する

-  番号非通知の電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、電話番号の前に 186 をつけて電話番号を通知しておかけ直してください。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
-  公衆電話から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「公衆電話からおかけになった電話は、都合によりお受けできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
-  表示圏外から電話がかかってきたときは、着信音を鳴らさずに電話を受け、「恐れ入りますが、この電話はおつなぎできません。」というメッセージを 3 回再生したあと、自動的に電話を切ります。
-  拒否設定した相手から送られたファクスも受信しません。

キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する

ナンバー・ディスプレイ機能のオプションサービスとしてキャッチホン・ディスプレイ機能があります。詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 92 ページ「キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する」

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

キャッチホン・ディスプレイサービスを利用する

キャッチホン・ディスプレイサービスは、外線通話中にかかってきた相手先の電話番号を画面に表示する、NTT のサービスです。本製品はこの機能に対応しています。また、他の電話会社の同様のサービスにも対応しています。それぞれのサービスの詳細についてはご利用の電話会社にお問い合わせください。

お買い上げ時は、【キャッチディスプレイ】は【なし】に設定されています。設定のしかたについては、下記をご覧ください。

⇒ 47 ページ「キャッチホン・ディスプレイ機能を設定する」

お願い

■ 本製品の設定だけでは、画面に相手の電話番号は表示できません。キャッチホン・ディスプレイサービスを利用するためには、「キャッチホン」または「キャッチホン II」と「ナンバー・ディスプレイサービス」（それぞれ NTT の場合のサービス名 / 有料）の両方のサービスを、ご利用の電話会社と契約していただく必要があります。

⇒ 86 ページ「キャッチホンで電話を受ける」

⇒ 88 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

■ ブランチ接続（並列接続）をすると、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。なお、キャッチホン・ディスプレイを利用する / しないにかかわらず、本製品をブランチ接続で使用しないでください。

📎 ISDN 回線を利用されているときは、ターミナルアダプターのデータ設定が必要です。

📎 構内交換機（PBX）に接続しているときは、キャッチホン・ディスプレイが正常に動作しません。

📎 電話回線にガス検針器やセキュリティー装置などが接続されている場合は、誤動作することがあります。

📎 通話中にキャッチホン・ディスプレイされると、「ピポッ、ザー」というデータ通信音が聞こえ、通話が一瞬途切れます。

📎 キャッチホン・ディスプレイの表示は、約 10 秒です。

第3章

ファクス

送信

本製品のファクス送信のしくみ	94
通信ボックスとの接続を確認する	94
ファクス送信時の画面とボタンについて	95
ファクスの送りかた	96
ファクスを送る	96
ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る （MFC-J897DN/J897DWNのみ）	97
送信中のいろいろな操作	98
内容を確認してからファクスを送る	99
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る	101
電話帳を使ってファクスを送る	102
ファクスの便利な送りかた	103
設定を変えてファクスするには	103
文字が細かい原稿をカラーで送る （設定変更の操作例）	105
海外へ送る	107
原稿台ガラスから送る	107
ADF（自動原稿送り装置）から送る（MFC-J897DN/ J897DWNのみ）	108
複数の相手先に同じ原稿を送る	109
パソコンからファクスを送る	111

受信

本製品のファクス受信のしくみ	112
ファクスの受けかた	113
本製品に自動で受信させる	113
電話に出てから受ける	114
電話に出ると自動的に受ける（親切受信）	115
親切受信を設定する	115
ファクスの見かた	116
受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信） ...	116
新着ファクスを見る	116
すべてのファクスを印刷する	117
すべてのファクスを消去する	117
みるだけ受信を設定する / 解除する（ファクスを印刷 して見る）	118
ファクスの便利な受けかた	119
自動的に縮小して受ける	119
受信したファクスをパソコンに送る （Windows®のみ）	120
ファクスをメモリーで受信する	121
メモリー受信したファクスを印刷する	122
ファクスメッセージをメモリーから消去する	122
メモリー受信（PCファクス受信・メモリー保持）を 解除する	123

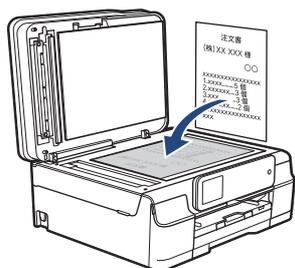
通信管理

通信状態を確かめる	124
通信管理レポートを印刷する	124
通信記録をすぐに確認したいとき	124
通信管理レポートを印刷しない	124
送信結果レポートを印刷する	125
送信結果をすぐに確認したいとき	125
印刷するタイミングを設定する	125
着信履歴リストを印刷する	126
送信待ちファクスを確認・解除する	126
ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する	127

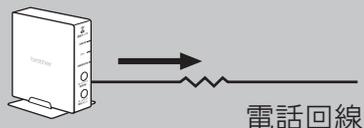
本製品のファクス送信のしくみ

送信

ファクス原稿を複合機本体にセットして送信先を設定すると、複合機本体のメモリーにいったん保存されたのち、自動的に通信ボックスに転送されます。



通信ボックスは、原稿データと送信先情報を受け取り、電話回線を使って送信します。



通信ボックスとの接続を確認する

ファクスを送信する前に、離れたところにある通信ボックスとの通信状態が正常かどうかを確認できます。

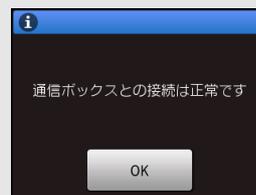
1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】(1)を押す



通信ボックスとの現在の接続状況を表示します。【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。

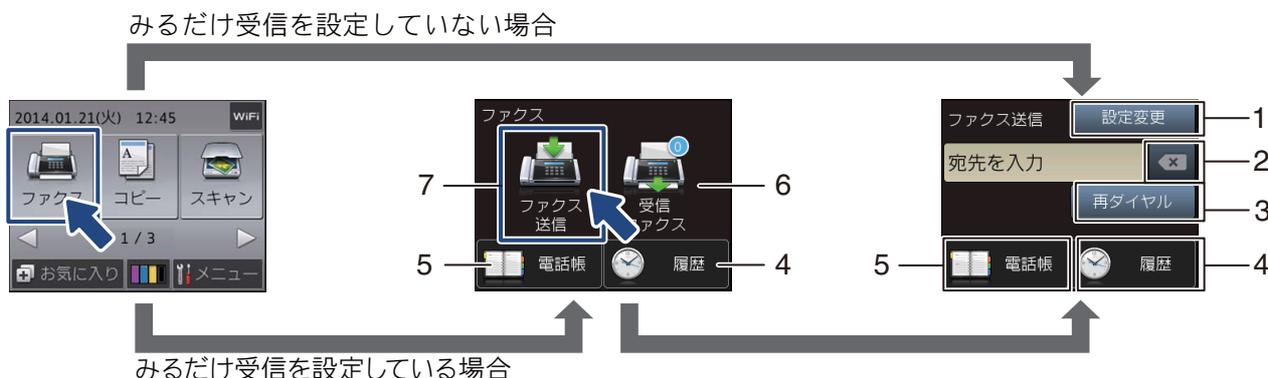


正常に接続できていない場合は、下記をご覧ください。
⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押して確認を終了する

ファクス送信時の画面とボタンについて

ここでは、ファクス送信時に表示される画面やボタンについて説明します。



1	設定変更	画質や濃度、モノクロまたはカラー送信の選択など、設定を変更するときに押します。 ⇒ 103 ページ「設定を変えてファクスするには」
2	クリア	番号を修正するときに押して、カーソルを戻します。
3	再ダイヤル / ポーズ	最後にダイヤルした相手に送信するときに押します。ダイヤル中は、ポーズボタンに切り替わり、ポーズ（約 3 秒の待ち時間）入力ができます。
4	履歴 / スタート	発信履歴や着信履歴からダイヤルするときに押します。ダイヤル中は、スタートボタンに切り替わります。
5	電話帳 / お気に入り登録	すでに登録済みの電話帳のあて先を表示させたり、検索するときに押します。新たに電話帳登録することもできます。 ⇒ 102 ページ「電話帳を使ってファクスを送る」 ⇒ 130 ページ「電話帳に登録する」 ダイヤル中は、お気に入り登録ボタンに切り替わり、その時点の設定内容をお気に入り登録することができます。
6	受信ファクス	みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定した場合にのみ表示されるこの画面から、受信ファクスの確認ができます。 ⇒ 116 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）」
7	ファクス送信	みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定した場合にのみ表示されるこの画面から、ファクスの送信設定に入るときに押します。 みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定した場合は、この画面は表示されません。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

ファクスの送りかた

カラーまたはモノクロでファクスを送ります。原稿に合わせて、画質などを変更することもできます。

お願い

- 相手先のファクス機がモノクロ専用で、カラーファクスを受信できない場合は、カラー送信しないでください。カラーで送ると送信エラーになります。自動的にモノクロに変換されることはありません。
- モノクロ原稿とカラー原稿が混在する場合は、すべてモノクロで送信するか、カラー原稿だけ別に送信してください。

- 🔧 ファクスをカラーで送ると、モノクロより送信時間が長くなります。
- 🔧 カラーファクスには、発信元情報が付きません。
⇒ 37 ページ「送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する」

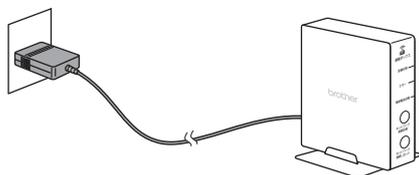
ファクスを送る

原稿は原稿台ガラスにセットし、原稿が複数枚ある場合もすべての原稿をいったんメモリーに蓄積してから送信します。

(MFC-J897DN/J897DWN のみ) 2枚以上のサイズが揃った原稿をファクスするときは、ADF（自動原稿送り装置）の使用をお勧めします。

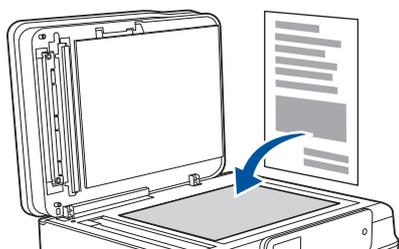
⇒ 97 ページ「ADF（自動原稿送り装置）からファクスを送る（MFC-J897DN/J897DWN のみ）」

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



1) 1枚目の原稿を読み取る

2 複合機本体の原稿台ガラスに1枚目の原稿をセットする



⇒ 63 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 を押す

みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 5 へ

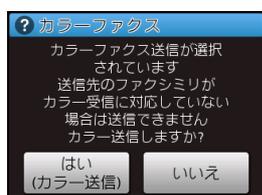
4 【ファクス送信】 を押す

5 ダイヤルボタンで相手先のファクス番号を入力する

- 🔧 【設定変更】を押すと、画質や濃度など、一時的に設定を変更することもできます。

6 【スタート】を押す

- ④ 【設定変更】にてカラーで送るように設定した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい (カラー送信)】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロで送るように設定し直してください。

- 1 枚目の原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 9 へ
 - 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 7 へ

7 【はい】を押す

【次の原稿をセットして [OK] を押してください】と表示されます。

2) 2 枚目以降の原稿を読み取る

8 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 7、8 を繰り返して、読み取りが終わったら手順 9 に進みます。

9 【いいえ】を押す

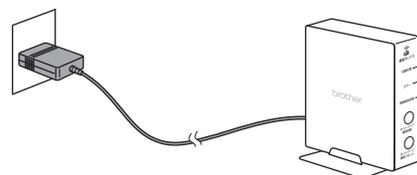
ファクスが送られます。

お願い

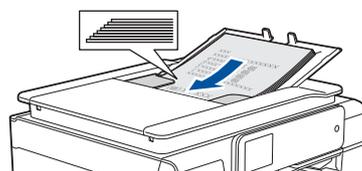
- スタートボタンを押してもファクスが送れない場合は、複合機本体と通信ボックスが接続できていないことが考えられます。接続状態を確認してください。
⇒ 94 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

ADF (自動原稿送り装置) からファクスを送る (MFC-J897DN/J897DWN のみ)

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体の ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする



- ⇒ 65 ページ「ADF (自動原稿送り装置) にセットできる原稿」
- ⇒ 64 ページ「ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする (MFC-J897DN/J897DWN のみ)」

3 を押す

みるだけ受信を【しない (受信したら印刷)】に設定している場合⇒手順 5 へ

4 【ファクス送信】を押す

5 ダイヤルボタンで相手先のファクス番号を入力する

- ④ 【設定変更】を押すと、画質や濃度など、一時的に設定を変更することもできます。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

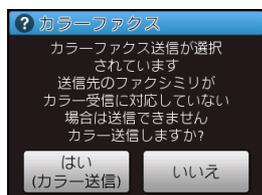
デジタルプリント

こんなときは

録付

6 【スタート】を押す

- ☞ 【設定変更】にてカラーで送るように設定した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい (カラー送信)】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロで送るように設定し直してください。

ファクスが送られます。

送信中のいろいろな操作

送信する前にファクスを中止するには

ダイヤル中または送信中に、**✖**を押してください。
※【停止しますか？ / はい / いいえ】と表示されることがあります。このメッセージが表示されたら、【はい】を押します。

再ダイヤル待機中にファクスを中止するには

相手が通話中などの理由でつながらなかったときは、メモリーに蓄積され、5分おきに3回まで自動で再ダイヤルを行います。再ダイヤルをやめたい場合は、通信待ちデータを削除します。
⇒ 126 ページ「送信待ちファクスを確認・解除する」
再ダイヤルしてもファクスを送ることができなかったときは、送信結果レポートが印刷されます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをお勧めします。
※【ファクス自動再ダイヤル】が【オフ】の場合は、自動で再ダイヤルを行いません。⇒ 127 ページ「ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する」

送信・印刷中の次の原稿の読み取り (デュアルアクセス) について

本製品は、ファクス送信中やパソコンからの印刷実行中に、次に送りたい原稿を読み取ることができます。この動作を「デュアルアクセス」といいます。画面には、新しいジョブ番号が表示されます。

内容を確認してからファクスを送る

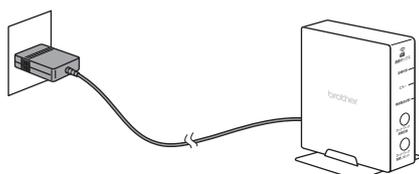
[みてから送信]

送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。

お願い

■ みてから送信するときは、カラーでの送信はできません。モノクロで送信してください。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

お願い

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 を押す

みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 5 へ

4 【ファクス送信】を押す

5 【設定変更】を押す

6 【みてから送信】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

7 【する】を押す

 画質など他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定します。
なお、みてから送信はカラーで送ることはできません。【カラー設定】は【モノクロ】でご利用ください。
⇒ 103 ページ「設定を変えてファクスするには」

8 【OK】を押す

9 相手先のファクス番号を入力する

10 【スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載）に原稿をセットしたときは読み取りが開始され、画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。⇒手順 14 へ

原稿台に原稿をセットしたときは、読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 13 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 11 へ

11 【はい】を押す

【次の原稿をセットして [OK] を押してください】と表示されます。

12 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 11、12 を繰り返し、読み取りが終わったら手順 13 に進みます。

13 【いいえ】を押す

画面に、これから送るファクスの内容が表示されます。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

14 画面でファクスの内容を確認する

ボタン	操作内容
 / 	前のページ／次のページを表示します。
	90° ずつ右回転します。
 / 	拡大／縮小表示します。
 / 	縦方向に画面を送ります。
 / 	横方向に画面を送ります。
【スタート】	送信を開始します。

A) ファクスを送る場合

15 【スタート】 押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

B) ファクス送信を中止する場合

15 を押す

画面に、【停止しますか？／はい／いいえ】と表示されます。

16 【はい】 押す

送信が中止されます。

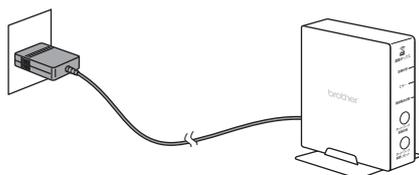
発信履歴・着信履歴を使ってファクスを送る

【履歴】

最近ダイヤルした相手先にファクスを送る場合は、発信履歴を利用します。また、ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合は、着信履歴からファクスを送ることができます。

-  ナンバー・ディスプレイ機能をご利用いただくには、ご利用の電話会社との契約が必要です。
⇒ 88 ページ「ナンバー・ディスプレイサービスを利用する」

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 を押す

4 【履歴】 を押す

5 【発信履歴】 または 【着信履歴】 を押す

6 ファクスを送る相手先を選ぶ

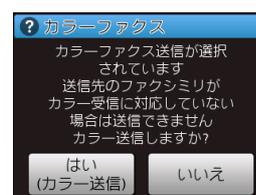
目的の相手先が表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

7 【送信先に設定】 を押す

-  【設定変更】 を押すと、画質や濃度など、一時的に設定を変更することもできます。ただし、組み合わせることができない項目は灰色表示されます。

8 【スタート】 を押す

-  【設定変更】 にてカラーで送るように設定した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい (カラー送信)】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロで送るように設定し直してください。

ADF (自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載) に原稿をセットしたときは読み取りが開始されず、操作は終了です。

原稿台に原稿をセットしたときは、読み取りが終わると、【次の原稿はありますか? / はい / いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 11 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 9 へ

9 【はい】 を押す

【次の原稿をセットして [OK] を押してください】と表示されます。

10 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】 を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 9、10 を繰り返し、読み取りが終わったら手順 11 に進みます。

11 【いいえ】 を押す

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

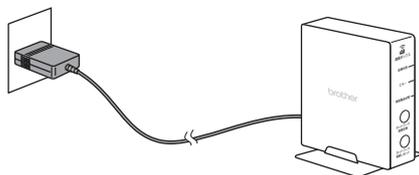
録付

電話帳を使ってファクスを送る

【電話帳】

あらかじめ電話帳にファクス番号を登録しておく、簡単な操作でダイヤルできます。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 を押す

4 【電話帳】 を押す

5 ファクスを送る相手先を選ぶ

目的の相手先が表示されていないときは、

▼ / ▲ を押して画面を送ります。

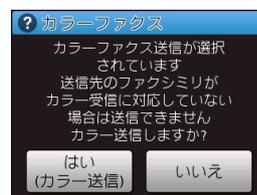
-   を押すと、電話帳検索ができます。登録先のヨミガナを入力し【OK】を押します。先頭の文字だけでも登録先を絞って表示させることができます。

6 【送信先に設定】 を押す

-  【設定変更】を押すと、画質や濃度など、一時的に設定を変更することもできます。ただし、組み合わせることができない項目は灰色表示されます。

7 【スタート】 を押す

-  【設定変更】にてカラーで送るように設定した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい (カラー送信)】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロで送るように設定し直してください。

ADF (自動原稿送り装置 MFC-J897DN/ J897DWN のみに搭載) に原稿をセットしたときは読み取りが開始されます。操作は終了です。

原稿台に原稿をセットしたときは、読み取りが終わると、【次の原稿はありますか? / はい/いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 10 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 8 へ

8 【はい】 を押す

【次の原稿をセットして【OK】を押してください】と表示されます。

9 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】 を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまで、手順 8、9 を繰り返し、読み取りが終わったら手順 10 に進みます。

10 【いいえ】 を押す

ファクスが送られます。

ファクスの便利な送りかた

設定を変えてファクスするには

ファクス送信画面の【設定変更】から、ファクスを送るときの設定を変えることができます。変更した設定は、ファクスの送信が終わると元に戻ります。設定を保持することもできます。

⇒ 106 ページ「変更した設定を保持する」

例：海外送信モードで送る



(1) ファクス画質

ファクス送信するときの画質を設定します。

- 【標準】
お買い上げ時に設定されている標準的な画質モードです。
- 【ファイン】
原稿の文字が小さいときに選びます。
- 【スーパーファイン】
原稿の文字が新聞のように細かいときに選びます。
- 【写真】
原稿に写真が含まれているときに選びます。

※【標準】以外の設定で送信すると、標準に比べて送信時間がかかります。

※【写真】で送信しても、相手側のファクス機が標準モードで受信した場合は、画像が劣化します。

※【スーパーファイン】や【写真】に設定していても、【カラー設定】が【カラー】のときは【ファイン】で送信されます。

(2) 原稿濃度

ファクス送信するときの原稿濃度を設定します。

- 【自動】
読み取った原稿に合わせて自動的に濃度を設定します。
- 【濃く】
原稿が薄いときに選びます。
- 【薄く】
原稿が濃いときに選びます。

※原稿濃度を濃くすると、全体に黒っぽくなる場合があります。

※【ファクス画質】が【写真】のときや、【カラー設定】が【カラー】のときは【自動】で送信されます。

(3) 同報送信

1回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、電話帳・グループダイヤルから指定できます。
⇒ 109 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」

(4) みてから送信

ファクス送信する前に、画面でファクスの内容を確認できます。
⇒ 99 ページ「内容を確認してからファクスを送る」

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

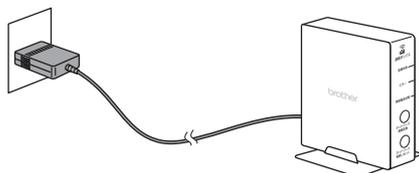
付録

(5) カラー設定
ファクス送信するときに、原稿をカラーまたはモノクロで送信するかどうかの設定をします。
(6) 海外送信モード
海外へは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このようなときに海外送信モードを【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。 ⇒ 107 ページ「海外へ送る」 ※海外送信モードは設定を保持することができません。(お気に入り登録はできます。)
(7) 設定を保持する
設定を変更したあとで、【設定を保持する】を選びます。【設定を保持しますか？ / はい / いいえ】と表示されるので、【はい】を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。 ⇒ 106 ページ「変更した設定を保持する」
(8) 設定をリセットする
設定をお買い上げ時の状態に戻します。 ⇒ 106 ページ「変更した設定を保持する」

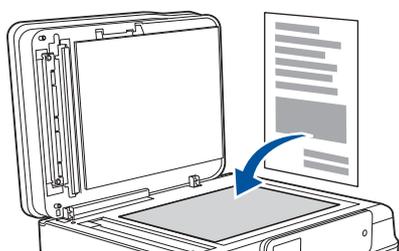
文字が細かい原稿をカラーで送る（設定変更の操作例）

文字が細かい原稿 1 枚をカラーで送信する手順を例にして説明します。本製品は、カラーファクス非対応のファクス機にカラーで送るとエラーになります。あらかじめ相手のファクス機がカラーファクスに対応していることを確認してください。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体の原稿台ガラスに原稿をセットする



⇒ 63 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

お願い

- 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 を押す

みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 5 へ

4 【ファクス送信】を押す

5 ダイヤルボタンで相手先のファクス番号を入力する

6 【設定変更】を押す

1) ファクス画質を設定する

7 【ファクス画質】を押す

8 【ファイン】を押す

2) カラー設定を設定する

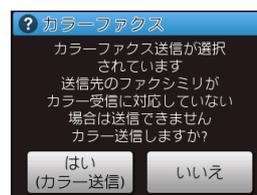
9 ▼/▲を押して画面を送り、【カラー設定】を押す

10 【カラー】を押す

11 【OK】を押す

12 【スタート】を押す

13 【はい（カラー送信）】を押す



読み取りが終わると、画面に【次の原稿がありますか？/はい/いいえ】と表示されます。

14 【いいえ】を押す

ファクスが送られます。

変更した設定を保持する

保持できる設定項目は次のとおりです。

- ファクス画質
- 原稿濃度
- みてから送信
- カラー設定

(1) 、【設定変更】*1 を順に押す

*1 みるだけ受信を【する (画面で確認)】に設定している場合は、、【ファクス送信】の順に押して、【設定変更】に進んでください。

(2) 初期値にしたい設定に変更する

※【OK】は押さないでください。

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

(3) ▼/▲で画面を送り、【設定を保持する】を押す

◆【設定を保持しますか ? /はい/いいえ】と表示されます。

(4) 【はい】を押す

◆変更した設定内容が初期値になります。

(5) を押して設定を終了する

※手順 (1) のあと、【設定をリセットする】を選び、【はい】を押すと設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

海外へ送る

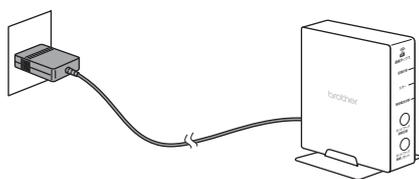
【海外送信モード】

海外へ送信するときは、回線の状況によって正常に送信できないことがあります。このときは海外送信を【する】に設定すると通信エラーを少なくできます。

海外送信モードは、送信が終了すると自動的に【しない】に戻ります。

原稿台ガラスから送る

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体の原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

お願い

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 を押す

みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 5 へ

4 【ファクス送信】を押す

5 【設定変更】を押す

6 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

7 【する】を押す

モノクロで送る場合

8 【カラー設定】を押す

9 【モノクロ】を押す

- ☞ お買い上げ時の設定値である【モノクロ】を変更していない場合は、手順 8、9 のカラー設定を行う必要はありません。
- ☞ 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定します。
⇒ 103 ページ「設定を変えてファクスするには」

10 【OK】を押す

11 相手先のファクス番号を入力する

12 【スタート】を押す

原稿の読み取りが終わると、【次の原稿がありますか？／はい／いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が 1 枚の場合⇒手順 14 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 13 へ

13 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 14 に進みます。

14 【いいえ】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

カラーで送る場合

8 【カラー設定】を押す

9 【カラー】を押す

- ☞ 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定します。
⇒ 103 ページ「設定を変えてファクスするには」

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

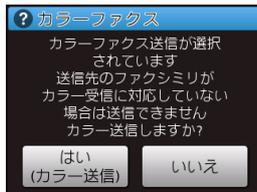
コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

- 10 【OK】を押す
- 11 相手先のファクス番号を入力する
- 12 【スタート】を押す
- 13 【はい（カラー送信）】を押す



原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？/はい/いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 15 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 14 へ

- 14 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す
送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 15 に進みます。

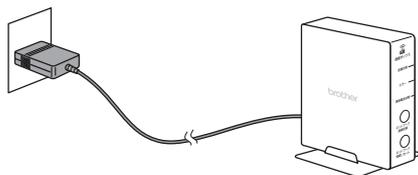
- 15 【いいえ】を押す

操作は終了です。ファクスが送られます。

ADF（自動原稿送り装置）から送る（MFC-J897DN/J897DWNのみ）

綴じや切り貼りのないサイズが揃った原稿であればADF（自動原稿送り装置）の使用をお勧めします。

- 1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



- 2 複合機本体のADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする
⇒ 64 ページ「ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットする（MFC-J897DN/J897DWNのみ）」

- 3  を押す

みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 5 へ

- 4 【ファクス送信】を押す

- 5 【設定変更】を押す

- 6 【海外送信モード】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

- 7 【する】を押す

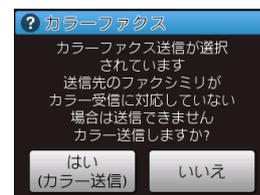
 画質など、他の設定も変更する場合は、続けて項目を選び、設定します。
⇒ 103 ページ「設定を変えてファクスするには」

- 8 【OK】を押す

- 9 相手先のファクス番号を入力する

- 10 【スタート】を押す

 【設定変更】にてカラーで送るように設定した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい（カラー送信）】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロで送るように設定し直してください。

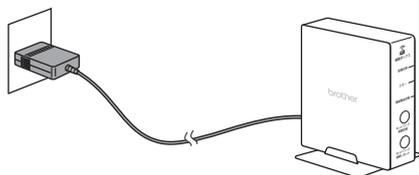
ファクスが送られます。

複数の相手先に同じ原稿を送る

【同報送信】

1回の操作で複数の相手に同じ原稿を送ります。送信先は、番号入力・電話帳・検索などの方法から、合わせて最大50箇所まで指定できます。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体に原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

お願い

■ 原稿台カバーは必ず閉じてください。開けたままファクスを送ると、画像が乱れることがあります。

3 を押す

みるだけ受信を【しない（受信したら印刷）】に設定している場合⇒手順 5 へ

4 【ファクス送信】を押す

5 【設定変更】を押す

6 【同報送信】を押す

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

7 【番号追加】を押す

8 番号の入力方法を選ぶ

【番号追加 / 電話帳から選択 / 検索して選択】から選びます。

【番号追加】を選んだ場合

9 相手先のファクス番号を入力して、【OK】を押す

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順 7 へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順 10 へ

【電話帳から選択】を選んだ場合

9 リストから相手先を選んでチェックマークを付けて、【OK】を押す

- ☑ グループダイヤルで相手先を指定するには、事前にグループダイヤルを設定する必要があります。
⇒ 133 ページ「グループダイヤルを登録する」

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順 7 へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順 10 へ

【検索して選択】を選んだ場合

9 電話帳に登録した名前の読みがな（先頭数文字で可）を入力して【OK】を押す、表示されたリストから相手先を選び、送信するファクス番号を選ぶ

- 次の相手先を選ぶ場合⇒手順 7 へ
- すべての相手先を選び終わった場合⇒手順 10 へ

10 送信する相手先を確認し、【OK】を押す

- ☑ 画質など、他の設定も変更する場合は、再度【設定変更】を押して項目を選び、設定します。ただし、組み合わせることができない項目は灰色表示されます。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

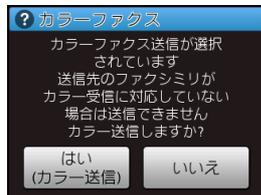
デジタルプリント

こんなときは

付録

11 【スタート】を押す

- ☞ 【設定変更】にてカラーで送るように設定した場合のみ、次の画面が表示されます。



送信先がカラーファクス対応である場合のみ【はい (カラー送信)】を押してください。カラーファクス対応でなければ【いいえ】を押して前画面に戻り、モノクロで送るように設定し直してください。

ADF (自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載) に原稿をセットしたときは、読み取りが開始されます。操作は終了です。

原稿台に原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか? / はい / いいえ】と表示されます。

- 送る原稿が1枚の場合⇒手順 13 へ
- 送る原稿が複数枚の場合⇒手順 12 へ

12 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

送りたい原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 13 に進みます。

13 【いいえ】を押す

すべての相手先に送り終わると、送信エラーがあるときのみ、「同報送信レポート」が印刷されます。

- ☞ 指定した相手先に正常に送信できたかどうかを確認できる「同報送信レポート」を印刷できます。
⇒ 125 ページ「印刷するタイミングを設定する」
- ☞ 同報送信レポートを確認して、エラーなどで送ることのできなかつた相手先がある場合は、個別に送り直してください。

送るのをやめるときは

(1) ダイヤル中に を押す

- ◆【同報送信をキャンセルします 現在のあて先のみか 全ての送信先かを選択してください / XXX (現在の番号または電話帳に登録してあるなら名前) / 全ての同報送信】と表示されます。

(2) 目的のボタンを押す

現在送信中のジョブを中止する場合は、番号 (または名前) が表示されているボタンを押します。

※中止をやめる場合は、 を押します。

(3) 【はい】を押す

すべての同報送信を中止した場合は、同報送信レポートを印刷したあと、待ち受け画面に戻ります。送信中のジョブを中止した場合は、次の番号のダイヤルが開始されます。続けて中止する場合は (1) ~ (3) を繰り返します。

※中止をやめる場合は、【いいえ】を押します。

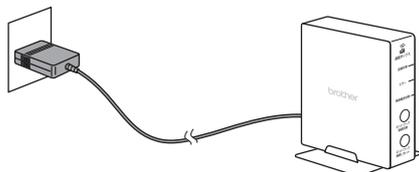
- ☞ 相手先を重複して指定したときは、重複した相手先を自動的に削除します。
- ☞ 送信できる枚数は、メモリーの残量によって制限されます。
- ☞ 原稿読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたら【中止する】または  を押して送信を中止するか、【読み取り分送信】を押して読み取られた分だけ送ります。

パソコンからファクスを送る

[PC-FAX 送信]

パソコンで作成した書類を、印刷することなく、本製品を経由してそのままファクスとして送ることができます。インターネット網を利用したメール添付などによる送付でなくても、相手がファクス機を持っていれば利用できる便利な機能です。

1 通信ボックスの電源が入っていることを確認する



2 複合機本体の電源をオンにして、パソコンと接続していることを確認する

3 パソコン上のアプリケーションで、送信したい書類を作成する

4 アプリケーションで【ファイル】メニューから【印刷】を選ぶ

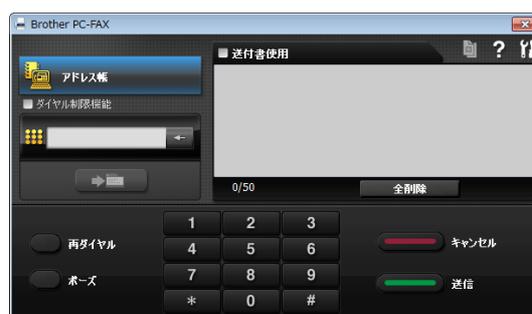
手順 4 は、一般的な印刷設定への進みかたです。パソコンの OS やアプリケーションなどにより印刷方法は異なることがあります。印刷設定画面に進む方法については、OS やアプリケーションの操作方法に従ってください。

5 プリンターの選択で、【Brother PC-FAX v.X】*¹ を選び、【印刷】をクリックする

*¹ v.X は、このソフトウェアのバージョンを示しており (v.=version)、X の部分には数値が入ります。

PC-FAX 送信画面が表示されます。

6 画面下方に表示されているテンキーをクリックして、ファクス番号を入力する



7 を押して、番号を確定する

8 【送信】をクリックする

ファクスが送信されます。

PC-FAX 送信について詳しくは、「ユーザーズガイド パソコン活用編」をご覧ください。

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

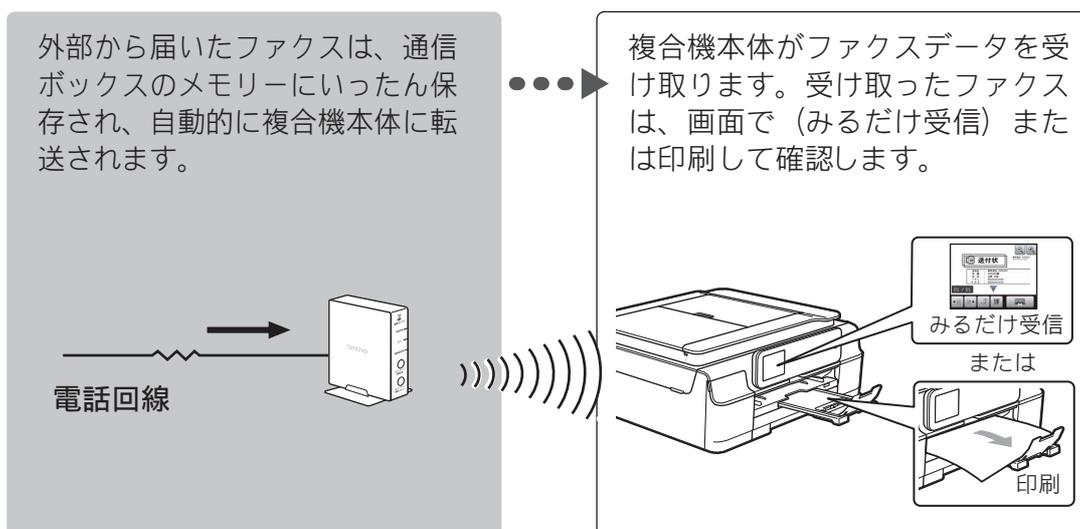
デジタルプリント

こんなときは

付録

本製品のファクス受信のしくみ

受信



お願い

- 複合機本体の電源をオンにすると、自動的に通信ボックスとの接続が開始されます。ファクス受信時に複合機本体の電源が入っていなかったときは、通信ボックスとの接続が確立したのちにファクスデータが転送されるため、内容が確認できるようになるまでしばらくお待ちください。
- 頻繁にファクスを受信する方は、通信ボックスだけでなく、複合機本体も常に電源をオン（電源プラグが接続されているだけでなく、でオンにしてある状態）にして本製品をご利用ください。複合機本体の電源がオンになっていないとファクスデータを通信ボックスから転送できないため、受信を完了させられません。なお、子機のファクス受信ランプの点滅は、複合機本体でファクスを確認するか、子機の^{音質} を押すと止まります。

ファクスの受けかた

本製品は次の方法でファクスを受信します。

本製品に自動で受信させる

【自動受信】

設定した回数（お買い上げ時の設定は 7 回）の呼出ベルが鳴り終わると、本製品が回線をつなぎ、相手が電話なのかファクスなのかを自動判定します。もしファクスであればそのまま受信を開始します。

本製品が自動で受信する前に電話を取って、相手がファクスだったときの手動での受信方法については、下記をご覧ください。

⇒ 114 ページ「電話に出てから受ける」

⇒ 115 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」

回線がつながると、ファクスはまず通信ボックスのメモリーに保存され、その後複合機本体に転送されて一連の受信動作を完了します。

受信したファクスは、画面（みるだけ受信を設定した場合）または記録紙のいずれかで確認できます。ただし、カラーファクスはみるだけ受信が設定されていてもメモリーには保存されず印刷されます。

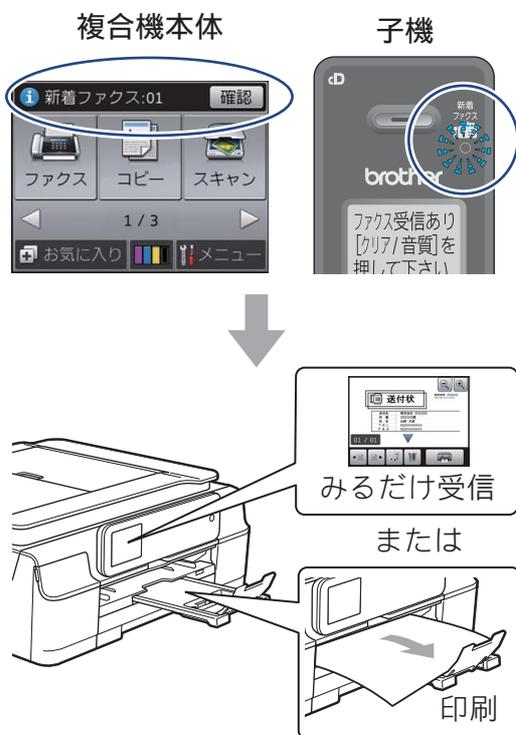
🔧 「無鳴動受信」に設定すると呼出ベルを鳴らさずにファクスを受信することができます。

⇒ 43 ページ「ファクスを受信するときに着信音を鳴らさない（無鳴動受信）」

🔧 自動判定までの時間（呼出ベル回数）は、好みで変更できます。

⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

また、このとき【無制限】に設定すると、自動判定および受信はしません。電話に出て、電話かファクスかを自分で判断することになります。



届いたファクスは複合機本体で確認してください。

⇒ 116 ページ「ファクスの見かた」

電話に出たから受ける

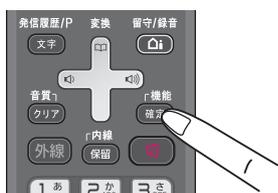
[手動受信]

電話に出たあとでファクスを受信します。

1 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、**外線** を押します。

2 「ポーポー」と音がしていたら、子機の^{「機能」}**確定**を押す



3 **+**で【ファクス受信】を選び、^{「機能」}**確定**を押す

+ 通話中にファクスを受信するときも
^{「機能」}**確定**を押して、**+**で【ファクス受信】
を選び、^{「機能」}**確定**を押します。いったん
ファクスに切り替えると通話に戻れないため、相手にはファクスに切り替えることを伝えてください。

4 画面に【ファクス受信を開始します】と表示されたら、子機を充電器に戻す

届いたファクスは複合機本体で確認してください。
⇒ 116 ページ「ファクスの見かた」

+ キャッチホンでファクスを受ける場合の操作方法については、下記をご覧ください。
⇒ 86 ページ「キャッチホンでファクスを受けた場合」

+ 巻末に子機操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

電話に出ると自動的に受ける（親切受信）

【親切受信】

親切受信が設定されている場合（お買い上げ時の設定）、電話を取ったときにファクスであれば、子機を持ったまま約7秒待つと自動的にファクスを受信します。

1 着信音が鳴ったら、子機を充電器から取る

子機を充電器に置いていないときは、**外線**を押します。

ファクスであれば、「ポーポー」と音が聞こえます。

2 そのまま7秒待つ

約7秒後に、自動的にファクスの受信が始まります。

3 子機の画面に【外線使用中】と表示されたら、子機を充電器に戻す

届いたファクスは複合機本体で確認してください。
⇒ 116 ページ「ファクスの見かた」

お願い

■ 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り替わってしまう場合は、親切受信の設定を【しない】にしてください。相手側から発せられる音や外部からの雑音が、ファクス信号音と似ているために起きる現象です。頻繁に起きる場合は、【しない】にすることを勧めます。

🔧 本製品にファクスが送られてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると「ポーポー」という音が聞こえます。このとき、親切受信を設定していない場合は、手動で受信してください。

⇒ 114 ページ「電話に出てから受ける」

🔧 回線の状態により、「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないときがあります。このようなときは、手動で受信してください。

⇒ 114 ページ「電話に出てから受ける」

🔧 親切受信は、電話に出たあと、約40秒間有効です。40秒経過したあとに「ポーポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しません。この場合は、手動で受信してください。

⇒ 114 ページ「電話に出てから受ける」

親切受信を設定する

お買い上げ時は、【する】に設定されています。

1 **【メニュー】** を押す



2 **【接続確認】** を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 **【OK】** を押す

4 **【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【親切受信】** を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

5 **【する】** または **【しない】** を押す

- 【する】：
親切受信をします。
- 【しない】：
親切受信をしません。

6 **🏠** を押して操作を終了する

ファクスの見かた

受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）

【みるだけ受信】

「みるだけ受信」は受信したファクスの内容を画面で確認できる機能です。このとき、ファクスはメモリーに記憶し、保存します。受信したファクスを画面で見るとは、あらかじめ、みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定してください。

⇒ 118 ページ「みるだけ受信を設定する / 解除する（ファクスを印刷して見る）」

ここでは、みるだけ受信を【する（画面で確認）】に設定した場合の、ファクスの確認方法を説明します。

お願い

- 「みるだけ受信」に設定していても、カラーファクスはメモリーに保存されずに自動的に印刷されま
す。印刷された記録紙で確認してください。

新着ファクスを見る

みるだけ受信に設定されているときにファクスを受信すると、本製品は次の方法でお知らせします。

- 複合機本体の待ち受け画面に、新着を知らせるメッセージが表示される



- 子機のファクス受信ランプが点滅する



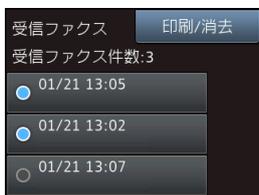
- MFC-J827DN/J827DWN のみ、みるだけ受信ランプ（みるだけ受信）が搭載されています。ファクスを受信すると点滅します。

1 複合機本体の【確認】を押す

2 確認したいファクスを選んで押す

目的のファクスが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

新着ファクスには、左側に新着マーク（青色）が表示されます。



3 下表を参考にして操作を行う



すべての新着ファクスを確認すると、子機の新着ファクスの点滅が終了します。点滅をすぐに止めたいときは **音質1** (クリア) を押します。

ボタン	操作内容
	前のページ / 次のページを表示します。
	90° ずつ右回転します。
	拡大 / 縮小表示します。
	縦方向に画面を送ります。
	横方向に画面を送ります。
	ファクスをメモリーから消去します。 ⇒ 117 ページ「不要なファクスを消去する」
	ファクスを印刷します。 ⇒ 117 ページ「必要なファクスのみを印刷する」

- 受信したファクスの画像が大きい場合は、表示に時間がかかることがあります。
- メモリーに保存できるファクスは 99 件分です。不要なファクスのデータは削除してください。

既読のファクスを再度見たいときは

- (1)  を押す
- (2) 【受信ファクス】 を押す
- (3) 確認したいファクスを選ぶ
 - ◆ 目的のファクスが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。既読ファクスには、左側に既読マーク（灰色）が表示されます。
- (4) 新着ファクスを見るときと同様に画面を操作して内容を確認する

必要なファクスのみを印刷する

- (1) 印刷したいファクスが画面に表示された状態で  を押す
 - ◆ 見ているファクスが1ページだけであればすぐに印刷されます。(3)に進んでください。
 - ◆ 見ているファクスが複数ページあるときは、(2)に進んでください。
- (2) 次のいずれかを行って、ファクスを印刷する
 - ◆ すべてのページを印刷する場合は、【全てのページをプリント】を押して、(3)に進みます。
 - ◆ 見ているページのみを印刷する場合は、【表示ページのみプリント】を押して、(4)に進みます。
 - ◆ 見ているページ以降すべてを印刷する場合は、【表示ページ以降プリント】を押して、(4)に進みます。
- (3) ファクスを消去する場合は【はい】を、メモリーに残す場合は【いいえ】を押す
- (4)  を押して操作を終了する

不要なファクスを消去する

- (1) 消去したいファクスが画面に表示された状態で、 を押す
 - ◆ 【全てのページを消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- (2) 【はい】を押す
 - ◆ ファクスのデータが消去されます。
- (3)  を押して操作を終了する

すべてのファクスを印刷する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて印刷できます。

- 1  を押す
- 2 【受信ファクス】 を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。
- 3 【印刷 / 消去】 を押す
- 4 【全て印刷（新着ファクス）】 または 【全て印刷（既読ファクス）】 を押す

【全て印刷（新着ファクス）】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。
- 5  を押して操作を終了する

すべてのファクスを消去する

みるだけ受信設定時、メモリーに保存されているファクスデータを新着ファクス、既読ファクスごとにまとめて消去できます。複合機本体と通信ボックスが接続不良の場合や電話中は消去できません。下記の操作をしてもエラーになる場合は接続状態を確認してください。

⇒ 94 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

- 1  を押す
- 2 【受信ファクス】 を押す

受信ファクスの一覧が表示されます。
- 3 【印刷 / 消去】 を押す
- 4 【全て消去（新着ファクス）】 または 【全て消去（既読ファクス）】 を押す

【全て消去（新着ファクス）】が表示されるのは、未読のファクスがある場合のみです。

【消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- 5 【はい】 を押す

表示されているファクス一覧のデータがすべて消去されます。
- 6  を押して操作を終了する

みるだけ受信を設定する / 解除する (ファクスを印刷して見る)

お願い

■ みるだけ受信を解除すると、メモリーに保存されているすべてのファクスデータが消去されます。印刷しておきたい場合は、みるだけ受信の解除設定時に、画面の指示に従って印刷してください。あらかじめ個別に印刷したり、すべてのファクスデータを印刷しておくこともできます。

⇒ 117 ページ「必要なファクスのみを印刷する」

⇒ 117 ページ「すべてのファクスを印刷する」

1 【メニュー】を押す



2 【みるだけ受信】(1)を押す



ボタンには現在の状態が表示されています。

3 【する(画面で確認)】または【しない(受信したら印刷)】を押す

【する(画面で確認)】を押した場合：
【みるだけ受信を【する(画面で確認)】にしますか？／はい／いいえ】と表示されます。

【しない(受信したら印刷)】を押した場合：
【みるだけ受信をしないにすると今後受信ファクスは全て印刷されますがよろしいですか？／はい／いいえ】と表示されます。【いいえ】を押すと、みるだけ受信の解除を中止します。⇒手順 7 へ

4 【はい】を押す

手順 3 で【する(画面で確認)】にした場合：⇒手順 6 へ

手順 3 で【しない(受信したら印刷)】にした場合：

- メモリー内にファクスデータがあるとき：⇒手順 5 へ
- 【メモリ受信】を設定している場合またはメモリー内にファクスデータがないとき：設定は終了です。⇒手順 7 へ

5 【全て消去】または【全て印刷してから消去】を押す

- 【全て消去】を押すと、【ファクスを消去しますか？／はい／いいえ】と表示されます。⇒手順 6 へ
- 【全て印刷してから消去】を押すと、受信ファクスが印刷され、メモリーから消去されます。みるだけ受信は解除され、今後はファクスを受信すると自動的に印刷します。⇒手順 7 へ

6 【はい】を押す

7 を押して設定を終了する

受信したファクスが印刷できないときは (メモリー代行受信)

【みるだけ受信】を【しない(受信したら印刷)】にして、受信ファクスを印刷するように設定していても、以下の場合、送られてきたファクスを自動的にメモリーに記憶します。

- 記録紙がなくなったとき
 - インクがなくなったとき
 - 記録紙が詰まったとき
 - 間違ったサイズの記録紙をセットしたとき
- 画面の指示に従って操作すると、メモリーに記憶された内容を印刷できます。
※メモリーがいっぱいになると、それ以降はメモリー代行受信はできません。
※通信ボックスの電源プラグを抜いたときや停電のときは、数時間以上たつとメモリーに記憶された受信ファクスメッセージが消去されます。
※メモリー代行受信できるのは約 320 枚です。

ファクスの便利な受けかた

自動的に縮小して受ける

【自動縮小】

【自動縮小】は、記録紙トレイにセットしてある記録紙の長さを超えたファクスが送られてきた場合に、自動的に縮小して受信する機能です。

お買い上げ時は【する】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【自動縮小】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【する】または【しない】を押す

- 【する】：
自動縮小受信します。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、長辺が長いファクスが送られてきた場合に縮小して受信します。短辺が長いファクスが送られてきた場合は、この設定に関わらず縮小されません。
- 【しない】：
自動縮小受信しません。記録紙トレイにセットしてある記録紙に対し、短辺が長いファクスが送られてきた場合のみ縮小します。長辺が長いファクスは、複数枚に分割されます。

4 を押して設定を終了する

 自動縮小を【する】に設定しても、原稿の長さが約 420mm 以上のときは、複数枚の記録紙に分割して印刷されます。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

受信したファクスをパソコンに送る (Windows® のみ)

[PC ファクス受信]

受信したファクスメッセージを本製品と接続しているパソコンに転送できます。パソコンと接続されていない場合は、受信したファクスメッセージをメモリーに記憶し、パソコンに接続したときにまとめて転送します。パソコンでファクスメッセージを受信したあと、ファクスメッセージは本製品のメモリーから消去されます。なお、[PC ファクス受信] は、いったん設定すると、【メモリ受信】を【オフ】(お買い上げ時の設定) にするまで有効です。[PC ファクス受信] に設定する前の状態に戻すには、下記をご覧ください。

⇒ 123 ページ「メモリー受信 (PC ファクス受信・メモリー保持) を解除する」

- 🔧 カラーファクスはパソコンに転送されずに本製品で自動的に印刷されます。
- 🔧 【PC ファクス受信】は、【メモリ保持のみ】と同時に設定することはできません。
- 🔧 「みるだけ受信」を設定している場合は、【本体でも印刷する】を設定していても印刷されません。

1 🛠️【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【PC ファクス受信】を押す

4 メッセージを確認して、【OK】を押す

パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」

5 PC-FAX 受信を起動させたパソコンを、本製品の画面から選ぶ

USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選びます。
ネットワーク接続しているパソコンを選ぶ場合は、接続先のパソコンの名前を選びます。

- 🔧 このとき、PC-FAX 受信が起動しているパソコンしか選択できません。

6 【OK】を押す

- 「みるだけ受信」が設定されている場合、受信したファクスは印刷されません。
⇒手順 8 へ
- 「みるだけ受信」が設定されていない場合
⇒手順 7 へ

7 本製品で印刷するかどうかを選ぶ

- 【本体でも印刷する】：
受信したファクスを転送すると同時に、本製品で印刷します。
- 【本体では印刷しない】：
受信したファクスを転送するだけで、本製品で印刷しません。

8 🏠を押して設定を終了する

- 🔧 手順 7 で【本体では印刷しない】に設定して、パソコンからファクスを取り出さないうまま【オフ】にすると【全てのファクスをプリントしますか? / はい / いいえ】と表示されます。設定を解除しないでファクスの内容をメモリーに残しておくときは、【いいえ】を押してください。【はい】を押すとメモリーに記憶されているファクスが印刷されます。
- 🔧 手順 7 で【本体でも印刷する】を設定しておく、ファクスのデータがパソコンに転送される前に電源トラブルなどが起きても、印刷された状態でファクスを受け取ることができます。

パソコンで受信したファクスを見るには

[PC-FAX] を利用する場合は、あらかじめ「ユーザーズガイド パソコン活用編」をよくお読みください。

パソコンでファクスを受信するように設定したのちは、常に [PC-FAX] も起動した状態で、パソコンをご利用になることをお勧めします。

ここでは、パソコンで [PC-FAX] を起動して、受信したファクスを見る方法を簡単に説明します。

- (1) スタートメニューから [すべてのプログラム] - [Brother] - [MFC-XXXX*¹] - [PC-FAX 受信] - [PC-FAX 受信を起動] の順に選ぶ

*¹ XXXX はモデル名です。

※Windows[®] 8 をご利用の方は、[Brother Utilities] アイコンをクリックし、ナビゲーションバーのメニューから [パソコンでファクスを受信する] - [PC-FAX 受信を起動] の順にクリックします。

- (2) PC-FAX 受信ダイアログのメッセージ内容を確認して、[OK] をクリックする

◆画面右下のタスクトレイに PC-FAX アイコンが表示されます。ファクスの受信（転送）が始まると、このアイコンが青色に変わるとともに点滅し、転送が完了すると点滅も止まります。次の手順でファクスを確認してください。

- (3) PC-FAX アイコンをダブルクリックする

◆ファクスメッセージが保存されているフォルダーが開きます。

- (4) ファイルをダブルクリックして内容を見る

ファクスをメモリーで受信する

[メモリ保持のみ]

メモリー受信を設定すると、みるだけ受信する / しないにかかわらず、受信したファクスを本製品のメモリーに保存できます。

なお、【メモリ保持のみ】は、いったん設定すると、【メモリ受信】を【オフ】（お買い上げ時の設定）にするまで有効です。【メモリ保持のみ】に設定する前の状態に戻すには、下記をご覧ください。

⇒ 123 ページ「メモリー受信（PC ファクス受信・メモリー保持）を解除する」

- ☑ 【メモリ受信】を設定していても、カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。
- ☑ 【メモリ保持のみ】に設定すると、ファクスデータは本製品のメモリーに記憶されるとともに、自動的に印刷されます。
- ☑ 【メモリ保持のみ】は、【PC ファクス受信】と同時に設定できません。
- ☑ 保存されたファクスデータは画面で確認できません。ただし、みるだけ受信が設定されていないときは、一時的にみるだけ受信に変更する必要があります。

1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリ受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

3 【メモリ保持のみ】を押す

4 🏠 を押して設定を終了する

- ☑ メモリー受信は最大 99 件で 320 枚までできます。ただし、メモリーの残量や原稿の内容によって、メモリー受信できる枚数は変化します。
- ☑ メモリーに受信データが残っていて、みるだけ受信を設定していない場合は、手順 3 で【オフ】を選択すると【ファクスを消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。消去する場合は【はい】を押してください。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

メモリー受信したファクスを印刷する

【ファクス出力】

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを印刷します。印刷したファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【ファクス出力】を押す

4 【OK】を押す

メモリーに蓄積されていたファクスメッセージが印刷されます。
印刷されたファクスメッセージは、メモリーから消去されます。

5 印刷が終了したら、 を押す

ファクスメッセージをメモリーから消去する

みるだけ受信を設定していない場合に、本製品のメモリーに記憶されているファクスメッセージを、すべて消去します。

1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリー受信】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

以下のメッセージが表示されます。

- 【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定している場合に、未転送のファクスがあるとき：
【全てのファクスをプリントしますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- 上記以外の設定にしている場合：
【ファクスを消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

メモリーからすべてのファクスメッセージが消去または印刷され、メモリー受信の設定が解除されます。

みるだけ受信を設定していない場合、今後、受信ファクスは本製品のメモリーに保存されなくなります。必要に応じて、再度【メモリー受信】を設定してください。

5 を押して操作を終了する

メモリー受信 (PC ファクス受信・メモリー保持) を解除する

【オフ】

いったん設定したメモリー受信をやめ、通常のファクス受信方法に戻すときは、次の手順で行います。

1 【メニュー】 を押す



2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【受信設定】、【メモリー受信】の順に押す

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります

3 【オフ】 を押す

以下のメッセージが表示されます。

- 【PC ファクス受信】を【本体では印刷しない】に設定している場合に、未転送のファクスがあるとき：
【全てのファクスをプリントしますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- 上記以外の設定にしている場合：
【ファクスを消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

4 【はい】 を押す

5 を押して設定を終了する

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

通信状態を確かめる

通信管理

本製品では、ファクスの送受信についてのレポートを印刷したり、画面で送信待ちファクスを確認したりできます。

通信管理レポートを印刷する

【通信管理レポート】

通信記録は 200 件まで残り、200 件を超えると古い記録から消去されていきます。お買い上げ時は 50 件ごとに印刷されるように設定されています。なお、通信管理レポートはモノクロで印刷されます。

通信記録をすぐに確認したいとき

50 件ごとに印刷されるのを待たずに、通信記録がすぐに見たいときは次の方法で印刷してください。

1 A4 サイズの記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す



3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【通信管理レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

4 【OK】を押す

通信管理レポートが印刷されます。この方法で印刷しても本製品のメモリーから通信記録は消去されません。

5 印刷が終了したら、【ホーム】を押す

通信管理レポートを印刷しない

通信管理レポートが不要であれば、印刷されないように設定することができます。お買い上げ時は 50 件ごとに印刷されるように設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【レポート設定】、【通信管理レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【通信管理レポート】を押す

4 【レポート出力しない】を押す

- 【レポート出力しない】：
通信記録は最大で 200 件残りますが、通信管理レポートは印刷されません。
- 【50 件ごと】：
通信 50 件ごとに、通信管理レポートが印刷されます。

通信記録は、印刷されると本製品のメモリーから消去されます。

5 【ホーム】を押して設定を終了する

送信結果レポートを印刷する

【送信結果レポート】

送信結果を印刷します。送信結果レポートは、モノクロで印刷されます。

送信結果をすぐに確認したいとき

1 A4サイズの記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す



3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

4 【OK】を押す

送信結果レポートが印刷されます。

5 印刷が終了したら、を押す

印刷するタイミングを設定する

お買い上げ時は、【オフ】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【ファクス/電話】、【レポート設定】、【送信結果レポート】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 設定を選ぶ

- 【オン】：
ファクス送信後に、毎回送信結果レポートを印刷します。
- 【オフ】：
送信エラーがあるときだけ、送信結果レポートを印刷します。

4 を押して設定を終了する

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

着信履歴リストを印刷する

【着信履歴リスト】

ファクスの着信結果を一覧にしてモノクロで印刷します。

1 A4サイズの記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す



3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【着信履歴リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

4 【OK】を押す

着信履歴リストが印刷されます。

5 印刷が終了したら、を押す

送信待ちファクスを確認・解除する

【通信待ち一覧】

ファクスを送りたい相手が通信中で送信できないと、本製品は通信待機します。待機しているこれらの通信を確認したり、確認後、送信を中止したりできます。

1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【通信待ち一覧】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

保留されている通信の一覧が表示されます。

- 確認を終了するとき⇒手順 5 へ
- 再ダイヤル待機中のファクスの送信を取りやめたいとき⇒手順 3 へ

3 取りやめる通信を選び、【停止】を押す

【停止しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

4 【はい】を押す

通信が中止されます。

5 を押して確認 / 解除を終了する

ファクス送信時の自動再ダイヤルを解除する

本製品は、相手が通話中などの理由でファクス送信できなかったときに、人の手で送信操作を繰り返さなくても自動で再ダイヤルするように設定されています。しかし、重要な書類を送信する場合など、送信結果を把握したいときは、自動再ダイヤルを解除することができます。この設定値は、次に設定変更するまで有効です。

1 【メニュー】を押す



2 【全てのメニュー】、【初期設定】、【ファクス自動再ダイヤル】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 【オフ】を押す

解除した状態から再度設定する場合は、ここで【オン】を選んでください。

- 【オン】：
相手が通信中でも、3回まで自動的に再ダイヤルして送信を試みます。
- 【オフ】：
自動で再ダイヤルを行いません。回線が切れると、すぐに送信結果レポートが印刷されます。

4 を押して設定を終了する

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

Memo

第4章

電話帳

複合機本体電話帳【ファクス用】

複合機本体の電話帳に登録する	130
電話帳に登録する	130
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	132
グループダイヤルに登録する	133
複合機本体の電話帳を子機に転送する	134
電話帳リストを印刷する	135
パソコンを使って電話帳に登録する (リモートセットアップ)	136

子機電話帳【電話用】

子機の電話帳に登録する	137
電話帳に登録する	137
発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する	138
子機の電話帳を複合機本体に転送する	139

複合機本体の電話帳に登録する

複合機本体電話帳 [ファクス用]

よくファクスする相手の番号は電話帳に登録しておくとう便利です。また、複数の相手に一括送信ができる「グループダイヤル」として登録したり、登録した番号が、電話・ファクス兼用番号であればそのまま子機に転送するなど、更に応用的な機能もご利用いただけます。

- ① 「リモートセットアップ」を使用して、パソコンからも簡単に電話帳に登録することができます。
⇒ 136 ページ「パソコンを使って電話帳に登録する (リモートセットアップ)」
- ② 転送機能を使用して、子機の電話帳の内容を複合機本体に送ることもできます。
⇒ 139 ページ「子機の電話帳を複合機本体に転送する」

電話帳に登録する

[電話帳に登録]

電話帳は、100 件×2 番号まで登録することができます。

お願い

- 電話番号およびファクス番号は、必ず市外局番から登録してください。ナンバー・ディスプレイの着信履歴が正しく表示されない場合があります。
- 電話帳にファクス番号を間違って登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すこととなります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。その際、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 135 ページ「電話帳リストを印刷する」

- 1  を押す
- 2 【電話帳】、【設定】を順に押す
- 3 【電話帳登録】を押す
- 4 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示する名前を入力し、【OK】を押す



名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 274 ページ「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

- 5 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する



読みがなは、電話帳検索に使われます。

- 読みがなを編集する場合⇒手順 6 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 7 へ

- 6 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す



7 【宛先 1】を押して、画面に表示されているテンキーで番号を入力し、【OK】を押す



電話・ファクス番号は 20 桁まで入力できます。各キーの役割は、以下のとおりです。電話・ファクス番号のカッコやハイフンは登録できません。

- [0] ~ [9]、[*]、[#]：番号入力
- ◀/▶：スペース入力、カーソル移動
- [ポーズ]：約 3 秒の待ち時間 (画面には「p」と表示されます)
- ✕：消去

📌 同様の手順で、【宛先 2】を押して 2 つめの番号を登録することができます。

8 登録内容を確認し、【OK】を押す

9 🏠を押して登録を終了する

電話帳の内容を変更するには

- (1) 「電話帳に登録する」(130 ページ) の手順 ③ で、【変更】を押す
- (2) 変更したい相手先を選ぶ
- (3) 変更したい項目を選ぶ
- (4) 名前や電話番号を入力し直し、【OK】を押す
複数の項目を変更する場合は、手順 (3) (4) を繰り返します。
- (5) 【OK】を押す
◆変更した内容が反映されます。
- (6) 🏠を押して設定を終了する

電話帳の内容を削除するには

- (1) 「電話帳に登録する」(130 ページ) の手順 ③ で【消去】を押す
- (2) 消去したい相手を選んでチェックマークを付け、【OK】を押す
【消去しますか? / はい / いいえ】と表示されます。
- (3) 【はい】を押す
◆選んだ番号が削除されます。
- (4) 🏠を押して設定を終了する

こんなときは～電話番号を登録するとき～

- (A) 「186」または「184」を付ける場合
同一市内であっても必ず市外局番を付けて電話番号を登録してください。市外局番を付けずに登録すると、着信時に相手の名前が表示されません。
例)
○ 186 XXX XXX XXXX
(市外局番) (市内局番) (相手先番号)
× 186 XXX XXXX
(市内局番) (相手先番号)
- (B) 構内交換機 (PBX) で “0” 発信の場合
“0” のあとにポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。
- (C) 国際電話の場合
国番号のあとにポーズ (約 3 秒の待ち時間) を入れてください。
 - 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されている場合
010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号
 - 「マイライン」「マイラインプラス」の国際区分に登録されていない場合
(国際電話サービス会社指定の番号)
+010+ 国番号 + 市外局番 + 電話番号
 ※入力したポーズは「p」で表示されます。

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

画面に表示されるファクスの発信履歴や着信履歴を見ながらそのまま電話帳に登録できます。着信履歴リストを印刷して、あらかじめ登録先や内容を確認しておくこともできます。
⇒ 126 ページ「着信履歴リストを印刷する」

- ☑ ナンバー・ディスプレイ機能をご利用でないときは、「着信履歴」は使えません。
- ☑ 電話帳に同じ番号や同じ相手先名がすでに登録されていても、重複して登録されます。

- 1  を押す
- 2 【履歴】を押す
- 3 【発信履歴】または【着信履歴】を押す
- 4 ▼/▲を押して画面を送り、電話帳に登録したい番号を選ぶ
- 5 【設定】を押す
- 6 【電話帳に登録】を押す
- 7 【名前】を押して、画面に表示されているキーボードで登録したい相手先の名前を入力し、【OK】を押す
名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 274 ページ「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

- 8 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する



読みがなは、電話帳検索に使われます。

- 読みがなを編集する場合⇒手順 9 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 10 へ

- 9 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す
- 10 【宛先 1】に番号が入力されていることを確認する
変更したい場合は、【宛先 1】を押し、番号を変更して【OK】を押します。
必要に応じてこの相手先の 2 つ目の番号も登録できます。【宛先 2】を押して番号を入力し、【OK】を押します。
- 11 【OK】を押す
- 12  を押して登録を終了する

グループダイヤルを登録する

[グループ登録]

電話帳に登録した複数の相手先を、1つのグループとしてまとめて登録します。これを「グループダイヤル」といいます。グループダイヤルは、ファクスを同報送信 (⇒ 109 ページ「複数の相手先に同じ原稿を送る」) するときを使用します。グループは、6 つまで登録できます。また、電話帳に登録されている相手先なら、1つのグループに登録できる数に制限はありません。ただし、グループダイヤルも1件として電話帳に追加されるため、電話帳の空きがなければ登録できません。

お願い

- グループダイヤルを登録する前に、電話帳にファクス番号を登録してください。ファクス番号をそのままグループダイヤルに登録することはできません。
- 電話帳にファクス番号を間違えて登録すると、自動再ダイヤルなどの際に、間違った相手を何度も呼び出すこととなります。新しくファクス番号を登録したときは、正しい番号であるかどうかをよく確認してください。その際、電話帳リストを印刷して確認することをお勧めします。
⇒ 135 ページ「電話帳リストを印刷する」

1 グループに含める相手先がすべて電話帳に登録されていることを確認する

未登録である場合は、あらかじめ個別に電話帳登録を行ってください。

⇒ 130 ページ「電話帳に登録する」

⇒ 132 ページ「発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する」

⇒ 136 ページ「パソコンを使って電話帳に登録する (リモートセットアップ)」

2 を押す

3 【電話帳】を押す

4 【設定】を押す

5 【グループ登録】を押す

6 【名前】を押し、画面に表示されているキーボードで電話帳に表示するグループ名を入力して、【OK】を押す

名前は10文字まで入力できます。

⇒ 274 ページ「文字の入力方法」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大16文字)

7 自動入力された【ヨミガナ】が、登録したい読みがなになっているかを確認する



読みがなは、電話帳検索に使われます。

- 読みがなを編集する場合⇒手順 8 へ
- 読みがなを編集しない場合⇒手順 9 へ

8 【ヨミガナ】を押し、画面に表示されているキーボードで編集して、【OK】を押す

9 【追加/消去】を押し、グループに登録する相手先を選んでチェックマークを付ける

10 登録する番号をすべて選び終わったら、【OK】を押す

11 登録内容を確認し、【OK】を押す

12 を押して登録を終了する

グループダイヤルに登録されている相手先を変更するには

- (1) 「グループダイヤルを登録する」(133ページ)の手順⑤で、【変更】を押す
- (2) 登録内容を変更したいグループを選ぶ
- (3) 【追加／消去】を押す
キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。
- (4) 追加または削除する相手先を選び、【OK】を押す
追加したい相手を押してチェックマークを付けます。
グループダイヤルから外したい相手先を押すとチェックマークが消えます。チェックマークが消えている相手先はグループダイヤルから外れます。
- (5) 【OK】を押す
◆変更内容が反映されます。
- (6) を押す

グループダイヤルを削除するには

- (1) 「グループダイヤルを登録する」(133ページ)の手順⑤で、【消去】を押す
- (2) 削除するグループダイヤルを選んでチェックマークを付け、【OK】を押す
【消去しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
- (3) 【はい】を押す
- (4) を押す

複合機本体の電話帳を子機に転送する

[子機に転送]

複合機本体の電話帳に登録した番号が電話・ファクス兼用番号であれば、そのまま子機に転送すると便利です。

お願い

- 転送するときには、子機側で別の操作（外線通話・内線通話、設定、登録など）をしないでください。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】、を順に押す

4 を押す

5 【電話帳】を押す

6 【設定】を押す

7 【子機に転送】を押す

転送する相手先を選ぶ画面（電話帳リスト）が表示されます。
子機が複数ある場合は、子機を選択する画面が表示されます。操作パネルのダイヤルボタンを押して、転送したい子機を選んでください（例：子機 1 の場合は **1**）。
その後、相手先を選ぶ画面が表示されず。

8 子機に転送する相手先を選び、【OK】を押す

一度に転送できる相手先は 20 件です。1 つの名前に 2 件登録されている場合は、個別に選んでください。

【選択した電話帳を子機に転送します 転送中は電話が使用できません よろしいですか？ / はい / いいえ】と表示されます。

9 【はい】を押す

電話帳が転送されます。
引き続き別の相手先を転送する場合は、手順 **8**、**9** を繰り返してください。

10 を押す

電話帳リストを印刷する

【電話帳リスト】

電話帳に登録された内容を印刷します。登録した電話番号に間違いがないかを確認するとき、登録した内容を忘れてしまったときなどにお使いいただくと便利です。電話帳リストはモノクロで印刷されます。

1 A4 サイズの記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 【メニュー】を押す



3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】、【電話帳リスト】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

4 【OK】を押す

電話帳リストが印刷されます。

5 印刷が終了したら、 を押す

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

パソコンを使って電話帳に登録する (リモートセットアップ)

パソコンにプリンタードライバーと一緒に自動でインストールされているアプリケーション「リモートセットアップ」を使用すると、電話帳の登録/編集がパソコンからできます。パソコン上では、キーボードによる入力が行えるため、名前の登録などは本製品で入力する場合に比べて簡単です。「リモートセットアップ」の使用方法については、「ユーザズガイド パソコン活用編」をご覧ください。

お願い

- 「リモートセットアップ」を使用してパソコンから登録/編集できるのは、複合機本体の電話帳のみです。子機の電話帳に登録する場合は、転送機能をご利用ください。
⇒ 134 ページ「複合機本体の電話帳を子機に転送する」

- 📄 パソコンで [リモートセットアップ] を起動すると、本製品の現在の状態が反映された設定画面が表示されます。現在の設定内容をパソコンに保存するには、そのまま画面左下の [エクスポート] をクリックします。保存する内容を選び、名前を付けて指定された形式でファイルを作成します。本製品を初期化しても、再度 [リモートセットアップ] を起動して、このファイルを [インポート] すると、保存した内容を本製品に戻すことができます。

子機の電話帳に登録する

子機電話帳 [電話用]

子機電話帳には1個体につき100件まで登録できます。

- ☞ 転送機能を使用して、複合機本体の電話帳の内容を子機に送ることもできます。
⇒ 134 ページ「複合機本体の電話帳を子機に転送する」

電話帳に登録する

- 1 子機の **+** を押す
- 2 **+** で【電話帳登録】を選び、**機能確定** を押す
- 3 名前を入力し、**機能確定** を押す
10文字まで入力できます。
⇒ 276 ページ「子機」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大16文字)
- 4 自動入力された読みがなが、登録したい読みがなになっているかを確認し、必要があれば編集して、**機能確定** を押す
- 5 電話番号を入力し、**機能確定** を押す
電話番号は20桁まで入力できます。(数字、*、#、P (ポーズ) のみ。)

電話番号が登録されます。
- 6 **切** を押して登録を終了する

- ☞ ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合は、電話帳に登録した相手先からの着信音を変更できます。
⇒ 90 ページ「着信鳴り分けを設定する」
- ☞ 「186」または「184」を付けて登録する場合、国際電話、構内交換機をお使いの場合は、以下のページをご覧ください。
⇒ 131 ページ「こんなときは～電話番号を登録するとき～」

電話帳から電話をかける

⇒ 79 ページ「電話帳からかける」

電話帳の内容を変更するには

- (1) **+** を押す
- (2) **+** で変更したい電話帳データを選び、**機能確定** を押す
- (3) **+** で【変更】を選び、**機能確定** を押す
- (4) 「電話帳に登録する」(137 ページ) の手順 3 以降の手順で登録内容を変更する
※ 変更しない項目は、**機能確定** を押すと次の手順へ進むことができます。
- (5) **切** を押して操作を終了する

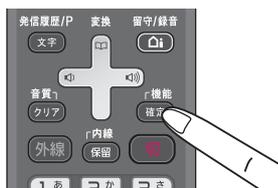
電話帳の内容を削除するには

- (1) **+** を押す
- (2) **+** で削除したい電話帳データを選び、**機能確定** を押す
- (3) **+** で【消去】を選び、**機能確定** を押す
- (4) **1** を押す
◆ 選んだ電話帳データが削除されます。
- (5) **切** を押して操作を終了する

発信履歴・着信履歴から電話帳に登録する

📎 ナンバー・ディスプレイ機能をご利用でないときは、着信履歴は使えません。

1 子機の「機能確定」を押す



2 + で【発信履歴】または【着信履歴】を選び、「機能確定」を押す

3 + で登録する番号を選び、「機能確定」を押す

4 + で【電話帳登録】を選び、「機能確定」を押す

5 名前を入力し、「機能確定」を押す

名前は 10 文字まで入力できます。
⇒ 276 ページ「子機」

名前を入力すると、読みがなが自動的に登録されます。(最大 16 文字)

6 自動入力された読みがなが、登録したい読みがなになっているかを確認し、必要があれば編集して、「機能確定」を押す

7 登録したい番号が表示されていることを確認し、「機能確定」を押す

電話番号が登録されます。

8 切 を押して登録を終了する

📎 発信履歴から登録した場合は、自動的に待ち受け画面に戻るため、「切」を押す必要はありません。

履歴を削除する

1 件のみ削除する場合

- (1) 子機の「機能確定」を押し、+ で【着信履歴】または【発信履歴】を選び、「機能確定」を押す
- (2) + で削除したい履歴を選び、「機能確定」を押す
- (3) + で【1 件消去】を選び、「機能確定」を押す
- (4) 1 あ を押す
◆ 選択した履歴が削除されます。
- (5) 切 を押して操作を終了する

すべての履歴を削除する場合

- (1) 子機の「機能確定」を押し、+ で【着信履歴】または【発信履歴】を選び、「機能確定」を押す
- (2) 「機能確定」を押す
- (3) + で【全件消去】を選び、「機能確定」を押す
- (4) 1 あ を押す
◆ 子機の着信履歴または発信履歴がすべて削除されます。

子機の電話帳を複合機本体に転送する

子機の電話帳に登録した番号が電話・ファクス兼用番号であれば、そのまま複合機本体に転送すると便利です。

1 子機の  を押す

2  で複合機本体に転送する相手先を選び、 を押す

3  で【転送】を選び、 を押す

電話帳が転送されます。

4  を押して操作を終了する

-  短縮番号は指定できません。空いている短縮番号の一番小さい番号へ登録されます。
-  以下の場合、電話帳を転送できません。
 - 外線使用中
 - 内線通話中、呼び出し中
 - 複合機本体がオフになっている場合
 - 複合機本体の電話帳が最大件数登録済みの場合
 - 複合機本体でメニューを操作中
 - 子機の画面に【親機使用中】または【子機 X 使用中】^{*1}が表示されている場合

^{*1} 子機が複数台ある場合。X には子機の番号が入ります

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

Memo

第 5 章

留守番機能

留守録機能

留守番機能を設定する	142
留守番機能で設定できること	142
メッセージの録音時間を設定する	143
応答メッセージを録音する	144
留守録モニターを設定する	145
出かけるとき	146
留守番機能をセットする	146
留守応答メッセージを選ぶ	146
帰ってきたとき	147
留守番機能を解除する	147
メモリー内の留守録メッセージを一括再生 /	
消去する	147
メモリー内の留守録メッセージを 1 件選んで再生 /	
消去する	148

リモコンアクセス

外出先から本製品を操作する	149
暗証番号を設定する	149
外出先から本製品を操作する	150
リモコンコード	151

留守録転送

外出先に転送する	152
留守録転送を設定する	152

留守番機能を設定する

留守録機能

本製品の留守番機能を使うと、外出するときなど、電話に出られないときにかかってきた電話に自動的に対応できます。

留守番機能では、以下のような設定ができます。

留守番機能で設定できること

● メッセージの録音時間

留守モード中にかかってきた相手からのメッセージの1回あたりの録音時間を設定できます。

⇒ 143 ページ「メッセージの録音時間を設定する」

 メッセージは最大で 99 件（録音総時間 29 分）保存されます。1 件あたりの録音時間が長くなれば保存できるメッセージ件数は減少します。

● 留守応答メッセージ

本製品にはあらかじめ留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて、2 種類の留守応答メッセージを自分の声で録音できます。

⇒ 144 ページ「応答メッセージを録音する」

また、留守応答メッセージは、選ぶことができます。状況に応じて使いわけてください。

⇒ 146 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

 お買い上げ時の留守応答メッセージは「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」と録音されています。

● 在宅応答メッセージ

在宅応答メッセージとは、留守モードにセットされていないときの着信メッセージです。次の設定下で、かかってきた電話に応答します。

- ・留守モードに設定されていない
- ・再呼び出しあり（ファクス専用・電話専用の設定ではない）

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージが録音されていますが、自分の声で録音して既存のメッセージと入れ替えることができます。

⇒ 144 ページ「応答メッセージを録音する」

 在宅時の応答メッセージは、再呼出の設定（45 ページ）で、【再呼出ベル設定】を【オン（電話呼び出し）】、【再呼出方法】を【相手にメッセージ】にすると、あらかじめ録音されている在宅応答メッセージが再生されます。

お買い上げ時の在宅応答メッセージは「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は、呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」と録音されています。

● 呼出ベル回数

着信してから本製品が自動的に応答するまでの呼出回数を設定できます。

⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」

● 留守録モニター

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、本製品のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。

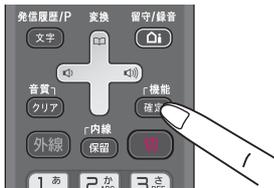
⇒ 145 ページ「留守録モニターを設定する」

メッセージの録音時間を設定する

留守モード時に、相手がメッセージを録音するときの1回あたりの時間を設定します。

1回の最大録音時間は約3分、最大件数は99件、合計で29分まで録音可能です。お買い上げ時は、【60秒】に設定されています。

1 子機の「機能確定」を押す



2 + で【留守番設定】を選び、「機能確定」を押す

3 + で【録音時間】を選び、「機能確定」を押す

4 + で1回あたりの録音時間を選び、「機能確定」を押す

【応答のみ / 30秒 / 60秒 / 120秒 / 180秒】から選択します。

設定が有効になります。

【応答のみ】に設定すると、録音時間は実質0秒です。本製品から応答メッセージが流れたあと、すぐに回線が切れます。そのため、必ず専用の応答メッセージを録音する必要があります。

⇒ 143 ページ「メッセージの録音時間【応答のみ】を選んだときの注意」

5 切 を押して設定を終了する

メッセージの録音時間【応答のみ】を選んだときの注意

【応答のみ】に設定したときに流れるのは、「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」という応答メッセージです（お買い上げ時）。この設定では、録音（ファクス送信）する時間は設けられていないので、応答メッセージの内容と矛盾が生じてしまいます。

録音時間【応答のみ】を選んだ場合は、あわせて専用の応答メッセージ（例：「ただいま留守にしています。のちほどおかけ直してください。」など）を録音した上で、そのメッセージが留守モード時に流れるように、必ずメッセージ選択をしておいてください。

⇒ 144 ページ「応答メッセージを録音する」

⇒ 146 ページ「留守応答メッセージを選ぶ」

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

応答メッセージを録音する

本製品にはあらかじめ在宅応答メッセージと留守応答メッセージが録音されていますが、必要に応じて2種類の留守応答メッセージと1種類の在宅応答メッセージを、それぞれ20秒まで自分の声で録音できます。

● 留守応答 1、留守応答 2

留守番機能がセットされている場合で電話に出られない場合に流すメッセージです。

お買い上げ時のメッセージ：「ただいま留守にしております。電話の方は発信音のあとにお話してください。ファクスの方はそのまま送信してください。」

● 在宅応答

留守番機能がセットされていない状態で、設定された時間内に電話を取らなかったときに流すメッセージです。

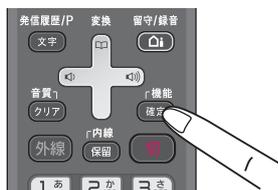
お買い上げ時のメッセージ：「この電話は、電話とファクスに接続されています。電話の方は呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスの方は発信音のあとに送信してください。」

 留守応答メッセージは、お買い上げ時の固定メッセージと、新たに録音できる2つのメッセージの合わせて3種類から選べます。

在宅応答メッセージは、いったん録音すると、そのメッセージが固定となります。お買い上げ時のメッセージを再度使用したいときは、録音した在宅応答メッセージを消去します。

 メッセージは何度でも録音し直すことができます。

1 子機の「機能 確定」を押す



2 「+」で【留守番設定】を選び、「機能 確定」を押す

3 「+」で【留守応答 1】または【留守応答 2】、【在宅応答】を選び、「機能 確定」を押す

4 「+」で【録音】を選び、「機能 確定」を押す

5 子機のマイクに向かってメッセージを録音する

20秒以内に収めてください。20秒を待たずに終了するときは、「機能 確定」または「切」を押してください。ただし、録音開始から5秒間は停止できません。

今録音した内容が自動的に再生されます。最後まで聞かずに再生を終了するときは、「機能 確定」または「切」を押してください。

6 別の録音を続ける場合は、「音質 クリア」を押し、手順③～⑤を繰り返す

7 録音が終わったら「切」を押して設定を終了する

応答メッセージを消去する

(1) 「応答メッセージを録音する」(144ページ)の手順④で、【消去】を選び、「機能 確定」を押す

(2) 「1 あ」を押す

(3) 「切」を押して操作を終了する

◆ 応答メッセージが消去されます。

※ 本製品にあらかじめ録音されている応答メッセージは消去できません。

応答メッセージを確認する

(1) 「応答メッセージを録音する」(144ページ)の手順④で、【再生】を選び、「機能 確定」を押す

◆ 応答メッセージが再生されます。

(2) 「切」を押して確認を終了する

留守録モニターを設定する

留守モード中に着信した場合に再生される応答メッセージと、相手の録音メッセージを、子機のスピーカーで聞く（モニターする）かどうかを設定できます。お買い上げ時は【する】に設定されています。

- ① 留守録モニターができるのは、「子機 1」として登録されている子機のみです。また、「子機 1」以外の子機では、留守録モニターの設定もできません。（子機 1 台付きモデルの MFC-J827DN/J897DN では、別売りの子機を増設してご利用の場合です。）
- ② モニター中の音量を変更したい場合は、スピーカー音量を変更してください。
⇒ 69 ページ「スピーカー音量を設定する」

1 子機の「機能確定」を押す



2 + で【留守番設定】を選び、「機能確定」を押す

3 + で【留守録モニター】を選び、「機能確定」を押す

4 + で【する】または【しない】を選び、「機能確定」を押す

5 切を押して設定を終了する

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

出かけるとき

お出かけ前に「留守モード」に設定すると、留守中にかかってきた電話やファクスを自動的に受けることができます。

留守番機能をセットする

1 子機の留守録音を押す



留守応答メッセージが再生されます。
留守録音 が点灯し、留守モードになります。

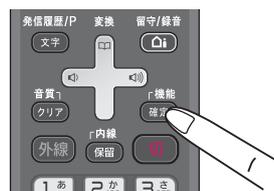


留守番機能を解除するときは、もう一度
留守録音 を押します。

留守応答メッセージを選ぶ

自分で録音した応答メッセージがある場合は、応答メッセージを選ぶことができます。

1 子機の機能 確定を押す



2 + で【留守番設定】を選び、機能 確定を押す

3 + で【応答切替】を選び、機能 確定を押す

4 + で留守応答メッセージを選び、機能 確定を押す

下記の中から選択します。

- 【固定メッセージ】：
あらかじめ録音されている留守応答メッセージ
- 【留守応答 1】：
自分で録音した留守応答メッセージ 1
- 【留守応答 2】：
自分で録音した留守応答メッセージ 2

設定が有効になります。
いったん選ばれたメッセージは、そのあと
選び直さない限り有効です。

5 切 を押して設定を終了する

巻末に子機操作早見表が掲載されています。
切り取ってご利用ください。

帰ってきたとき

電話やファクスがあったときは、以下の手順で確認します。

留守番機能を解除する

新しく録音された音声メッセージがあるときは、子機の留守録音が点滅しています。



1 子機の留守録音を押す

留守録音が消灯し、留守モードが解除されます。
新しいメッセージが録音されているときは、メッセージが再生されます。
再生が終わると、【再生済音声を 1. 消去 2. 保存 番号を入力】と表示されます。メッセージを消去する場合は **1あ**、保存しておく場合は **2か** を押してください。操作しないでそのままにしておくと、自動的にメモリーに保存されます。

巻末に子機操作早見表が掲載されています。切り取ってご利用ください。

メモリー内の留守録メッセージを一括再生 / 消去する

メッセージは、留守番機能をセットしたままでも再生 / 消去できます。

- 1 子機の「機能確定」を押す
- 2 **+** で【再生 / 消去】を選び、「機能確定」を押す
- 3 **+** で【留守】を選び、「機能確定」を押す
- 4 **+** で【全件】を選び、「機能確定」を押す
- 5 **+** で【再生】または【消去】を選び、「機能確定」を押す
 - 【再生】を選んだ場合：
古いメッセージから順に再生されます。
⇒ 148 ページ「音声メッセージを確認する」
⇒ 手順 **7** へ
 - 【消去】を選んだ場合：
【消去 ? 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。⇒ 手順 **6** へ
- 6 **1あ** を押す
- 7 **切** を押して操作を終了する

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

メモリー内の留守録メッセージを 1 件選んで再生 / 消去する

- 1 子機の  を押す
- 2  で【再生 / 消去】を選び、 を押す
- 3  で【留守】を選び、 を押す
- 4  で【1 件ずつ】を選び、 を押す

メモリーに保存されている最も古いメッセージの着信日時が表示されます。
- 5  で操作対象のメッセージを選び、 を押す
- 6  で【再生】または【消去】を選び、 を押す

- 【再生】を選んだ場合：
メッセージが再生されます。
⇒手順 **8** へ
 - 【消去】を選んだ場合：
【消去 ? 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。⇒手順 **7** へ
- 7  を押す
- 8  を押して操作を終了する

音声メッセージを確認する

留守録メッセージの再生で【全件】を選んだときは、下記の操作ができます。

(A) 再生中のメッセージを聞き直すとき

 を押す。

◆再生中のメッセージを頭出しします。

※  を 2 回続けて押すと、1 つ前のメッセージを頭出しします。

(B) 次のメッセージを聞くとき

 を押す。

(C) 途中でメッセージの再生をやめるとき

再生中に  または  を押す。

◆再生 / 消去メニューに戻ります。

再生中に  を 2 回押す。

◆待ち受け画面に戻ります。

ファクスが届いているとき

 が点滅しているときは、ファクスを受信しています。複合機本体で確認してください。

⇒ 116 ページ「ファクスの見かた」

外出先から本製品を操作する

リモコンアクセス

外出先からトーン信号でリモコンコードを入力し、本製品を操作できます。

暗証番号を設定する

【暗証番号】

外出先から本製品を操作するためには、あらかじめ暗証番号（3桁の数字または記号と*）を設定しておく必要があります。お買い上げ時は、暗証番号は設定されていません。

お願い

- 暗証番号には、第三者に推測されやすい番号（生年月日など）を使用しないでください。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

4 【全てのメニュー】、【ファクス / 電話】、【暗証番号】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

5 暗証番号を入力し、【OK】を押す

【0】～【9】、【*】、【#】で、頭の3桁を設定します。4桁目は強制的に「*」が付きます。

暗証番号「123*」の場合は、【1】、【2】、【3】と押し、【OK】を押します。

-  暗証番号の4桁目の「*」は変更できません。
-  いったん設定した暗証番号を変えるときは、手順 5 で、番号を上書きします。

6 を押して設定を終了する

暗証番号をリセットするには

- 「暗証番号を設定する」（149 ページ）の手順 4 までの操作を行う
-  を長押しして頭の3桁を消す
- 【OK】を押す
◆ 暗証番号が設定されていないお買い上げ時の状態に戻ります。
-  を押して設定を終了する

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

外出先から本製品を操作する

外出先からは、以下の手順で本製品を操作します。在宅モードでも操作できます。

お願い

- リモコンアクセスをするときは、暗証番号の入力が必要です。あらかじめ暗証番号を設定してください。

⇒ 149 ページ「暗証番号を設定する」

- ブランチ接続（並列接続）をしている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。リモコンアクセスをする/しないにかかわらず、本製品をブランチ接続で使用しないでください。

☎ 電話回線にドアホン、ガス検針器、セキュリティー装置などが接続されている場合は、リモコンコードを正しく識別できないことがあります。

☎ 携帯電話の一部モデルで、送出されるトーン信号が不規則なため、本製品がリモコンコードを正しく識別できないことがあります。

1 外出先から本製品に電話する

本製品の応答メッセージが再生されます。

☎ 在宅モードで呼出ベル回数を【無制限】に設定している場合は、約 100 秒間呼出音を鳴らし続けると本製品が応答します。この場合は、「ピー」という音が鳴るのみで、応答メッセージは再生されません。

2 「#」、「*」を押す

「暗証番号を入れてください」というメッセージが再生されます。

3 暗証番号（末尾*を含む 4 桁）を入力する

暗証番号を受け付けるとメッセージの有無を音でお知らせします。

- 「ポーポー」：
音声メッセージが記憶されています。

4 リモコンコードを入力する

次のページの「リモコンコード」を入力します。

例) 録音されている音声メッセージを再生するときは「9」「1」を押します。

☎ 「リモコンアクセスカード」を切り取って携帯いただくと便利です。
⇒ 315 ページ「リモコンアクセスカード」

5 終了するときは「9」「0」を続けて押す

正しく受け付けられたときは、「ピー」という音が 1 回聞こえます。正しく受け付けられなかったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。操作をやり直してください。

リモコンコード

コード	操作内容	
音声メッセージ		
91	音声メッセージを再生する	再生中に「1」：メッセージを最初から再生 メッセージとメッセージの間で「1」：前のメッセージを再生 再生中に「2」：次のメッセージを再生 再生中に「9」：再生を中止
93	録音されているすべての音声メッセージを消去する	一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去する メッセージがないときは「ピピピッ」という音がする
メモリー操作		
972	音声メッセージが記憶されているかを確認する	記憶されているとき：「ピー」という音がする 記憶されていないとき：「ピピピッ」という音がする
モード変更		
981	留守モードにする	
982	在宅モードにする（留守モードを解除する）	
リモコンアクセスの終了		
90	リモコンアクセスを終了する	

ご利用の前に

電話

フアックス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

外出先に転送する

留守録転送

留守録転送を設定する

【留守録転送】

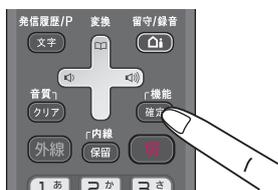
「留守モード」のときに音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送することができます。

お願い

- 留守モードのときのみ転送できます。外出時には、子機の 留守録音  を押して、留守モードに切り替えてください。
- 転送先で留守録を聞くときは暗証番号の入力が必要になります。あらかじめ暗証番号を設定してください。
⇒ 149 ページ「暗証番号を設定する」

-  通信管理レポートや発信履歴に留守録転送の履歴は残りません。
-  NTT のボイスワープサービスとは異なります。ボイスワープは、留守モードに設定されている / いないにかかわらず、かかってきた通話そのものを転送するサービスです。詳しくは、NTT にお問い合わせください。
-  転送先の電話が話し中のときは、10 分おきに 5 回まで再ダイヤルされます。

1 子機の 機能 **確定** を押す



2 で【留守番設定】を選び、機能 **確定** を押す

3 で【留守録転送】を選び、機能 **確定** を押す

4 で【する】を選び、機能 **確定** を押す

転送先の電話番号入力画面が表示されます。⇒手順 5 へ

このとき、暗証番号が設定されていないと、留守録転送設定ができません。いったん **切** を押して操作を中止し、先に複合機本体で暗証番号を設定してください。
⇒ 149 ページ「暗証番号を設定する」

転送先の電話番号がすでに登録されているときは、登録済みの電話番号が表示されます。

- 電話番号を変更する場合：音質 **クリア** を繰り返し押し入力済みの番号をいったん消します。⇒手順 5 へ
- 電話番号を変更しない場合：機能 **確定** を押します。⇒手順 6 へ

5 わ ～ ら WXYZ で転送先の電話番号を入力し、機能 **確定** を押す

6 **切** を押して設定を終了する

転送先で確認する

- (1) 電話を受けたあと、音声ガイダンスに従って暗証番号を入力する
- (2) メッセージを聞く
 - ◆2件以上あるときは連続して再生されます。
 - ◆再生終了後に電話は自動的に切れます。

留守録転送を解除する

- (1) 「留守録転送を設定する」(152ページ)の手順④で【しない】を選び、
「機能
確定」を押す
- (2) **切**を押して設定を終了する
 - ◆留守録転送が解除されます。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

Memo

第 6 章

コピー

基本

コピーする	156
コピーモード時の画面とボタンについて	156
コピーする	156
設定を変えてコピーするには	157
L判の写真を写真用光沢はがきにコピーする (設定変更の操作例)	159

応用

いろいろなコピー	160
スタック/ソートコピーする	160
レイアウトコピーする	161
2枚または4枚の原稿を1枚のA4記録紙に並べて コピーする (N in 1 コピー)	161
カードの両面を1枚のA4記録紙にコピーする (IDカードコピー)	162
1枚の原稿を複数枚のA4記録紙に分けて拡大する (ポスターコピー)	163
両面コピーする (MFC-J897DN/ J897DWNのみ)	164
インクを節約してコピーする	165
コピー時の裏写りを抑える	166
ブックコピーする	166
コピーに文字を重ねる	167
原稿の地色を除去してコピーする	168

コピーする

基本

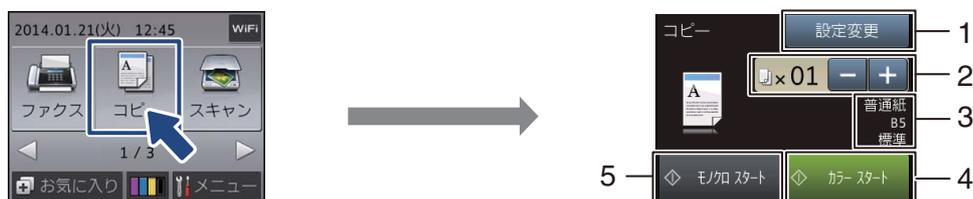
カラーまたはモノクロでコピーします。

お願い

- スキャナー（読み取り部）はきれいにしておきましょう。汚れているとききれいなコピーができません。スキャナー（読み取り部）のお手入れ方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 195 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」

コピーモード時の画面とボタンについて

ここでは、コピーモードで表示される画面情報やボタンについて説明します。



1	設定変更ボタン	コピーの各種機能を使用するとき、画質や記録紙サイズなどの設定変更を行うときにここから入ります。 ⇒ 157 ページ「設定を変えてコピーするには」
2	コピー部数表示 / 部数設定ボタン	部数が表示されます。【-】、【+】を押すと1部ずつ部数増減ができます。 ※コピーの部数は操作パネル上のダイヤルボタンでも設定できます。
3	設定情報	下記の項目について、現在のコピーの設定情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 記録紙の種類 • 記録紙サイズ • コピー画質
4	カラー スタート	カラーでコピーするときに押します。
5	モノクロ スタート	モノクロでコピーするときに押します。

コピーする

基本的なコピーのとりかたです。

- 1 原稿をセットする**
⇒ 63 ページ「原稿をセットする」
- 2  を押す**
- 3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する**

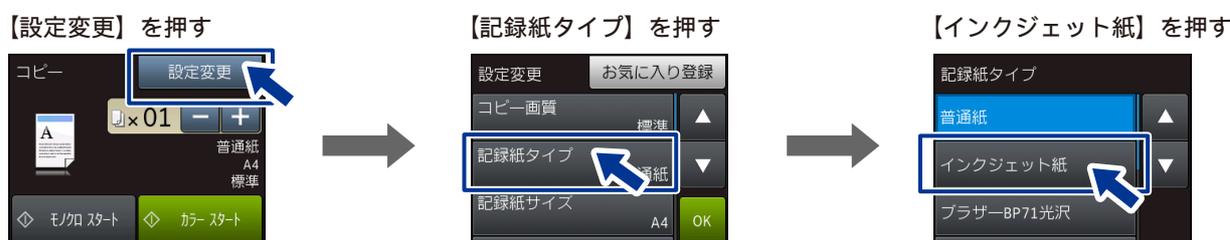
-  【-】、【+】を押すと1部ずつ部数増減ができます。
-  【設定変更】を押して、画質や記録紙サイズなど、一時的に設定を変更することもできます。

- 4 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す**
コピーを中止したいときは、 を押してください。

設定を変えてコピーするには

、【設定変更】を押して表示される画面で、コピーの設定を変更できます。ここで変更した内容はコピー後に元に戻りますが、そのままの内容で記憶させておいたり、お気に入りとして登録することもできます。

例：記録紙タイプをインクジェット紙に変更する



(1) コピー画質	
<p>コピーの画質を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【高速】 速くコピーしたい場合に選びます。 • 【標準】 通常のコピーを行う場合に選びます。 • 【高画質】 写真やイラストなどをよりきれいにコピーする場合に選びます。 <p>※1 部コピーと複数部コピーでは、画質が異なることがあります。 ※【高速】に設定していても、「便利なコピー設定」(⇒ 158 ページ) では、時間がかかることがあります。 ※【記録紙タイプ】を【普通紙】以外に設定すると、自動的に【高画質】に設定されます。【普通紙】以外の記録紙は、【高画質】しか選べません。</p>	
(2) 記録紙タイプ	
<p>使用する記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定します。 【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム】</p>	
(3) 記録紙サイズ	
<p>使用する記録紙に合わせて、記録紙サイズを設定します。 【A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判】</p>	
(4) 拡大 / 縮小	
<p>倍率を変更してコピーします。 拡大 / 縮小と、レイアウトコピーは同時に設定できません。 【等倍 100%】 【拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【240% L 判 ⇒ A4】 • 【204% ハガキ ⇒ A4】 • 【141% A5 ⇒ A4】 • 【115% B5 ⇒ A4】 • 【113% L 判 ⇒ ハガキ】^{*1} <p>【縮小】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 【86% A4 ⇒ B5】 • 【69% A4 ⇒ A5】 • 【46% A4 ⇒ ハガキ】 • 【40% A4 ⇒ L 判】 <p>【用紙に合わせる】^{*2} 【カスタム (25-400%)】^{*3}</p>	<p>^{*1} L 判タテ向きの写真 (127mm × 89mm) をはがきにフィットさせます。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>^{*2} 選択した用紙のサイズに合わせて自動的に倍率が設定されます。「用紙に合わせる」は次のような制約があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 原稿を読み取るときに 3° 以上傾いている場合、サイズを検知できず、適切にコピーできない場合があります。 • ソートコピー、レイアウトコピー、裏写り除去コピー、ブックコピー、透かしコピー、地色除去コピーと同時に設定できません。 • (MFC-J897DN/J897DWN) 両面コピーと同時に設定できません。 • (MFC-J897DN/J897DWN) ADF (自動原稿送り装置) は使用できません。 <p>^{*3} 画面に表示されているテンキーや操作パネルのダイヤルボタンで倍率を入力し、【OK】を押します。</p>

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

(5) コピー濃度
コピーの濃度が調整できます。中央を基準に左に行くほど薄く、右に行くほど濃くなります。濃さを示したアイコンを直接押します。
(6) スタック/ソート
複数部コピーをするとき、一部ごと（ソートコピー）、ページごと（スタックコピー）にまとめてコピーできます。 ⇒ 160 ページ「スタック/ソートコピーする」
(7) レイアウトコピー
2枚または4枚の原稿や、カードサイズの両面原稿を1枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。 ⇒ 161 ページ「レイアウトコピーする」
(8) 両面コピー（MFC-J897DN/J897DWNのみ）
片面2枚の原稿を両面1枚にコピーできます。とじ辺と原稿の向きの設定により、うら面のコピー方向を変えることができます。 ⇒ 164 ページ「両面コピーする（MFC-J897DN/J897DWNのみ）」
(9) 便利なコピー設定
その他の便利なコピーができます。 <ul style="list-style-type: none"> • インク節約モード 文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。 ⇒ 165 ページ「インクを節約してコピーする」 • 裏写り除去コピー コピー時の裏写りを軽減します。 ⇒ 166 ページ「コピー時の裏写りを抑える」 • ブックコピー 本のようにとじた原稿をセットするとき、とじ部分の影や原稿セットの傾きを本製品が自動的に修正してコピーできます。 ⇒ 166 ページ「ブックコピーする」 • 透かしコピー コピー画像にロゴやテキストなど、設定した画像を重ねることができます。 ⇒ 167 ページ「コピーに文字を重ねる」 • 地色除去コピー 原稿の下地（背景）の色を除いてコピーします。 ⇒ 168 ページ「原稿の地色を除去してコピーする」
(10) 設定を保持する / (11) 設定をリセットする
コピーの【設定変更】で各種の変更をしたあと【設定を保持する】を押すと、変更した内容がコピーモードの初期値として本製品に記憶されます。いったん待ち受け画面に戻っても、コピーモードに切り替えると常にこの設定内容からスタートできます。【設定をリセットする】を押すと【設定を保持する】で変更した値が、お買い上げ時の状態に戻ります。ただし、【記録紙タイプ】、【記録紙サイズ】、【スタック/ソート】は設定保持できません。
(12) お気に入り登録
コピーのいろいろな設定を、組み合わせを変えるなどして名前をつけて登録しておくことができます。
<p>(1) 、【設定変更】を押して表示される画面で、お気に入りとして登録したい設定に変更する</p> <p>(2) 【お気に入り登録】を押す</p> <p>(3) 内容を確認して、【OK】を押す</p> <p>(4) 画面に表示されているキーボードでお気に入り設定の名前を入力して【OK】を押す 全角、半角共に10文字まで入力できます。 お気に入り設定の名前を編集する必要がない場合は、そのまま【OK】を押します。</p> <p>◆変更した設定がお気に入りに登録されます。</p> <p>※登録したお気に入りの呼び出しかたや、名前や内容の変更、削除などの操作については下記をご覧ください。 ⇒ 50 ページ「登録したお気に入りを呼び出す」</p>

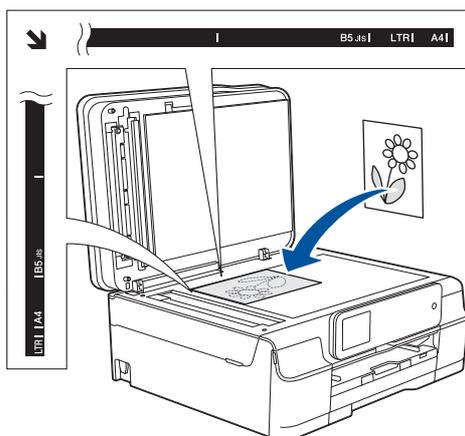
L判の写真を写真用光沢はがきにコピーする（設定変更の操作例）

L判の写真を、写真用光沢はがきにコピーする手順を例にして説明します。

- 1** スライドトレイに写真用光沢はがきをセットする

⇒ 58 ページ「スライドトレイにセットする」

- 2** 原稿台カバーを持ち上げ、原稿ガイドの左奥に合わせて、コピーしたい写真面が下になるようにセットする



- 3** 原稿台カバーを閉じる

- 4**  を押す

- 5** 複数部コピーするときは、部数を入力する

- 6** 【設定変更】を押す

- 1) コピー画質を設定する**

- 7** 【コピー画質】を押す

- 8** 【高画質】を押す

- 2) 記録紙タイプを設定する**

- 9** 【記録紙タイプ】を押す

- 10** ▼ / ▲ で画面を送り、【その他光沢】を押す

- 3) 記録紙サイズを設定する**

- 11** 【記録紙サイズ】を押す

- 12** ▼ / ▲ で画面を送り、【ハガキ】を押す

- 4) 拡大・縮小率を設定する**

- 13** ▼ / ▲ で画面を送り、【拡大 / 縮小】を押す

- 14** 【拡大】を押す

- 15** ▼ / ▲ で画面を送り、【113% L判 ⇒ ハガキ】を押す

- 5) コピー濃度を設定する**

- 16** 【コピー濃度】を押す

- 17** 濃度を選ぶ

- 18** 【OK】を押す

- 19** 【カラー スタート】を押す

写真が写真用光沢はがきにコピーされます。

ご使用の前に

電話

フックス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

いろいろなコピー

応用

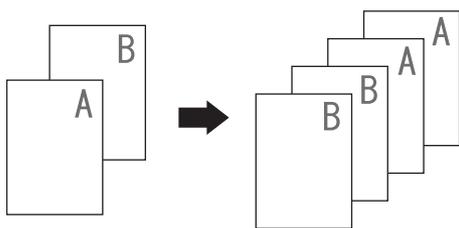
スタック / ソートコピーする

【スタック / ソート】

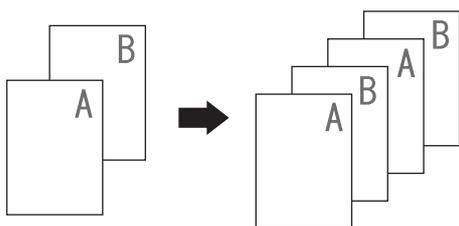
複数ページの原稿を複数部コピーする場合、ページごとまたは一部ごとにまとめて排出します。

④ スタック / ソートコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

- スタックコピー
ページごとにまとめて排出します。



- ソートコピー
一部ごとにまとめて排出します。



1 原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

④ ADF（自動原稿送り装置 MFC-J897DN/ J897DWN のみに搭載）には、A6 サイズ以下の原稿はセットできません。

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

④ 99 部まで設定できます。100 部以上コピーする場合は、いったんコピーしたあと、残りの部数を再度設定してください。

4 【設定変更】を押す

5 【スタック / ソート】を押す

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

6 【スタックコピー】または【ソートコピー】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置 MFC-J897DN/ J897DWN のみに搭載）に原稿をセットしたときまたは原稿台ガラスに原稿をセットして【スタックコピー】を選んだときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットして【ソートコピー】を選んだときは、原稿の読み取りが開始されます。読み取りが終わると画面に、【次の原稿はありますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押す

原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 ⑨ に進みます。

9 【いいえ】を押す

④ 原稿の読み取り中に【メモリがいっぱいです】と表示されたときは下記をご覧ください。
⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

④ メモリーの残量が少ないと機能しない場合があります。

④ スタック / ソートコピーを行うと、画質が若干劣化する場合があります。きれいな状態でコピーしたい場合は 1 部ずつコピーしてください。

レイアウトコピーする

【レイアウト コピー】

複数枚の原稿を 1 枚の記録紙に割り付けてコピーしたり、原稿をポスターサイズに拡大してコピーしたりできます。

- ☑ 「レイアウト コピー」で利用できる記録紙は、A4 サイズのみです。
- ☑ レイアウトコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。

2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の A4 記録紙に並べてコピーする (N in 1 コピー)

- 2in1 (タテ長)



- 2in1 (ヨコ長)



- 4in1 (タテ長)



- 4in1 (ヨコ長)



1 原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

- ☑ ADF (自動原稿送り装置 MFC-J897DN/ J897DWN のみに搭載) には、A6 サイズ以下の原稿はセットできません。

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

※カラーでコピーするときには複数部数の指定はできません。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

6 レイアウトを選び、【OK】を押す

【2in1 (タテ長) / 2in1 (ヨコ長) / 4in1 (タテ長) / 4in1 (ヨコ長)】から選びます。

- ☑ コピーは読み取った順に上向きで排出されます。複数枚のコピーをする場合、最後に読み取った原稿のコピーが一番上になります。

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF (自動原稿送り装置 MFC-J897DN/ J897DWN のみに搭載) に原稿をセットしたときは、操作は終了です。コピーが開始されます。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか? / はい/いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押し、原稿台ガラスに次の原稿をセットして【OK】を押す

次の原稿を読み取り、コピーが開始されます。画面には【次の原稿はありますか? / はい/いいえ】と表示されます。

- 次の原稿がある場合⇒手順 8 へ
- 次の原稿がない場合⇒手順 9 へ

9 【いいえ】を押す

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

カードの両面を 1 枚の A4 記録紙にコピーする (ID カードコピー)

運転免許証のようなカードの両面を 1 枚の A4 記録紙の片面に原寸のまま割り付けてコピーします。



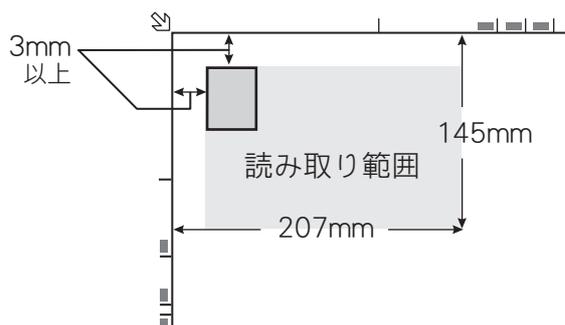
お願い

- ADF (自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載) に原稿をセットすると、【2in1 (ID カード)】を選ぶことはできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

1 原稿を原稿台ガラスにセットする

⇒ 63 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

原稿は、原稿台ガラスの左上に、端から 3mm 以上空けて、読み取り範囲内に下向きにセットしてください。



2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

※カラーでコピーするときは複数部数の指定はできません。

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

6 【2in1 (ID カード)】を選び、【OK】を押す

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

原稿の読み取りが終わると、【次の原稿はありますか？ / はい / いいえ】と表示されます。

8 【はい】を押し、原稿を裏返してセットし、【OK】を押す

おもて面と上下をそろえ、だいたい同じ位置で裏返すと、きれいに仕上がります。

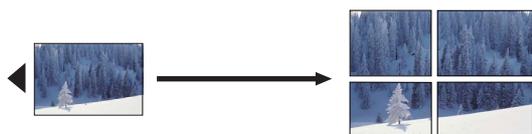
1枚の原稿を複数枚のA4記録紙に分けて拡大する（ポスターコピー）

原稿を自動的に拡大して、指定した枚数のA4記録紙に分割してコピーします。貼り合わせに使用する「のりしろ」部分も計算されます。なお、ポスターコピーは複数部数の指定はできません。

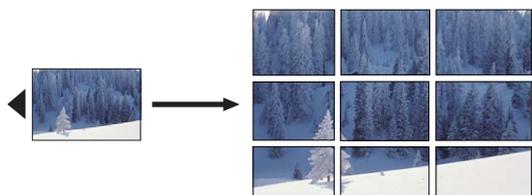
- ポスター（2x1）



- ポスター（2x2）



- ポスター（3x3）



お願い

■ ADF（自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載）に原稿をセットすると、ポスターコピーを選ぶことはできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

📄 記録紙タイプに【OHP フィルム】は、設定できません。

1 分割される枚数以上の記録紙がセットされていることを確認する

2 原稿を原稿台ガラスにセットする
⇒ 63 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

3  を押す

4 【設定変更】を押す

5 【レイアウト コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

6 レイアウトを選び、【OK】を押す

【ポスター（2x1） / ポスター（2x2） / ポスター（3x3）】から選びます。

7 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

すべてのコピーが終了するまで原稿はセットしたままにしてください。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

両面コピーする (MFC-J897DN/J897DWN のみ)

【両面コピー】

片面 2 枚の原稿を両面 1 枚にコピーすることができます。原稿は ADF (自動原稿送り装置) から送ることをお勧めします。原稿が冊子などの場合は原稿台ガラスを使用してください。ホチキスやクリップなどで留める側面 (とじ辺) を設定することにより、うら面のコピーの向きを変えることができます。

	印刷の向き：縦 (タテ長原稿)	印刷の向き：横 (ヨコ長原稿)
長辺とじ		
短辺とじ		

- 両面コピーで使用できる記録紙は、A4、A5、B5 の普通紙のみです。
- 両面コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2 つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

原稿が両面の場合は、片面ずつ順に原稿台にセットしてください。
⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

お願い

- ADF (自動原稿送り装置) を使用する場合は、あらかじめ両面コピーしたいすべての原稿をセットしてください (ただし 1 回にセットできるのは 20 枚までです)。2 枚目以降がセットされていないと、原稿読み取りが終了したと認識され両面コピーが開始されてしまいます。

- ADF (自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載) には、A6 サイズ以下の原稿はセットできません。

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【両面コピー】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

6 原稿のとじ方を選ぶ

【印刷の向き：縦 長辺とじ / 印刷の向き：横 長辺とじ / 印刷の向き：縦 短辺とじ / 印刷の向き：横 短辺とじ】から選びます。

原稿のセット方法の確認画面が表示されます。原稿のセット方法を確認して【OK】を押します。

7 ソートコピーをするときは、【スタック / ソート】、【ソートコピー】を順に押す

8 【OK】を押す

9 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ADF（自動原稿送り装置）に原稿をセットしたときは、操作は終了です。読み取りが開始されます。

原稿1枚目を印刷すると記録紙はいったん排出されますが、2枚目をうら面に印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで記録紙に触れないでください。3枚目以降も同様に、それぞれうら面の印刷が終了するまでは記録紙に触れないでください。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、原稿の読み取りが終わると、【次のページをセットして【スキャン】を押してください 全てのページが終わったら【完了】を押してください/スキャン/完了】と表示されます。

10 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【スキャン】、【OK】を順に押す

複数部数を指定し、手順 7 で、ソートコピーを選択した場合は、原稿をすべて読み取るまでこの手順を繰り返し、読み取りが終わったら手順 11 に進みます。

うら面となる原稿の読み取りが終わると、両面コピーが開始されます。おもて面を印刷すると記録紙はいったん排出されますが、うら面を印刷するために再度吸い込まれます。うら面の印刷が終了するまで記録紙に触れないでください。

11 【完了】を押す

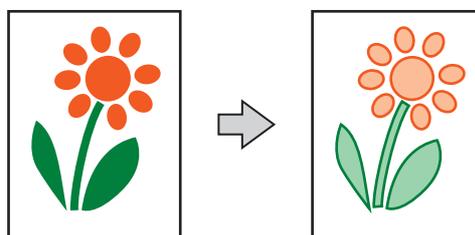
原稿が奇数枚である場合、最後のうら面は印刷されませんが、記録紙はいったん吸い込まれます。

両面コピーをすると紙づまりが発生したり、汚れが目立つようなときは、あんしん設定をお試しく下さい。手順 5 のあとで、【あんしん設定】を押して、【あんしん 1】または【あんしん 2】を選びます。【あんしん 1】では、印刷速度を落とします。【あんしん 2】では、印刷速度を落とすのに加え、インク量を抑えます。そのため通常のコピーよりやや薄くなります。

インクを節約してコピーする

【インク節約モード】

文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。



「インク節約モード」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



- 原稿の種類によっては、コピー結果がイメージと異なることがあります。
- インク節約モードでのコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

ADF（自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載）には、A6 サイズ以下の原稿はセットできません。

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【インク節約モード】を順に押し、【OK】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

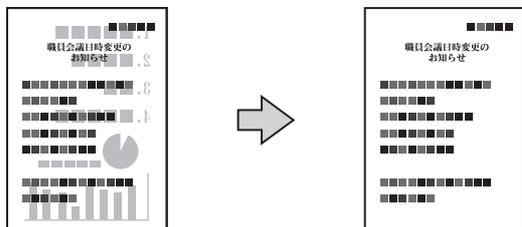
こんなときは

録付

コピー時の裏写りを抑える

[裏移り除去コピー]

原稿の用紙が薄く、うら面に印字されている文字などが透けてコピーされてしまうようなときにお試しください。



- 「裏写り除去コピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



- 裏写り除去コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

- ADF（自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載）には、A6 サイズ以下の原稿はセットできません。

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【裏写り除去コピー】を順に押し、【OK】を押す

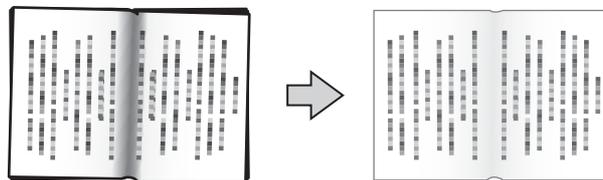
キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

ブックコピーする

[ブックコピー]

本のように中央部分でとじられた原稿を開いてコピーするとき、とじ部分のスジ状の陰や、原稿の厚みによってできる外枠の陰を軽減します。また、セット時の原稿の傾きも自動で補正します。



お願い

- ADF（自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載）を使用してブックコピーをすることはできません。原稿は原稿台ガラスにセットしてください。

- 「ブックコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



- ブックコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

1 原稿台ガラスに原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【ブックコピー】を順に押し、【OK】を押す

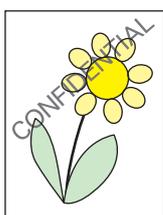
キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

6 【モノクロ スタート】または【カラー スタート】を押す

コピーに文字を重ねる

【透かしコピー】

コピーと同時に、透かし文字をコピー画像に重ねることができます。



テキスト：CONFIDENTIAL
位置：B（中央上）
サイズ：大
回転角度：-45°
透過度：+2
色：黒

右記の設定内容で透かしコピーしたイメージ

- ④ 「透かしコピー」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



- ④ 透かしコピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿台ガラスに原稿をセットする」

- ④ ADF（自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載）には、A6 サイズ以下の原稿はセットできません。

2 を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【透かしコピー】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

6 透かしの設定を行う

次の6項目を設定します。それぞれ設定値を選び、【OK】を押してください。

- 【テキスト】
【CONFIDENTIAL / 重要 / COPY / 社外秘 / 至急】から選びます。
- 【位置】
【A / B / C / D / E / F / G / H / I / 全面】から選びます。
【全面】を選ぶと、紙面全体に文字が繰り返されます。
- 【サイズ】
【小 / 中 / 大】から選びます。
- 【回転】
【-90° / -45° / 0° / 45° / 90°】から選びます。
- 【透過度】
【-2 / -1 / 0 / +1 / +2】から選びます。
- 【色】
【黒 / 緑 / 青 / 紫 / 赤 / オレンジ / 黄】から選びます。カラーでコピーをした場合にのみ反映されます。

7 【OK】を押す

8 【モノクロスタート】または【カラースタート】を押す

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

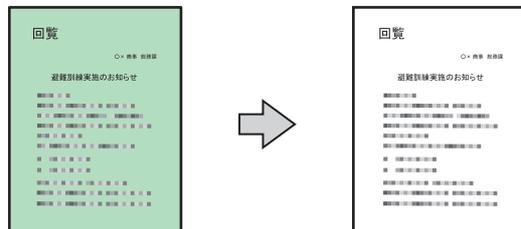
こんなときは

付録

原稿の地色を除去してコピーする

【地色除去コピー】

カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。白地でない用紙を使った原稿をコピーするときに、背景に色を付けるためにインクが消費されるのを防ぎます。



 地色除去コピーは、他のコピーの設定と組み合わせることもできます。組み合わせることができないコピーの設定は、キーの色が灰色表示されます。なお、【便利なコピー設定】内の機能は、2つ以上同時に設定できません。

1 原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

 ADF（自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載）には、A6 サイズ以下の原稿はセットできません。

2 を押す

3 複数部コピーするときは、部数を入力する

4 【設定変更】を押す

5 【便利なコピー設定】、【地色除去コピー】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

6 設定値を選ぶ

【弱/中/強】から選びます。
お買い上げ時は、【中】に設定されています。

7 【OK】を押す

8 【カラー スタート】を押す

第7章

デジカメプリント

デジカメプリント

写真をプリントする前に	170
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを セットする	171
動画プリントについて	173
写真をプリントする	174
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の 写真を見る / プリントする	174
設定を変えてプリントするには	176
L 判記録紙やはがきに写真をプリントする (設定変更の操作例)	178
いろいろなプリント方法	179
インデックスシートをプリントする	179
インデックスシートの写真の番号を指定して プリントする	180
多様な補正機能を使ってプリントする	181
色や明るさを補正する (お好み色補正)	181
画像の一部を切り取る (トリミング)	183
補正とトリミングを同時に行う (お好み色補正 & トリミング)	183
証明写真プリントをする	184
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の 画像を自動で順番に表示する	185
スライドショーの途中でプリントする	185
メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の 画像をまとめてプリントする	186
PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから 直接プリントする	187
PictBridge とは	187
デジタルカメラで行う設定について	187
写真をプリントする	188

その他の機能

スキャンしたデータをメディアに保存する	189
スキャンした画像をメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存する	189

写真をプリントする前に

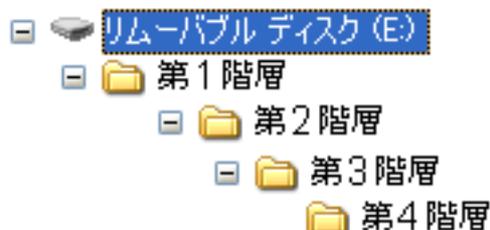
デジカメプリント

デジタルカメラで撮影した写真や動画が保存されているメモリーカードまたは **USB フラッシュメモリー** を、本製品のカードスロットまたは **USB フラッシュメモリー** 差し込み口に差し込んで、直接プリントします。パソコンに取り込んだり、中継させる必要がありません。

お願い

- L判サイズの記録紙および写真用光沢はがきは、必ずスライドトレイにセットしてください。
⇒ 58 ページ「スライドトレイにセットする」
- メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーは正しくフォーマットされたものをお使いください。
- 写真のフォーマットは「JPEG」形式をお使いください。（プログレッシブ JPEG、TIFF、その他の形式のフォーマットには対応していません。）
- 動画のフォーマットは「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG をお使いください。
- デジカメプリントとパソコンからのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの操作は同時にできません。必ず、どちらかの作業が終わってから操作してください。

- 🔗 拡張子が「.JPEG」「.JPE」のファイルは認識しません。拡張子を「.JPG」に変えてください。（拡張子の太文字と小文字は区別せず、どちらも認識します。）
- 🔗 画像ピクセルサイズが処理可能サイズ（横幅が 8192 ピクセル以内）を超えた場合は、印刷できません。
- 🔗 日本語のファイル名が付けられたファイルは、インデックスプリント（⇒ 179 ページ「インデックスシートをプリントする」）を行うと、ファイル名が正しく表示されません。ファイル名を英数字に変えてください。
- 🔗 本製品は、メモリーカードまたは **USB フラッシュメモリー** 内の 4 階層目までのフォルダーに入っている画像しか認識しません。5 階層目以下にある写真をプリントするときは、パソコンでフォルダー階層を上げて保存し直すか、パソコンからのプリントに切り替えてください。

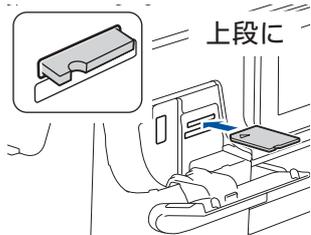
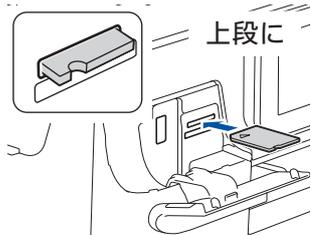
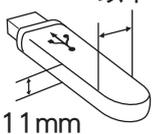
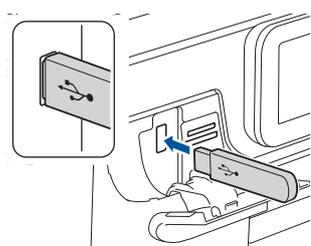


- 🔗 メモリーカードまたは **USB フラッシュメモリー** 内の画像データは、フォルダーとファイルを合わせて 999 個まで認識します。
- 🔗 Macintosh の場合、OS によっては、本製品にセットしたメモリーカードまたは **USB フラッシュメモリー** のアイコンがデスクトップに表示されます。アイコンがデスクトップに表示されていると、デジカメプリントの操作ができません。この場合は、デスクトップ上のメモリーカードまたは **USB フラッシュメモリー** のアイコンをいったん [ゴミ箱] に移動させたあと、デジカメプリントの操作をしてください。

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする

- 1 メディアスロットカバーを開く
- 2 本製品のカードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口に、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを 1 っだけ差し込む

下記のメモリーカードおよび USB フラッシュメモリーに対応しています。

種類	セットする位置
<ul style="list-style-type: none"> メモリースティック デュオ™ (最大128MB) メモリースティック PRO デュオ™ (最大 32GB) 	 <p>上段に</p>
<ul style="list-style-type: none"> メモリースティック マイクロ™ (M2™) (最大 32GB)  <p>アダプターが必要です</p>	
<ul style="list-style-type: none"> SD メモリーカード (最大 2GB) SDHC メモリーカード (最大 32GB) SDXC メモリーカード (最大 128GB) マルチメディアカード (最大 2GB) マルチメディアカード プラス (最大 4GB)  	
<ul style="list-style-type: none"> miniSD カード (最大 2GB) microSD カード (最大 2GB) miniSDHC カード (最大 32GB) microSDHC カード (最大 32GB) マルチメディアカード モバイル (最大1GB)  <p>アダプターが必要です</p>	 <p>下段に</p>
<ul style="list-style-type: none"> USB フラッシュメモリー (最大 64GB)  <p>22mm 以下 11mm 以下</p>	

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

録付

重要

- メモリーカードは 1 枚だけしか読み取れません。2 枚挿入すると破損の恐れがあります。使用するメモリーカードのみを挿入してください。
- カードスロットまたは USB フラッシュメモリー差し込み口には、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー、PictBridge 対応デジタルカメラ以外のものを差し込まないでください。本製品が破損する恐れがあります。
- アクセス中は、電源プラグを抜いたり、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

お願い

- メモリーカードと USB フラッシュメモリーを両方挿入しても、最初に挿入した記録メディアしか読み込みません。使用する記録メディアのみを挿入するようにしてください。

- 🔍 データが認識されないときは、メモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーが破損していないかどうかを、データを記録した機器などに戻して確認してください。
- 🔍 本製品は、著作権保護機能には対応していません。

メモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーを取り出すときは

アクセスが終了していることを確認して、そのまま引き抜きます。
パソコンに接続しているときは、必ず、パソコン上でメモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーへのアクセスを終了してから、メモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーを引き抜いてください。

パソコンからメモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーにアクセスする (メモリーカードアクセス)

本製品とパソコンが **USB** 接続されている場合は、本製品にセットした **USB** フラッシュメモリーまたはメモリーカードを、パソコンから [リムーバブル ディスク] として利用することができます。
また、ネットワーク接続であっても、パソコンから本製品経由でアクセスする方法があります。本製品にセットしたメディアにパソコンからアクセスする方法については、下記をご覧ください。

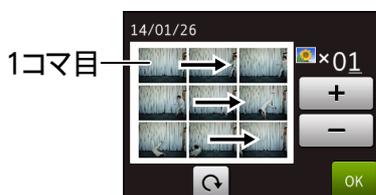
- **Windows®** の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「パソコンからメモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーを使う」
- **Macintosh** の場合
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「**Macintosh** からメモリーカードまたは **USB** フラッシュメモリーを使う」

動画プリントについて

本製品は、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている動画を自動的に9分割して、1枚の記録紙にプリントすることができます。



写真と共に保存されている動画も表示されます



印刷設定画面



出力例

プリント方法は通常の写真と同様です。詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 174 ページ「写真をプリントする」

- ❗ 動画の特定のシーンを指定することはできません。
- ❗ 分割したコマの中に出力に適さない（部分的に壊れている）データがある場合は、そのコマのみ白紙になります。
- ❗ 本製品が対応している動画のフォーマットは、「AVI」または「MOV」形式の MotionJPEG です。ただし、1ファイルのサイズが1GB（撮影時間およそ30分）以上のAVIファイル、2GB（撮影時間およそ60分）以上のMOVファイルはプリントできません。

使用できないデータは、**?** と表示されます。
- ❗ 動画は日付プリントができません。

ご使用の前に

電話

フアクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

写真をプリントする

デジタルカメラで撮影した画像が保存されているメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを本製品のカードスロットまたはUSBフラッシュメモリー差し込み口に差し込んで、直接プリントします。

 パソコンからメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーにアクセスし、【PC接続中】と表示されている間はデジカメプリント機能は使用できません。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を見る / プリントする

【かんたん印刷】

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像を画面で確認・プリントできます。

1 記録紙をセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

- 光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
- L判、ハガキはスライドトレイにセットしてください。

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットして、【デジカメプリント】を押す

⇒ 171 ページ「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットする」

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  で画面を送り  を押ししてください。

デジカメプリントメニューが表示されます。



4 【かんたん印刷】を押す

メニューが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像が表示されます。



 ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

5 プリントしたい画像を押す

目的の画像が表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

  を長押しすると画面を早送りすることができます。

 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントしたいときは、【全選択】を押します。100枚目までの画像をすべて1枚プリントするように設定できます。

⇒ 186 ページ「メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする」

6 【+】 / 【-】 でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

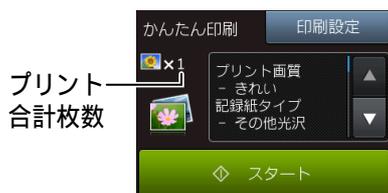


☞ 操作パネル上のダイヤルボタンで枚数を設定することもできます。

☞  を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

7 手順 5、6 を繰り返して、プリントしたい画像をすべて選び、【OK】を押す

8 画面で設定を確認する



☞ 記録紙のサイズや種類、画質などの設定を変更するときは、【印刷設定】を押します。

☞ 【印刷設定】を押して、【日付印刷】を【する】に設定すると撮影された日付をプリントします。
⇒ 176 ページ「設定を変えてプリントするには」

9 【スタート】を押す

選択した画像がプリントされます。

DPOF を使用する場合

DPOF (デジタルプリントオーダーフォーマット)^{*1} を利用して、プリントする写真や枚数を指定している場合、以下の手順で操作してください。メディアをセットしたまま、ほかのモードで使用していた場合は、いったんメディアを抜いてください。

- (1) メディアスロットカバーを開く
- (2) DPOF 設定済みのメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを差し込む

- (3) 【DPOF】を押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

- (4) 【印刷設定】を押す

◆デジカメプリントの設定画面が表示されます。

- (5) 【記録紙サイズ】を押す

- (6) 記録紙サイズを選ぶ

◆他の設定項目も変更できます。ただし、プリント画質は変更できません。また、プリント枚数と日付も DPOF での設定が優先されるため変更できません。設定を変更したら、【OK】を押して手順 (7) に進んでください。

- (7) 【スタート】を押す

◆DPOF で指定したとおりに写真がプリントされます。

^{*1} デジタルカメラの記録フォーマットのの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品側で指定する必要がありません。

※DPOF から動画のプリントはできません。

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

設定を変えてプリントするには

デジカメプリントの設定を確認する画面に表示される【印刷設定】から、プリントの設定が変更できます。【印刷設定】で変更できる項目は、デジカメプリントモードの機能によって異なります。設定できない項目は、キーの色が灰色表示されます。詳しくは、⇒ 285 ページをご覧ください。

ここでは、すべての【印刷設定】の項目について説明しています。

例：写真の明るさを変えてプリントする



(1) プリント画質

プリントする際の画質を設定します。

- 【標準】
速くプリントする場合に選びます。
- 【きれい】
よりきれいにプリントする場合に選びます。

※【記録紙タイプ】を【インクジェット紙】に設定した場合は、【きれい】しか選べません。

(2) 記録紙タイプ

プリントする記録紙の種類を選びます。

【普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢】

(3) 記録紙サイズ

プリントする記録紙のサイズを選びます。

【L判／2L判／ハガキ／A4】

【A4】を選んだ場合は、プリントサイズ（レイアウト）を以下の設定から選びます。

8×10cm	9×13cm	10×15cm	13×18cm	15×20cm	用紙全体に印刷

(4) 自動色補正

自動で色や明るさを補正します。【する】または【しない】を選びます。

(5) 明るさ

プリントの仕上がりの明るさを調整することができます。中央を基準に左にいくほど暗く、右にいくほど明るくなります。明るさを示したアイコンを直接押します。

(6) コントラスト

プリントの仕上がりのコントラストを調整することができます。中央を基準に左にいくほど明暗比が弱く、右にいくほど明暗比が強くなります。強弱を示したアイコンを直接押します。

(7) 画質強調

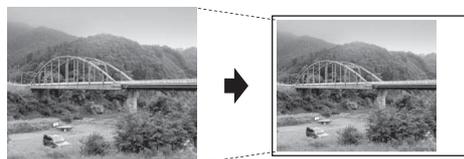
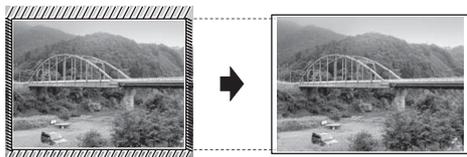
- (1) **【画質強調】** を押す
- (2) 更に **【画質強調】** を押して、**【する】** を押す
- (3) **設定する項目を選ぶ**
 - **【ホワイトバランス】**
 画像の白色部分の色合いを基準に、全体の色合いを調整します。色合いを調整することで、より自然に近い色合いにプリントできます。
 - **【シャープネス】**
 画像の輪郭部分のシャープさを調整して、はっきりした画像に調整できます。
 - **【カラー調整】**
 画像のカラー全体の濃度（色の濃さ）を調整し、画像全体をくっきりさせることができます。
- (4) ◀/▶ でレベルを調整し、**【OK】** を押す
- (5) 必要に応じて手順 (3)、(4) を繰り返し、残りの 2 項目を調整する
- (6) **【OK】** を押す

※画質強調は、画素数の少ないデジタルカメラの画像データに対して有効に働きます。
 メガピクセルクラスのカメラで撮影した 100 万画素以上の画像は **【画質強調】** を設定しないでください。
 なお、画素数の多い画像データに画質強調を行うと、処理に数十分かかる場合があります。

(8) 画像トリミング

プリント領域いっぱいにプリントされるように、収まらない部分を切り取ります。
 画像トリミングをしない場合は、ふちなし印刷も **【しない】** に設定してください。

- **【する】**
 横長の画像の場合は、縦のプリント領域に合わせて、縦長の画像の場合は、横のプリント領域に合わせてプリントします。収まりきらない部分は、切り取られます。
- **【しない】**
 画像を切り取らずに、プリント領域に収まるようにプリントします。



(9) ふちなし印刷

プリント領域いっぱいに画像をプリントします。**【する】** または **【しない】** を選びます。
 ※ふちなし印刷を **【する】** に設定すると、画像トリミングの設定の有無にかかわらず、画像をプリント領域に合わせるために一部が自動的にトリミングされることがあります。

(10) 日付印刷

撮影された日付をプリントします。**【する】** または **【しない】** を選びます。
 ※動画は、**【する】** に設定しても日付はプリントされません。

(11) 設定を保持する

設定を変更したあとで、**【設定を保持する】** を選びます。**【設定を保持しますか？ / はい / いいえ】** と表示されるので、**【はい】** を押すと、現在の設定が初期値として登録されます。

(12) 設定をリセットする

印刷設定をお買い上げ時の状態に戻します。

L判記録紙やはがきに写真をプリントする（設定変更の操作例）

写真をL判記録紙やはがきにプリントする手順を説明します。

1 記録紙をセットする

記録紙は光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。

⇒ 58 ページ「スライドトレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットして、【デジカメプリント】を押す

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り  を押してください。

4 【かんたん印刷】を押す

メニューが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

 ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。

5 プリントしたい写真を選ぶ

目的の写真が表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。



  /  を長押しすると画面を早送りすることができます。

6 【+】 / 【-】 でプリント枚数を設定し、【OK】を押す

 操作パネル上のダイヤルボタンで枚数を設定することもできます。

  を押すたびに 90° ずつ右回りに回転します。

7 【OK】を押す

1) 記録紙タイプを設定する

8 【印刷設定】を押す

9 【記録紙タイプ】を押す

10 セットした記録紙の種類を選ぶ

セットした記録紙の種類に合わせて、【普通紙】【インクジェット紙】【ブラザー BP71 光沢】【その他光沢】のいずれかを選びます。

2) 記録紙サイズを設定する

11 【記録紙サイズ】を押す

12 セットした記録紙のサイズを選ぶ

セットした記録紙のサイズに合わせて、【L判】【ハガキ】のいずれかを選びます。

13 【OK】を押す

14 【スタート】を押す

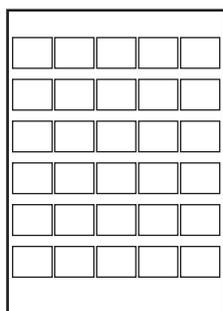
L判記録紙またははがきに写真がプリントされます。

いろいろなプリント方法

インデックスシートをプリントする

【インデックスプリント】

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存されている画像を、一覧にしてプリントできます。A4サイズの記録紙1ページ内に最大30個の画像がプリントされます。



1 A4サイズの記録紙をセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーをセットして、【デジカメプリント】を押す

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り  を押ししてください。

4 ◀で画面を送り、【インデックス】を押す



5 【インデックスシート】を押す

-  写真光沢紙などにインデックスプリントする場合は、【印刷設定】を押して、記録紙タイプを変更してください。
⇒ 176 ページ「設定を変えてプリントするには」

6 【スタート】を押す



インデックスシートが撮影日時の順番でプリントされます。

-  インデックス番号が1から順に自動で割り振られます。パソコンで編集したファイル名は半角英数字で印字されます。全角文字は認識できません。
-  インデックスプリントでは、記録紙タイプ以外の設定（明るさやコントラストなど）は固定です。
-  プリントされるのは、JPEG (.JPG) および MotionJPEG の AVI (.AVI)、MOV (.MOV) 形式の画像です。
-  インデックスシートは、カラーでしかプリントできません。

インデックスシートの写真の番号を指定してプリントする

【番号指定プリント】

インデックスシートに表示されている番号で、プリントする画像を指定できます。

1 記録紙をセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

- 光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
- L判、はがき、ポストカードはスライドトレイにセットしてください。

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットして、【デジカメプリント】を押す

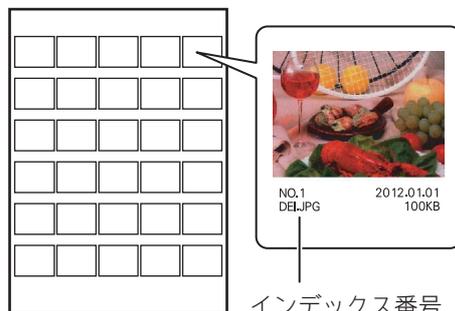
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り  を押ししてください。

4 ◀で画面を送り、【インデックス】を押す



5 【番号指定プリント】を押す

6 画面に表示されているテンキーでプリントしたい画像のインデックス番号を入力し、【OK】を押す



インデックス番号

例 1：1～5 番をプリントしたいとき

「1-5」と入力する

例 2：1、3、5 番をプリントしたいとき

「1,3,5」と入力する

 区切り記号も含めて 12 文字まで入力できます。

7 操作パネル上のダイヤルボタンで枚数を入力する

8 画面で設定を確認する



 記録紙のサイズや種類、画質などの設定を変更するときは、【印刷設定】を押します。
⇒ 176 ページ「設定を変えてプリントするには」

9 【スタート】を押す

指定した番号の画像がプリントされます。

多様な補正機能を使ってプリントする

【こだわり印刷】

色や明るさを補正する（お好み色補正）

本製品には、下記 10 種類の写真補正機能があります。写真に合わせた補正で、悪条件のもとで撮影された写真も自然で美しい色合いにプリントできます。

メニュー	解説	再補正 ^{*1} の有無
自動色補正	人物と風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
肌色あかるさ補正	人物の肌を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
色あざやか補正	風景を美しくプリントしたいときに選びます。	なし
赤目補正	フラッシュ撮影時の赤目を補正したいときに選びます。	あり
夜景補正	夜景を美しくプリントしたいときに使用します。	なし
逆光補正	逆光による影を補正して被写体を明るくプリントします。	なし
ホワイトボード補正	ホワイトボードへの照明の映りこみなどを除去して、文字を読みやすくします。	なし
モノクロ	カラーで撮影した写真をモノクロでプリントしたいときに選びます。	なし
セピア	写真をセピア色でプリントしたいときに選びます。	なし
自動色補正 & 赤目補正	人物、風景と同時に赤目を補正したいときに選びます。	あり

*1 再補正とは、赤目の検出が一度でできなかつたときに、再度「赤目検出」を試み、補正する機能です。

🔧 「こだわり印刷」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



🔧 フラッシュ撮影時の条件によっては、赤目補正ができないことがあります。

1. 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

1 記録紙をセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

- 光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
- L判、はがき、ポストカードはスライドトレイにセットしてください。

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットして、【デジカメプリント】を押す

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  で画面を送り  を押してください。

4 で画面を送り、【こだわり印刷】を押す



5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、  を押して画面を送ります。

  を長押しすると画面を早送りすることができます。

6 【お好み色補正】を選んで、【OK】を押す

7 目的に合った補正メニューを選ぶ

⇒ 181 ページ「色や明るさを補正する（お好み色補正）」

補正後の画像が表示されます。

 「肌色あかるさ補正」、「色あざやか補正」、「夜景補正」、「逆光補正」は、  でコントラストを 3 段階に調節できます。

 赤目を補正する場合は、補正できると顔が赤枠で囲まれます。検出または補正ができなかったときは、【赤目を検出できません】と表示されます。【再補正】を押すと、再度、赤目検出を試みます。それでも【赤目を検出できません】と表示される場合は、それ以上の補正はできません。

8 補正後の画像を確認し、【OK】を押す

9 【+】 / 【-】 でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

 操作パネル上のダイヤルボタンで枚数を設定することもできます。

10 画面で設定を確認する



 記録紙のサイズや種類、画質などの設定を変更するときは、【印刷設定】を押します。

⇒ 176 ページ「設定を変えてプリントするには」

11 【スタート】を押す

画像の一部を切り取る（トリミング）

画像の中から必要な部分だけを切り取ってプリントできます。画像を回転させることもできます。

 画像のサイズが非常に小さい場合（縦横それぞれ 240 ピクセル未満）や縦横比が非常に大きい場合は、トリミングできないことがあります。

1 記録紙をトレイにセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットして、【デジカメプリント】を押す

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り  を押してください。

4 / で画面を送り、【こだわり印刷】を押す



5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

  /  を長押しすると画面を早送りすることができます。

6 【トリミング】を選んで、【OK】を押す

トリミングの範囲を示す赤枠が表示されます。この枠内がプリントされます。

7 枠の位置とサイズを決め、【OK】を押す



- 枠の位置： /  /  /  で移動
- 枠のサイズ： で拡大、 で縮小
- 枠の縦横： で入れ替え

8 トリミングした画像を確認し、【OK】を押す

9 【+】 / 【-】 でプリント枚数を入力し、【OK】を押す

 操作パネル上のダイヤルボタンで枚数を設定することもできます。

10 画面で設定を確認する

 記録紙のサイズや種類、画質などの設定を変更するときは、【印刷設定】を押します。
⇒ 176 ページ「設定を変えてプリントするには」

11 【スタート】を押す

補正とトリミングを同時に行う (お好み色補正&トリミング)

【お好み色補正】で画像を補正をしながら、同時に【トリミング】で画像を切り取ってプリントできます。

1 「画像の一部を切り取る（トリミング）」（183 ページ）の手順 ① ~ ⑤ を行う

2 【お好み色補正】と【トリミング】を選び、【OK】を押す

3 「色や明るさを補正する（お好み色補正）」（181 ページ）の手順 ⑦、⑧ を行う

4 「画像の一部を切り取る（トリミング）」（183 ページ）の手順 ⑦ ~ ⑪ を行う

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

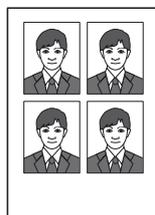
こんなときは

録付

証明写真プリントをする

【証明写真プリント】

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーから画像を選び、履歴書やパスポートなどで必要とされる証明写真サイズにプリントすることができます。選べるサイズは4種類あり、1枚につき同じ画像4枚が割り付けられます。



お願い

■ 証明写真プリントとトリミングを同時に行うことはできません。不要な部分は、パソコンやデジタルカメラなどであらかじめトリミングしてください。

1 記録紙をセットする

- ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」
- 光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
 - L判記録紙は、スライドトレイにセットしてください。

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットして、【デジカメプリント】を押す

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り  を押ししてください。

4 / で画面を送り、【証明写真プリント】を押す



5 プリントしたい画像を選ぶ

目的の画像が表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

  /  を長押しすると画面を早送りすることができます。

6 1枚あたりのサイズを選ぶ

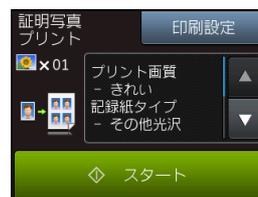
【30x24mm / 40x30mm / 45x35mm / 50x50mm】から選びます。

 L判またははがきサイズの記録紙にプリントする場合のみ、【50x50mm】を選ぶと、1枚（1x1）割り付けとなります。

7 選んだ画像を確認し、必要に応じて

 で画像の向きを変更して【OK】を押す

8 画面で設定を確認する



 色合いが悪い画像や赤目画像の場合は、補正もできます。【印刷設定】、【画像補正】の順に押し、【自動色補正】、【赤目補正】、【自動色補正&赤目補正】のいずれかを選んでください。

 記録紙のサイズや種類、画質などの設定を変更するときは、【印刷設定】を押します。設定変更をしない場合は、自動的に以下の設定でプリントされます。

- プリント画質：きれい
- 記録紙タイプ：その他光沢
- 記録紙サイズ：L判
- 画像補正：しない

9 【スタート】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を自動で順番に表示する

【スライドショー】

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像を画面上で一定間隔に送り、順番に見ることができます。プリントしたい画像が表示されたときに画面を押すと、途中でもプリント設定に進めます。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

1 メディアスロットカバーを開く

2 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットして、【デジカメプリント】を押す

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り  を押してください。

3 で画面を送り、【スライドショー】を押す



4 【切り替え時間】を押し、1枚あたりの表示時間を選ぶ

【3秒 / 10秒 / 30秒 / 1分 / 5分】から選びます。ここで設定した値は、次に選び直すまで有効です。お買い上げ時は、3秒に設定されています。

5 【開始】を押す

スライドショーが始まります。

6 終了するときは を押す

スライドショーの途中でプリントする

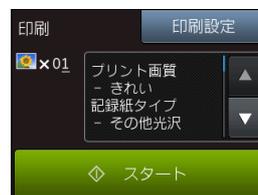
1 記録紙をセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

- 光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
- L判、はがき、ポストカードはスライドトレイにセットしてください。

2 スライド表示中、プリントしたい画像が表示されているときに、画面を押す

3 操作パネル上のダイヤルボタンで枚数を入力する



- 記録紙のサイズや種類、画質などの設定を変更するときは、【印刷設定】を押します。
⇒ 176 ページ「設定を変えてプリントするには」

4 【スタート】を押す

メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の画像をまとめてプリントする

メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの画像をまとめてプリントしたいときは、以下の手順で行います。

ただし、【全選択】で一度にプリント設定できるのは100枚までです。

1 記録紙をセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

- 光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。
- L判、はがき、ポストカードはスライドトレイにセットしてください。

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットして、【デジカメプリント】を押す

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押し、待ち受けから  /  で画面を送り  を押ししてください。

4 【かんたん印刷】を押す

メニューが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

5 【全選択】を押す



【全ての写真選択枚数を 1 枚にしますか？ / はい/いいえ】と表示されます。

6 【はい】を押す

100 枚目までの画像のプリント枚数がすべて 1 枚に設定されます。

 【全選択】を設定したあとでも、個別にプリント枚数を変更することができます。この場合は手順 6 のあとで、対象の画像を選び、表示される【-】 / 【+】で枚数を設定して【OK】を押します。

7 【OK】を押す

8 画面で設定を確認する



 記録紙のサイズや種類、画質などの設定を変更するときは、【印刷設定】を押します。
⇒ 176 ページ「設定を変えてプリントするには」

9 【スタート】を押す

選択されたすべての画像がプリントされます。

PictBridge 機能を使ってデジタルカメラから直接プリントする

本製品は PictBridge に対応しています。PictBridge 対応のデジタルカメラと本製品を USB ケーブルで接続して、直接写真をプリントします。

PictBridge とは

PictBridge は、デジタルカメラやデジタルビデオカメラ、スマートフォンなどのカメラ付き携帯端末で撮影した写真を、パソコンを使わずに直接プリントするための規格です。PictBridge に対応した機器であれば、メーカーや機種を問わず、本製品と接続して写真をプリントできます。

PictBridge に対応しているデジタルカメラには、以下のロゴマークがついています。



重要

■ PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

🔌 PictBridge 使用中はメモリーカードの使用はできません。

🔌 本製品は、動画を 9 分割画像にしてプリントすることができますが、PictBridge ではこの機能は使用できません。

デジタルカメラで行う設定について

本製品で PictBridge 機能を使う場合は、デジタルカメラで以下の設定ができます。設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

設定項目	設定内容
記録紙サイズ	A4、10 × 15cm、L 判、2L 判、ハガキ
記録紙タイプ	普通紙、光沢紙、インクジェット紙
DPOF 印刷 ^{*1}	する、しない、プリント枚数、日付
プリント品質	標準、高画質
画質補正	する、しない
日付印刷	する、しない

^{*1} DPOF とは、デジタルカメラの記録フォーマットの一つで、撮影した画像のプリントに関する規格です。プリントする写真の選択やプリント枚数の指定をデジタルカメラ側で行えます。DPOF を使用すると、プリントしたい写真や枚数を本製品で指定する必要がありません。

🔌 設定項目や設定内容は、お使いのデジタルカメラによって異なります。詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。デジタルカメラから設定ができない場合や、デジタルカメラでプリンター側の設定を優先するように設定した場合は、以下の設定でプリントされます。

- 記録紙サイズ：L 判
- ふちなし印刷：する
- 記録紙タイプ：その他光沢紙
- プリント画質：きれい
- 日付印刷：しない

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

写真をプリントする

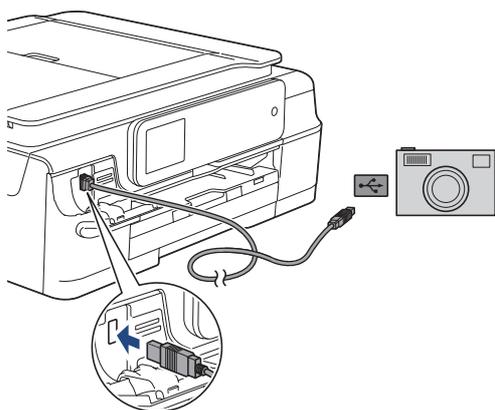
お願い

- PictBridge 使用中は、ファクスの送信ができません。プリントが終了してからファクス操作をしてください。
- PictBridge を使用する前に、本製品にメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがセットされていないことを確認してください。

1 デジタルカメラの電源を切る

2 本製品とデジタルカメラを USB ケーブルで接続する

本製品前面にある、PictBridge ケーブル差し込み口に USB ケーブルを接続します。



重要

- PictBridge ケーブル差し込み口には、PictBridge 対応のデジタルカメラおよび USB フラッシュメモリー以外を接続しないでください。本製品が破損する恐れがあります。

3 デジタルカメラの電源を入れ、プリント設定をする

設定方法については、デジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

- 🔧 デジタルカメラから設定ができない場合は、固定の設定でプリントされます。詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 187 ページ「デジタルカメラで行う設定について」

4 デジタルカメラからプリントを実行する

設定した内容で写真がプリントされます。

お願い

- プリントが終了するまで、USB ケーブルを抜かないでください。

5 デジタルカメラの電源を切り、USB ケーブルを抜く

DPOF を使用する

DPOF 設定を行ったメモリーカードをデジタルカメラから取り出して本製品にセットします。操作方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 175 ページ「DPOF を使用する場合」

スキャンしたデータをメディアに保存する

その他の機能

本製品でスキャンした画像を、パソコンを使用せずにメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できます。TIFF ファイル形式 (.TIF) または PDF ファイル形式 (.PDF) を選ぶと、複数枚の原稿を 1 つのファイルにまとめて保存できます。

スキャンした画像をメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存する

1 原稿をセットする

⇒ 63 ページ「原稿をセットする」

 ADF (自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWN のみに搭載) には、A6 サイズ以下の原稿はセットできません。

2 メディアスロットカバーを開く

3 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットして、【スキャン：メディア】を押す

すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、次のように操作してください。

- (1)  を押して待ち受け画面に戻る
- (2)  を押す
- (3)  /  で画面を送り、【メディア】を押す

4 【設定変更】を押す



5 【カラー設定】を押し、カラーを選ぶ

【カラー／モノクロ】から選びます。

キーが表示されていないときは、 /  を押して画面を送ります。

6 【解像度】を押し、解像度 (1 インチあたりのドット数) を選ぶ

【100 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 600 dpi / 自動】から選びます。

7 【ファイル形式】を押し、保存するファイル形式を選ぶ

ファイル形式は以下から選びます。

- 手順 5 で、カラーを選んだ場合
【PDF / JPEG】
- 手順 5 で、モノクロを選んだ場合
【TIFF / PDF】

8 スキャンする原稿サイズを設定する

- 【スキャンサイズ】
セットした原稿のサイズを【A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判 / 名刺 (90x60mm)】から選びます。
- 【ADF 長尺原稿モード】(MFC-J897DN/J897DWN のみ)
ADF (自動原稿送り装置) を使って、A4 の長辺より長い原稿をスキャンしたいときに、【オン】に設定します。設定すると、【スキャンサイズ】の設定値に関係なく、幅は A4 短辺、長さは原稿の長さに応じて読み取られます。

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

9 【ファイル名】を押し、保存するファイルの名前を入力し、【OK】を押し

ファイル名は6文字以内で入力します。

※あらかじめ、スキャンする日付が入力されています。また、ファイル名の末尾には、自動的に通し番号が追加されます。

例) 2014年5月3日にスキャンすると、ファイル名は「140503XX」(「XX」は通し番号)になります。

※ファイル名に漢字・ひらがな・カタカナを使うことはできません。アルファベット、数字、記号で付けてください。

※間違って入力した場合は、 を押し、消去します。

10 必要に応じて【地色除去】を設定する

【オフ/弱/中/強】から選びます。

スキャンする原稿の地色(用紙色または背景色)を消したいときに設定します。お買い上げ時は、【オフ】に設定されており、地色が残された状態で保存されます。

11 【OK】を押し

12 【スタート】を押し

ADF(自動原稿送り装置)に原稿をセットしたとき(MFC-J897DN/J897DWNのみ)は、スキャンが開始されます。操作は終了です。

原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、1枚目の原稿の読み取り後、【メディアを抜かないでください 次の原稿はありますか?/はい/いいえ】と表示されます。

- 読み取る原稿が1枚の場合⇒手順15へ
- 読み取る原稿が複数枚の場合⇒手順13へ

13 【はい】を押し

【次の原稿をセットして【OK】を押し、ください】と表示されます。

【次の原稿をセットして【OK】を押し、ください】と表示されたあと、 を押し、それまでに読み取っていたスキャンデータは次のようになります。

- PDF、TIFF形式の場合は、すべて消去され、保存されません。
- JPG形式の場合は、最後に読み取ったスキャンデータは消去され、それ以前のデータは保存されます。

操作しないで放置した場合は、約1分後に、PDF、TIFF、JPG形式のいずれの場合も、それまでに読み取っていたスキャンデータを保存して自動的に終了します。

14 原稿台ガラスに次の原稿をセットして、【OK】を押し

すべての原稿を読み取るまで、手順13、14を繰り返します。

15 すべての原稿をスキャンしたら、【いいえ】を押し、スキャンを終了する

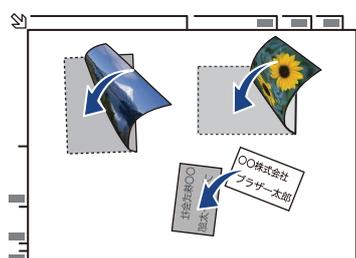
重要

■ アクセス中は、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーの抜き差しをしないでください。データやメモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーを壊す恐れがあります。

-  本製品をスキャナーとして使う操作については、下記をご覧ください。
 - Windows®の場合
⇒ユーザーズガイドパソコン活用編「Windows®編」-「スキャナーとして使う前に」
 - Macintoshの場合
⇒ユーザーズガイドパソコン活用編「Macintosh編」-「スキャナーとして使う前に」
-  パソコンでPDFファイルを開覧するには、Adobe® Reader®などのPDF閲覧ソフトが必要です。

複数の原稿を一度にスキャンする (おまかせ一括スキャン)

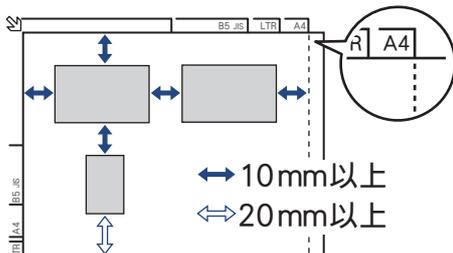
複数の原稿を一度にスキャンして、メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリーに保存します。



(1) 原稿をセットする

下記に注意して原稿をセットしてください。

- すべての角が直角 (90°) の四角形の原稿のみスキャンできます。
- 下記の範囲を空けてセットしてください。
左、奥：原稿台ガラスの端から 10mm 以上
右：A4 サイズのガイド線から 10mm 以上
手前：原稿台ガラスの端から 20mm 以上
- 原稿の間隔を 10mm 以上空けてください。
- 原稿が 10° 以上傾いていると、スキャンできないことがあります。
- 短辺に対して長辺が長すぎると、スキャンできないことがあります。
- 一度にスキャンできる原稿の枚数はサイズによって異なりますが、最大 16 枚 (名刺は 8 枚) です。
- (MFC-J897DN/J897DWN) ADF (自動原稿送り装置) からおまかせ一括スキャンはできません。



- (2) メディアスロットカバーを開く
- (3) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットして、【スキャン：メディア】を押す
すでにセットされていて、ほかのモードで使用していたときは、 を押して待ち受け画面に戻り、、【メディア】を押します。
- (4) 【設定変更】を押す
- (5) 【おまかせ一括スキャン】を押す
キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。
- (6) 【オン】を押す
- (7) 【OK】を押す
- (8) 【スタート】を押す
◆読み取られた原稿の枚数が画面に表示されます。
- (9) 【OK】を押す
◆スキャン結果が画面に表示されます。
※◀/▶で前後の画像を確認できます。
- (10) 【全て保存】を押す
◆メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにデータが保存されます。
- (11) を押して操作を終了する

※「おまかせ一括スキャン」機能は、Reallusion Inc. の技術を使用しています。



1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

設定を保持する

- (1) メディアスロットカバーを開く
 - (2) メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットして、【スキャン：メディア】を押す
 - (3) 【設定変更】を押す
 - (4) 初期値にしたい設定に変更する
キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。
 - (5) ▼/▲で画面を送り、【設定を保持する】を押す
◆【設定を保持しますか？ / はい / いいえ】と表示されます。
 - (6) 【はい】を押す
◆変更した設定が初期値として登録されます。
- ※手順 (3) のあと、手順 (5) に進み【設定をリセットする】を選ぶと、いったん保持した設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
- (7)  を押して設定を終了する

第 8 章

こんなときは

本章では、主に日常のお手入れやトラブル発生時の対処方法について説明しています。本製品の使いかた、機能の設定 / 解除方法については、「付録」の「機能一覧」でご確認いただき、目的に応じたページまたはマニュアルをお読みください。

日常のお手入れ

本製品が汚れたら	194
複合機本体	194
タッチパネルを清掃する	194
外側を清掃する	194
スキャナー（読み取り部）を清掃する	195
給紙ローラーを清掃する	196
排紙ローラーを清掃する	198
本体内部を清掃する	199
子機 / 子機充電器 / 通信ボックス	200
インクがなくなったときは	201
インクカートリッジを交換する	202
インク残量を確認する	204
子機のバッテリーを交換するときは	205

困ったときは

紙が詰まったときは	207
MFC-J827DN/J827DWN をご利用の場合	207
記録紙が詰まったときは	207
紙づまりが解消しないときは	210
MFC-J897DN/J897DWN をご利用の場合	213
記録紙が詰まったときは	213
紙づまりが解消しないときは	216
原稿が ADF（自動原稿送り装置）に詰まったとき （MFC-J897DN/J897DWN）	219
ADF（自動原稿送り装置）内部に詰まった場合	219
吸い込み口付近に詰まった場合	219
紙片が詰まった場合	219
ディスクが詰まったときは（MFC-J897DN/ J897DWN）	220
【記録ディスクが詰まっています 前】と 表示されたとき	220
【記録ディスクが詰まっています 後】と 表示されたとき	220
印刷品質が良くないときは	222
定期メンテナンスについて	222
プリントヘッドをクリーニングする	222
記録紙のうら面が汚れるときは	222
印刷テストを行う	223
印刷品質をチェックする	223
印刷位置のズレをチェック / 補正する	224
画面にメッセージが表示されたときは	225
複合機本体のメッセージ	225
エラーが発生したときのファクスの転送方法	233
子機のメッセージ	234

故障かな？と思ったときは （修理を依頼される前に）	236
動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）	257
複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかない ときは	258
通信ボックスとの接続を確認する	258
通信ボックスと複合機本体の接続をお買い上げ時の 状態に戻す（通信ボックスの再接続）	258
通信や通話がうまくいかないときに回線環境を 改善する	259
特別な回線に合わせて設定する	259
安心通信モードに設定する	260
ダイヤルトーン検出の設定をする	261
回線状況に応じて通話音質を設定する	262
初期状態に戻す	263
目的別に初期化する	264
初期化内容一覧	265
初期化のしかた	266
複合機本体	266
通信ボックスで全設定リセットする	267
子機の電話帳 / 履歴を消去する	267
こんなときは	268
最新のドライバーやファームウェアをサポート サイトからダウンロードして使うときは	268
本製品のファームウェアのバージョンを 調べるには	268
子機を増設する / 登録抹消する	269
停電になったときは	269
本製品のシリアルナンバーを確認する	270
本製品の設定内容や機能を確認する	270
本製品を輸送するときは	271
本製品を廃棄するときは	271

本製品が汚れたら

日常のお手入れ

本製品が汚れたときは、必要に応じて以下のようにお手入れを行ってください。

複合機本体

タッチパネルを清掃する

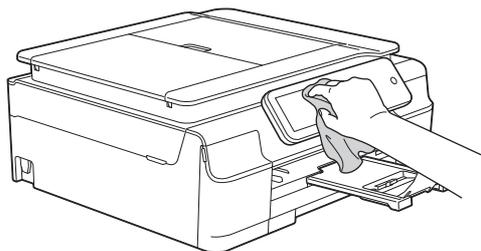
重要

- 液体の洗浄剤は使用しないでください。タッチパネルの故障の原因となります。

お願い

- タッチパネルを清掃するときは、誤動作を避けるため本製品の電源をオフにしてください。

乾いた柔らかい布でタッチパネルを軽く拭いてください。

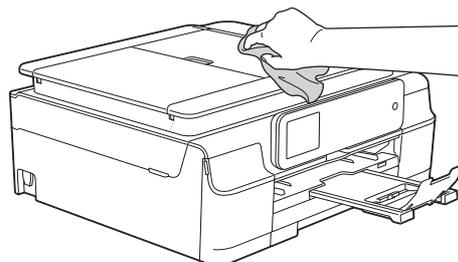


外側を清掃する

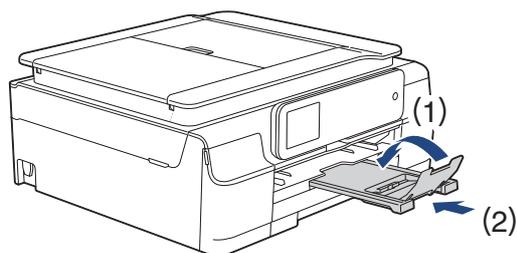
警告

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

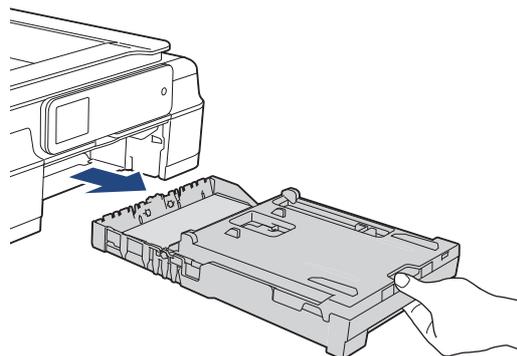
- 1 柔らかくて繊維の出ない乾いた布で複合機本体を軽く拭く



- 2 記録紙ストッパーが引き出されている場合は、フラップを閉じて (1)、格納する (2)



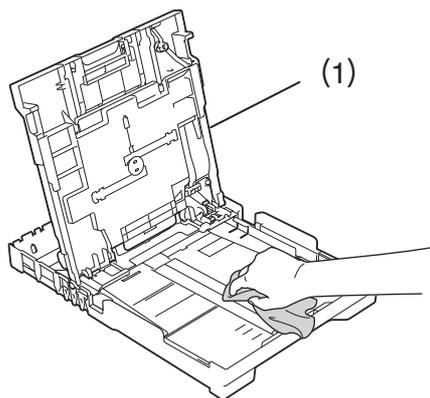
- 3 記録紙トレイを引き出す



4 トレイカバー (1) を開けて記録紙トレイから記録紙を取り除き、記録紙トレイの内側、外側を軽く拭く

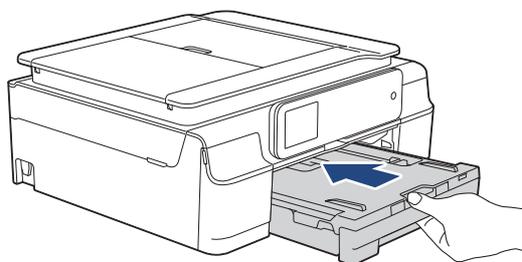
！ 注意

- トレイカバーが倒れて、指をはさまないようにご注意ください。
- トレイカバーが倒れないよう、平らな場所で行ってください。



5 トレイカバーを閉じて、記録紙トレイを元に戻す

記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。



スキャナー (読み取り部) を清掃する

スキャナー (読み取り部) が汚れていると、ファクス送信時やコピー時の画質が悪くなります。きれいな画質を保つために、こまめにスキャナー (読み取り部) を清掃してください。

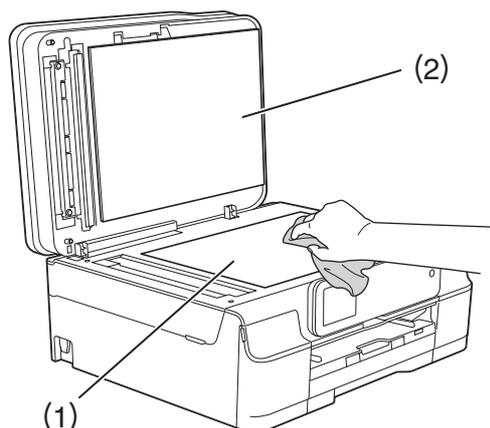
！ 警告

- 可燃性スプレー、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤や、アルコールを使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 原稿台カバーを開けて、読み取り部を拭く

水を含ませて固く絞った柔らかい布で、原稿台ガラス (1)、原稿台カバーのプラスチック面 (2) を拭いてください。



1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

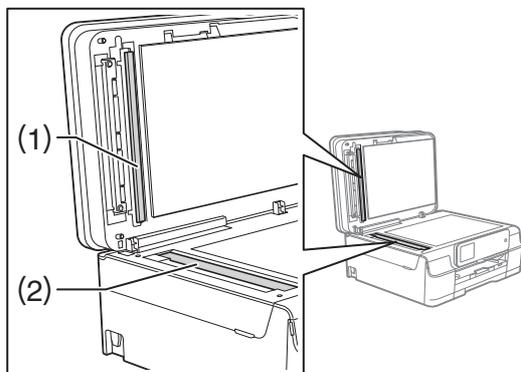
デジタルプリント

こんなときは

付録

3 (MFC-J897DN/J897DWNのみ) ADF (自動原稿送り装置) の原稿読み取り部を拭く

原稿台カバー内側の白く細長い部品 (1) と原稿台ガラス上の読み取り部 (2) を拭いてください。



お願い

■ コピーで黒い細い線が入るときには、ADF 読み取り部 (2) を清掃してください。このガラス面に (ボールペンのインクや修正液などの) 汚れが付着していると思われるので、念入りに拭いてください。

汚れが見えない場合は、ADF 読み取り部のガラスを手で触って凹凸を確認し、その部分をオーディオ用クリーニング液 (イソプロピルアルコール) などを含ませた柔らかい布で念入りに拭いてください。

清掃後、ADF (自動原稿送り装置) からコピーを行って、黒い線が消えていることを確認してください。

4 原稿台カバーを閉じる

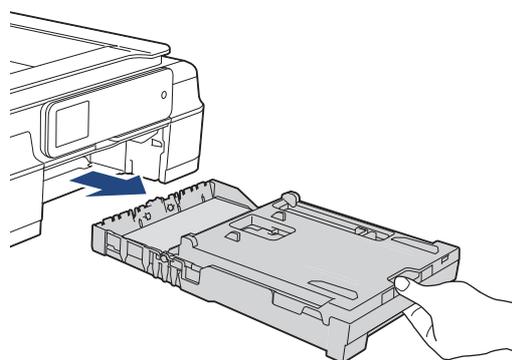
5 電源プラグをコンセントに差し込む

🔧 清掃には、無水エタノール、OA クリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD 用レンズクリーナーも使用できません。

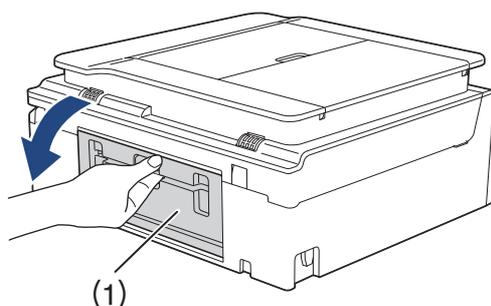
給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーが汚れていると、記録紙のおもて面が汚れたり給紙されにくくなったりします。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る
- 3 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す

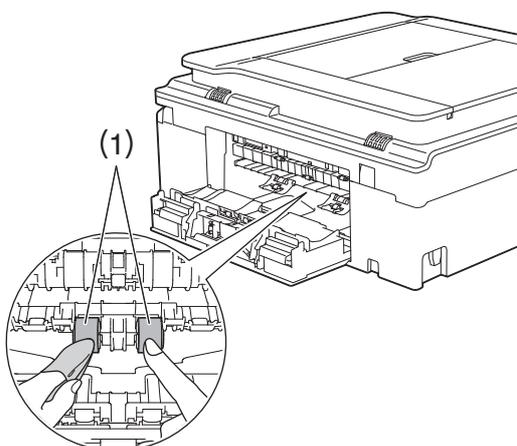


4 複合機本体の背面の紙づまり解除カバー (1) を開く



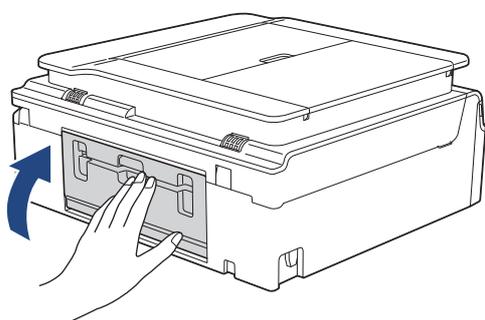
5 給紙ローラー (1) を拭く

一方のローラーを縦方向にゆっくりと回転させながら、もう一方のローラーを横方向に拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。もう一方も同様にして左右のローラーを拭いてください。



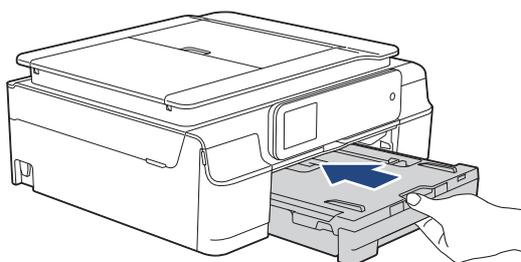
6 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。



7 記録紙トレイを元に戻す

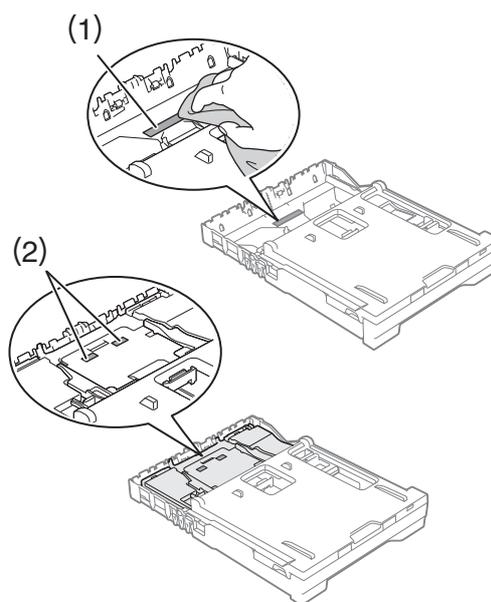
記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。



8 電源プラグをコンセントに差し込む

記録紙が重なって給紙されてしまうときは

記録紙の残りが少なくなってきたときに、記録紙が重なって給紙されてしまうときは、水にぬらして固く絞った柔らかくて繊維の出ない布で、記録紙トレイのコルク部分 (1) とスライドトレイのコルク部分 (2) を拭いてください。そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分をよく拭き取ります。



ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

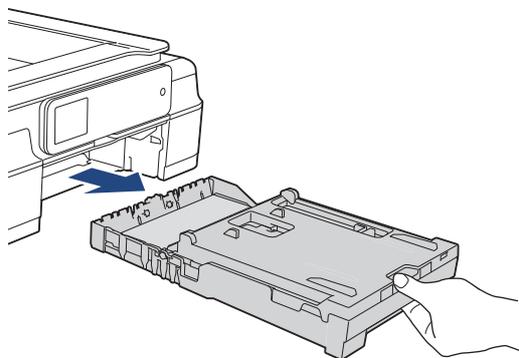
こんなときは

付録

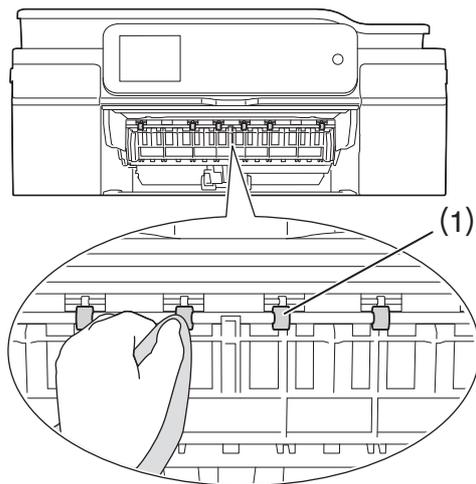
排紙ローラーを清掃する

排紙ローラーが汚れていると、記録紙が排出されなかったり、自動両面印刷（MFC-J897DN/J897DWNのみに搭載の機能）ができなくなったりします。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞る
- 3 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す

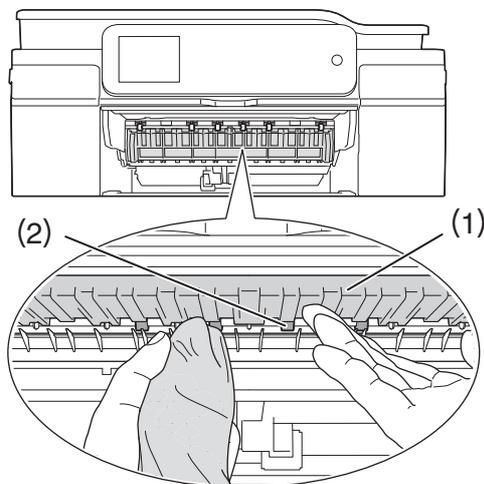


- 4 排紙ローラー (1) を拭く
そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。



- 5 フラップ (1) を手前に持ち上げて排紙ローラー (2) の裏側を拭く

そのあと、柔らかくて繊維の出ない乾いた布で水分を拭き取ってください。



- 6 記録紙トレイを元に戻す
記録紙トレイをゆっくりと確実に本製品に戻します。
- 7 電源プラグをコンセントに差し込む

重要

- ローラーが完全に乾くまで、本製品を使用しないでください。ローラーが湿った状態で印刷すると、紙づまりやその他不具合の原因になります。

本体内部を清掃する

記録紙のうら面が汚れる場合は、本製品内部で記録紙を支えるプラテンと呼ばれる部品が汚れていることが考えられます。



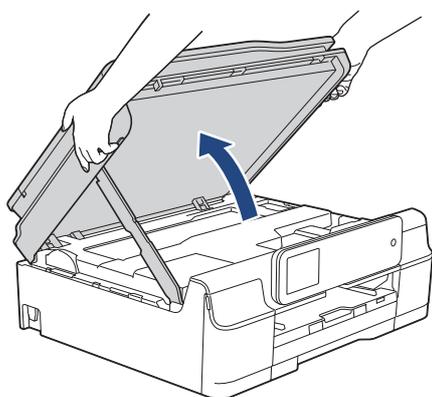
警告

- 内部を清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。電源プラグを差したまま清掃すると感電する恐れがあります。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 両手で複合機の本体カバーを開く

本体カバーは保持される位置まで上げてください。

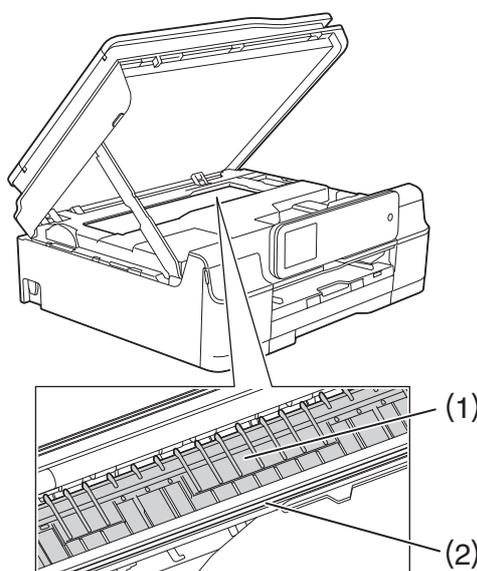


3 柔らかくて繊維の出ない布を水にぬらして固く絞り、プラテン (1) を軽く拭く

インクがプラテン周囲に飛び散っている場合は、柔らかくて繊維の出ない乾いた布でていねいに拭き取ってください。

重要

- エンコーダーフィルム (半透明なフィルム) (2) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

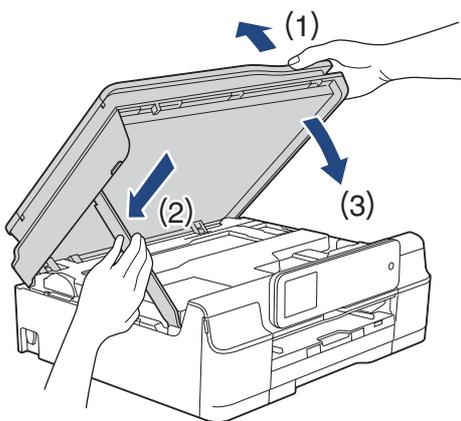
付録

4 プラテンが完全に乾いたことを確認して、本体カバーを閉じる

注意

- 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

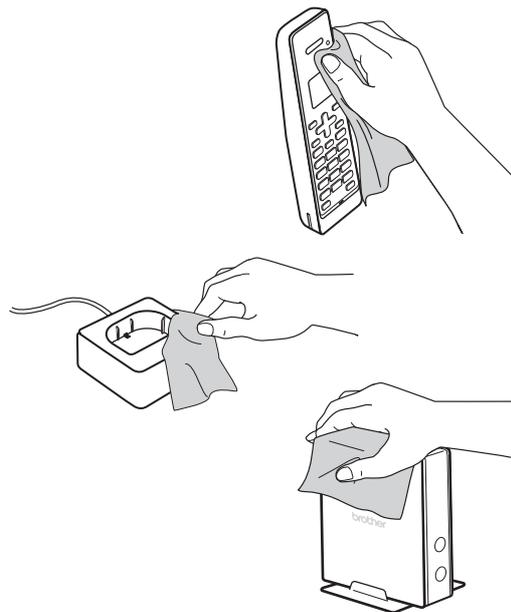
本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し (1)、カバーサポートをゆっくり押し (2)、本体カバーを両手で閉めます (3)。



5 電源プラグをコンセントに差し込む

子機 / 子機充電器 / 通信ボックス

- 1 子機は子機充電器から外す
- 2 通信ボックス、子機充電器の電源プラグを抜く
- 3 それぞれを乾いた柔らかい布で拭く



- 4 通信ボックス、子機充電器の電源プラグをコンセントに差し込む
- 5 子機を戻す

インクがなくなったときは

本製品は、インクカートリッジの残量が少なくなると自動的に下記のメッセージを表示し、インクカートリッジの交換時期をお知らせします。

インクの残りが少なくなったときはできるだけ早くインクカートリッジをお求めいただくことをお勧めします。

- インクの残りが少なくなったとき：【まもなくインク切れ】
- インクがなくなったとき：【印刷できません インク交換】

☞ 【モノクロ印刷のみ可能】または【モノクロ片面印刷のみ可能】と表示されているときは、一定期間に限りブラックインクでモノクロ印刷を続けることができます。この状態で印刷をする場合、次のことにご注意ください。

- パソコンから印刷をする場合は、印刷設定時、用紙種類を [普通紙]、カラーを [モノクロ] に設定する必要があります。
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」または「Macintosh 編」－「印刷の設定を変更する」
- 記録紙タイプは、コピーの場合は【普通紙】に、ファクスの場合は【普通紙】または【インクジェット紙】に設定されている必要があります。

ただし、次の場合はモノクロでも印刷ができません。

- 空のインクカートリッジを取り外した場合
- ブラックインクがなくなったとき
- パソコンからの印刷時、印刷設定の [基本設定] 項目の中の [乾きにくい紙] にチェックをしている場合（パソコン、複合機本体のそれぞれでいったん印刷を中止し、[乾きにくい紙] のチェックを外せば、印刷ができるようになります。）

☞ 本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷をしていなくてもインクが消費されます。

☞ 必要なときに、インク残量を確認することもできます。

⇒ 204 ページ「インク残量を確認する」

☞ インクカートリッジは、それぞれの機種に対応したカートリッジをお買い求めください。お近くの販売店で交換用の純正インクカートリッジが手に入らないときは、弊社ダイレクトクラブでご注文ください。

⇒ 314 ページ「消耗品」

⇒ 319 ページ「消耗品などのご注文について」

インクカートリッジを交換する

画面に【印刷できません インク交換】と表示されたら、新しいインクカートリッジに交換します。

⚠ 注意

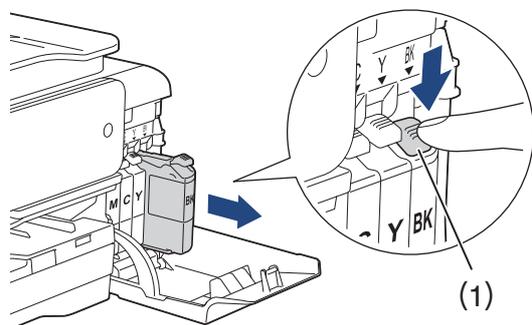
- 誤ってインクが目に入ってしまったときは、すぐに水で洗い流してください。インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。もし、炎症などの症状があらわれた場合は、医師にご相談ください。

重要

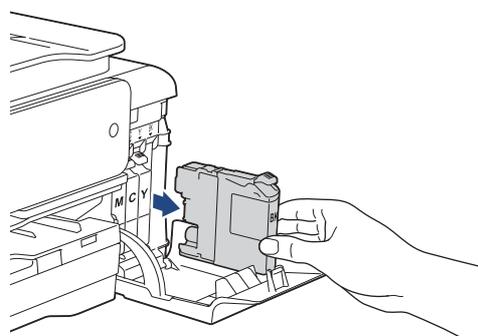
- インクカートリッジを分解しないでください。インク漏れの原因になります。
- 開封したインクカートリッジは、6ヶ月以内に使い切ることをお勧めします。(6ヶ月を超えてのご使用は、水分が蒸発しインクの粘度が高まるため、吐出不良の恐れがあります。)
- 純正以外のインクを使用したことによる不具合は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。
- インクを補充して使うことは、プリントヘッドの目詰まりや、プリントヘッドの故障の原因となる恐れがあります。また、インクの補充に起因して発生した故障は、本製品が保証期間内であっても有償修理となります。

1 インクカバーを開く

2 なくなった色のリリースレバー (1) を押し下げる

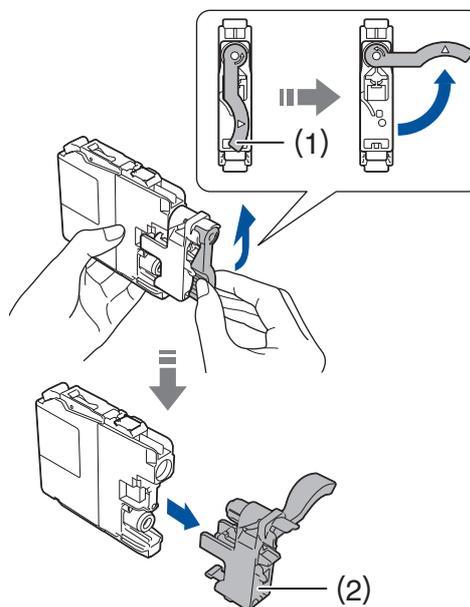


3 インクカートリッジを取り出す



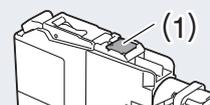
4 新しいインクカートリッジを準備する

インクカートリッジの緑色の取っ手 (1) を反時計回りに回転させて封印を開放し、オレンジ色の保護カバー (2) を引き抜きます。



重要

- インクカートリッジの基板 (1) に触れないでください。本製品がインクカートリッジを検知できなくなる恐れがあります。

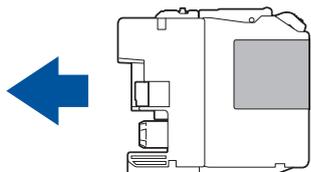


5 新しいインクカートリッジを取り付ける

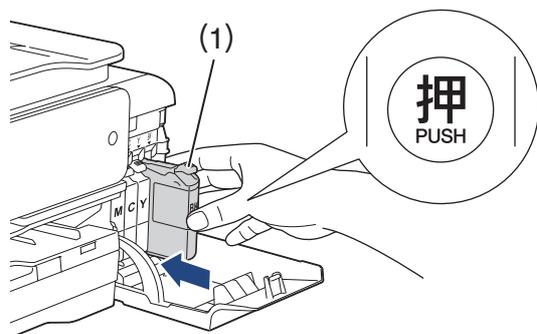
重要

- インクカートリッジは色によってセットする位置が決まっています。間違った位置にセットするとエラーになり印刷できません。表示に従って正しい位置にセットしてください。

インクカートリッジのラベルに、挿入方向を示す矢印とインク色が印刷されています。



リリースレバー (1) が上がるまで、「押」の部分を押し込みます。



6 インクカバーを閉じる

インク交換を行った場合は、【インクを交換しましたか / (交換したインク色) / はい / いいえ】と表示されることがあります。次の手順に進んでください。

7 【はい】を押す

内蔵カウンターがリセットされます。

お願い

- 画面に【インクを交換しましたか / (交換したインク色) / はい / いいえ】と表示されたときは、必ず、【はい】を押してください。【いいえ】を押すと本製品の内蔵カウンターがリセットされず、インクの残量を正しく把握できなくなることがあります。
- 【インクカートリッジがありません】【インクを検知できません】と表示されたときは、インクカートリッジをセットし直してください。
⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

インクカートリッジを捨てるときは

使用済みのインクカートリッジは、インクが飛び散らないように注意し、地域の規則に従って廃棄してください。(インクカートリッジに貼られているラベルは、剥がす必要はありません。) また、弊社では使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。
⇒ 319 ページ「インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内」

1 使用の前に

電話

フックス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

インク残量を確認する

【インク残量】

以下の手順でインク残量を確認できます。

1 待ち受け画面の (1) を押す



(1)

ボタンには現在のインク残量の目安が表示されています。

2 【インク残量】 を押す

インク残量が表示されます。

-   【メニュー】、【インク】、【インク残量】を押しても確認できます。
-  インク残量が減ったり、インクカートリッジに問題がある場合は、次のようなアイコンが表示されます。
 -  (インク残量が少ない)
 -  (インクカートリッジが空)
 -  (インクカートリッジに問題あり)

3 を押して確認を終了する

-  パソコンからも本製品のインク残量を確認できます。詳しくは、下記をご覧ください。
 - Windows® の場合
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況やインク残量を確認する (ステータスマニター)」
 - Macintosh の場合
⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編「印刷状況を確認する (ステータスマニター)」

子機のバッテリーを交換するときは

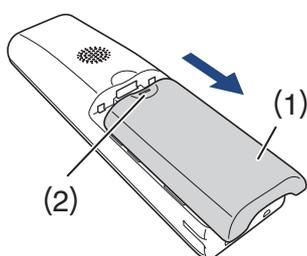
子機を充電しても使える時間が短くなってきたら、バッテリーを交換してください。使用のしかたにもよりますが、交換の目安は約1年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT30）は、本製品をお買い上げの販売店で買い求めください。

⚠ 危険

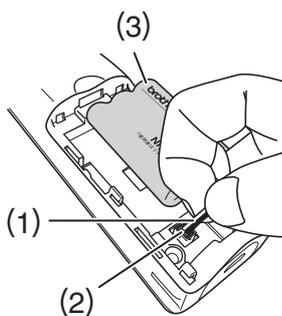
- バッテリーは、誤った取り扱いをしないようご注意ください。必ず、別冊の「安全にお使いいただくために」の「バッテリーの取り扱い」をお読みください。

1 バッテリーカバー（1）を外す

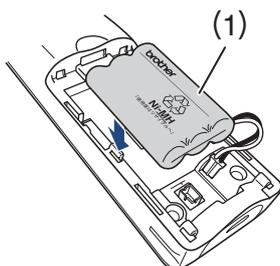
バッテリーカバーのくぼみ部分（2）を押しながら、矢印の方向へずらします。後端部を持ち上げて、バッテリーカバーを外します。



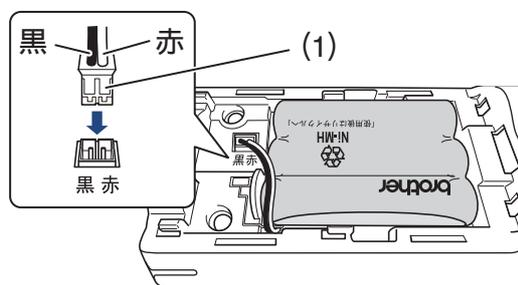
2 バッテリーコード（1）の根元を持ってコネクタ（2）を引き抜き、バッテリー（3）を取り出す



3 新しいバッテリー（1）を子機に入れる

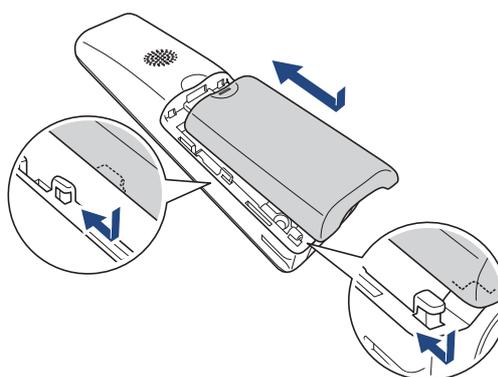


4 バッテリーコードの黒 / 赤の方向が刻印に一致するように、コネクタ（1）を差し込む



5 バッテリーカバーを閉める

コードをはさまないように注意してください。



バッテリーを交換したら、必ず12時間以上充電してください。

使用前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

お願い

■ バッテリーには充電式ニッケル水素電池を使用しています。不要になったニッケル水素電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、充電式電池のリサイクル協力店にお持ちください。

- ビニールカバーは、剥がさないでリサイクル箱へ
- 分解しないでリサイクル箱へ

■ 使用済み電池の届け出先は、206 ページをご覧ください。



Ni-MH

使用済み電池の届け出

使用済みの製品から取り外した電池のリサイクルに関しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼ってからポリ袋に入れて、以下の回収拠点にお届けください。

(1) ご家庭でご使用の場合

最寄りの「リサイクル協力店」に設置した充電式電池回収BOXに入れてください。「リサイクル協力店」のお問い合わせは、下記へお願いします。

- 一般社団法人 JBRC
ホームページ：<http://www.jbrc.com>
- 社団法人 電池工業会
ホームページ：<http://www.baj.or.jp>
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

(2) 事業所でご使用の場合

弊社の回収拠点へ届け出ください。回収拠点のお問い合わせは、下記へお願いします。

- ブラザー販売（株） 東京事業所
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-3-8
電話：03-3272-0351
- ブラザー販売（株） 関西事業所
〒564-0045 大阪府吹田市金田町 28-21
電話：06-6310-8863
- ブラザー販売（株） ブラザーコールセンター（お客様相談窓口）
※ブラザーコールセンターの詳細については、裏表紙をご覧ください。

紙が詰まったときは

困ったときは

重要

- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは必ず電源プラグを抜いてください。また、プリントヘッドの損傷を避けるために紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

お願い

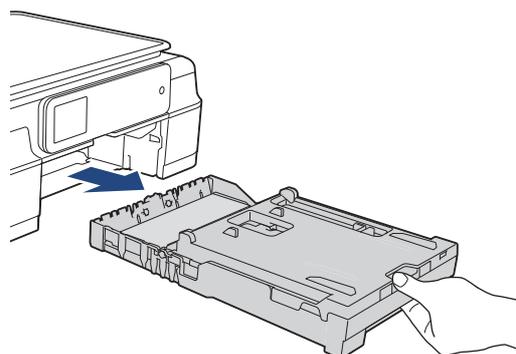
- 何度も紙が詰まるときは…。
 - 紙の曲がりや反りを直して使用してください。
⇒ 52 ページ「専用紙・推奨紙」
 - 給紙ローラーを清掃してください。
⇒ 196 ページ「給紙ローラーを清掃する」
 - 紙づまり解除カバーがしっかりと閉じられていることを確認してください。
MFC-J827DN/J827DWN
⇒ 207 ページ「MFC-J827DN/J827DWN をご利用の場合」手順 11
MFC-J897DN/J897DWN
⇒ 213 ページ「MFC-J897DN/J897DWN をご利用の場合」手順 9
 - 紙の切れ端、クリップなどの異物が内部に残っていないかどうか、記録紙トレイを抜いて確認してください。
 - 記録紙が使用できないものである可能性があります。ブラザー純正の専用紙、推奨紙をお使いになることをお勧めします。
⇒ 52 ページ「専用紙・推奨紙」
- メッセージに従って対処してもエラーメッセージが消えないときは、電源プラグを抜き差ししてみてください。

MFC-J827DN/J827DWN をご利用の場合

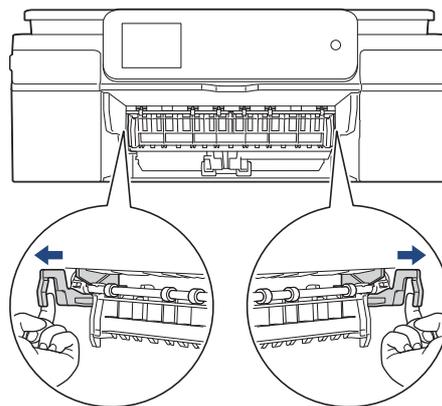
記録紙が詰まったときは

記録紙が詰まると、画面に【記録紙が詰まっています】とメッセージが表示されます次の手順で記録紙を取り除いてください。

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す



- 3 複合機本体の内側に正面から手を入れ、両端にある緑色のレバーを手前に引く



ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

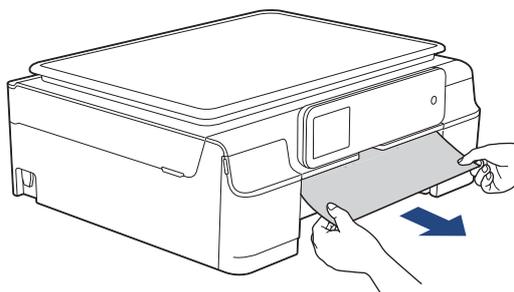
デジタルプリント

こんなときは

付録

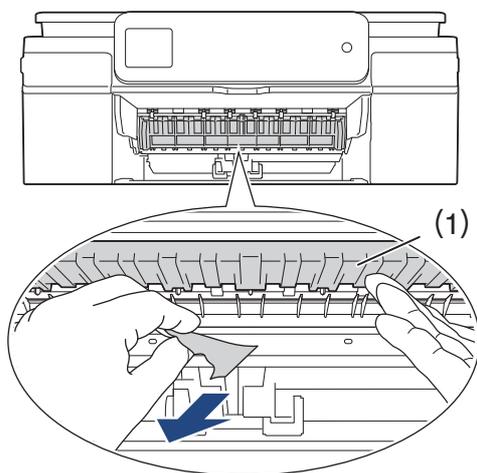
4 挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

紙が破れないように静かに抜き取ります



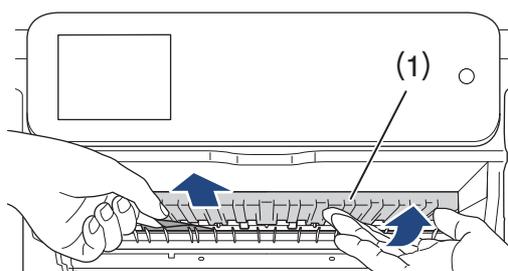
5 フラップ (1) を持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



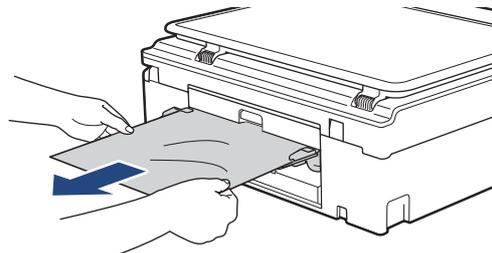
6 複合機本体の内部やフラップ (1) の上下に紙片が残っていないかを確認する

紙片が残っていたら、破れないように静かに抜き取ります。

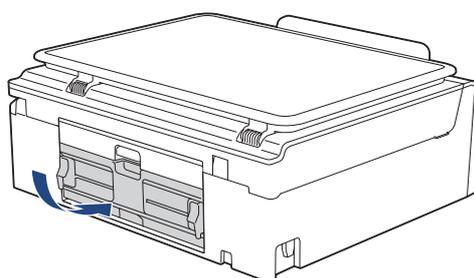


7 手差しトレイを使用している場合は、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。

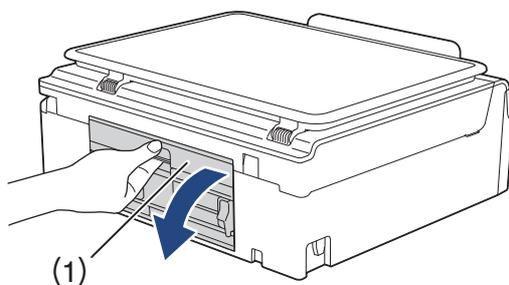


8 手差しトレイを閉じる



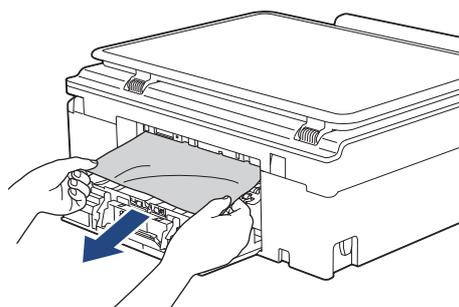
9 複合機本体背面の紙づまり解除カバー (1) を開く

中央のレバーをつまんで、手前に引いて開きます。



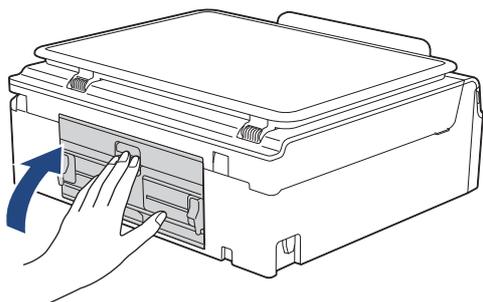
10 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



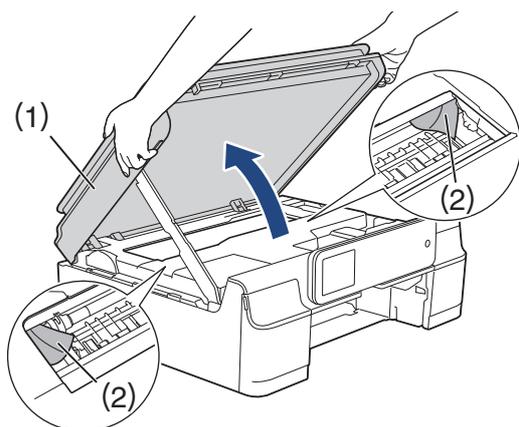
11 紙づまり解除カバーを閉じる

カバーを押して確実に閉じてください。

**12 両手で複合機の本体カバー (1) を開いて、内部に記録紙 (2) が残っていないかを確認する**

本体カバーは保持される位置まで上げてください。

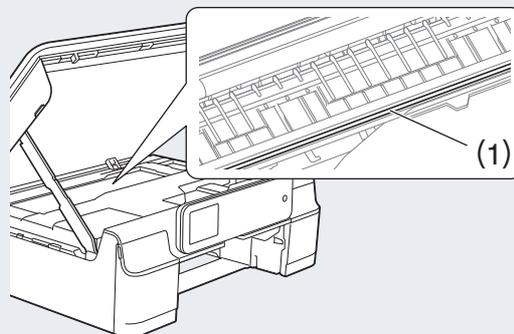
残っている記録紙があれば、破れないように静かに抜き取ります。

**注意**

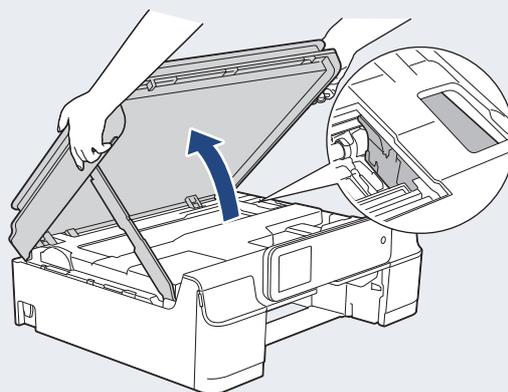
- 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

重要

- エンコーダーフィルム (半透明なフィルム) (1) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



- 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、複合機本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、複合機本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。
- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは必ず電源プラグを抜いてください。また、プリントヘッドの損傷を避けるために紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。
- プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



- (1)電源プラグが差し込まれたままの状態、**✗**を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。
- (2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く
- (3)複合機の本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
複合機本体の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

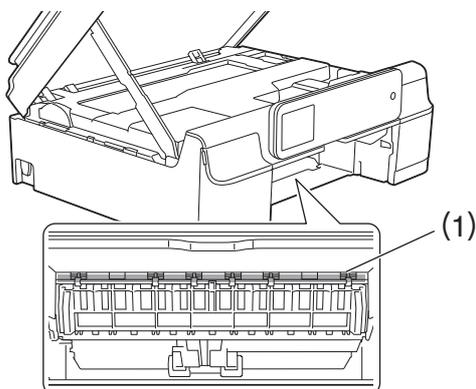
コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

- 13** 複合機本体の前面から内部 (1) をよく見て、他に紙片が詰まっていないかを確認する

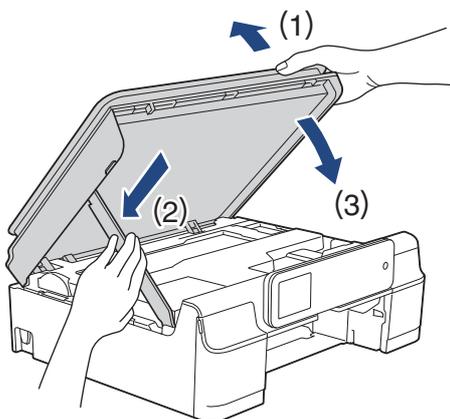


- 14** 複合機の本体カバーを閉じる

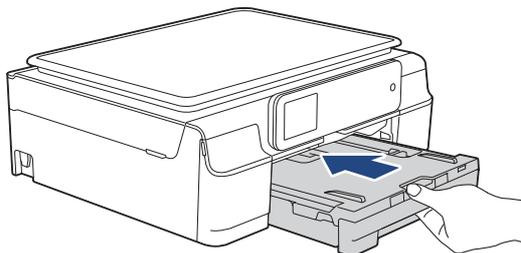
注意

- 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し (1)、カバーサポートをゆっくり押して (2)、本体カバーを両手で閉じます (3)。

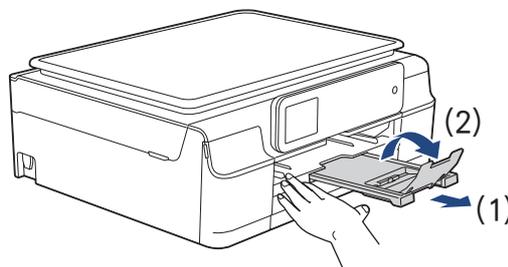


- 15** 記録紙トレイを元に戻す



- 16** 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)

記録紙ストッパーは確実に引き出してください。



- 17** 電源プラグをコンセントに差し込む

- 18** エラーメッセージが消えていることを確認する

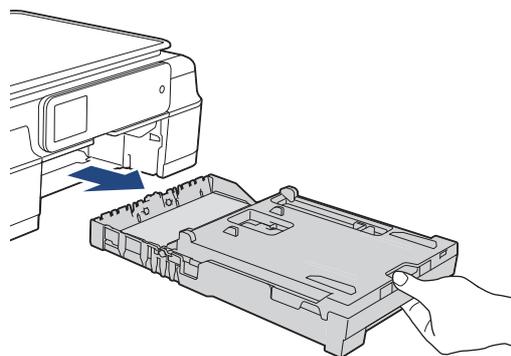
エラーメッセージが消えないときは、外からは見えない紙片が複合機本体内部に詰まっていることが考えられます。その場合は、下記をご覧ください。詰まった紙片を取り除いてください。

⇒ 210 ページ「紙づまりが解消しないときは」

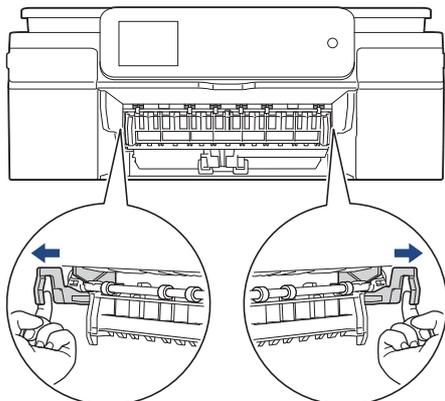
紙づまりが解消しないときは

厚紙を使って、外からは見えない紙片を押し出します。

- 1** 電源プラグをコンセントから抜く
- 2** 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す

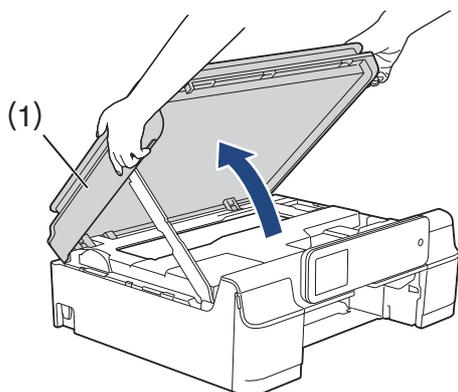


- 3** 複合機本体の内側に正面から手を入れ、両端にある緑色のレバーを手前に引く



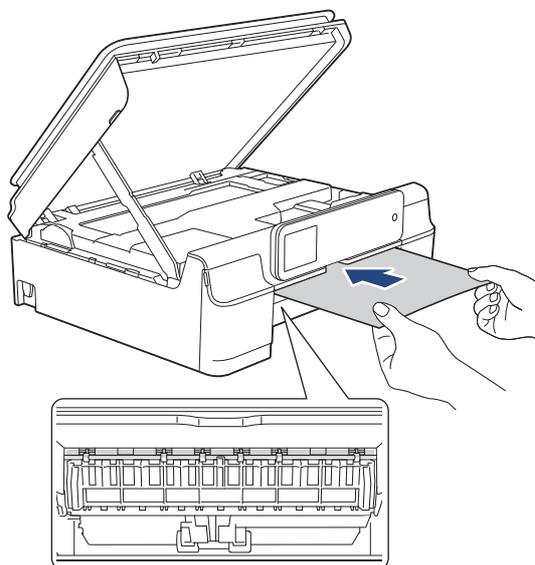
- 4** 両手で複合機の本体カバー (1) を開く

本体カバーは保持される位置まで上げてください。

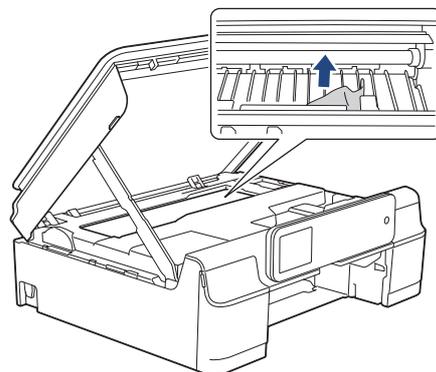


- 5** A4 サイズ (210 × 297mm) の厚紙を用意して、複合機本体内部の記録紙の挿入口に深く差し込む

写真光沢紙または写真光沢紙と同じくらいの厚さの紙をご使用ください。

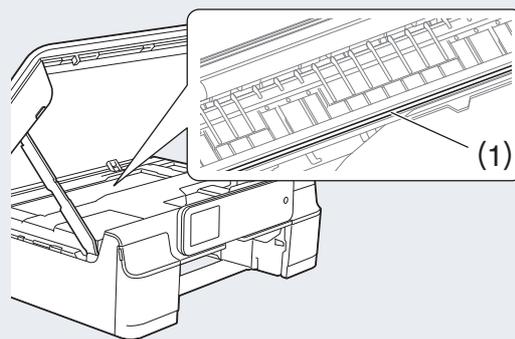


- 6** 押し出された紙片を取り除く
破れないように静かに抜き取ります。

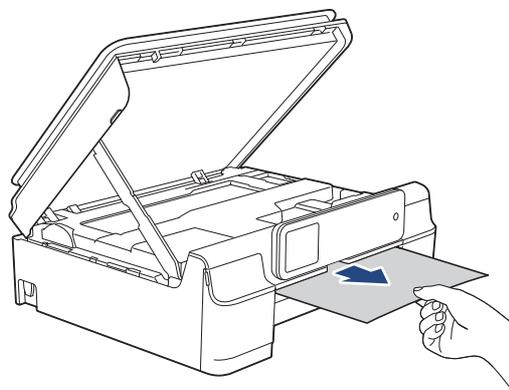


重要

■ エンコーダーフィルム (半透明なフィルム) (1) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



- 7** 複合機本体前面から、厚紙を静かに引き抜く



ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

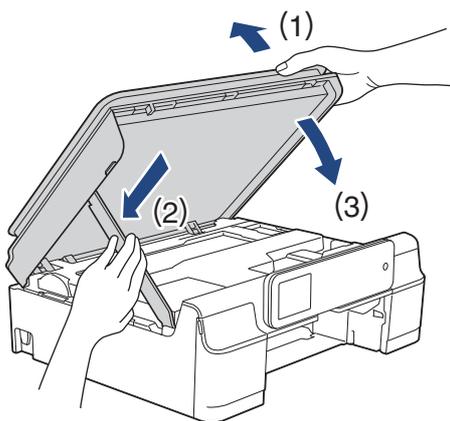
付録

8 複合機の本体カバーを閉じる

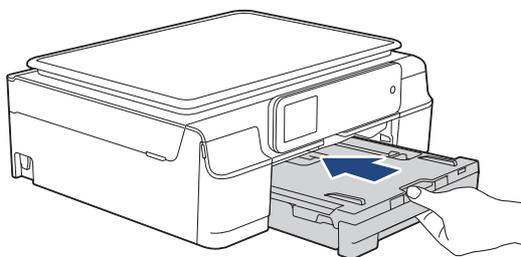
⚠ 注意

- 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し
(1)、カバーサポートをゆっくり押して
(2)、本体カバーを両手で閉めます (3)。

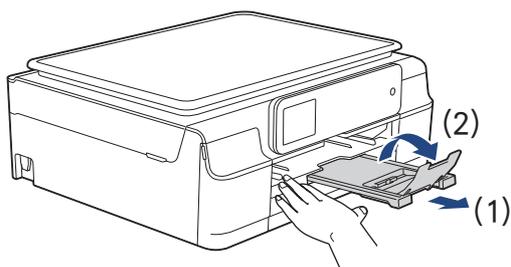


9 記録紙トレイを元に戻す



10 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)

記録紙ストッパーは確実に引き出してください。



11 電源プラグをコンセントに差し込む

12 エラーメッセージが消えていることを確認する

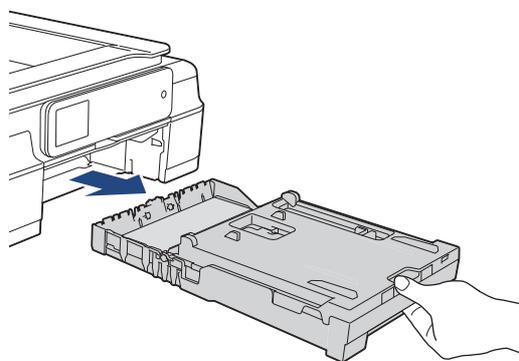
MFC-J897DN/J897DWN をご利用の場合

記録紙が詰まったときは

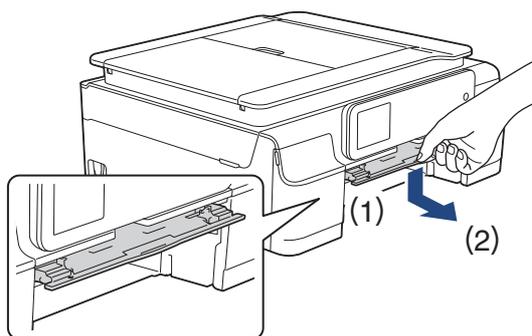
記録紙が詰まると、画面に【紙が詰まっています XX】とメッセージが表示されます（「XX」は、紙詰まり発生位置）。紙詰まりの位置を確認したら、次の手順で記録紙を取り除いてください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す



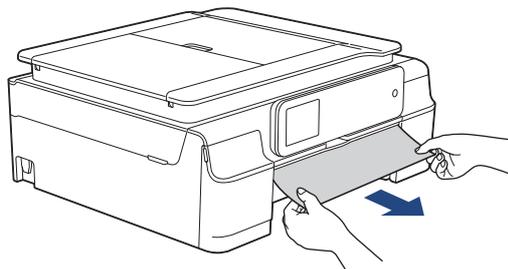
3 ディスクガイドを押し下げ (1)、手前に引きながらゆっくりと手を離す (2)



- 【紙が詰まっています 前, 後ろ】と表示されていた場合：⇒手順 4 へ
- 【紙が詰まっています 前】と表示されていた場合：⇒手順 4 へ
- 【紙が詰まっています 後ろ】と表示されていた場合：⇒手順 7 へ

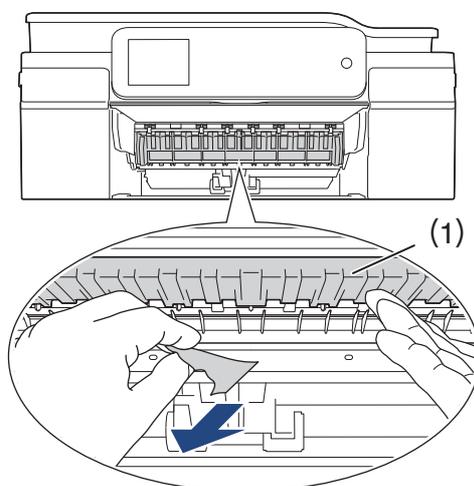
4 挿入口に残っている記録紙をゆっくり引き抜く

紙が破れないように静かに抜き取ります。



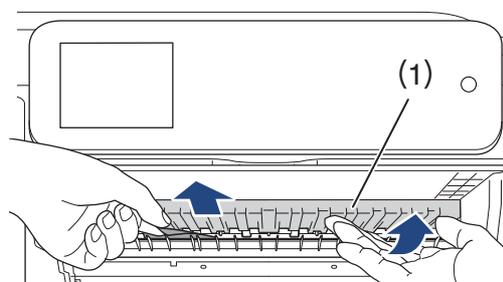
5 フラップ (1) を持ち上げて、詰まった記録紙を抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



6 複合機本体の内部やフラップ (1) の上下に紙片が残っていないかを確認する

紙片が残っていたら、破れないように静かに抜き取ります。



- 【紙が詰まっています 前, 後ろ】と表示されていた場合：⇒手順 7 へ
- 【紙が詰まっています 前】と表示されていた場合：⇒手順 10 へ

ご利用の前

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

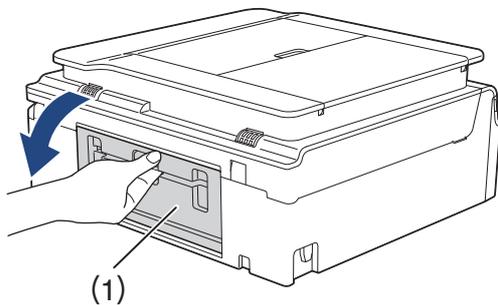
デジタルプリント

こんなときは

録付

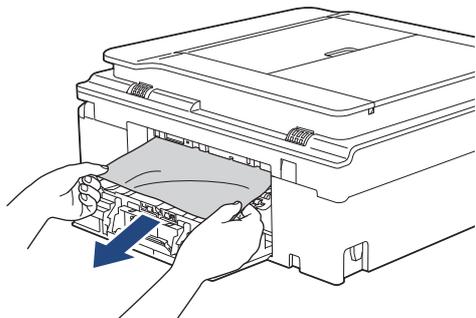
7 複合機本体背面の紙づまり解除カバー (1) を開く

中央のレバーをつまんで、手前に引いて開きます。



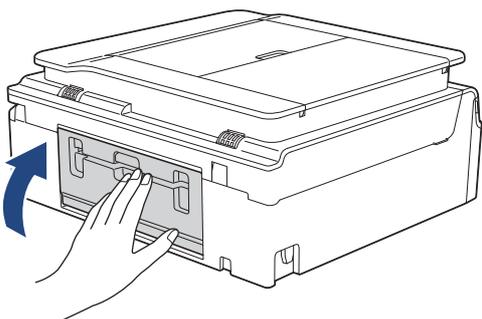
8 詰まった記録紙を手前に抜き取る

紙が破れないように静かに抜き取ります。



9 紙づまり解除カバーを閉じる

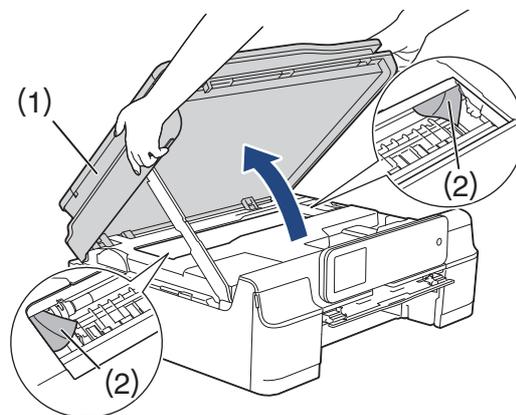
カバーを押して確実に閉じてください。



10 両手で複合機の本体カバー (1) を開いて、内部に記録紙 (2) が残っていないかを確認する

本体カバーは保持される位置まで上げてください。

残っている記録紙があれば、破れないように静かに抜き取ります。

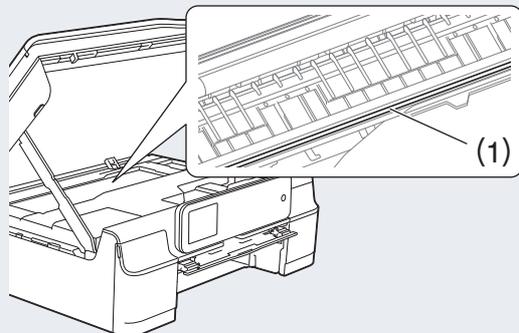


! 注意

- 万一インクが皮膚に付着したら、すぐに石けんと水で十分に洗い流してください。

重要

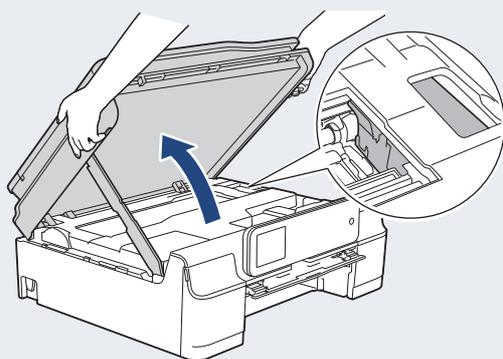
- エンコーダフィルム（半透明なフィルム）(1)に、素手で触れないでください。エンコーダフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



- 内部に詰まった記録紙を取り除くときは、複合機本体内部になるべく触らないようにご注意ください。故障の原因となったり、手が汚れたりする場合があります。記録紙が破れてしまった場合は、複合機本体内部を傷つけないように注意して、紙片をピンセットなどで取り除いてください。

- プリントヘッドの下に紙が詰まったときは必ず電源プラグを抜いてください。また、プリントヘッドの損傷を避けるために紙と接触しない方向にプリントヘッドを動かし、記録紙を取り除いてください。

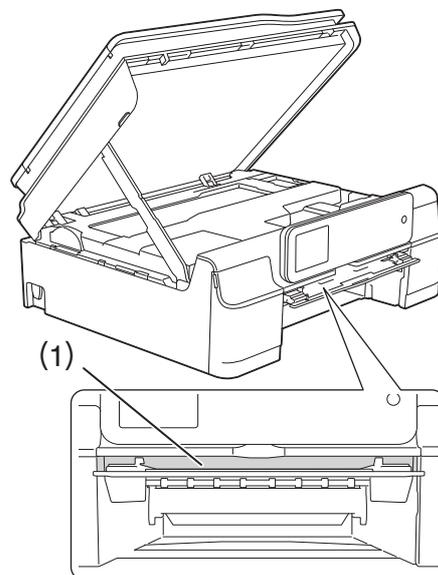
- プリントヘッドが図のように右端で止まっている場合は、以下の手順で操作してください。



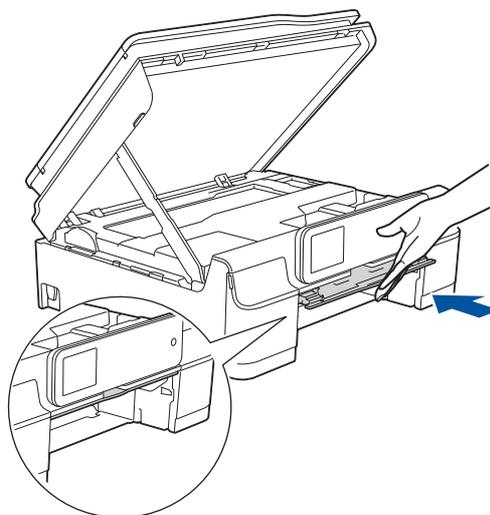
- (1)電源プラグが差し込まれたままの状態、**✗**を長押しする
プリントヘッドが中央に移動します。
- (2)電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く
- (3)複合機の本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む
複合機本体の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。

11 ディスクガイドの奥(1)に記録紙がはさまれていないかを確認する

残っている記録紙があれば、破れないように静かに抜き取ります。



12 ディスクガイドを水平に押しして複合機本体に格納する



1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

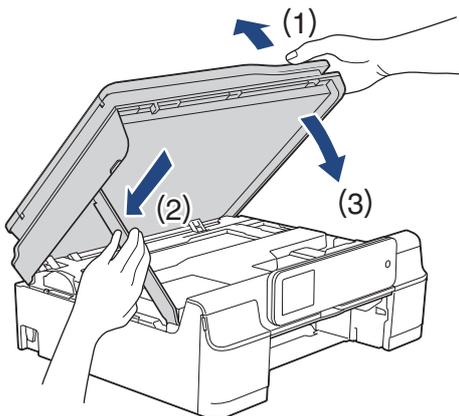
付録

13 複合機の本体カバーを閉じる

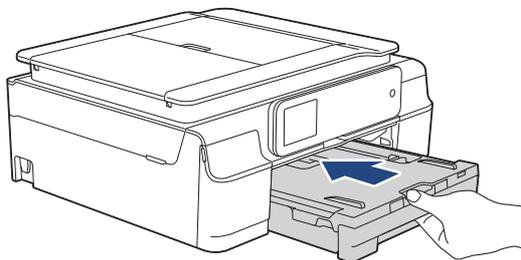
⚠ 注意

- 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

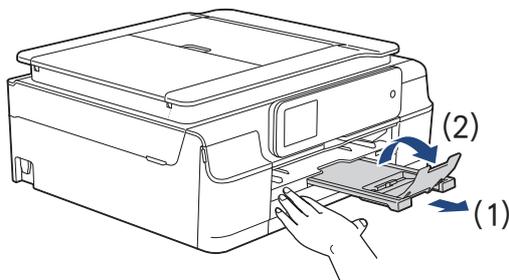
本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し
(1)、カバーサポートをゆっくり押して
(2)、本体カバーを両手で閉じます (3)。



14 記録紙トレイを元に戻す



15 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



16 電源プラグをコンセントに差し込む

17 エラーメッセージが消えていることを確認する

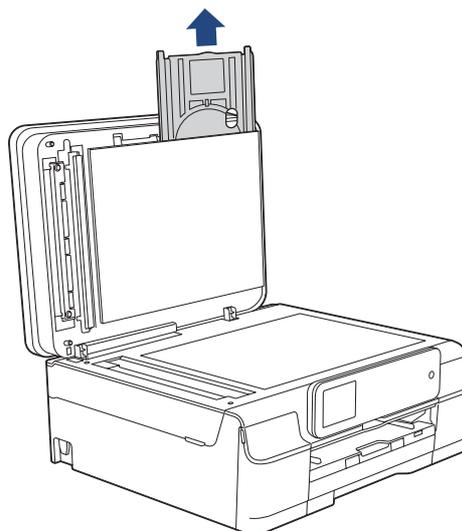
エラーメッセージが消えないときは、外からは見えない紙片が複合機本体内部に詰まっていることが考えられます。その場合は、下記をご覧ください。詰まった紙片を取り除いてください。

⇒ 216 ページ「紙づまりが解消しないときは」

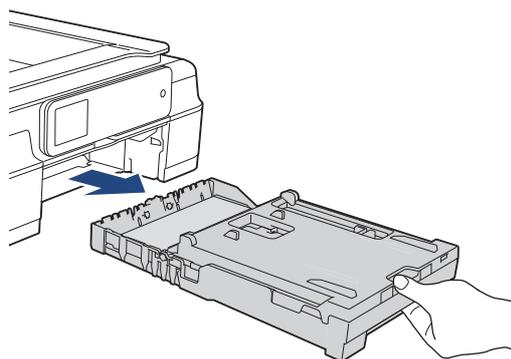
紙づまりが解消しないときは

ディスクトレイを使って、外からは見えない紙片を押し出します。

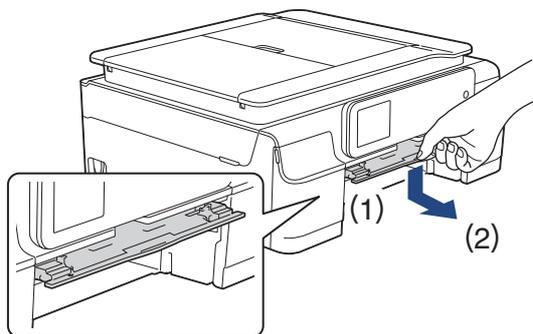
- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 原稿台カバーを持ち上げてディスクトレイを引き抜き、原稿台カバーを閉じる



- 3 記録紙ストッパーが格納されていることを確認して、記録紙トレイを引き出す

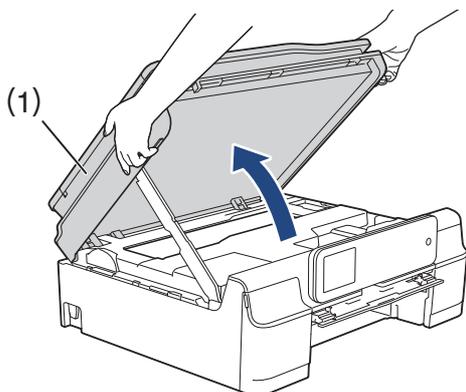


- 4** ディスクガイドを押し下げ (1)、手前に引きながらゆっくりと手を離す (2)



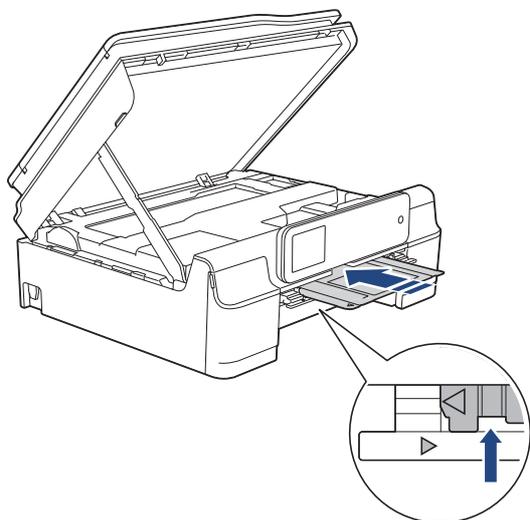
- 5** 両手で複合機の本体カバー (1) を開く

本体カバーは保持される位置まで上げてください。

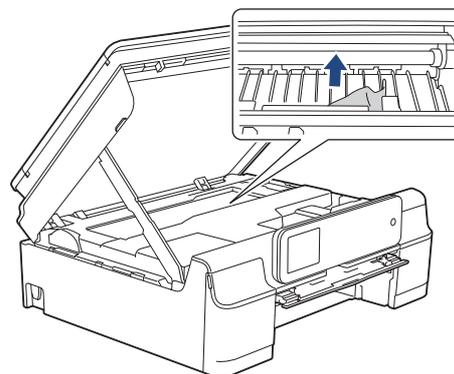


- 6** ディスクトレイをディスクガイドに載せ、トレイが見えなくなる程度に奥まで差し込む

トレイの三角マークをディスクガイドの三角マークに合わせる必要はありません。

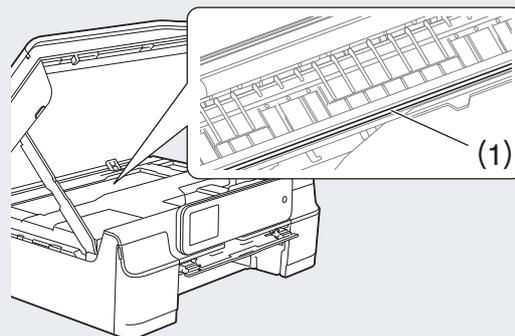


- 7** 押し出された紙片を取り除く
破れないように静かに抜き取ります。

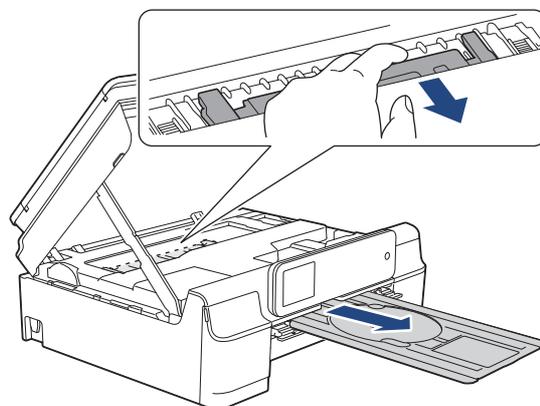


重要

- エンコーダーフィルム (半透明なフィルム) (1) に、素手で触れないでください。エンコーダーフィルムに皮脂が付着したり、傷が付いたりすると新たな問題を引き起こす原因になります。



- 8** 指でディスクトレイを複合機本体の手前方向に押し戻し、引き抜く



ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

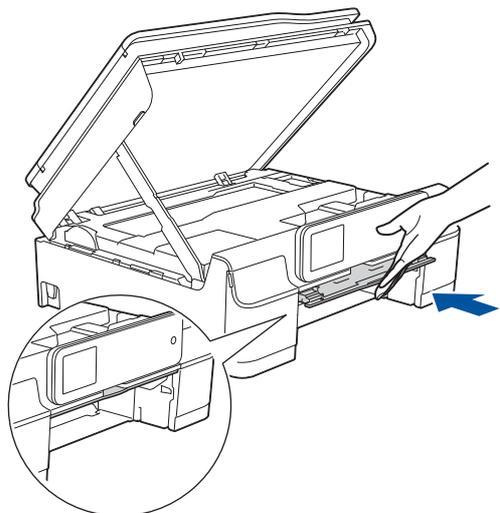
コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

9 ディスクガイドを水平に押し、複合機本体に格納する

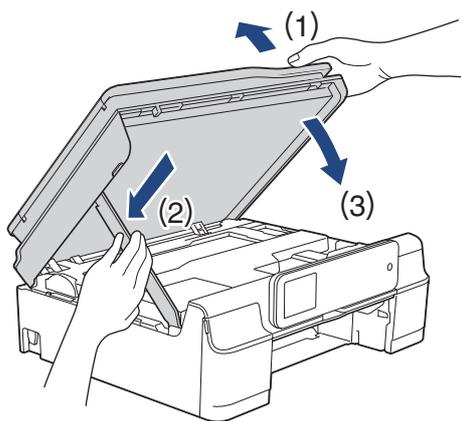


10 複合機の本体カバーを閉じる

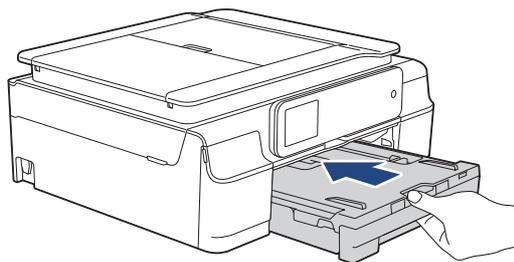
! 注意

- 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

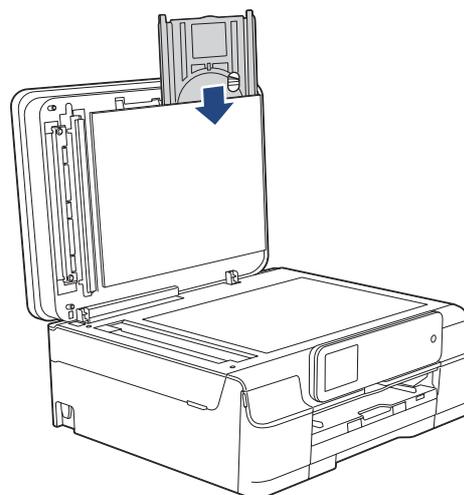
本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し
(1)、カバーサポートをゆっくり押して
(2)、本体カバーを両手で閉めます (3)。



11 記録紙トレイを元に戻す

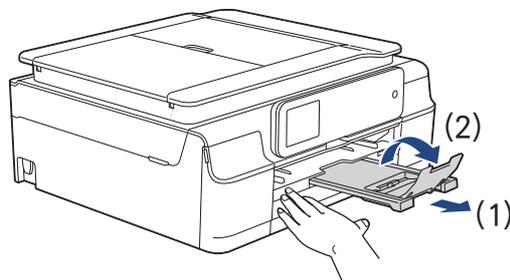


12 原稿台カバーを持ち上げ、ディスクトレイを収納する



13 原稿台カバーを閉める

14 記録紙トレイに手をそえ、記録紙ストッパーを確実に引き出し (1)、フラップを開く (2)



15 電源プラグをコンセントに差し込む

16 エラーメッセージが消えていることを確認する

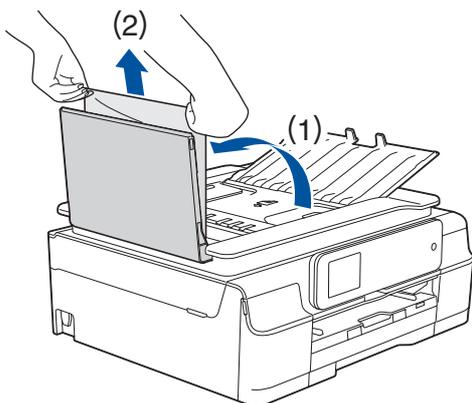
原稿が ADF（自動原稿送り装置）に詰まったとき（MFC-J897DN/J897DWN）

ADF（自動原稿送り装置）に原稿が詰まった場合の対処方法です。

ADF（自動原稿送り装置）内部に詰まった場合

- 1 ADF（自動原稿送り装置）から、詰まっていない原稿をすべて取り除く

- 2 ADF カバーを開き（1）、詰まった原稿を抜き取る（2）
原稿が破れないように静かに抜き取ります。



- 3 ADF カバーを閉じる

お願い

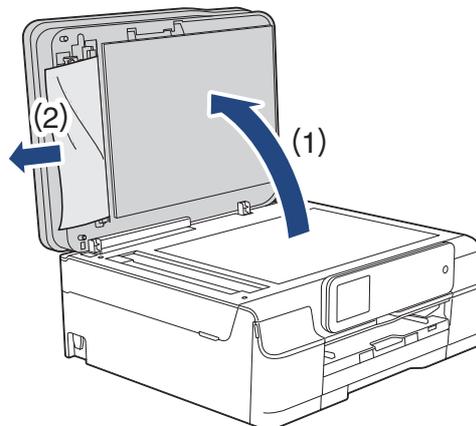
■ 再度紙詰まりを起こさないように、ADFカバーは中央を押さえて、ていねいに閉じてください。

- 4 を押す

吸い込み口付近に詰まった場合

- 1 ADF（自動原稿送り装置）から、詰まっていない原稿をすべて取り除く

- 2 原稿台カバーを開き（1）、詰まった原稿を抜き取る（2）
原稿が破れないように静かに抜き取ります。

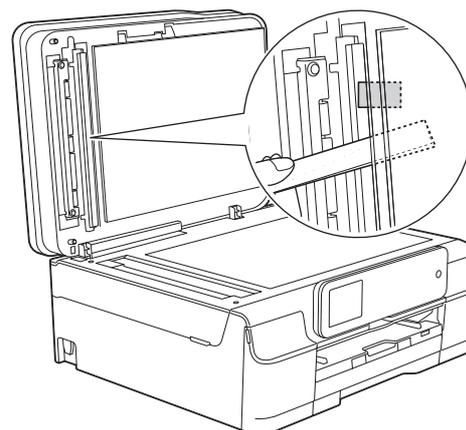


- 3 原稿台カバーを閉じる

- 4 を押す

紙片が詰まった場合

- 1 原稿台カバーを開く
- 2 名刺のような、折れ曲がりにくくなる紙を差し込んで紙片を取り除く



- 3 原稿台カバーを閉じる

- 4 を押す

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

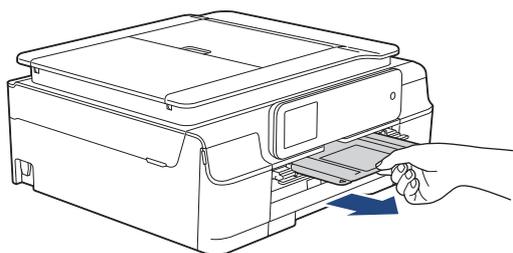
こんなときは

録付

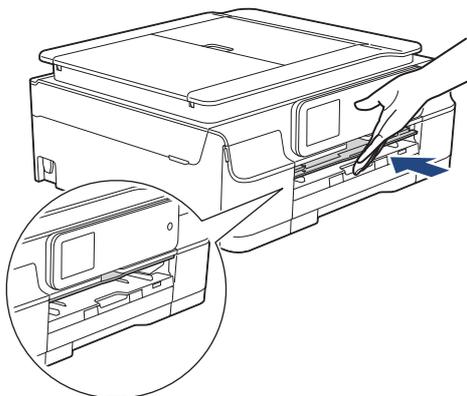
ディスクが詰まったときは (MFC-J897DN/J897DWN)

【記録ディスクが詰まっています 前】
と表示されたとき

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 ディスクトレイを引き抜く



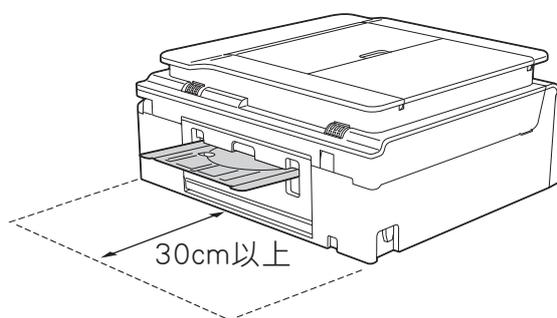
- 3 ディスクガイドを水平に押し、複合機本体に格納する



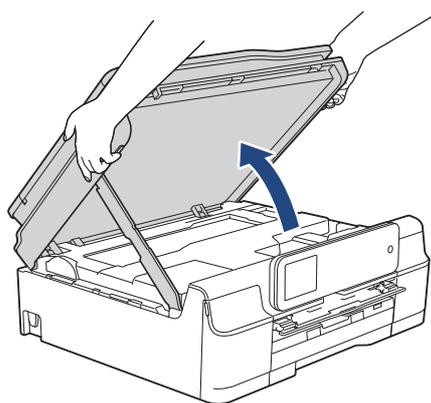
- 4 電源プラグをコンセントに差し込む
- 5 エラーメッセージが消えていることを確認する

【記録ディスクが詰まっています 後ろ】
と表示されたとき

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 複合機本体の背面にディスクトレイを取り出すことができるスペースを確保する

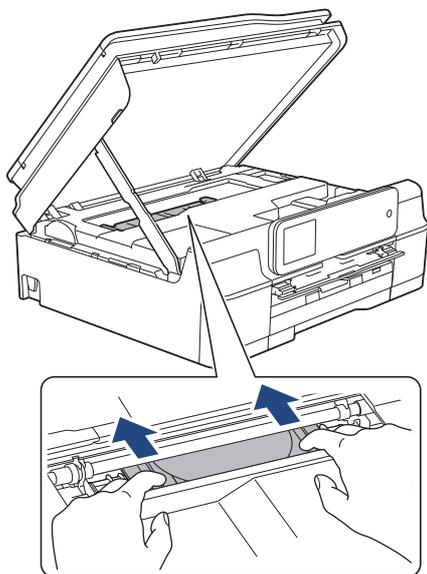


- 3 両手で複合機の本体カバーを開く
本体カバーは保持される位置まで上げてください。

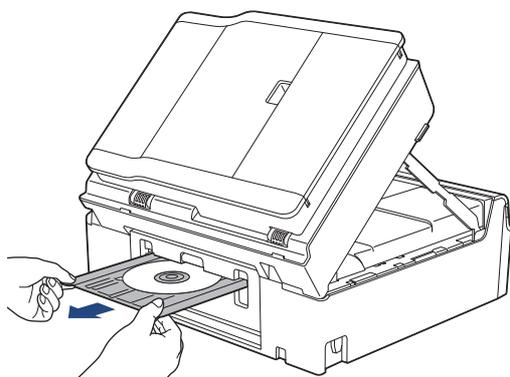


4 指でディスクトレイを複合機本体の背面方向に進める

強く押さえつけないでください。



5 複合機本体の背面からディスクトレイを取り出す

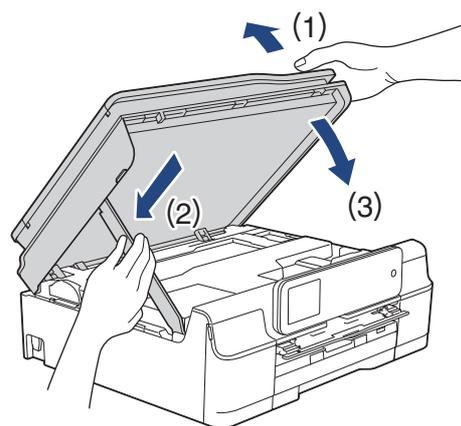


6 複合機の本体カバーを閉じる

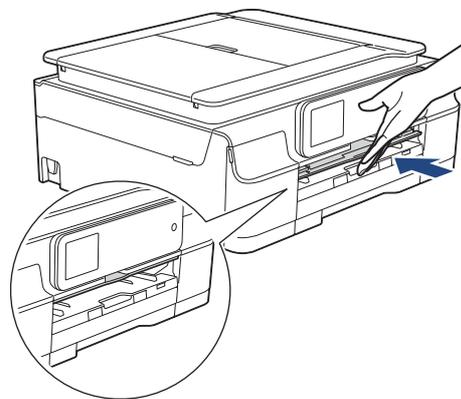
！ 注意

- 複合機の本体カバーは、手をはさまないように注意して、最後まで両手を離さないようにして閉じてください。

本体カバーを少し持ち上げて固定を解除し
(1)、カバーサポートをゆっくり押して
(2)、本体カバーを両手で閉めます (3)。



7 ディスクガイドを水平に押しして複合機本体に格納する



8 電源プラグをコンセントに差し込む

9 エラーメッセージが消えていることを確認する

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

印刷品質が良くないときは

白紙のまま印刷される、印刷がかすれる、薄い、印刷面に白い筋が入る、違う色になるなど、印刷品質が良くないときは、プリントヘッドのクリーニングを行ったり、印刷位置のズレを補正する必要があります。

重要

- ヘッドクリーニングが定期的に行われるように、本製品の電源プラグはコンセントに差したままご使用ください。ヘッドクリーニングをしない状態で長く放置すると目詰まりをおこします。
- 本製品の電源プラグを頻繁に抜き差しすると、内部の時計が狂うため、必要以上にクリーニングが実行されることがあります。その際、インクが多く消費されたり、クリーニング時に排出される微量のインクを吸収するための部品が通常よりも早く限界に達して、交換が必要となる場合があります。

定期メンテナンスについて

プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、本製品にはプリントヘッドを自動で定期的にクリーニングする機能があります。ただし、電源プラグが抜かれていると製品を起動させることができないため、自動クリーニングができません。電源の入/切は電源ボタンで行い、電源プラグは抜かないで本製品をご利用ください。

プリントヘッドをクリーニングする

【ヘッドクリーニング】

印刷品質が良くないと感じたら、定期メンテナンス（自動クリーニング）を待たずに、次の手順でプリントヘッドをクリーニングすることもできます。1回のヘッドクリーニングで問題が解決しない場合、何度かクリーニングを行うことで、解決できる場合があります。ヘッドクリーニングを5回行っても問題が解決しない場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。



目詰まり時



正常

- 🔧 ヘッドクリーニングはある程度のインクを消耗します。

1  を押す

2 **【ヘッドクリーニング】** を押す

3 **クリーニングする色を選ぶ**

【ブラック/カラー/全色】から選びます。

ヘッドクリーニングが開始されます。

- 🔧 【ブラック】または【カラー】を選んだときは、クリーニングに約1、2分かかります。【全色】を選んだときは、約3分かかります。

記録紙のうら面が汚れるときは

印刷したあと、記録紙のうら面に汚れが付く場合は、プリンター内部（プラテン、給紙/排紙ローラー）にインクが付着している可能性があります。以下の手順で、クリーニングを行います。

1 **本体内部のプラテンを清掃する**

⇒ 199 ページ「本体内部を清掃する」

2 **紙づまり解除カバーを開け、給紙ローラーに汚れがないかを確認する**

⇒ 196 ページ「給紙ローラーを清掃する」

3 **排紙ローラーに汚れがないかを確認する**

⇒ 198 ページ「排紙ローラーを清掃する」

印刷テストを行う

【テストプリント】

プリントヘッドをクリーニングしても印刷品質が改善されない場合は、印刷テストを行い、再度クリーニングを行います。

印刷品質をチェックする

1 A4 サイズの記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

2 を押す

3 【テストプリント】 を押す

4 【印刷品質チェックシート】 を押す

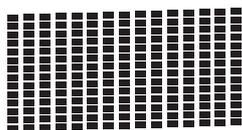
5 【OK】 を押す

「印刷品質チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷品質は OK ですか？ / はい / いいえ】と表示されます。

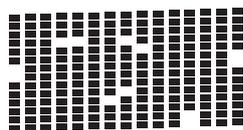
6 きれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

1色でも「悪い例」のような状態があるときは、【いいえ】を押します。

<良い例>



<悪い例>



【はい】を押した場合は、印刷品質チェックが終了します。手順 11 へ進みます。
【いいえ】を押した場合は、【ブラックは OK ですか？ / はい / いいえ】と表示されます。手順 7 へ進みます。

7 黒色がきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【カラーは OK ですか？ / はい / いいえ】と表示されます。

8 カラーがきれいに印刷されているときは【はい】を、きれいに印刷されていないときは【いいえ】を押す

【クリーニングを開始しますか？ [OK] を押してください】と表示されます。

9 【OK】 を押す

【いいえ】とされたプリントヘッドのクリーニングを行います。クリーニング終了後、【[OK] を押してください】と表示されます。

10 【OK】 を押す

もう一度、「印刷品質チェックシート」が印刷されます。
印刷後は、【印刷品質は OK ですか？ / はい / いいえ】と表示されます。きれいに印刷されていたら、【はい】を押して、印刷品質チェックを終了します。きれいに印刷されていない場合は、【いいえ】を押して手順 7 に戻ります。

11 を押してチェックを終了する

お願い

- 上記の操作を行っても正しく印刷されない場合は、インクカートリッジが正しくセットされているかを確認してください。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

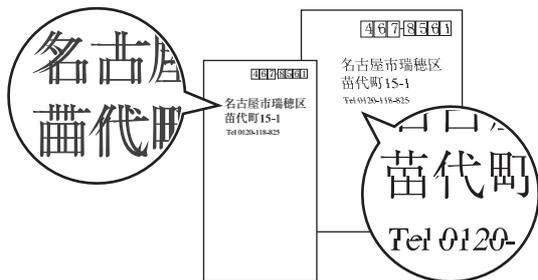
デジタルプリント

こんなときは

付録

印刷位置のズレをチェック / 補正する

印刷位置がずれている場合に、印刷位置が正しいかを確認し、必要に応じて補正します。



1 A4 サイズの記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

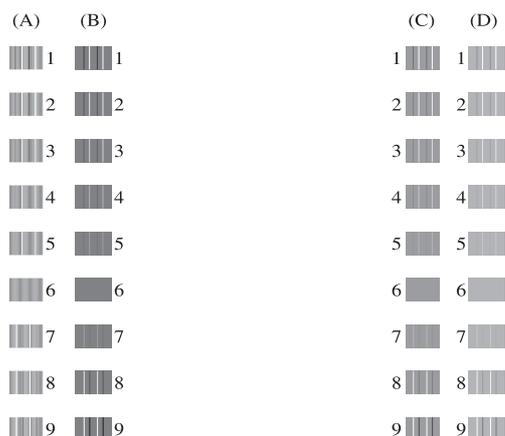
2 を押す

3 【テストプリント】 を押す

4 【印刷位置チェックシート】 を押す

5 【OK】 を押す

「印刷位置チェックシート」が印刷されます。



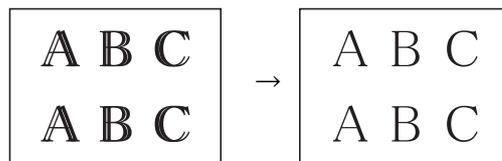
6 印刷されたチェックシートの (A) 列で、最も縦筋が目立たないパターンを選び、画面でその番号を選択して、【OK】 を押す

番号が表示されていないときは、▼/▲ を押して画面を送ります。

 手順 5 のチェックシート印刷例では、「6」のパターンが最適です。

<調整前>

<調整後>



7 同様にして、(B) ~ (D) 列もそれぞれ最も縦筋が目立たないパターンを選択して、【OK】 を押す

8 を押して操作を終了する

画面にメッセージが表示されたときは

本製品や電話回線に異常があるときは、下記のようなメッセージと処置方法が画面に表示されます。画面に表示された処置方法や、下記の処置を行っても問題が解決しないときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、メッセージを控えた上でお客様相談窓口にご連絡ください。(MFC-J897DN/J897DWN のみ)

NFC 機能が搭載された Android™ 端末をお持ちの場合、画面にメッセージが表示された状態で、本体の NFC のロゴに端末をかざすと、サポートサイト（ブラウザソリューションセンター）に接続し、端末の画面に「よくあるご質問（Q&A）」ページが表示されます。（サポートサイトの接続には、別途通信料がかかります。）

あらかじめ本体と Android™ 端末の NFC 設定がオンになっていることをご確認ください。

複合機本体のメッセージ

メッセージ	原因	対処
インクカートリッジがありません	インクカートリッジがセットされていない。	インクカートリッジをセットしてください。 ⇒ 202 ページ「インクカートリッジを交換する」
インクカートリッジが無い		
インクを検知できません	機械が検知する前に素早くインクカートリッジを交換した。	セットされている新しいインクカートリッジを取り外し、もう一度取り付けてください。
	検知できないインクカートリッジが取り付けられているか、検知部が破損している。	検知可能なインクカートリッジをセットしてください。検知可能なインクカートリッジをセットしてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
	インクカートリッジが正しくセットされていない。	カチッと音がするまでインクカートリッジを確実に押しつけてセットします。
インク量を検知できません	純正インクを使用していない。	弊社純正でないインクカートリッジをご使用になると、本製品がインク量を検知できない場合があります。弊社純正品に交換してください。純正品に換えてもメッセージが表示される場合は、お客様相談窓口にご連絡ください。
印刷できません インク交換	ブラックまたはカラーインクのいずれかが空になった。 ファクスメッセージはメモリーに記憶されます。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 202 ページ「インクカートリッジを交換する」
印刷できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 233 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
画像が小さすぎます	画像が小さすぎて、画像の補正やトリミングができない。	この解像度ではご利用いただけません。一辺が 640pixel 以上となる解像度でご利用ください。
画像が長すぎます	画像が長すぎて、画像の補正やトリミングができない。	縦横比が、8 : 3 より小さい比率でご利用ください。カメラ側で変更できない場合は、パソコン等をご利用ください。また、パノラマ合成写真などのプリントはサポートしていません。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

メッセージ	原因	対処
カバーが開いています インクカバーを閉じてください	インクカバーが完全に閉まっていない。	インクカバーを再度閉め直してください。
カバーが開いています 本体カバーを閉じてください	複合機の本体カバーが完全に閉まっていない。	複合機の本体カバーを再度閉め直してください。
紙が詰まっています 後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 196 ページ「給紙ローラーを清掃する」
紙が詰まっています 前	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」 記録紙が詰まる原因として、トレイ内のガイドが記録紙サイズに合っていないことが考えられます。ガイドの位置がセットした記録紙に合っているかどうかを確認してください。
紙が詰まっています 前, 後ろ	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」 記録紙が詰まる原因として、トレイ内のガイドが記録紙サイズに合っていないことが考えられます。ガイドの位置がセットした記録紙に合っているかどうかを確認してください。
記録紙が詰まっています	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」 記録紙が詰まる原因として、トレイ内のガイドが記録紙サイズに合っていないことが考えられます。ガイドの位置がセットした記録紙に合っているかどうかを確認してください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 196 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	手差しトレイに記録紙を2枚以上セットしている。 または、次の記録紙のセットが可能であることを示すメッセージが表示される前に手差しトレイに記録紙をセットした。	手差しトレイには、一度に1枚しかセットできません。また、複数枚の記録紙を使用するときは、画面に次の記録紙のセットを促すメッセージが表示されるのを待ちください。詰まった記録紙は取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」
記録紙サイズが不一致です	記録紙トレイに設定したサイズ以外の記録紙がセットされている。	トレイに示されている記録紙サイズの目盛りに合わせて記録紙をセットし直してください。 設定したサイズの記録紙をセットしたことを確認してください。 ⇒ 51 ページ「記録紙のセット」
	A4 より小さい記録紙で受信 ファクスの印刷や、レポート印刷をしようとしている。	ファクス受信やレポート印刷は A4 より小さい記録紙には対応していません。トレイに正しいサイズの記録紙をセットし、記録紙トレイ設定も正しいサイズに設定してください。
記録紙を送れません	記録紙がないか、正しくセットされていない。	記録紙トレイに示されている記録紙サイズの目盛りに合わせて記録紙をセットしてください。 ⇒ 51 ページ「記録紙のセット」 なお、ファクス受信やレポート印刷は A4 より小さい記録紙には対応していません。 トレイに A4 サイズの記録紙をセットし、【記録紙サイズ】も【A4】に設定してください。
	スライドトレイから給紙させたいのに、スライドトレイが奥にセットされていない。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に奥にずらしてください。 ⇒ 58 ページ「スライドトレイにセットする」

メッセージ	原因	対処
記録紙を送れません	記録紙トレイから給紙させたいのに、スライドトレイが奥にセットされている。	スライドトレイを、カチッと音がするまで完全に手前に引いてください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」
	記録紙が詰まっている。	詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」
	紙づまり解除カバーが開いている。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 196 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	(MFC-J827DN/J827DWNのみ) 記録紙が手差しトレイの中央にセットされていない。	記録紙を手差しトレイからいったん外し、ガイドを記録紙サイズを目盛りに合わせて直した上で再度セットしてください。 ⇒ 60 ページ「手差しトレイにセットする (MFC-J827DN/J827DWNのみ)」
記録ディスクが詰まっています 前	印刷中に記録ディスクが詰まった。	ディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 220 ページ「【記録ディスクが詰まっています 前】と表示されたとき」
記録ディスクが詰まっています 後ろ	印刷中に記録ディスクが詰まった。	本体背面からディスクトレイを引き出すために十分なスペースを確保し、ディスクトレイを取り出してください。 ⇒ 220 ページ「【記録ディスクが詰まっています 後ろ】と表示されたとき」
記録ディスクを確認してください	ディスクトレイに記録ディスクがない。 レーベルプリントできない記録ディスクが挿入されている。	記録ディスクを取り出し、正しい記録ディスクを入れ直してください。 レーベルプリントができる記録ディスクは、インクジェットプリンターに対応した12cmのCD/DVD/BDです。 ⇒ 66 ページ「記録ディスクをセットする (MFC-J897DN/J897DWNのみ)」
クリーニング中	プリントヘッドのクリーニング中。	そのまましばらくお待ちください。 ⇒ 222 ページ「プリントヘッドをクリーニングする」
クリーニングできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 233 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
原稿検出に失敗しました	レーベルコピー時に、原稿(ディスクまたは写真)の読み取りに失敗した。	エラーが表示されてからしばらく経つと、画面が切り替わります。 切り替わった画面で  を押し、画像を拡大すると、▲/▼/◀/▶ が押せるようになります。 このあと、  /  で原稿サイズを合わせて、▲/▼/◀/▶ で原稿位置を白い枠に合わせた後、[OK] を押してください。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

メッセージ	原因	対処
原稿検出に失敗しました	レーベルコピー時に、原稿（ディスクまたは写真）の読み取りに失敗した。	下記の処置を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> • 原稿台ガラスを清掃してください。 • 原稿を読み取る前に、正しい原稿のタイプを選択してください。 • 原稿を読み取り中は、原稿台カバーを閉じてください。 • 原稿台ガラスに置く原稿は、一度に 1 枚にしてください。 • 原稿を正しく原稿台ガラスに置いてください。
子機使用中です	子機通話中または通話終了直後はファクス送信できない。	子機の通話中はファクス送信できません。また、通話終了直後も複合機本体と通信ボックスとの接続確認を自動で行うため、すぐにはファクスできません。しばらく待ってファクス送信し直してください。
室温が高すぎます	室温が高くなっている。	室温を下げ、しばらくたった後にお使いください。
室温が低すぎます	室温が低くなっている。	室温を上げ、しばらくたった後にお使いください。
使用不能な USB 機器です USB 機器を抜いてください	USB フラッシュメモリーがフォーマットされていない。または、壊れている。	USB フラッシュメモリーを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。または、正常に動作する USB フラッシュメモリーを差し込んでください。
	USB フラッシュメモリーが正しく差し込まれていない。	USB フラッシュメモリーを抜いて、差し込み直してください。
	本製品に対応していない USB フラッシュメモリーがセットされている。	USB フラッシュメモリーを抜いてください。
使用不能な USB 機器です 前面にケーブル接続された機器はご利用できません とり外してオン/オフボタンでリセットしてください	本製品に対応していない USB 機器が接続されている。または、接続された USB 機器が壊れている可能性がある。	USB ケーブルを抜き、本製品の電源を入れ直してください。本製品では、メモリーカードから画像をプリントすることもできます。 ⇒ 171 ページ「メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーをセットする」
使用不能な USB ハブです USB ハブを抜いてください	USB ハブまたはハブを内蔵した USB 機器がセットされている。 ※ハブ回路が内蔵された一部の USB フラッシュメモリーに対しても、このエラーメッセージが表示されます。	本製品はハブ、またはハブを内蔵した USB 機器には対応しておりません。ハブ、または USB 機器を抜いてください。
初期化できません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 233 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」

メッセージ	原因	対処
スキャンできません XX ※ XX はエラー番号です。番号はエラーの原因によって変わります。	機械内部で記録紙の切れ端や異物が詰まっているなどの機械的な異常が発生した。	複合機の本体カバーを開けて、詰まった記録紙の切れ端や異物を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」 問題が解決されない場合は、電源プラグをいったん抜いて、接続し直してください。このとき、受信したファクスが出力されない場合は、本製品のメモリーに残っているファクスメッセージを別のファクス機かお使いのパソコンに転送したあと、お客様相談窓口にご連絡ください。 ⇒ 233 ページ「エラーが発生したときのファクスの転送方法」
接続できません エラー No.E1 ユーザーズガイドくこんなときは>をご覧ください	何らかの異常が発生したために、通信ボックスと複合機本体が接続できない。	コールセンター（お客様相談窓口）にご連絡いただき、オペレーターの誘導に従って保守操作を行ってください。
送信できません	送信先のファクス機がカラーファクスを受信できない。	モノクロで送信し直してください。
送信できません 通信ボックスとの接続状態を確認しもう一度送信してください 停止  を押してください	ファクスデータ転送中に、複合機本体と通信ボックス間の接続が確立できなくなった。	複合機本体と通信ボックスの接続状態を確認してください。 ⇒ 94 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
タッチパネルエラー	電源オン後のタッチパネルの初期化完了前に画面に触れた。	電源プラグをコンセントから外すか、本機の電源をオフにします。タッチパネルに何も乗ったり触れたりしているものがないことを確認し、本機の電源プラグをコンセントに差し込むか、電源をオンにします。画面上にボタンが表示されるまで待ってからタッチパネルを使用してください。
	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っている。	タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを指し込み、異物を取り除いてください。
通信エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用している。（相手側を含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況によりファクス送・受信ができないことがありますので、IP 網を使わずに送・受信してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	ブランチ接続（並列接続）をしていませんか。	1 つの電話回線に複数の電話機をつなぐブランチ接続（並列接続）で、本製品をご利用にならないでください。
通信ボックスと接続できません 電波状態が悪くなっています 通信ボックスと複合機本体を近づけてください	通信ボックスの電源が接続されていない。	通信ボックスの AC アダプターの両端が、おのこの通信ボックスと壁側のコンセントに確実に差し込まれているかを確認してください。コンセントに差し込み直したら、「接続確認」を行ってください。 ⇒ 258 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
	複合機本体と通信ボックスが離れすぎている。	2 台を近づけて接続状態をお確かめください。 ⇒ 258 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」 近づけることで正常に接続される場合は、設置場所を変更してください。
	鉄筋コンクリート、アルミサッシ、その他金属製の壁、扉などが妨げになり、複合機本体と通信ボックスが通信できない。	
	通信障害が発生し、複合機本体と通信ボックスが通信できない。	通信ボックスと複合機本体の同期がとれなくなっています。通信ボックスで「ネットワーク接続リセット」を行って、2 者間の通信をお買い上げ時の状態に戻してください。 ⇒ 29 ページ「ネットワーク接続リセット」

ご使用前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

メッセージ	原因	対処
通信ボックスの登録が間違っています ユーザーズガイド<こんなときは>をご覧ください	本製品の正常な通信の妨げになる通信機器が近くにある可能性があります。	コールセンター（お客様相談窓口）にお問い合わせください。
詰まっています／長すぎます	原稿が ADF（自動原稿送り装置）に詰まっている。 または、原稿が長すぎる。	詰まった原稿を取り除き、  を押したあと、原稿を正しくセットし直してください。原稿づまりが解消されてもADFカバーの開け閉めは必ず行ってください。 ⇒ 219 ページ「原稿が ADF（自動原稿送り装置）に詰まったとき（MFC-J897DN/J897DWN）」 セットできる原稿の長さを確認してください。 ⇒ 65 ページ「ADF（自動原稿送り装置）にセットできる原稿」
データが残っています	印刷データがメモリーに残っている。	 を押してください。 (印刷を中止し、印刷中の記録紙を排出します。)
	パソコン側が印刷を一時停止したままになっている。	パソコン側で印刷を再開してください。
ディストレイが背面に当りました	トレイを搬送したときに背面に 10cm 以上のスペースがなかった。	前面にトレイが戻ってきた場合は、前面からディストレイを取り出してください。 ⇒ 220 ページ「【記録ディスクが詰まっています 前】と表示されたとき」
		途中で止まってしまった場合は、本体背面からディストレイを引き出すために十分なスペースを確保し、背面からディストレイを取り出してください。 ⇒ 220 ページ「【記録ディスクが詰まっています 後ろ】と表示されたとき」
ディストレイを送れません	ディストレイがディスクガイドにセットされていない。	ディストレイを正しくセットしてください。 ⇒ 66 ページ「記録ディスクをセットする（MFC-J897DN/J897DWN のみ）」
廃インク吸収パッド満杯	廃インク吸収パッド*1の吸収量が限界に達した。 *1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、本製品内部でのインク漏れを防ぐためにヘッドクリーニングができなくなります。廃インク吸収パッドを交換するまで印刷はできません。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お問い合わせいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
ファイルがありません	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内に印刷可能なファイルが存在しない。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存されているファイル形式を確認してください。
ファクスメモリ少なくなりました	みるだけ受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	不要なファクスデータを一部またはすべて消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 117 ページ「不要なファクスを消去する」（一部） ⇒ 117 ページ「すべてのファクスを消去する」（すべて）
	メモリー受信でメモリーに蓄積されたデータ量が保存できる限界に近づいている。	メモリー受信でメモリーに記憶されたファクスデータを印刷または消去してメモリーを確保してください。 ⇒ 122 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 122 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」 ただし、印刷せずに直接メモリー消去を行うと、メモリー受信はいったん解除されます。引き続きメモリー受信する場合は、再度、【メモリ保持のみ】に設定してください。 ⇒ 121 ページ「ファクスをメモリーで受信する」
プリンター使用中	本製品のプリンターが動作中。	印刷が終了してから再度操作してください。

メッセージ	原因	対処
まもなくインク切れ	いずれかのインクが残り少なくなった。	【印刷できません】と表示されるまでは使用できますが、足りないインクを確認して、新しいインクカートリッジを準備してください。 ⇒ 204 ページ「インク残量を確認する」 弊社ダイレクトクラブで購入することもできます。 ⇒ 319 ページ「消耗品などのご注文について」
まもなく廃インク満杯	廃インク吸収パッド*1の吸収量が限界に近づいている。 *1 ヘッドクリーニング実行中に排出される微量のインクを吸収する部品	廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達すると、交換するまで印刷ができなくなります。廃インク吸収パッドはお客様自身による交換ができませんので、お早めにお買い求めいただいた販売店またはコールセンター（お客様相談窓口）にご連絡ください。
メディアのファイルが多すぎます	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに、合わせて 999 個以上のフォルダーとファイルが保存されている。	本製品からメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存できるフォルダーとファイルの数は最大 999 個までです。 メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のフォルダーとファイルの数を 999 個より少なくしてください。 もし、フォルダーとファイルの数が 999 個より少ない場合は、不要なデータを削除して空き容量を増やしてください。
メディア容量がいっぱいです	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの空き容量が不足している。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の不要なデータを削除するなどして、空き容量を増やしてからお試しください。
メモリがいっぱいです	複合機本体の空きメモリーが不足している。	(コピー中) 複数枚のコピーをしようとしている場合、【読み取り分コピー】を押すと、すでに読み取りが終わっている原稿のみコピーします。 ❌ または【取り消し】を押すとコピーを中止します。
	複合機本体の空きメモリーが不足している。	(ファクス送信中) すでに読み取りが終わっているファクス原稿は、【読み取り分送信】を押すと送信されます。 ❌ または【中止する】を押すと送信を中止します。 メモリーに記録されている不要なファクスメッセージを消去してください。 • みるだけ受信したファクスデータ ⇒ 117 ページ「必要なファクスのみを印刷する」 ⇒ 117 ページ「不要なファクスを消去する」 • メモリー受信したファクスデータ ⇒ 122 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」 ⇒ 122 ページ「ファクスメッセージをメモリーから消去する」
	<ul style="list-style-type: none"> 記録紙がセットされていない インクが不足している 上記の理由で、ファクスの受信方法がメモリー代行受信に切り替わり、ファクスが印刷されずにメモリーに蓄積され、データ量が保存できる限界に近づいている。	複合機本体に記録紙をセットし、インクに不足があればインクカートリッジを交換してください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 202 ページ「インクカートリッジを交換する」

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

メッセージ	原因	対処
メモリーカードエラー	メモリーカードがフォーマットされていない。または、壊れている。	メモリーカードを抜き、パソコンなどでフォーマットしてください。 または、正常に動作するメモリーカードを差し込んでください。
	メモリーカードが正しく差し込まれていない。	メモリーカードを抜いて、差し込み直してください。
モノクロ印刷のみ可能 インク交換	1色以上のカラーインクがなくなっている。	新しいインクカートリッジに交換してください。 ⇒ 202 ページ「インクカートリッジを交換する」
モノクロ片面印刷のみ可能 インク交換	<p>この内容が表示されている間は次の操作のみ可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> 印刷 印刷設定時、用紙種類を【普通紙】、カラーを【モノクロ】に設定して、強制的にモノクロ印刷をすれば、片面印刷の場合に限りモノクロでの印刷が可能です。ブラックインクがあるあいだは、この状態でも約1ヶ月間使用できます。 コピー 記録紙タイプを【普通紙】に設定している場合のみ、モノクロでコピーできます。 (MFC-J897DN/J897DWN)【普通紙】に設定していても両面コピーはできません。 <p>ただし、次の場合は、モノクロでも印刷できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空のインクカートリッジを取り外した（インクカートリッジを交換してください。） 印刷設定の【基本設定】項目の中の【乾きにくい紙】をチェックしている（パソコン側で印刷を中止し、複合機本体でも  を押して印刷を取り消してください。） 	

エラーが発生したときのファクスの転送方法

【印刷できません】【初期化できません】などのエラーが解決されない場合は、複合機本体でファクスを印刷できません。インクや記録紙がなかったり、その他の理由により複合機本体で印刷できないファクスは、以下の方法で別のファクス機かパソコンに転送できます。

ファクスデータを本製品に接続しているパソコンに転送する

- (1)  を押して、エラーメッセージを閉じる
- (2)  【メニュー】を押す
- (3) 【接続確認】を押して、複合機本体と通信ボックスが接続されていることを確認し、【OK】を押す
- (4) 【全てのメニュー】、【ファクス/電話】、【受信設定】、【メモリ受信】、【PCファクス受信】を順に押す
キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。
- (5) メッセージを確認して、【OK】を押す
◆パソコンの「PC-FAX 受信」を起動させてください。起動方法について詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「PC-FAX 受信を起動する」
- (6) PC-FAX 受信を起動させたパソコンを選ぶ
USB 接続しているパソコンを選ぶ場合は、【< USB >】を選び【OK】を押します。
◆メモリーにファクスメッセージがあるときは、【ファクスを PC に転送しますか？ / はい/いいえ】と表示されます。
- (7) 【はい】を押す
- (8) 【本体では印刷しない】を押す
- (9)  を押す

※この操作後は、受信したファクスは、パソコンに転送されます。エラーが解決され、本製品で印刷できるようになったら、【メモリ受信】の設定を当初の状態（オフ/メモリ保持のみ）に戻してください。（⇒ 289 ページ）

ファクスデータを別のファクス機に転送する

- (1)  を押して、エラーメッセージを閉じる
- (2)  【メニュー】を押す
- (3) 【接続確認】を押して、複合機本体と通信ボックスが接続されていることを確認し、【OK】を押す
- (4) 【全てのメニュー】、【サービス】、【データ転送】、【ファクス転送】を順に押す
キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。
◆【受信データはありません】と表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っていません。
◆ファクス番号の入力画面が表示されたときは、メモリーにファクスメッセージが残っています。手順(5)に進んでください。
- (5) 転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

通信管理レポートを別のファクス機に転送する

- (1)  を押して、エラーメッセージを閉じる
- (2)  【メニュー】を押す
- (3) 【接続確認】を押して、複合機本体と通信ボックスが接続されていることを確認し、【OK】を押す
- (4) 【全てのメニュー】、【サービス】、【データ転送】、【レポート転送】を順に押す
キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。
- (5) 転送先のファクス番号を入力し、【スタート】を押す

※発信元登録がされていないと転送ができません。

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

子機のメッセージ

メッセージ	状態	対処
親機と接続中	通信ボックスとの通信を確立中。	子機で設定した内容を通信ボックスに送り同期させるため、通信を確立する必要があります。しばらくお待ちください。
親機応答なし 親機と通信 できません	通信ボックスの電源が入っていない。	通信ボックスのACアダプターのプラグをコンセントに差し込んでください。
親機を 探しています	子機の使用圏内（通信ボックス（親機）から、障害物のない直線距離で約100m以内）を越えた。	通信ボックス（親機）から100m以内に移動してください。 それでもメッセージが表示される場合は、子機のID登録をしておいてください。 子機の登録について詳しくは、増設子機の取扱説明書をご覧ください。 増設子機の取扱説明書は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（ http://support.brother.co.jp/ ）からダウンロードできます。
外線使用中	別の子機が通話中。	使い終わるのを待ってください。
通話圏外 親機に近づい てください	電波状態が悪い、通信ボックス（親機）の電源プラグが抜けている。	通信ボックス（親機）の状態を確認してください。 子機の 外線 を押してください。 問題が解決されない場合は、子機のID登録をしておいてください。 子機の登録について詳しくは、増設子機の取扱説明書をご覧ください。 増設子機の取扱説明書は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（ http://support.brother.co.jp/ ）からダウンロードできます。
充電デキマセン。 もう一度セット してください	充電器に異物が付着している、または接地不良。（すき間がある。）	異物を取り除いて、子機をセットし直してください。
<電池残り少> 充電 して下さい	バッテリー残量がなくなった。	子機充電器に置いて充電してください。
電話帳が いっぱいです	電話帳に登録できる件数を超過している。	不要な電話番号があれば消去してください。
電話帳登録 登録が ありません	電話帳に登録がない。	電話帳に登録してください。 ⇒ 137 ページ「子機の電話帳に登録する」
電話 できません	非通知でかかってきた、番号情報のない履歴から発信しようとしている。	この履歴からは発信できません。
登録 できません	非通知でかかってきた、番号情報のない履歴から登録しようとしている。	この履歴からは電話帳登録できません。
転送 デキマセン アンテナ 確認後 ヤリナオシテクダ サイ	複合機本体の電源が入っていない。	複合機本体の電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていることを確認し、操作パネル上の  を押して電源を入れてください。
発信履歴無し	発信履歴は子機ごとに残される。	操作中の子機からあらためてダイヤルするか別の子機から発信してください。
ファクス受信あり [クリア/音質]を 押して下さい	ファクスを受信して通信ボックスから複合機本体に転送されている。	複合機本体で確認してください。
ファクス受信あり 複合機を確認して ください	ファクスを受信したが、複合機本体の電源が入っていないため、通信ボックスから転送できない。	複合機本体の電源をオンにして、通信ボックスとの接続を確認してください。

メッセージ	状態	対処
メモリ不足で録音できません	録音した通話または留守録メッセージがいっぱいになった。	メモリー内のメッセージを整理してください。 ⇒ 80 ページ「録音した通話を再生/消去する」 ⇒ 148 ページ「メモリー内の留守録メッセージを1件選んで再生/消去する」
留守応答中	留守録音中。 子機1で留守録メッセージをモニターしている。	録音中のメッセージは子機1でしかモニター（聞くことは）できません。 外線 または  を押すと、留守録中の相手と回線がつながります。 外線発信したいときは、留守録中の相手が電話を切り表示が切り替わるのを待ってください。
留守録モニター中	留守録メッセージをモニターしている。	留守応答を続ける場合は、相手が電話を切るのを待ってください。 相手と話す場合は、外線 または  を押します。

- 1 使用の前に
- 電話
- フックス
- 電話帳
- 留守番機能
- コピー
- デジタルプリント
- こんなときは
- 付録

故障かな？ と思ったときは（修理を依頼される前に）

修理を依頼される前に下記の項目および弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）の「よくあるご質問（Q&A）」をチェックしてください。それでも異常があるときは、電源プラグを抜いて電源をOFFにし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって改善される場合があります。それでも不具合が改善しないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。

ネットワーク接続した状態で印刷できない、スキャンできないなどの問題があるときは、下記をご覧ください。

⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは（トラブル対処方法）」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	電話がかけられない／電話を受けられない。	 を外線を押しましたか。	充電台から取るだけでは回線はつながりません。  を押して、ツー音が聞こえることを確認してください。
		モジュージャックから本製品の電話機コードを外した状態で本製品に電話をかけると、話し中になっていませんか。	回線自体に問題がある可能性があります。ご利用の電話会社にお問い合わせください。
		ADSL 回線の場合、スプリッターを含む ADSL 機器を外して本製品をモジュージャック（電話線コンセント）に直接接続して、改善されるかを確認してください。	改善された場合は、ADSL 機器に問題がある可能性があります。ADSL 事業者にお問い合わせください。
		通信ボックスの電源は入っていますか。	通信ボックスの電源が入っていない場合は電話はかけられません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
電話がかけられない。（受話口から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない。）	回線種別が正しく設定されていますか。	手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」	
	電話をかけられない場合がある。（インターネット電話や IP フォンなどの IP 網を使用している場合）	本製品を IP 網で使用する場合は、手動で回線種別を設定してください。 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」	
	電話帳機能を利用して、電話をかけていませんか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話（NTT など）を選んでかけている場合は、番号のあとに  を押して、ポーズ（約 3 秒間の待ち時間）を入れてください。	
電話帳を使うと、電話をかけられない場合がある。	手動で「0000」発信によって一般の加入電話（NTT など）を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。	
	登録している電話番号の間に、ポーズ「P」が入っていませんか。	「P」を削除して登録してください。	
スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい。	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。 ⇒ 68 ページ「着信音量を設定する」	
電話の着信音が小さい。	着信音量の設定が小さくないですか。	 を押して着信音量を大きくしてください。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
電話	相手の声が聞き取りにくい。	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。 ⇒ 69 ページ「受話音量を設定する」
	相手に声が聞こえないと言われる。	送話口（マイク）をふさいでいませんか。	送話口（マイク）をふさがないでください。
	スピーカーホン通話がうまくできない。	まわりの音がうるさくないですか。	 を押してスピーカーホン通話を解除し、子機を持って話してください。
	電話がかかってきても応答しない／着信音が鳴らない。	呼出ベル回数が0回になっていませんか。	呼出回数を確認してください。 ⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」
		構内交換機（PBX）に接続しているのに、【ナンバーディスプレイ】の設定が【あり】になっていませんか。	【ナンバーディスプレイ】の設定を【なし】にしてください。 ⇒ 46 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
	受話口から「ツー」という音が聞こえない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電源プラグと電話機コードがそれぞれしっかり接続されているかを確認してください。
	声が途切れる。	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により声が途切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
	通話が切れる。	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、親切受信の設定を【しない】にしてください。 ⇒ 115 ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」
		インターネット電話や IP フォンなど、IP 網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	インターネット電話や IP フォンなど、IP 網の状況により通話が切れることがありますので、IP 網を使わずに通話してください。不明な点は、ご契約の IP 網サービス会社へお問い合わせください。
		ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしているのに、【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】になっていませんか。	【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にしてください。 ⇒ 46 ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」
画面に電話番号が表示されない。	電話会社（NTT など）との、ナンバー・ディスプレイ機能の契約（有料）はお済みですか。	番号表示をするためには、電話会社とナンバー・ディスプレイ機能の契約をする必要があります。契約の有無を確認してください。また、本製品では電話会社との契約の有無に合わせて、ナンバー・ディスプレイについて正しく設定する必要があります。 ⇒ 46 ページ「電話会社の有料サービス利用の有無を設定する」	
自分の声が響く。	通話音質調整の設定を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 262 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」 通話中に子機の受話音量を下げてください。 ⇒ 69 ページ「受話音量を設定する」		
ダイヤルインが機能しない。	本製品は、NTT のダイヤルインサービスには対応していません。		
キャッチホン	雑音が入ったり、キャッチホンが受けられない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。
ナンバー・ディスプレイ	電話番号が表示されない。	ブランチ接続（並列接続）していませんか。	正しく接続し直してください。
		ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしていますか。	電話会社（NTT など）との契約が必要です（有料）。契約の有無をご確認の上、状況に合わせて再度設定をしてください。 ⇒ 46 ページ「電話会社の有料サービス利用の有無を設定する」

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	自分の声や相手の声が大きく聞こえて話しにくい。	ISDN 回線のターミナルアダプターに接続していませんか。	ターミナルアダプターに受話音量の設定がある場合は、受話音量【小】に設定してください。また、本製品の受話音量を小さくしてください。 ⇒ 68 ページ「音量を設定する」
	電話がかかけられない。	回線種別が【プッシュ回線】に設定されていますか。	回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。 ⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」
		本製品が接続されているアナログポート(ターミナルアダプターの接続口)を「使用しない」に設定していませんか。	「使用する」に設定してください。
	電話がかかってきても本製品の着信音が鳴らない。	電話機コードが正しく接続されていますか。	電話機コードがしっかり接続されているかを確認してください。
		電源が入っていますか。	電源プラグを接続してください。
		本製品に電話をかけると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れませんか。	ターミナルアダプターが正しく設定されていません。ターミナルアダプターの設定を確認してください。また、ターミナルアダプターの電源が入っているのを確認してください。
		ターミナルアダプターの設定を確認してください。	何も接続していない空きアナログポートは「使用しない」に設定してください。
		契約回線番号および i・ナンバー情報は正しく入力されているかを確認してください。	それでもうまくいかないときは、お使いになっているターミナルアダプターのメーカーまたはご利用の電話会社にお問い合わせください。
	本製品が接続されているアナログポートに1~2回おきにしか着信しない。	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1~2回おきにしか着信できません。	ターミナルアダプターやダイヤルアップルーターの設定で「着信優先」または「応答平均化」を解除してください。
	本製品に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れてつながらない。	本製品を接続しているアナログポートの設定内容を確認してください。	本製品を接続しているアナログポートの接続機器は「電話」または「ファクス付電話」にしてください。(初期値のまま使用可能です。)
契約回線番号のアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC 設定：「HLC 設定しない」 識別着信：「識別着信しない」 			
相手側のターミナルアダプターの設定を確認してください。		i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに本製品を接続している場合は、以下のように設定してください。 <ul style="list-style-type: none"> サブアドレスなし着信：「着信する」 HLC 設定：「HLC 設定しない」 識別着信：「識別着信しない」 	
		相手も ISDN 回線の場合、相手側のターミナルアダプターの設定が誤っていることもあります。この場合、アナログ回線に接続したファクスと送・受信できれば本製品を接続しているターミナルアダプターの設定は正しいこととなります。	
ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。		

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ISDN	契約回線番号に電話がかかってきたのに、i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る。	i・ナンバーやダイヤルインのアナログポートの設定を確認してください。	ISDNの交換機で、グローバル着信をしないように設定してください。
	特定の相手とファクス通信できない。	特別回線対応の設定を【光・ISDN】にしてください。⇒259ページ「特別な回線に合わせて設定する」	それでもうまくいかないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	ファクス送受信ができない。 (電話も使えない)	ターミナルアダプターの自己診断モードでISDN回線の状況を確認してください。	異常があった場合はご利用の電話会社へご連絡ください。 回線に異常がなければ、お客様相談窓口にご連絡ください。
ADSL	ファクス通信でエラー発生が多くなった。	他の機器とブランチ接続(並列接続)していませんか。	ブランチ接続(並列接続)をしないでください。ラインセパレーターを使用すると改善する場合があります。ラインセパレーターは、パソコンショップなどでご購入ください。
ひかり電話	電話がかかけられない。	ひかり電話をご利用の場合、回線種別を自動設定できない場合があります。	手動で回線種別を【プッシュ回線】に設定してください。 ⇒34ページ「回線種別を設定する」
	特定の番号だけつながらない。	一部つながらない番号があります。	ご利用の電話会社へお問い合わせください。
	ナンバー・ディスプレイ機能が動作しない。	VoIPアダプター側が、ナンバー・ディスプレイ機能を使用しない設定になっていませんか。	VoIPアダプターの設定が必要です。契約内容の確認や、VoIPアダプターの設定方法については、契約電話会社にお問い合わせください。
	非通知の相手からの着信ができない。	VoIPアダプター側が、着信拒否をする設定になっていませんか。	
子機	動作しない／着信音が鳴らない。	外線を押ししましたか。	充電台から取るだけでは回線はつながりません。外線を押し、「ツー音」が聞こえることを確認してください。
		通信ボックス(親機)の電源は入っていますか。	通信ボックス(親機)の電源が入っていない場合は子機を使用することはできません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。 ⇒205ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		バッテリーの残量がなくなっていますか。	バッテリーを充電してください。
			バッテリーを交換してください。 ⇒205ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒34ページ「回線種別を設定する」
		着信音量がオフになっていませんか。	着信音量を【■□□□】以上に設定してください。 ⇒68ページ「子機の音量を設定する」
		呼出ベル回数が1回に設定されていませんか。	呼出回数を2回以上に設定してください。
		通信ボックス(親機)から離れすぎていませんか。	着信音が鳴る範囲まで、子機を通信ボックス(親機)に近づけてください。
		近くに雑音の原因となる電気製品がありませんか。	電気製品などから離してください。
別の子機で機能の設定、登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。		

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	動作しない／着信音が鳴らない。	別の子機を使用していませんか。	使い終わるのを待ってください。
		子機のアンテナ表示が0本～2本になっていませんか。	子機のアンテナが3本表示される場所でご使用ください。
		携帯電話の充電器や、ACアダプターが近くにいたり、電源が一緒になっていませんか。	通信ボックス（親機）や子機から離れたところで、携帯電話の充電器をご使用ください。電源が一緒になっているときは、別の電源をご使用ください。
通話状態がよくない ・声が途切れる ・通話が切れる ・雑音が入りやすい	ひかり電話やインターネット電話、IPフォンなど、IP網を使用していませんか。 （「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む）	ひかり電話やインターネット電話、IPフォンなど、IP網の状況により声が途切れることがありますのでIP網を使わずに通話してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。	
	1.9GHz帯の無線機器の影響を受けていませんか。	無線機器を本製品から遠ざけてください。	
	声やまわりの音に反応して、「親切受信」がはたらき、ファクスの受信を始めることがあります。	頻繁におこるときは、【親切受信】の設定を【しない】にしてください。 ⇒115ページ「電話に出ると自動的に受ける（親切受信）」 このときは、ファクスは手動で受信します。 ⇒114ページ「電話に出てから受ける」	
	ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしているのに、【ナンバーディスプレイ】の設定が【なし】になっていませんか。	【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にしてください。 ⇒46ページ「ナンバー・ディスプレイ機能を設定する」	
	近くに電気製品や障害物はありませんか。	電気製品などから離してください。	
		置き場所や向きを変えてみてください。 本製品と電気製品の電源プラグを別々のコンセントに接続してみてください。	
	移動しながら子機を使用していませんか。	使用場所により電波が弱い場所があります。雑音が少ない場所で使用してください。または子機のアンテナが3本表示される場所でご使用ください。	
	通話音質を調整すると改善される場合があります。	通話音質調整の設定を変更してみてください。 ⇒262ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」	
	子機のアンテナ表示が0本～2本になっていませんか。	子機のアンテナが3本表示される場所でご使用ください。	
	相手の声が聞こえにくい。	受話口をふさいでいませんか。	受話口をふさがないでください。
受話音量の設定が小さくありませんか。		受話音量を大きくしてください。 ⇒69ページ「受話音量を設定する」	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	相手から聞こえないと言われる。	送話口（マイク）に向かって話していますか。 また、送話口を髪でふさいだり、顔に押し付けたりして話していませんか。	送話口（マイク）は、できるだけ口の正面にくるようにし、ふさがないようにして話してください。
		通話音質を変更していませんか。	【通話音質】の設定値を小さくすると、相手にこちらの声が聞こえやすくなります。双方の聞こえかたを試しながら調整してください。 ⇒ 262 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」
	通話中・トリプル通話中・スピーカーホン通話中に自分の声が響く、相手の声が聞き取りにくい。	【通話音質】の設定値を変更してみてください。音質が改善されることがあります。 ⇒ 262 ページ「回線状況に応じて通話音質を設定する」 通話中に子機の受話音量を下げてください。 ⇒ 69 ページ「受話音量を設定する」	
充電を始めても【充電中】と表示されない。		子機充電器の電源プラグは確実に差し込まれていますか。	子機充電器の電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。
		子機充電器に正しく置かれていますか。	画面が正面に見える方向に、子機を置いてください。
		バッテリーを交換しましたか。	新しいバッテリーは充電されていないことがあります。その場合は、子機を子機充電器に置いて約 2 分後に【充電中】と表示されます。そのまま約 12 時間充電をしてください。
子機が温かい。	充電中や充電直後はバッテリーが温かくなります。故障ではありません。	そのままお使いください。	
充電できない。 電源が入らない。 何も表示されない。	バッテリーが寿命ではありませんか。	バッテリーを外して、子機充電器にセットしてください。 ・画面に文字が表示される場合 ご購入後 1 年以上経過していればバッテリーの寿命だと思われます。新しいバッテリーに交換してください。 ⇒ 205 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」 ・画面に何も表示されない場合 電源プラグを確認してください。	
外線 や  を押すと、「ピッピッピ」と鳴る。		別の子機が使用されていませんか。	使い終わるのを待ってください。
		通信ボックスから離れすぎていませんか。	通話圏内に戻ってください。
		電波が干渉しやすい場所で使用していませんか。	通話できる位置まで移動してください。
充電してもバッテリー警告音（ピッ…ピッ…ピッ…）が鳴り、画面に【<電池残り少>充電して下さい】と表示される。		バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。 ⇒ 205 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」
			バッテリーのコネクタが子機にしっかり差し込まれているか、子機充電器の電源プラグが奥まで完全に差し込まれているかを確認してください。
通話中に警告音（ピッピッピ）が鳴る。	通話中に電波の届かない所に子機を持ったまま出ていませんか。	通話圏内に戻ってください。	

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
子機	通話中に警告音(ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッ)が鳴る。	バッテリーが少なくなっていますか。	通話を終了して子機を子機充電器に戻してください。 通話を保留にして子機を子機充電器に戻し、別の子機で通話を続けてください。
	ファクス受信ランプの点滅が止まらない。	複合機本体の電源は入っていますか。	ファクスを受信していますが、複合機本体の電源が入っていないため、データが転送できません。複合機本体の電源をオンにして転送させた上で、ファクスを確認してください。
リモコン機能	外出先からの操作ができない。	トーン信号(ピッポッパッ)が出せない電話機からかけていませんか。	トーン信号の出せる電話機からかけ直してください。
		スマートフォンなどの携帯端末からかけていませんか。	トーン信号の出せる固定電話からかけ直してください。
留守番機能	メッセージが録音の途中で切れている。	録音中に8秒以上無音が続きませんでしたか。	メッセージを入れるときは続けて話すよう、相手に伝えてください。
	メッセージが録音できない。	空きメモリーが不足していませんか。	音声メッセージを消去してください。メモリー受信したファクスがあるときは、メモリー内の不要なファクスを消去してください。
ファクス/コピー	ファクス送信/受信ができない。	通信ボックスの電源は入っていますか。	通信ボックスの電源が入っていなければファクスの送受信はできません。通信ボックスの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		受信する前に子機を戻していませんか。	【親切受信】が【する】に設定されていれば(お買い上げ時の設定)、子機を持ったまま7秒待つと受信できます。親切受信されない場合は、手動で受信してください。 ⇒114ページ「電話に出てから受ける」
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ⇒34ページ「回線種別を設定する」
		ターミナルアダプターは正しく設定されていますか。(ISDN回線の場合)	ターミナルアダプターの設定を確認してください。
		内線で本製品を接続していますか。	構内交換機(PBX)をご利用の場合は、本製品が自動応答しない場合があります。特別回線対応の設定を【PBX】にしてください。 ⇒259ページ「特別な回線に合わせて設定する」 それでも受信できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
		ひかり電話やインターネット電話、IPフォンなど、IP網を使用していますか。 (「050」で始まる電話番号の相手にかけた場合も含む)	ひかり電話やインターネット電話、IPフォンなど、IP網の状況によりファクス送信/受信ができないことがあります。IP網を使わずに送信/受信してください。 不明な点は、ご契約のIP網サービス会社へお問い合わせください。 安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心(VoIP)】の順にお試しください。 ⇒260ページ「安心通信モードに設定する」
		複合機本体と通信ボックスの接続は良好ですか。	接続状態を確認してください。 ⇒94ページ「通信ボックスとの接続を確認する」
ファクスを送信/受信できる相手とできない相手がありますか。	安心通信モードを設定してください。このとき、【標準】→【安心(VoIP)】の順にお試しください。 ⇒260ページ「安心通信モードに設定する」		

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス /コピー	ファクス送信/受信ができない。	みるだけ受信が設定されていませんか。	みるだけ受信が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 116 ページ「受信したファクスを画面で見る (みるだけ受信)」 自動で記録紙に印刷したいときはみるだけ受信の設定を解除してください。 ⇒ 118 ページ「みるだけ受信を設定する / 解除する (ファクスを印刷して見る)」
		通信ボックスの電話機コードが回線接続端子に差し込まれていますか。	電話機コードを回線接続端子に差し込んでください。
		ファクス送受信テストをしていただくことができます。 「通信テスト」など、何か原稿にご記入いただいて下記番号に送信してください。折り返し弊社より、自動でファクスを送信します。 テスト用ファクス番号：052-824-4773	
ファクスが送信できない。	カラーで送信しようとしていますか。	本製品はカラーファクスに対応していないファクス機にカラーで送ると送信エラーになります。自動的にモノクロに変換されることもあります。送信先のファクス機がカラーに対応しているかどうかをお聞きいただき、対応していなければモノクロで送信してください。また、相手のファクス機がカラー対応であっても、インクが準備されていないときは本製品からの送信ができません。この場合もモノクロで送信してください。	
ファクスを受信できない。	転送電話 (ボイスワープ) の契約をしていませんか。	転送電話 (ボイスワープ) の設定をしていると、電話とファクスはすべて転送先へ送られます。詳しくはご利用の電話会社にお問い合わせください。	
カラーファクス受信ができない。	印刷されていませんか。	みるだけ受信に設定されていても、カラーファクスの場合はメモリーに記憶されず、自動的に印刷されます。	
	メモリー受信を【メモリ保持のみ】にしていませんか。	カラーファクスをメモリーに記憶させることはできません。カラーファクスはメモリーに記憶されずに自動的に印刷されます。排紙トレイを確認してください。	
	メモリー受信を【PC ファクス受信】にしていませんか。	カラーファクスをパソコンに転送することはできません。カラーファクスはパソコンに転送されずに自動的に印刷されます。排紙トレイを確認してください。	
	安心通信モードを【安心 (VoIP) 】にしていませんか。	カラーファクスを受信することはできません。カラーファクスを受信するには、安心通信モードを【標準】にしてください。 ⇒ 260 ページ「安心通信モードに設定する」	
みるだけ受信が設定されているのにファクスが印刷される。	ファクスがカラーではありませんか。	みるだけ受信に設定されていても、カラーファクスの場合はメモリーに記憶されず、自動的に印刷されます。	
ファクスを送信できない場合がある。(IP 網を使用している場合)	電話帳機能を利用してファクスを送っていますか。	「0000」発信を行って、一般の加入電話 (NTT など) を選んでかけている場合は、番号のあとに【ポーズ】を押して、ポーズ (約 3 秒間の待ち時間) を入れてください。	
	自動送信機能を利用していますか。		
	手動で「0000」発信によって一般の加入電話 (NTT など) を選んでかけていませんか。	「0000」や選択番号をダイヤルしたあと、少し待ってからダイヤルしてください。	

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた	
ファクス /コピー	電話帳を使うと、ファクスが送信できない場合がある。	登録している電話番号の間に、ポーズ「p」が入っていませんか。	「p」を削除して登録してください。	
	送信後、相手から受信したファクスに黒い線が入っていると連絡があった。	きれいにコピーがとれますか。		コピーに異常があるときは読み取り部の清掃をしてください。 ⇒ 195 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」
		画質モードは適切ですか。		画質を調整してください。 ⇒ 105 ページ「文字が細かい原稿をカラーで送る（設定変更の操作例）」
		キャッチホンが途中で入っていませんか。		キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れることがあります。 「キャッチホンII」のご利用をお勧めします。
		ブランチ接続（並列接続）された別の電話機の受話器を上げていませんか。		ブランチ接続（並列接続）はしないようにしてください。
		相手のファクス機のプリンターのヘッドが汚れていませんか。		まず、本製品の読み取り部の清掃を行って、きれいにコピーが取れることを確認してから送信してください。 ⇒ 195 ページ「スキャナー（読み取り部）を清掃する」 それでも現象が変わらない場合は、相手のファクスの状態を調べてもらってください。
	受信したファクスが縮んでいる。	安心通信モードを【安心（VoIP）】に設定していませんか。	安心通信モードを【標準】に設定してください。 ⇒ 260 ページ「安心通信モードに設定する」	
	受信したファクスに白抜けした所がある。			
	受信しても、記録紙が出てこない。	複合機本体の電源は入っていますか。	複合機本体の電源プラグをコンセントに差し、  を押して電源を入れてください。	
		記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットして、複合機の本体カバーやインクカバーを確実に閉めてください。 ⇒ 51 ページ「記録紙のセット」	
記録紙がなくなっていますか。				
複合機の本体カバーまたはインクカバーは確実に閉まっていますか。				
記録紙が詰まっていますか。		詰まった記録紙を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」		
インクの残量は充分ですか。		インク残量を確認してください。 ⇒ 204 ページ「インク残量を確認する」		
みるだけ受信が設定されていませんか。		みるだけ受信が設定されているときは、ファクスはメモリーに保存されます。ファクスを画面で確認してください。 ⇒ 116 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）」 「みるだけ受信」の設定を解除すれば、記録紙に印刷されるようになります。 ⇒ 118 ページ「みるだけ受信を設定する / 解除する（ファクスを印刷して見る）」		
給紙ローラーが汚れていませんか。		給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 196 ページ「給紙ローラーを清掃する」		
相手が原稿を裏返しに送信していませんか。	相手に確認し、送信し直してもらってください。			

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス /コピー	記録紙が白紙のまま出てくる。	プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか。	印刷テストを行い、問題のあるプリントヘッドをクリーニングしてください。 ⇒ 223 ページ「印刷テストを行う」 本製品には、印刷品質を維持するために、自動でヘッドクリーニングを行う機能があります。ただし、電源プラグが抜かれているとこの機能が働きません。電源の入/切は、電源プラグの抜き差しではなく、操作パネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧めします。
		原稿を裏返しにセットしていませんか。	原稿を正しくセットし、操作をやり直してください。 ⇒ 63 ページ「原稿のセット」
	きれいに受信できない。	電話回線の接続が悪いときに起こります。	相手に送信し直してもらってください。
		相手側の原稿に異常がありませんか（うすい、かすれなど）。	相手に確認し、送信し直してもらってください。
	(MFC-J897DN/J897DWNのみ) コピーに、原稿にはない黒い線が入る。	ADF 読み取り部が汚れていませんか。	ADF (自動原稿送り装置) の読み取り部を清掃してください。 ⇒ 195 ページ「スキャナー (読み取り部) を清掃する」
	きれいにコピーできない。	読み取り部が汚れていませんか。	スキャナー (読み取り部) を清掃してください。 ⇒ 195 ページ「スキャナー (読み取り部) を清掃する」
	文字や画像がずれている、またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれていませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、プリントヘッドが左右どちらに移動するときにもインクを吐出しています。左右の吐出位置のずれが大きくなると、このような印刷結果になります。印刷位置チェックシートの印刷結果に従って補正を行ってください。 ⇒ 224 ページ「印刷位置のズレをチェック / 補正する」
	2枚に分かれて印刷される。	送信側の原稿がA4より長くありませんか。	自動縮小の設定を【する】にしてください。 ⇒ 119 ページ「自動的に縮小して受ける」
	受信したファクスデータが確認できない。	複合機本体の電源をオンにした直後ではありませんか。	複合機本体の電源をオンにしたあと、しばらくお待ちください。 ⇒ 112 ページ「本製品のファクス受信のしくみ」
自動受信できない。		呼出回数が多すぎませんか。	在宅モードのときは呼出ベル回数を6回以下に、留守モードのときは呼出ベル回数を2回以下に設定してください。 ⇒ 44 ページ「呼出ベル回数を設定する」 または、手動で受信してください。 ⇒ 114 ページ「電話に出てから受ける」
		みるだけ受信が設定されていませんか。	みるだけ受信が設定されているときは、ファクスは印刷されません。画面で確認してください。 ⇒ 116 ページ「受信したファクスを画面で見る (みるだけ受信)」 「みるだけ受信」を解除すれば、記録紙に印刷されるようになります。 ⇒ 118 ページ「みるだけ受信を設定する / 解除する (ファクスを印刷して見る)」
		メモリーがいっぱいではありませんか。	メモリーが不足しているとファクスが受信できない場合があります。メモリーに記録されているファクスメッセージを消去してください。
	記録紙が何度も詰まる	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ファクス /コピー	MFC-J897DN/J897DWN のみ		
	自動両面コピーのとき、記録紙が何度も詰まる	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 198 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面コピーのとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	あんしん設定をお試しください。 ⇒ 164 ページ「両面コピーする (MFC-J897DN/J897DWN のみ)」
	ADF (自動原稿送り装置) 使用時、原稿が送り込まれていかない。	画面に【原稿セット OK】と表示される位置まで原稿をしっかりと差し込んでいますか。	原稿を一度取り出し、もう一度確実にセットしてください。
		ADF カバーは確実に閉まっていますか。	ADF カバーを閉じ直してください。
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていませんか。	推奨する厚さの原稿を使用してください。
		原稿が折れ曲がったり、カールしたり、しわになっていませんか。	原稿台ガラスからファクスまたはコピーしてください。
		原稿が小さすぎませんか。	小さすぎる原稿は、原稿台ガラスにセットしてください。
		原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていますか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取り除いてください。 ⇒ 219 ページ「原稿が ADF (自動原稿送り装置) に詰まったとき (MFC-J897DN/J897DWN)」
		ADF (自動原稿送り装置) 使用時、原稿が斜めになってしまう。	ADF ガイドを原稿に合わせていますか。
	ADF (自動原稿送り装置) 使用時、本製品の動作が遅くなる。	原稿挿入口に破れた原稿などが詰まっていますか。	ADF カバーを開け、詰まっている原稿を取り除いてください。 ⇒ 219 ページ「原稿が ADF (自動原稿送り装置) に詰まったとき (MFC-J897DN/J897DWN)」
		大量の原稿を連続で読み取らせていませんか。	製品の温度上昇を防ぐため、動作が遅くなることがあります。しばらく時間をおいてからご使用ください。
	光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 196 ページ「給紙ローラーを清掃する」
		光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 51 ページ「記録紙のセット」
	拡大/縮小で【用紙に合わせる】が機能しない。	セットした原稿が傾いていませんか。	セットした原稿が3°以上傾いていると、原稿サイズが正しく検知されず、【用紙に合わせる】が機能しません。原稿が傾かないようにセットし直してください。
印刷面の下部が汚れる。	スキャナー (読み取り部) が汚れていませんか。	スキャナー (読み取り部) を清掃してください。 ⇒ 195 ページ「スキャナー (読み取り部) を清掃する」	
	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 ①	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	記録紙が重なって送り込まれる。	記録紙がくっついていませんか。	記録紙をさばいて入れ直してください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙がトレイの後端に乗り上げていませんか。	記録紙を押し込みすぎないでください。
		種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	記録紙トレイのコルクの部分を清掃してください。 ⇒ 197 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕はありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
パソコンから印刷できない。 (①～④の順番に試してください。)	①本製品とパソコンの接続方式 (USB、無線 LAN) を変更していませんか。	接続方式を変更する場合は、新しい接続方式のドライバーを追加インストールする必要があります。 ⇒かんたん設置ガイド	
	②本製品の電源は入っていますか。画面にエラーメッセージが表示されていませんか。	電源を入れてください。エラーメッセージが出ている場合は、内容を確認して、エラーを解除してください。 ⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」	
	③USB ケーブルはパソコンと複合機本体側にしっかりと接続されていますか。	複合機本体側と、パソコン側の両方の USB ケーブルを差し直してください。 ※USB ハブなどを経由して接続している場合は、USB ハブを外し、直接 USB ケーブルで接続してください。 ネットワーク経由で印刷できない場合は、 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは (トラブル対処方法)」をご覧ください。	
	④インクカートリッジは正しく取り付けられていますか。	インクカートリッジを正しく取り付けてください。 ⇒ 202 ページ「インクカートリッジを交換する」	

ご利用の前に

電話

フックス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	パソコンから印刷できない。 (①～⑪の順番に試してください。)	⑤ 印刷待ちのデータがありませんか。	<p>印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Windows® の場合 プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] から [すべてのドキュメントの取り消し] を行ってください。 <Windows® 8> マウスをデスクトップ右下端に移動させ、メニューバーが表示されたら、[設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックします。 <Windows® 7> スタートボタンから [デバイスとプリンター] - [プリンターと FAX] の順にクリックします。 <Windows Vista® > スタートボタンから [コントロール パネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] の順にクリックします。 <Windows® XP> スタートボタンから [プリンタと FAX] をクリックします。 • Macintosh の場合 プリントキューを開き、印刷データを選択して [削除] をクリックしてください。 <OS X v10.7.5/10.8.x> [システム環境設定] - [プリントとスキャン] - [プリントキューを開く…] の順に選択します。 <OS X v10.9.x> [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] - [プリントキューを開く…] の順に選択します。
		⑥ 通常使用するプリンターの設定になっていますか。	<ul style="list-style-type: none"> • Windows® の場合 プリンターアイコンにチェックマークがついているか確認してください。ついていない場合は、アイコンを右クリックし、[通常使うプリンターに設定] をクリックしてチェックをつけます。 • Macintosh の場合 <OS X v10.7.5/10.8.x> [プリントとスキャン] を開き、[デフォルトのプリンタ] を本製品にします。 <OS X v10.9.x> [プリンタとスキャナ] を開き、[デフォルトのプリンタ] を本製品にします。
		⑦ 一時停止の状態になっていませんか。	<ul style="list-style-type: none"> • Windows® の場合 プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] - [一時停止] をクリックしてチェックを外します。 • Macintosh の場合 <OS X v10.7.5/10.8.x> プリントキューを開き、印刷データを選択して [プリンタを再開] をクリックします。 <OS X v10.9.x> プリントキューを開き、印刷データを選択して [再開] をクリックします。

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	パソコンから印刷できない。 (①～⑩の順番に試してください。)	⑧ オフラインの状態になっていませんか。 (Windows® のみ)	<Windows® 7/Windows® 8> プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] – [プリンターをオフラインで使用する] をクリックして、チェックを外します。 <Windows Vista® /Windows® XP> プリンターアイコンを右クリックして、[プリンターをオンラインで使用する] がメニューにある場合は、オフラインの状態です。[プリンターをオンラインで使用する] をクリックします。
		⑨ 印刷先 (ポート) の設定は正しいですか。 (Windows® のみ)	印刷先のポートが正しく設定されているかを確認してください。 <Windows® 7/Windows® 8> プリンターのアイコンをダブルクリックして画面を開き、[プリンター] – [プロパティ] – [ポート] タブをクリックします。 <Windows Vista® /Windows® XP> プリンターアイコンを右クリックして、[プロパティ] – [ポート] タブをクリックします。
		⑩ 以上の手順をすべて確認し、もう一度印刷を開始してください。それでも印刷ができない場合は、パソコンを再起動し、本製品の電源を入れ直してみてください。	
		⑪ ①～⑩までをすべて確認してもまだ印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールして、「かんたん設置ガイド」に従って再度インストールすることをお勧めします。 ※アンインストールの方法 <Windows® 7> [スタート] – [すべてのプログラム] – [Brother] – [MFC-XXXX*1] – [アンインストール] の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。 *1 XXXX はモデルの型式名です。 <Windows® 8>  (Brother Utilities) – [ツール] – [アンインストール] の順に選び、画面の指示に従ってアンインストールしてください。	
斜めに印刷されてしまう。	記録紙が正しくセットされていますか。	記録紙をセットし直してください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」	
	紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 MFC-J827DN/J827DWN ⇒ 207 ページ「MFC-J827DN/J827DWN をご利用の場合」手順 ⑪ MFC-J897DN/J897DWN ⇒ 213 ページ「MFC-J897DN/J897DWN をご利用の場合」手順 ⑨	
記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 ⑪	
	記録紙が正しくセットされていますか。	トレイに記録紙を正しくセットしてください。	
	種類の違う記録紙を混ぜてセットしていませんか。	種類の違う記録紙は取り除いてください。	

ご使用前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	記録紙が重なって送り込まれ、紙づまりが起こる。	紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 MFC-J827DN/J827DWN ⇒ 207 ページ「MFC-J827DN/J827DWN をご利用の場合」手順 11 MFC-J897DN/J897DWN ⇒ 213 ページ「MFC-J897DN/J897DWN をご利用の場合」手順 9
		記録紙トレイのコルクの部分が汚れていませんか。	記録紙トレイのコルクの部分を清掃してください。 ⇒ 197 ページ「記録紙が重なって給紙されてしまうときは」
		記録紙のセット枚数に余裕がありますか。	記録紙のセット枚数に余裕がないと、うまく送り込まれないことがあります。記録紙を 10 枚程度多めにセットしてください。
光沢紙がうまく送り込まれない。	給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 196 ページ「給紙ローラーを清掃する」	
	光沢紙を1枚だけセットしていませんか。	光沢紙付属の補助紙を敷いた上に、光沢紙をセットしてください。ブラザー写真光沢紙の場合は、1 枚多く光沢紙をセットしてください。 ⇒ 51 ページ「記録紙のセット」	
印刷された画像に規則的に横縞が現れる。	厚紙などに印刷していませんか。	プリンタードライバーの [基本設定] タブで [乾きにくい紙] をチェックしてください。	
文字や画像がゆがんでいる。	記録紙が記録紙トレイまたはスライドトレイに正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットし直してください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」 ⇒ 58 ページ「スライドトレイにセットする」	
	紙づまり解除カバーが開いていませんか。	紙づまり解除カバーを確実に閉めてください。 MFC-J827DN/J827DWN ⇒ 207 ページ「MFC-J827DN/J827DWN をご利用の場合」手順 11 MFC-J897DN/J897DWN ⇒ 213 ページ「MFC-J897DN/J897DWN をご利用の場合」手順 9	
印刷速度が極端に遅い。	[画質強調] が設定されていませんか。	画質強調して印刷すると、通常より印刷速度が落ちます。もし、画質強調する必要がなければ、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、[拡張機能] タブ、[カラー設定] の順にクリックし、[画質強調] のチェックを外す。 • Macintosh の場合 カラー設定画面で [カラー詳細設定] から [画質強調] のチェックを外す。	
	[ふちなし印刷] の設定になっていませんか。	ふちなし印刷をすると、通常より印刷速度が落ちます。もし、ふちなし印刷する必要がなければ、次のように設定します。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、[基本設定] タブをクリックし、[ふちなし印刷] のチェックを外す。 • Macintosh の場合 [ファイル]、[ページ設定] をクリックし、[用紙サイズ] のプルダウンメニューから「縁なし」の記載のないサイズを選ぶ。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	[画質強調] が有効に機能しない。	印刷するデータはフルカラーですか。	フルカラー以外では [画質強調] は機能しません。また、[画質強調] は、パソコンを使って画像を解析するため、この機能を使うときは、パソコンのディスプレイ (モニター) の [色] を 24 ビット以上にしてください。
		100 万画素以上の画像ではありませんか。	[画質強調] は画素数の少ない画像に対して有効です。100 万画素以上の画像は [画質強調] を設定しないでください。処理に数十分かかる場合があります。
	文字が黒く化けたり、水平方向に線が入ったり、文字の上下が欠けて印刷されてしまう。	コピーは問題なくできますか。	コピーをして問題がなければ、ケーブルの接続に問題があります。接続ケーブルを確認してください。それでも解決できないときは、お客様相談窓口にご連絡ください。
	印刷した画像が明るすぎる、または暗すぎる。	インクカートリッジが古くなっていませんか。	カートリッジは製造後 2 年間は有効にご利用いただけますが、それ以上経過したものはインクが凝固している可能性があります。パッケージに有効期限が印刷されていますのでご確認ください。期限切れの場合は新しいカートリッジをご使用ください。
		記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		温度が高すぎる、または低すぎませんか。	本製品の使用環境温度内をご利用ください。
	印刷したページの上部中央に汚れ、またはしみがある。	記録紙が厚すぎる、またはカールしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 51 ページ「使用できる記録紙」 カールしていない記録紙をご利用ください。
	印刷面の下部が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。	記録紙ストッパーを確実に引き出してください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」 手順 ⑪
	印刷面のうら側が汚れたり、給紙ローラーのあとが残る。	プラテンが汚れていませんか。	プラテンを清掃してください。 ⇒ 199 ページ「本体内部を清掃する」
		給紙ローラーが汚れていませんか。	給紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 196 ページ「給紙ローラーを清掃する」
	印刷された記録紙にしわがよる。	[双方向印刷] の設定になっていませんか。	お買い上げ時は、[双方向印刷] に設定されています。[双方向印刷] では、薄い記録紙をご利用の場合など、記録紙の種類によってはしわがよることがあります。[双方向印刷] を解除して印刷をお試しください。ただし、[双方向印刷] を解除すると、印刷速度は落ちます。 • Windows® の場合 印刷設定画面で、[拡張機能] タブ、[カラー設定] の順にクリックし、[双方向印刷] のチェックを外す。 • Macintosh の場合 印刷設定画面で [拡張機能] をクリックし、[その他特殊機能] から [双方向印刷] のチェックを外す。
	インクがにじむ。	記録紙の設定が違っていませんか。	お使いいただいている記録紙に合わせて、記録紙タイプを設定してください。
		光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面 (印刷面) を下にしてセットしてください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	文字や画像がずれている、 またはにじんでいるように見える。	プリントヘッドがずれて いませんか。	本製品は双方向印刷を行っているために、 プリントヘッドが左右どちらに移動する ときにもインクを吐出しています。左右の吐 出位置のずれが大きくなると、このような 印刷結果になります。印刷位置チェック シートの印刷結果に従って補正を行って ください。 ⇒ 224 ページ「印刷位置のズレをチェック /補正する」
	白紙が印刷される。 印刷がかすれる。 印刷が薄い。 印刷面に白い筋が入る。	プリントヘッドのノズル が目詰まりしていません か。 記録紙の厚さが薄すぎたり 厚すぎたりしていません か。	ヘッドクリーニングを行ってください。 ⇒ 222 ページ「プリントヘッドをクリー ニングする」 本製品には、印刷品質を維持するために、自 動でヘッドクリーニングを行う機能があり ます。ただし、電源プラグが抜かれている ところの機能が働きません。電源の入/切は、 電源プラグの抜き差しではなく、操作パ ネル上の電源ボタンで行うことを強くお勧 めします。 記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 51 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお 勧めします。 ⇒ 52 ページ「専用紙・推奨紙」
印刷ページの端や中央が かすむ。	本製品は、平らで水平な場 所に置かれていますか。	平らで水平な場所に置かれているなら、 ヘッドクリーニングを数回行ってみてくだ さい。 ⇒ 222 ページ「プリントヘッドをクリー ニングする」 もし、印刷し直しても変化がみられない場 合は、インクカートリッジを交換してくだ さい。それでもまだ、印刷の質に問題があ る場合は、お客様相談窓口にご連絡くだ さい。	
印刷の質が悪い。	プリントヘッドが汚れて いませんか。	ヘッドクリーニングを数回します。 それでも改善されない場合は、インクカ ートリッジを新しい物と交換してください。 ⇒ 202 ページ「インクカートリッジを交換 する」	
	プリントヘッドがずれて いませんか。	印刷位置チェックシートの印刷結果に従っ て補正を行ってください。 ⇒ 224 ページ「印刷位置のズレをチェック /補正する」	
	プリンタードライバーの 基本設定で、用紙種類を正 しく選んでいますか。	正しい用紙種類を選んでください。	
	インクカートリッジの有 効期限が過ぎていません か。	有効期限内のインクカートリッジをお使い ください。	
	本製品に取り付けられて いるインクカートリッジ が、6ヶ月以上取り付けら れたままになっていま せんか。	開封したインクカートリッジは、6ヶ月以 内に使い切ってください。	
	純正以外のインクを使用 していませんか。	4色とも純正インクカートリッジと交換し て、ヘッドクリーニングを数回行ってくだ さい。 ヘッドクリーニングを数回してもまだ印刷 の質が悪い場合は、お客様相談窓口にご 連絡ください。	

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
プリント (印刷)	印刷の質が悪い。	記録紙の厚さが薄すぎたり厚すぎたりしていませんか。	記録紙の厚さを確認してください。 ⇒ 51 ページ「使用できる記録紙」 弊社純正の専用紙をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 52 ページ「専用紙・推奨紙」
		室温が高すぎるか低すぎませんか。	印刷品質のためには、室温が 20～33℃の状態をご利用になることをお勧めします。 ⇒ 297 ページ「温度」
	写真用光沢紙で印刷したときに、インクがにじんだり、流れたりする。	光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」
		記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。 ⇒ 62 ページ「記録紙の種類を設定する」
	写真プリントでインクが乾くのに時間がかかる。	記録紙の設定が違っていませんか。	写真用光沢紙を使用している場合は、記録紙タイプの設定が正しいことを確認してください。パソコンからプリントしている場合は、プリンタードライバーの【基本設定】タブの用紙種類で設定します。
		光沢紙の表裏が逆にセットされていませんか。	光沢面（印刷面）を下にしてセットしてください。 ⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」
	[2 ページ] 印刷がうまく印刷できない。	アプリケーションソフトの用紙設定とプリンタードライバーの設定を確認してください。	アプリケーションで [2 ページ] を設定している場合は、プリンタードライバーの [2 ページ] の設定を解除してください。
	記録紙が何度も詰まる。	本体内部に紙片が残っていませんか。	本体内部から紙片を取り除いてください。 ⇒ 207 ページ「紙が詰まったときは」
	自動両面印刷のとき、記録紙が何度も詰まる	排紙ローラーが汚れていませんか。	排紙ローラーを清掃してください。 ⇒ 198 ページ「排紙ローラーを清掃する」
	自動両面印刷のとき、記録紙のうら面が汚れる。	おもて面の印刷内容によっては、インクが乾きにくく、記録紙のうら面が汚れる場合があります。	両面印刷あんしん設定をお試しください。 Windows® の場合 ⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編「Windows® 編」- 「拡張機能」タブの設定 Macintosh の場合 ⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」- 「拡張機能」
はがきに印刷できない。	スライドトレイが正しくセットされていますか。	スライドトレイが奥にセットされているかを確認してください。 ⇒ 58 ページ「スライドトレイにセットする」	
デジカメ プリント	デジタルカメラと本製品を接続しても、プリントができない。	デジタルカメラと本製品が正しく接続されていますか。	本体側とカメラ側の両方の USB ケーブルを差し直してください。USB ケーブルは、本製品前面の PictBridge ケーブル差し込み口に接続してください。
		お使いのデジタルカメラが、PictBridge に対応していますか。	お使いのデジタルカメラやパッケージなどに、PictBridge のロゴマークが付いているかどうかご確認ください。または、デジタルカメラの取扱説明書をご確認ください。
	写真の一部がプリントされない。	ふちなし印刷または画像トリミングが設定されていませんか。	ふちなし印刷、画像トリミングを【しない】に設定します。
	よりきれいに印刷したい。	プリント画質の設定で調整しましたか。	本製品には画質を向上させてプリントする機能があります。お好みで調整してください。 ⇒ 176 ページ「設定を変えてプリントするには」

ご使用前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

録付

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
スキャナ	スキャン開始時に TWAIN エラーが表示される。	ブラザー TWAIN ドライバーが選択されていますか。	アプリケーションで [ファイル] - [ソースの選択] を順にクリックして、ブラザー TWAIN ドライバー (TW-Brother モデル名 LAN) を選択し、[OK] をクリックしてください。
	スキャンした画像のまわりに余白がある。	スキャンした画像に余白が入る場合があります。	余白がついた場合は、スキャンした画像を画像処理ソフトで開いて、必要な部分を切り出してください。
	(MFC-J897DN/J897DWN のみ) ADF (自動原稿送り装置) を使うと、きれいにスキャンできない。(黒い線が入る)	ADF 読み取り部が汚れていませんか。	ADF (自動原稿送り装置) の読み取り部を清掃してください。 ⇒ 195 ページ「スキャナー (読み取り部) を清掃する」
ソフト Windows®	[接続エラー] か [本製品はビジー状態です。] というエラーメッセージが表示される。	本製品の電源は入っていますか。 USB ケーブルをパソコンに直接接続していますか。	電源を入れてください。 USB ケーブルは他の周辺機器 (Zip ドライブ、外付け CD-ROM ドライブ、スイッチボックスなど) を経由して接続しないでください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
	BRUSB: USBXXX: への書き込みエラーが表示される。	本製品の画面に【印刷できません インク交換】と表示されていませんか。	画面に表示されている色のインクカートリッジを交換してください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして正常に動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由 (無線 LAN) で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、ControlCenter を使います。 ⇒ ユーザーズガイド パソコン活用編 「Windows® 編」 - 「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」
		メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーが停止状態になっていませんか。	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出し、再度挿入してください。メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーの取り出し操作を行っている場合、メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを取り出さないと次の操作に移ることができません。
		アプリケーションからメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のファイルを開いていたり、エクスプローラーでメモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内のフォルダーを表示していませんか。	パソコン上で [取り出し] 操作を行おうとしたときにエラーメッセージが現れたら、それは現在メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセス中を意味します。しばらく待ってからやり直してください。(メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーを使用中のアプリケーションやエクスプローラーをすべて閉じないと、[取り出し] 操作はできません。)
		一度、パソコンと本製品の電源を切り、再度入れてみてください。	上記の操作でも問題が解決しない場合は、いったんパソコンと本製品の電源を切って電源プラグを抜いてください。電源プラグを入れ直し、電源を入れてください。
	ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	接続失敗のエラーメッセージ画面から [検索] をクリックし、表示される機器の一覧から、使用する機器 (本製品) を選び、再度設定してください。 ⇒ ユーザーズガイド ネットワーク編 「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
ソフト Windows®	ネットワーク接続で、ウィルス対策ソフトのファイアウォール機能を有効にすると、使用できない機能がある。	自動でインストールすると、本製品の接続先がノード名で設定されます。この場合、ファイアウォールの機能によっては接続できないことがあるため、ドライバーのインストールを最初からやり直してください。その際は、本製品の IP アドレスを固定してからインストールを行ってください。 インストール中、接続方式を選ぶ画面で、[カスタム] をチェックし、本製品の IP アドレスを指定してください。本製品の IP アドレスは、ネットワーク設定リストで確認できます。 • IP 取得方法の変更 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「有線 LAN/ 無線 LAN の設定」－「IP 取得方法」 • ネットワーク設定リストの印刷 ⇒270 ページ「本製品の設定内容や機能を確認する」	
ソフト Macintosh	接続したプリンターが表示されない。	プリンターの電源が入っていますか。	プリンターの電源を入れてください。
		USB ケーブルが正しく接続されていますか。	USB ケーブルを正しく接続してください。 ⇒かんたん設置ガイド
		プリンタードライバーが正しくインストールされていますか。	プリンタードライバーを正しくインストールしてください。
	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーがリムーバブルディスクとして動作しない。	本製品とパソコンをネットワーク経由（無線 LAN）で接続していませんか。	リムーバブルディスクとして使用できるのは、USB 接続の場合のみです。ネットワーク経由でメモリーカードにアクセスする場合は、下記をご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド パソコン活用編「Macintosh 編」－「ネットワーク経由でメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーにアクセスする」
	使用しているアプリケーションから印刷できない。	プリンターを正しく選択していますか。	プリンタードライバーがインストールされていることを確認して、プリンターを選択し直してください。
	Adobe® Illustrator® 使用時にうまく印刷できない。	印刷解像度が高すぎませんか。	印刷解像度を低く設定してみてください。
ネットワークリモートセットアップの接続に失敗した。	ネットワークの設定を変更したり、別の機器と置き換えたりしていませんか。	再度設定を行い、使用する機器（本製品）を検出してください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「ネットワークリモートセットアップ機能を使う」	
その他	複合機本体の電源が入らない。	⏻ を押して電源をオンにしましたか。	操作パネル上の ⏻ を押して、電源をオンにしてください。
		電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源プラグをいったん抜き、もう一度確実に差し込んでください。それでも電源が入らない場合は、落雷などの影響で本製品に異常が発生した可能性があります。落雷故障は有償にて修理を承ります。
		コンセントに異常はありませんか。	電源プラグを抜き、ほかの電化製品の電源プラグを差し込み、動作を確認してください。ほかの電化製品の電源も入らない場合は、そのコンセントに電気が届いていない可能性があります。別のコンセントを使用してください。
	操作をしていないのに、本製品が動き出す。	本製品は、定期的にプリントヘッドのクリーニングを行います。	そのまましばらくお待ちください。
	出力された記録紙の下端が汚れる。	記録紙ストッパーを確実に引き出していますか。または、閉じたままにしていますか。	記録紙ストッパーは常時開いた状態で使います。確実に引き出して使用してください。 ⇒54 ページ「記録紙トレイにセットする」手順 11
	出力された記録紙がそろわない。		

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

項目	こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
その他	モノクロ印刷しかしていないのに、カラーのインクがなくなる。	本製品は、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングします。そのため、印刷してなくてもインクが消費されます。	
	記録紙トレイが抜けない。	記録紙トレイが抜けにくい場合は、一旦奥まで差し込んで一気に引き出してください。	
	記録紙トレイを引き出しにくい、または差し込みにくい。	不安定な場所に設置していませんか。	水平で凹凸のない場所に設置してください。
		記録紙トレイが紙の粉で汚れていませんか。	記録紙トレイを清掃してください。記録紙トレイ右側の枠の上に、紙の粉がたまることがあります。 ⇒ 194 ページ「外側を清掃する」
	プリントヘッドの下に詰まった記録紙を取り除きたいが、プリントヘッドが動かない。	プリントヘッドが右端で止まっていますか。	以下の手順で操作してください。 ①  を長押しする プリントヘッドが中央に移動します。 ②電源プラグを抜いて、記録紙を取り除く ③複合機の本体カバーを閉じて、電源プラグをコンセントに差し込む 複合機本体の電源が入り、プリントヘッドが所定の位置に自動的に戻ります。
	ネットワーク接続でのトラブル	ネットワーク接続にて、印刷できない、スキャンできないなどの問題がありましたら、下記をご覧ください。 ⇒ユーザーズガイド ネットワーク編「困ったときは(トラブル対処方法)」	
	操作パネルのダイヤルボタンを押しても数字などが入力されない。	画面にテンキーなどが表示されていませんか。	画面にテンキーなどが表示されている場合、画面上のテンキーから入力してください。
	使用中にタッチパネルが反応しなくなった。	タッチパネルの下部と枠の間にゴミなどの異物が入っていませんか。	複合機本体の電源プラグを 1 回抜き差ししてください。【タッチパネルエラー】というエラーメッセージが表示される場合は、タッチパネルの下部と枠の間に異物が入った可能性があります。 タッチパネルの下部を指で押して、タッチパネル下部と枠のすきまに厚紙など、画面を傷つけないものを差し込み、異物を取り除いてください。 本製品の電源プラグを抜き差ししても、エラーメッセージが表示されない場合は、複合機本体に問題がある可能性があります。お客様相談窓口にご連絡ください。
画面の文字が読みにくい。	複合機本体： 画面の明るさが【暗く】になっていませんか。	画面の明るさを【標準】または【明るく】に設定してください。 ⇒ 72 ページ「複合機本体の画面設定を変更する」	
	子機： 画面のコントラストが弱くありませんか。	画面のコントラストを上げてください。 ⇒ 72 ページ「子機の画面のコントラストを変更する」	

動作がおかしいときは（修理を依頼される前に）

本製品に次のような不具合が発生したときは、外部からの大きなノイズによって誤作動している恐れがあります。

- 画面に正しく表示できない
- ボタンが操作できない
- 設定内容リストなどが正しく印刷できない
- コピーなど、印刷できない状態が頻繁に起きる
- その他、正しく動作できない

このようなときは、電源プラグを抜いて電源を OFF にし、数秒後にもう一度差し込んでみてください。これによって、改善される場合があります。

上記の操作をしても、不具合が改善されないときはお客様相談窓口にご連絡ください。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

複合機本体と通信ボックスの通信がうまくいかないときは

ファクス送受信時には、複合機本体と通信ボックスの両方の電源が入っている必要があります。2台のあいだの通信がうまくいかないときや、ファクスが送れないときは、次の項目を確認してください。

- 複合機本体の電源プラグがコンセントに差し込まれ、で電源が入っていますか？
- 通信ボックスの電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？
- 通信ボックスから電話機コードが抜けていませんか？
- 電話機コードは壁側の電話機コード差し込み口にしっかり差し込まれていますか？

通信ボックスとの接続を確認する

上記を確認しても通信できない場合は、次の手順で、複合機本体と通信ボックスの接続状況およびメッセージ内容を確認してください。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】(1)を押す



通信ボックスとの現在の接続状況を表示します。メッセージの詳細については、下記をご覧ください。
⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押して確認を終了する

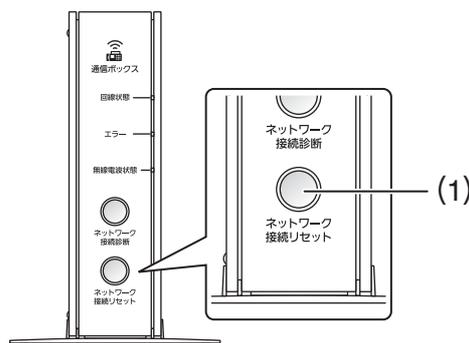
通信ボックスと複合機本体の接続をお買い上げ時の状態に戻す（通信ボックスの再接続）

電源コード、電話機コードの差し込みや通信ボックスと複合機本体間の距離などを調整し、再度接続確認を行っても正常に通信しないときは、2者間の通信を本製品お買い上げ時の状態に戻す通信ボックスの再接続を行ってください。

1 通信ボックスの電源プラグがしっかりと接続され、複合機本体の電源がオンになっていることを確認する

2 通信ボックス前面のネットワーク接続リセットボタン(1)を5秒以上押す

前面のランプが3つとも点滅を始めたらボタンから指を離してください。



接続が正常に戻ると回線状態ランプと無線電波状態ランプが点灯します。

通信や通話がうまくいかないときに回線環境を改善する

通話や通信がうまくいかないときは、状況に応じて、以下の操作をお試しください。

特別な回線に合わせて設定する

【特別回線対応】

ファクスがうまく送信 / 受信できないときは、使用している電話回線の種類に合わせて以下の設定を行ってください。お買い上げ時は【一般】に設定されています。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

4 【全てのメニュー】、【初期設定】、【特別回線対応】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼ / ▲ を押して画面を送ります。

5 お使いの環境に合わせて回線種別を選ぶ

【一般 / PBX / 光・ISDN】から選びます。

6 を押して設定を終了する

お願い

- 【PBX】に設定すると、ナンバー・ディスプレイの設定が自動的に【なし】になります。【ナンバーディスプレイ】の設定を【あり】にするときは、【特別回線対応】の設定を【一般】にしてください。

ご利用の前

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

安心通信モードに設定する

【安心通信モード】

通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合は、安心通信モードの設定を変えます。お買い上げ時は【高速】に設定されているので、一時的に【安心 (VoIP)】に設定してお試してください。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

4 【全てのメニュー】、【初期設定】、【安心通信モード】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

5 【安心 (VoIP)】を押す

設定を戻すときは、【高速】を選びます。

お願い

- 【安心 (VoIP)】に設定すると、カラーファクスの受信ができません。(相手のファクス機によっては、モノクロに変換して受信します。) カラーファクスを受け取る機会が多い場合は、【標準】に設定してください。

6 を押して設定を終了する

- ☞ 【安心 (VoIP)】に設定すると、ファクスの送信・受信にかかる時間がより長くなります。
- ☞ 【安心 (VoIP)】への設定は通信エラーの多発する特定の相手との通信時のみに限定して一時的に変更してください。通常は【高速】または【標準】に設定して使用します。
- ☞ IP フォンで通信エラーが発生する場合は、電話番号の前に「0000」（ゼロ4つ）を付けておかけください。このとき、通信料はNTTなどの一般の加入電話からの請求になります。ひかり電話をご利用の場合は、「0000」（ゼロ4つ）を付けてかけることができません。
- ☞ ファクスの通信エラーは、本製品の設定以外に、以下のような要素から起こります。このため、本製品の設定だけでは、通信エラーを解消できないことがあります。
 - 通信回線の品質
 - 信号レベル
 - 通信相手機の影響
 - 屋内線の配線や接続している機器の影響

ダイヤルトーン検出の設定をする

【ダイヤルトーン設定】

ファクス送信に失敗すると、送信結果レポートが出力されます。送信結果レポートで、送信結果を確認してください。話し中や番号間違いでないのに、ファクスが送信できない場合は、ダイヤルトーンの設定を変更することで、改善される可能性があります。お買い上げ時は、【検知しない】に設定されています。

お願い

- ダイヤルトーンの設定を【検知する】に設定するのは、上記で述べた状況のみに限定してください。特に、構内交換機 (PBX) や IP 電話をご利用の環境では、【検知する】に設定すると発信できなくなる場合があります。通常は、【検知しない】のままお使いください。

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

4 【全てのメニュー】、【初期設定】、【ダイヤルトーン設定】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

5 【検知する】を押す

設定を戻すときは、【検知しない】を選びます。

6 を押して設定を終了する

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

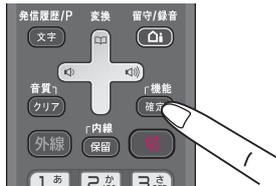
回線状況に応じて通話音質を設定する

【通話音質】

トリプル通話または外線通話中に相手の声が聞こえにくかったり、スピーカーホン通話で自分の声が響いたりするときは、通話音質調整の設定を変更することで改善されることがあります。

お買い上げ時は、「音質設定 1」に設定されています。

1 子機の「機能確定」を押す



2 + で【通話音質】を選び、「機能確定」を押す

3 + で現在とは異なる設定値を選び、「機能確定」を押す

設定後、声の響きかたを確認してください。
【音質設定 1】、【音質設定 2】、【音質設定 3】、
【音質設定 4】の順に設定を試みてください。

 【音質設定 1】 → 【音質設定 2】 → 【音質設定 3】 → 【音質設定 4】へと変更するに従って、自分の声が響かなくなり、相手の声ははっきりしてきます。ただし、設定値が大きいと、相手にはこちらの声が聞こえにくいと感ずることがあります。

初期状態に戻す

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻したり、登録した情報をすべて消去したりできます。本製品には次の初期化メニューが用意されています。

- 機能設定リセット
- ネットワーク設定リセット
- 電話帳 & ファクスリセット
- 全設定リセット

お願い

- 外線使用中は、初期化機能は実行できません。本製品を使用する操作が何も行われていないことを確認して初期化作業をしてください。
- 【電話帳 & ファクスリセット】と【全設定リセット】を実行すると、メモリー内のファクスデータは消去されます。実行前に未読のファクスがないかを確認してください。
 - ⇒ 116 ページ「受信したファクスを画面で見る（みるだけ受信）」
 - ⇒ 122 ページ「メモリー受信したファクスを印刷する」
- 【電話帳 & ファクスリセット】と【全設定リセット】を実行すると、複合機本体電話帳の内容は消去されるためご注意ください。あらかじめ電話帳リストを印刷しておくことをお勧めします。また、リモートセットアップの [エクスポート] 機能を使うと、電話帳の内容をパソコンに保存することができます。
 - ⇒ 135 ページ「電話帳リストを印刷する」
 - ⇒ 136 ページ「パソコンを使って電話帳に登録する（リモートセットアップ）」
- 子機電話帳の内容は、いったん初期化すると元に戻すことができないのでご注意ください。また、子機電話帳単独では、リストを印刷したり、データを保存することはできないため、子機の電話帳データを残したいときは、いったん複合機本体に転送してください。
 - ⇒ 139 ページ「子機の電話帳を複合機本体に転送する」

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

目的別に初期化する

初期化を実行する前に、次ページの「初期化内容一覧」で、それぞれのメニューによって、どのような内容が初期化されるのかを確認してください。不用意に初期化を行うと、登録した電話帳の内容や、保存してあるファクスデータなど、大切なデータを意図せず失うことがあります。目的に合った初期化を正しく行ってください。

操作のしかたについては下記をご覧ください。

⇒ 266 ページ「初期化のしかた」

● 各種機能の設定内容を初期化する

主に、「基本設定」や「初期設定」メニューから変更した設定の内容を、お買い上げ時の状態に戻します。



【機能設定リセット】

● ネットワークの設定内容を初期化する

無線 LAN アクセスポイントに接続して複合機本体を無線 LAN 端末として使用している状態から、お買い上げ時の状態に戻します。無線 LAN 情報が初期化されます。

単体で初期化を実行できる



【ネットワーク設定リセット】

● 電話 / ファクスの通信記録および内容、電話帳情報を消去する

通信に関わる情報を、お買い上げ時の状態に戻します。



【電話帳 & ファクスリセット】

● すべての機能を初期化する

通信ボックスと複合機本体をお買い上げ時の状態に戻します。



【全設定リセット】

● 電話の発信記録を消去する

子機で行います。その個体のみ結果が反映されます。

単体で初期化を実行する



初期化内容一覧

初期化機能 (メニュー)	機能設定 リセット	ネットワーク 設定 リセット	電話帳 & ファクス リセット	全設定 リセット
初期化される内容				
通信ボックスの各種機能の設定内容	○			○
複合機本体の各種機能の設定内容	○			○
無線 LAN の設定内容		○		○
ファクスの発信元情報 (登録した名前 / 電話番号)			○	○
複合機本体電話帳の内容 (グループダイヤルを含む)			○	○
電話の発信履歴 (再ダイヤル機能を含む) *1				
電話の着信履歴 *2			○	○
ファクスの発信履歴、着信履歴			○	○
留守録転送の設定			○	○
暗証番号 (リモコンアクセス)				○
通信管理レポートの内容			○	○
メモリーに保存されている音声データ			○	○
メモリーに保存されているファクスデータ			○	○
通信待ちのファクスデータ	○		○	○
録音した応答メッセージ	○		○	○
録音した通話内容			○	○
子機電話帳の内容 *1				

*1 通信ボックスや複合機本体の操作では初期化できません。子機単体で初期化する必要があります。

*2 電話の着信履歴は、複合機本体で消去しても子機には残ります。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

初期化のしかた

初期化は、通信ボックスと複合機本体が正常に接続されている状態で行ってください。

お願い

■ 本製品をパソコンに無線 LAN 接続している場合は、次の初期化メニューを実行すると、無線 LAN の設定がすべてリセットされます (⇒ 265 ページ)。

- ネットワーク設定リセット
- 全設定リセット

この場合は、初期化後、無線 LAN の設定を再度行ってください。
⇒ [かんたん設置ガイド](#)

複合機本体

1 【メニュー】を押す



2 【接続確認】を押す

通信ボックスとの接続が正常かどうかを確認します。

【通信ボックスとの接続は正常です】と表示されれば問題ありません。次の手順に進みます。

接続に問題がある場合や、設定中に接続エラーが出た場合は、メッセージの内容を控えた上でいったんエラー画面を閉じて、設定を中止してください。エラーの原因を下記で確認し複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 225 ページ「画面にメッセージが表示されたときは」

3 【OK】を押す

4 【全てのメニュー】、【初期設定】、【設定リセット】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

5 初期化メニューを選ぶ

- 機能設定リセット
- ネットワーク設定リセット
- 電話帳 & ファクスリセット
- 全設定リセット

初期化していいかどうかを確認するメッセージが表示されます。

6 【はい】を押す

【再起動しますか? 実行する場合は [はい] を 2 秒間押してください キャンセルする場合は [いいえ] を押してください】と表示されます。
⇒ 手順 7 へ

7 【はい】を 2 秒以上押す

初期化が終わると、複合機本体が自動的に再起動します。待ち受けまたは時計設定の画面になるまで触らずにお待ちください。

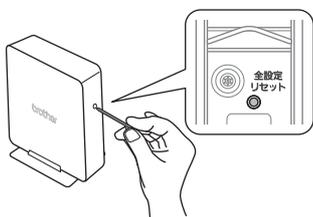
初期化後、【全設定リセットできません】というメッセージが表示された場合は、通信ボックスの初期化に失敗しました。この場合は、通信ボックス単体で初期化してください。
⇒ 267 ページ「通信ボックスで全設定リセットする」

通信ボックスで全設定リセットする

複合機本体での初期化後、【全設定リセットできません】とメッセージが表示された場合には、下記の手順で初期化してください。

- 1 通信ボックスの電源プラグと電話機コードの両端 4 箇所がすべてしっかりつながっていることを確認する
- 2 通信ボックス背面の全設定リセットボタンを、先の細いピンのようなもので 5 秒以上押す

通信ボックス前面のランプが 3 つとも点滅し始めるのを目安にしてください。点滅が始まったらボタンからピンを離してください。



3 つのランプの点滅が止まり、しばらくのあいだ点灯・点滅を繰り返します。1 分ほど経過すると複合機本体との無線信号の交換が始まり、続いて自動的に「回線種別設定」が始まります。

通信ボックスが回線種別を認識し、設定できると「回線状態ランプ」が点灯し、複合機本体と正常に接続できると「無線電波状態ランプ」が点灯します。

「無線電波状態ランプ」が点灯しないときは、通信ボックスの初期化をいったん中止し、下記をご覧になって、複合機本体と通信ボックスを接続させてください。

⇒ 258 ページ「通信ボックスとの接続を確認する」

その後、再度通信ボックスの初期化を行ってください。

- 3 通信ボックスの「エラーランプ」が消灯し、「無線電波状態ランプ」が点灯していることを確認する

通信ボックスが初期化できました。引き続き複合機本体の【全設定リセット】を実行し、複合機本体を初期化してください。

「回線状態ランプ」が消灯しているときは、回線種別設定を行ってください。

⇒ 34 ページ「回線種別を設定する」

子機の電話帳 / 履歴を消去する

子機電話帳の内容、発信履歴、着信履歴を消去します。

- ☑ 子機で変更した各種設定の値や日付などは初期化できません。
- ☑ 子機の電話帳や履歴を削除しても、複合機本体には反映されません。

- 1 子機の「機能確定」を続けて押す

【個人情報 消去? / 1. スル 2. シナイ】と表示されます。

- 2 1 あ を押す

【全て消去? / 1. スル 2. シナイ 番号を入力】と表示されます。

- 3 1 あ を押す

情報が消去されます。

- 4 切 を押して操作を終了する

1 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

こんなときは

最新のドライバーやファームウェアをサポートサイトからダウンロードして使うときは

最新のドライバーやファームウェアのダウンロードは、弊社サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）の「ソフトウェアダウンロード」から行ってください。詳しい手順は、サポートサイトに記載されています。

<http://support.brother.co.jp/>

ダウンロードおよびインストールする際は、サポートサイトに記載されている注意や利用規約、制約条項をよくお読みください。また、以下の注意もお守りください。

重要

- ファームウェアを更新する際は、通信ボックスと複合機本体が正常に接続している状態で行ってください。
- ファームウェアを更新する際には、製品が動作中でないこと、メモリーに使用中のデータが残っていないことなどの条件や、製品に残されていた履歴が削除されるなどの制約があります。ソフトウェアダウンロードページにある、ファームウェア更新時の注意事項を読んでよくご理解いただいた上で、条件に従って更新作業をお進めください。

お願い

- ダウンロードするドライバーやファームウェアの製品名は、本製品の操作パネル上で確認して、正しく選択してください。
- ダウンロードするドライバーやファームウェアの対応 OS は、パソコンの取扱説明書などで確認して、正しく選択してください。

本製品のファームウェアのバージョンを調べるには

本製品の現在のファームウェアのバージョンを調べることができます。

1 【メニュー】を押す



2 **【全てのメニュー】、【製品情報】、【ファームウェアバージョン】を順に押す**

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

3 **【Main バージョン】または【Sub3 バージョン】を押す**

4 を押して確認を終了する

子機を増設する / 登録抹消する

【子機増設モード】

別売りの増設子機をご使用いただくときに必要な設定です。設定終了後、増設した子機が使えるようになります。MFC-J827DWN/J897DWN は 2 台、MFC-J827DN/J897DN は 3 台の子機を増設することができます。付属の子機とあわせ、本製品で使用できる子機は最大 4 台です。

使用していた子機を廃棄する場合は、本製品でいったんすべての子機の登録を抹消します。その後、残す子機であらためて増設の設定を行ってください。

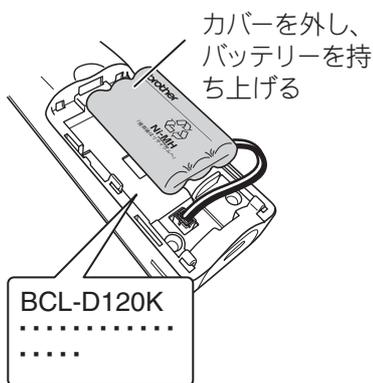
増設 / 抹消の操作方法については、増設子機（別売り）の取扱説明書をご覧ください。

増設子機の取扱説明書は、サポートサイト（ブラウザソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）からダウンロードできます。

❏ 増設子機（BCL-D120K-BK（黒）、BCL-D120K-WH（白））は別売りです。本製品をお買い上げの販売店または弊社ダイレクトクラブでお買い求めください。
⇒ 319 ページ「消耗品などのご注文について」

❏ BCL-D120K-BK、BCL-D120K-WH 以外の子機は増設することができません。子機の型番の調べ方は下図をご覧ください。

◀子機型番の調べ方▶



停電になったときは

本製品は AC 電源を必要としているため、停電時は複合機本体、通信ボックス、子機のすべてが使用できなくなります。停電した場合に、保持または消去されるデータは以下のとおりです。

停電になっても消去されないデータ	電話帳（複合機本体 / 子機）、各種登録および設定内容、着信履歴（子機）、発信履歴（複合機本体 / 子機）
停電が数時間続くと消去されるデータ	着信履歴（複合機本体）、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ、送信メモリー文書

複合機本体のデータ保持のしくみ

本製品は、通信ボックスと子機にバッテリーを搭載しています。そのため、停電になっても数時間はデータを保持しておくことができます。複合機本体にはバッテリーを搭載していないので、「停電が数時間続くと消去されるデータ」であっても、停電直後に消去されてしまいます。しかし、停電が回復して接続再開後 2 分半で、バッテリーを持つ通信ボックスとデータを共有しあうため、通信ボックスのバッテリーによって保持しているデータは復活します。

- ❏ 日付と時刻は設定し直してください。
⇒ 35 ページ「日付と時刻を設定する」
- ❏ 停電によって消去されたデータを復活させることはできません。
- ❏ 通話中やファクスの送受信中に停電になったときは、通信は切断されます。
- ❏ 留守モード時、メッセージを録音中に停電になったときは、録音中の内容は保存されません。

ご利用の前

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

本製品のシリアルナンバーを確認する

[シリアル No.]

- 1  【メニュー】を押す



- 2 【全てのメニュー】、【製品情報】、【シリアル No.】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

画面に、本製品のシリアルナンバーが表示されます。

- 3  を押して確認を終了する

本製品の設定内容や機能を確認する

[レポート印刷]

- 1 A4 サイズの記録紙を記録紙トレイにセットする

⇒ 54 ページ「記録紙トレイにセットする」

- 2  【メニュー】を押す



- 3 【全てのメニュー】、【レポート印刷】を順に押す

キーが表示されていないときは、▼/▲を押して画面を送ります。

- 4 印刷したいレポートを選ぶ

- 【送信結果レポート】：
⇒ 125 ページ「送信結果レポートを印刷する」
- 【電話帳リスト】：
⇒ 135 ページ「電話帳リストを印刷する」
- 【通信管理レポート】：
⇒ 124 ページ「通信管理レポートを印刷する」
- 【設定内容リスト】：
複合機本体の現在の設定内容を一覧にします。
- 【ネットワーク設定リスト】：
複合機本体のネットワーク設定状況を一覧にします。
- 【無線 LAN レポート】：
複合機本体の無線 LAN の接続状態や無線 LAN 情報を一覧にします。
- 【着信履歴リスト】：
⇒ 126 ページ「着信履歴リストを印刷する」

- 5 【OK】を押す

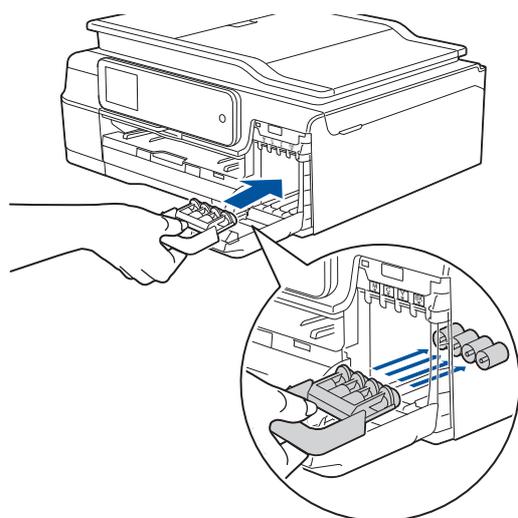
選んだレポートが印刷されます。

- 6  を押して操作を終了する

本製品を輸送するときは

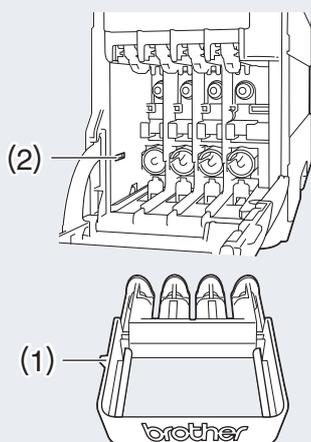
引っ越しや修理などで本製品を輸送するときは、次の点に注意してください。

- 電話機コードや USB ケーブルは本製品から取り外してください。
- インクカートリッジはすべて抜き取り、お買い上げ時にセットされていた保護部材を取り付けてください。
保護部材がない場合は、何も装着していない状態で輸送してください。



重要

- 保護部材の突起 (1) をカートリッジのセット部内壁の溝 (2) にしっかり差し込んでください。確実にセットされていないと輸送時のインク漏れの原因となります。



本製品を廃棄するときは

本製品を廃棄するときは、設定した内容や発信・着信履歴、メモリー内のファクスデータなど、保存されているすべての情報を消去し、お買い上げ時の状態に戻してください。

⇒ 263 ページ「初期状態に戻す」

また、子機には充電式ニッケル水素電池が組み込まれています。本製品を廃棄するときは、組み込まれている電池は取り外して、充電式電池リサイクル協力店または弊社回収拠点にお持ちください。貴重な資源を守るためにご協力ください。

子機のバッテリーの取り外しかたおよびリサイクルについて詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 205 ページ「子機のバッテリーを交換するときは」

本製品を廃棄する場合は、使用される環境により処理方法が異なります。

事業所：産業廃棄物処理業者に委託してください。またはブラザーホームページを参照してください。

一般家庭：小型家電リサイクル法に基づいて収集を実施している市町村にお住まいの方は、「小型家電回収市町村マーク」を表示している市町村の窓口や、「小型家電認定事業者マーク」を表示している事業者へ引き渡してください。また、市町村の小型家電リサイクルの対象となっていない家電製品については、従来どおり、お住まいの市町村の廃棄方法に従って廃棄してください。対象日品目や回収方法に関する詳しい情報は、お住まいの市町村におたずねください。

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

Memo

第9章

付録

文字の入力方法	274
複合機本体	274
入力画面例	274
ひらがな / カタカナキーの文字の割り当て	274
機能キーの使いかた	275
入力制限（入力できる文字の種類や文字数）	275
入力例	275
子機	276
文字の割り当て	276
文字の入れかた（機能キーの使いかた）	276
入力制限（入力できる文字の種類や文字数）	277
入力例	277
機能一覧	278
複合機本体	278
ファクスボタン	278
コピーボタン	280
スキャンボタン	282
デジカメプリントボタン	284
クラウドボタン	286
レーベルプリントボタン（MFC-J897DN/ J897DWNのみ）	286
年賀状アプリボタン	286
お気に入りボタン	286
Wi-Fi設定用ボタン	286
インクボタン	287
メニューボタン	287
全てのメニューボタン	288
子機	295
電話帳ボタン	295
機能ボタン	295
仕様	297
使用環境	304
用語解説	305
索引	307
関連製品のご案内	314
innobella	314
消耗品	314
インクカートリッジ	314
専用紙・推奨紙	314
その他	314
リモコンアクセスカード	315
子機操作早見表	317

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

文字の入力方法

発信元登録、電話帳の登録などでは、画面に表示されるキーボードや、操作パネル上のダイヤルボタンを使って文字を入力します。入力できる文字は、メニューによって異なります。

複合機本体

ひらがなおよびカタカナは、【あ】など代表するキーを繰り返し押し、そのキーに割り当てられた文字を順に表示させます。

入力画面例

● ひらがな / 漢字入力画面



ひらがなキー ひらがな入力 (変換可能)

● カタカナ入力画面



カタカナキー カタカナ入力 (変換不可)

● アルファベット入力画面



大/小文字切り替え アルファベット入力

📝 アルファベットキーボードは、配列を変更することができます。
⇒ 72 ページ「アルファベットキーボードの文字配列を変更する」

● 数字入力画面



テンキー 数字入力

● 記号入力画面



記号キー 記号入力

ひらがな/カタカナキーの文字の割り当て

● ひらがな

キー	入力できる文字	キー	入力できる文字
【あ】	あいうえお あいうえお	【ま】	まみむめも
【か】	かきくけこ	【や】	やゆよやゆよ
【さ】	さしすせそ	【ら】	らりるれろ
【た】	たちつてとっ	【わ】	わをん
【な】	なにぬねの	【ゝ・ゞ】	(濁点、半濁点)
【は】	はひふへほ	【ー】	ー

● カタカナ

キー	入力できる文字	キー	入力できる文字
【ア】	アイウエオ アイウエオ	【マ】	マミムメモ
【カ】	カキクケコ	【ヤ】	ヤユヨヤユヨ
【サ】	サシスセソ	【ラ】	ラリルレロ
【タ】	タチツテトッ	【ワ】	ワラン
【ナ】	ナニヌネノ	【ゝ・ゞ】	(濁点、半濁点)
【ハ】	ハヒフヘホ	【ー】	ー

機能キーの使いかた

文字種の変更、入力した文字の変換・確定などは以下のキーを使って行います。

キー	内容
	文字を消去します。
	カーソルを左に戻します。
	カーソルを右に移動します。 同じキーで続けて入力する場合には、 を押します。
【変換】	ひらがなを漢字に変換します。
【確定】	入力した文字を確定します。
	大文字と小文字を切り替えます。
【スペース】	スペースを挿入します。
【あアA1@】 【A1@】	入力できる文字の種類を切り替えます。 押すたびに カタカナ→アルファベット→数字→記号→ひらがな、または、数字→記号→アルファベット の順で切り替わります。

変換範囲を変更することはできません。

入力制限 (入力できる文字の種類や文字数)

項目	ひらがな・漢字	カタカナ	英字・数字・記号	入力文字数
電話番号・ファクス番号	×	×	○ ^{*1}	20
読み仮名	×	○	○	16
名前 ^{*2}	○	○	○	10

^{*1} 電話帳での電話番号入力時は、0～9、「*」、「#」、ポーズ（約3秒の待ち時間）のみ入力できます。ポーズは【ポーズ】で入力します。入力したポーズは画面に「p」で表示されます。

発信元登録での電話番号入力時は0～9、「+」（先頭のみ）、スペースのみ入力できます。ハイフンは入力できません。

^{*2} 発信元登録では、16文字まで入力できます。

漢字はJIS第一水準および第二水準に対応しています。

入力例

例：「鈴木エリ」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
【さ】を3回押す	す
を1回押す	す
【さ】を3回押す	すす
【`】を1回押す	すず
【か】を2回押す	すずき
【変換】を1回押す	スズキ すずき 鈴木 ※画面に変換候補が表示されます。
【鈴木】を押す	鈴木
【あアA1@】を1回押す	※入力できる文字の種類が「カタカナ」に替わります。
【ア】を4回押す	鈴木エ
【ラ】を2回押す	鈴木エリ

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

子機

ダイヤルボタンを使って文字や数字を入力します。子機で入力できる文字は、ひらがな、カタカナ、漢字、アルファベット、数字、記号です。

文字の割り当て

キー	ひらがな	カタカナ	英・数字
1 あ	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ アイウエ アイウエ	1 1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ カキケコ	a b c A B C 2 abcABC2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ サシセソ	d e f D E F 3 defDEF3
4 た GHI	たちつてとつ	タチツテトツ タチツテツ	g h i G H I 4 ghiGHI4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ ナニヌネノ	j k l J K L 5 jklJKL5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ ハヒフヘホ	m n o M N O 6 mnoMNO6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ マミムメモ	p q r s P Q R S 7 pqrsPQRS7
8 や TUV	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ ヤユ ヤユ	t u v T U V 8 tuvTUV8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ ラリルレロ	w x y z W X Y Z 9 wxyzWXYZ9
0 わ	わをんー	ワヲンー ワヲンー	0 0
* 1 トーン	* °	* ° ° - () / &	- () / & - () / &
# 2	(空白) ! ? @ # * + \$ % ., " : ; _ = < > [] ^ ` ° ^ °	(空白) ! ? @ # * + \$ % ., " : ; _ = < > [] ^ ° @ # * + \$ % . , " : ; _ = < > [] ^ °	(空白) ! ? @ # * + \$ % ., " : ; _ = < > [] ^ ° @ # * + \$ % . , " : ; _ = < > [] ^ °

文字の入れかた (機能キーの使いかた)

電話番号や文字は以下の操作で入力します。

したいこと	操作のしかた
入力文字の種類を切り替える	発信履歴/P 文字 を押す 押すたびに [英] アルファベット / 数字 → [カナ] カタカナ → [かな] ひらがなの順 で切り替わります。
文字・記号を入れる	[0 わ] ~ [9 ら WXYZ]、[* 1 トーン]、[# 2] を押す
電話番号に「ポーズ」(約3秒の待ち時間)を入れる	発信履歴/P 文字 を押す
未確定のひらがなを漢字に変換する	変換 + を押す
文字を削除する	+ を押して削除したい文字までカーソルを移動し、[音質] クリア を押す
文字を変更する	+ を押して変更したい文字までカーソルを移動し、文字を削除して入力し直す
文字確定後にカーソルを戻して文字間に1つスペースを入れる	[# 2] を1回押す
文字確定後、次の文字の前にスペースを入れる	+ を押す (1スペース入力の場合のみ [# 2] 1回押しも有効)
記号を入力する	入力したい記号キー ([* 1 トーン] または [# 2]) を押して記号を選ぶ
同じキーで続けて文字を入力する	+ を押して、カーソルを1文字分移動させて入力する
入力した内容を確定させる	[機能] 確定 を押す

入力制限 (入力できる文字の種類や文字数)

項目	ひらがな カタカナ	カタカナ	英字・ 数字・ 記号	入力 文字数	
電話帳	電話番号	×	×	○*1	20 文字
	名前	○	○	○	10 文字
	読みが な	×	○	○	16 文字

1 電話帳での電話番号入力時は、0～9、、#、ポーズ（約3秒の待ち時間）のみ入力できます。

ポーズは「発信履歴/P文字」で入力します。入力したポーズは画面に「P」で表示されます。

入力例

例：「鈴木 マーク」と入力する場合

操作のしかた	画面表示
発信履歴/P文字を押して、ひらがな入力モードにする	
3 DEF を3回押す	す
+ を1回押す	す_
3 DEF を3回押す	すす
* 設定1 を1回押す	すす
2 ABC を2回押す	すすき
希望の漢字が表示されるまで、変換で、+ を繰り返し押す (上を押すと前の候補に戻り、下を押すと次の変換候補に進む)	鈴木 スズキ 鱸 すすき
「機能 確定」を押す	鈴木_
+ を1回押す (または # 設定2 を1回押す)	鈴木 _
発信履歴/P文字を押して、カタカナ入力モードにする	鈴木 _
7 ま PORS を1回押す	鈴木 マ
0 わ を4回押す	鈴木 マニ
2 ABC を3回押す	鈴木 マーク
「機能 確定」を押す (内容が確定され、読み仮名の編集画面が表示される)	スズキマーク_

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

機能一覧

複合機本体の操作パネルやタッチパネル上のボタン、子機の操作ボタンを押して設定できる内容や機能は次のとおりです。それぞれ画面のメッセージに従って操作してください。

複合機本体

ファクスボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、ファクス送受信および関連する各種の設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照	
ファクス送信*1 設定変更	再ダイヤル/ポーズ	直前に送信した相手先にダイヤルします。電話番号を入力し始めると、再ダイヤルからポーズボタン（約3秒の待ち時間の入力）に変わります。	95 ページ	
	電話帳	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	 (検索)	102 ページ
			設定 電話帳登録/グループ登録/変更/消去/子機に転送	130 ページ
			送信先に設定	102 ページ
	履歴	発信/着信履歴*2を表示します。	設定 電話帳に登録	132 ページ
			送信先に設定	101 ページ
	ファクス画質	送信時の画質を一時的に設定します。	標準/ファイン/スーパーファイン/写真	103 ページ
	原稿濃度	原稿に合わせて濃度を一時的に設定します。	自動/濃く/薄く	103 ページ
	同報送信	複数の相手先に同じ原稿を送ります。	番号追加 番号追加	109 ページ
			電話帳から選択	
			検索して選択	
	みてから送信	画面でファクスの内容を確認してから送信します。	する/しない	99 ページ
	カラー設定	相手にモノクロ/カラーのどちらで送るかを設定します。	モノクロ/カラー	96 ページ
	海外送信モード	海外にファクスを送るときに設定します。	する/しない	107 ページ
履歴	発信/着信履歴*2を表示します。	送信先に設定	-	
		設定 電話帳に登録		

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
ファクス送信 ^{*1}	設定変更	電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	 (検索)		102 ページ
			設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去／子機に転送	130 ページ
			送信先に設定		102 ページ
	設定を保持する	変更した以下の設定を保持できます。 ファクス画質・原稿濃度・みてから送信・カラー設定			106 ページ
	設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。			106 ページ
お気に入り登録 ^{*3}	ファクスに関する下記の設定を名前を付けて登録しておくことができます。 送信先・ファクス画質・原稿濃度・同報送信・みてから送信・カラー設定・海外送信モード			95 ページ	
受信ファクス ^{*1}		受信したファクスの一覧を表示します。画面で閲覧ができます。	印刷／消去	全て印刷 (新着ファクス) / 全て印刷 (既読ファクス) / 全て消去 (新着ファクス) / 全て消去 (既読ファクス)	116 ページ
電話帳 ^{*1}		電話帳から登録しているファクス番号を呼び出したり、電話帳にファクス番号を登録します。	 (検索)		102 ページ
			設定	電話帳登録／グループ登録／変更／消去／子機に転送	130 ページ
			送信先に設定		102 ページ
履歴 ^{*1}		発信 / 着信履歴 ^{*2} を表示します。	設定	電話帳に登録	132 ページ
			送信先に設定		101 ページ

^{*1} みるだけ受信をするように設定しているときにのみ表示されるメニューです。みるだけ受信をしない場合は、 のあと、【ファクス送信】の次階層のメニューが直接表示されます。

^{*2} ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に名前が登録されている場合、その名前も表示)

^{*3} 送信先の入力を始めると表示されます。お気に入り登録をしたいときは、先に登録したい内容に設定変更してからこのボタンを押してください。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

コピーボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面の右上にある【設定変更】を押すと、コピーおよび関連する各種の設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
コピー画質 *1	印刷品質に合わせて設定します。	高速 / 標準 / 高画質		157 ページ
記録紙タイプ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	普通紙 / インクジェット紙 / プラザー BP71 光沢 / その他光沢 / OHP フィルム		157 ページ
記録紙サイズ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判		157 ページ
拡大 / 縮小	コピーしたいサイズに合わせて設定します。	等倍 100%	—	157 ページ
		拡大	240% L 判 ⇒ A4 204% ハガキ ⇒ A4 141% A5 ⇒ A4 115% B5 ⇒ A4 113% L 判 ⇒ ハガキ	
		縮小	86% A4 ⇒ B5 69% A4 ⇒ A5 46% A4 ⇒ ハガキ 40% A4 ⇒ L 判	
		用紙に合わせる	—	
		カスタム (25 - 400%)	25 - 400 (100)	
コピー濃度	原稿に合わせて設定します。	- 2 / - 1 / 0 / + 1 / + 2		158 ページ
スタック / ソート	複数部コピーするとき、ページごとにまとめるか一部ごとにまとめるかを設定します。	スタックコピー / ソートコピー		160 ページ
レイアウト コピー	2 枚または 4 枚の原稿を 1 枚の用紙に割り付けてコピーしたり、1 枚の原稿を複数枚に分割、拡大してコピーします。	オフ (1in1) / 2in1 (タテ長) / 2in1 (ヨコ長) / 2in1 (ID カード) / 4in1 (タテ長) / 4in1 (ヨコ長) / ポスター (2x1) / ポスター (2x2) / ポスター (3x3)		161 ページ
両面コピー *2	原稿の片面を 1 枚ずつ読み取り、両面 1 枚にコピーできます。とじ辺と原稿の向きの設定を行い、うら面のコピー方向を決定します。	オフ / 印刷の向き: 縦 長辺とじ / 印刷の向き: 横 長辺とじ / 印刷の向き: 縦 短辺とじ / 印刷の向き: 横 短辺とじ		164 ページ
		あんしん設定	オフ / あんしん 1 / あんしん 2	
便利なコピー設定	オフ	便利なコピー設定を使用しません。		—
	インク節約モード	文字や画像などの内側を薄く印刷して、インクの消費量を抑えます。		165 ページ
	裏写り除去コピー	コピー時の裏写りを軽減します。		166 ページ
	ブックコピー	本のように中央でとじられた原稿を開いてコピーするとき、とじ部分の陰やセット時の原稿の傾きを自動で補正します。		166 ページ

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照
便利なコピー設定	透かしコピー	コピー画像に5種類のテキストの中から1つを選んで、好みの位置、角度、濃度、色で重ねることができます。	テキスト	CONFIDENTIAL／重要／ COPY ／社外秘／至急	167 ページ
			位置	A／B／C／D／E ／F／G／H／I／ 全面	
			サイズ	小／ 中 ／大	
			回転	-90°／ -45° ／0°／ 45°／90°	
			透過度	-2／-1／ 0 ／+1／+2	
			色	黒 ／緑／青／紫／赤／ オレンジ／黄	
	地色除去コピー	カラーコピーを行う際に、原稿の地色（用紙色または背景色）を消してコピーします。	弱／ 中 ／強		168 ページ
設定を保持する		変更した設定内容を次に保持し直すかリセットするまで維持し続けます。			158 ページ
設定をリセットする		設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。			
お気に入り登録		コピーに関する下記の設定を、組み合わせを変えるなどして名前をつけて登録しておくことができます。 コピー画質・記録紙タイプ・記録紙サイズ・拡大／縮小・コピー濃度・スタック／ソート・レイアウトコピー・インク節約モード・裏写り除去コピー・ブックコピー・透かしコピー・地色除去コピー・(MFC-J897DN/J897DWNのみ) 両面コピー	—		158 ページ

*1 【記録紙タイプ】を【普通紙】以外に設定すると、自動的に【高画質】に設定されます。【普通紙】以外の記録紙は、【高画質】しか選べません。

*2 MFC-J897DN/J897DWN のみ

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

スキャンボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、スキャンおよび関連する各種の設定ができます。スキャンの種類を選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、ファイルの保存条件が変更できます。詳しくは、⇒ 283 ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
OCR	スキャンした画像をテキストに変換してパソコンに保存します。	PC 名選択	⇒パソコン活用編
ファイル	スキャンした画像をパソコンの指定したフォルダーに保存します。	PC 名選択	⇒パソコン活用編
イメージ	スキャンした画像をパソコンに保存します。	PC 名選択	⇒パソコン活用編
メディア	スキャンした画像をメモリーカードまたは USB フラッシュメモリーに保存します。		189 ページ 283 ページ
E メール添付	スキャンした画像を添付ファイルにしてメールソフトを起動します。	PC 名選択	⇒パソコン活用編
Web サービス ^{*1}	スキャンした画像を Web サービススキャンで使用することができます。	スキャン	⇒パソコン活用編
		電子メール用にスキャン	
		FAX 用にスキャン	
		印刷用にスキャン	

^{*1} Web サービス機能をインストールした場合に表示されます。

スキヤンの種類を選んだあと、保存するファイルの以下の設定項目を変更および確認することができます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	スキヤンの種類					
			OCR	ファイル	イメージ	メディア	Eメール添付	
設定変更	本体から設定する ^{*1}	スキヤンの設定を複合機本体から変更できます。	オフ (パソコンから設定) / オン	○	○	○		○
	カラー設定 ^{*2}	カラーを設定します。	カラー / モノクロ	○				
	カラー設定 ^{*2}		カラー / モノクロ		○	○	○	○
	解像度 ^{*2}	解像度を設定します。	100 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 600 dpi	○	○	○		○
	解像度 ^{*2}		100 dpi / 200 dpi / 300 dpi / 600 dpi / 自動				○	
	ファイル形式 ^{*2}	ファイル形式を設定します。	Text / HTML / RTF	○				
	ファイル形式 ^{*2*3}		PDF / JPEG / TIFF		○	○	○	○
	スキヤンサイズ ^{*2}	原稿のサイズを設定します。	A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L判 / L判 / 名刺 (90 x 60mm)	○	○	○	○	○
	ADF 長尺原稿モード ^{*4}	ADF (自動原稿送り装置) を使った長い原稿の読み取りが可能になります。	オン / オフ				○	
	ファイル名	ファイル名を設定します。					○	
	おまかせ一括スキヤン	複数の原稿を一度にスキヤンします。	オン / オフ				○	
	地色除去 ^{*2}	原稿の地色 (用紙色または背景色) を消して読み取ります。	オフ / 弱 / 中 / 強		○	○	○	○
	設定を保持する	以下の設定を好みの値で保持します。 カラー設定・解像度・ファイル形式・スキヤンサイズ・ADF 長尺原稿モード ^{*4} ・おまかせ一括スキヤン・地色除去					○	
設定をリセットする	設定値をお買い上げ時の状態に戻します。					○		
お気に入り登録	PC名 ^{*2}	PC名をお気に入りに登録できます。	○	○	○		○	
	カラー設定 解像度 ファイル形式 スキヤンサイズ ADF 長尺原稿モード ^{*4} ファイル名 おまかせ一括スキヤン 地色除去	左記の設定内容を好みの値でお気に入りに登録できます。				○		

^{*1} 接続されているパソコンに、付属のアプリケーションソフト ControlCenter がインストールされていない場合は表示されません。

^{*2} OCR、ファイル、イメージ、Eメール添付では、【本体から設定する】で【オン】に設定した場合にのみ選択できます。

^{*3} 【カラー設定】で選んだカラーにより保存できるファイル形式に制限があります。灰色表示される形式は選べません。(⇒189ページ)

^{*4} ADF (自動原稿送り装置) 搭載モデル (MFC-J897DN/J897DWN) のみ

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

デジカメプリントボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、画像の閲覧、プリントおよび関連する各種の設定ができます。

デジカメプリントのメニューを選び、それぞれに必要な項目を設定したあと、より細かいプリント条件が【印刷設定】メニューから変更できます。【印刷設定】メニューについては、⇒ 285 ページをご覧ください。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字: 初期設定値)		参照	
インデックス	インデックスシートの印刷または番号を指定して写真のプリントをします。	インデックスシート		179 ページ	
		番号指定プリント		180 ページ	
かんたん印刷	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を簡単な操作でプリントします。	(サムネイル)		174 ページ	
		全選択	100枚目までの写真のプリント枚数をすべて1枚に設定します。設定後自動色補正を行うとすべての写真を一括で補正できます。	186 ページ	
こだわり印刷	メモリーカードまたはUSBフラッシュメモリー内の写真を個別に補正したりトリミングを行ったりしながらプリントします。補正とトリミングの設定は同時に行うこともできます。	(サムネイル)	お好み色補正	自動色補正 肌色あかるさ補正 ^{*1} 色あざやか補正 ^{*1} 赤目補正 夜景補正 ^{*1} 逆光補正 ^{*1} ホワイトボード補正 モノクロ セピア 自動色補正 & 赤目補正	181 ページ
			トリミング	—	
					183 ページ
証明写真プリント	履歴書やパスポート用の証明写真に使えるようにプリントします。	30x24mm / 40x30mm / 45x35mm / 50x50mm		184 ページ	
スライドショー	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリー内の写真を一定間隔で自動表示させます。1枚あたりの表示時間も選べます。プリントしたい写真が表示されたときに画面を押すと、スライドショーを中止します。そのままプリントに関する設定を行い、プリントできます。			185 ページ	
		切り替え時間	3秒 / 10秒 / 30秒 / 1分 / 5分		

*1 画像を補正した結果を基点に±1色調の変更ができます。

プリント前に表示される確認画面で【印刷設定】を押すと、以下の項目を確認・変更できます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	デジカメプリントの種類						
			インデックス		かんたん印刷	こだわり印刷		証明写真プリント	スライド表示中のプリント
			インデックスシム	インデックスプリント		お好み色補正	トリミング		
印刷設定	プリント画質 ^{*1*}	プリント時の画質を設定します。	標準／きれい						
	記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢						
	記録紙タイプ	記録紙の種類を設定します。	普通紙／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢						
	記録紙サイズ	記録紙のサイズを設定します。	L判／2L判／ハガキ／A4						
	プリントサイズ	記録紙サイズで【A4】を選んだ場合に設定します。	8x10cm／9x13cm／10x15cm／13x18cm／15x20cm／用紙全体に印刷						
	自動色補正 ^{*1}	自動で色や明るさを補正します。	する／しない						
	画像補正	補正してプリントします。	しない／自動色補正／赤目補正／自動色補正 & 赤目補正						
	明るさ	プリントの明るさを調整します。	-2／-1／0／+1／+2						
	コントラスト	プリントのコントラスト(色の濃度)を調整します。	-2／-1／0／+1／+2						
	画質強調	画像の色調や輪郭を補正します。【する】を選ぶと、次の3項目が設定できます。	する／しない						
	ホワイトバランス	画像の白色部分の色合いを調整します。	-2／-1／0／+1／+2						
	シャープネス	画像の輪郭部分のシャープさを調整します。	○						
	カラー調整	画像のカラー全体の濃度を調整します。	○						
	画像トリミング	プリント領域に収まらない画像を自動的に切り取ってプリントするかどうかを設定します。	○						
	ふちなし印刷	ふちなし印刷をするかどうかを設定します。	○						
	日付印刷 ^{*1}	日付印刷をするかどうかを設定します。	○						
	設定を保持する	変更した設定を保持します。	-						
設定をリセットする	設定をお買い上げ時の状態に戻します。	○							

*1 DPOF 印刷の場合は表示されません。

*2 【記録紙タイプ】を【インクジェット紙】に設定した場合は、【きれい】しか選べません。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

クラウドボタン

待ち受け画面の  を押して表示されるメニューから、ウェブサービスにスキャンした画像をアップロードしたり、アップロードされている画像を印刷することができます。詳しくは、「クラウド接続ガイド」をご覧ください。（「クラウド接続ガイド」は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター）（<http://support.brother.co.jp/>）からダウンロードできます。）

レーベルプリントボタン（MFC-J897DN/J897DWN のみ）

待ち受け画面の  から、記録ディスクのレーベル面へのコピーや印刷ができます。

設定項目	機能説明	参照
レーベルからコピー	ディスクレーベルを原稿にして、記録ディスクにコピーします。	⇒パソコン活用編
写真からコピー	写真を原稿にして、記録ディスクにコピーします。	
メディアのデータから印刷	メモリーカードまたは USB フラッシュメモリーのデータを選んで、記録ディスクに印刷します。	

年賀状アプリボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、パソコンを使わずに年賀状を作成できます。詳しくは、年賀状アプリのかんたん操作ガイドをお読みください。かんたん操作ガイドは、年賀状アプリメニューの【かんたん操作ガイド】を押して画面の指示に従って印刷できます。

お気に入りボタン

待ち受け画面の  から、よく使う機能や設定を「お気に入り」として合計 12 個まで登録することができます。

Wi-Fi 設定用ボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で無線 LAN の設定ができます。

設定項目	機能説明	参照
無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	⇒かんたん設置ガイド
PC を使って設定する	パソコンから無線 LAN を設定します。	—
WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	⇒かんたん設置ガイド
WPS(PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	⇒ネットワーク編

インクボタン

待ち受け画面の  を押して表示される画面で、インクに関する設定ができます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート/ 印刷位置チェックシート	223 ページ
ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック/カラー/全色	222 ページ
インク残量	インク残量を確認します。		204 ページ

メニューボタン

待ち受け画面の  【メニュー】 を押して表示されるメニュー画面で、以下の設定および確認ができます。

設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照
インク	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート/ 印刷位置チェックシート	223 ページ
	ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック/カラー/全色	222 ページ
	インク残量	インク残量を表示します。	—	204 ページ
Wi-Fi	TCP/IP	TCP/IP プロトコルを設定します。	—	⇒ネットワーク編
	接続アシスタント	付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	—	—
	無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	—	⇒かんたん設置ガイド
	WPS/AOSS	WPS/AOSS™ 機能を使って自動接続を行います。	—	
	WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティの設定を行います。	—	⇒ネットワーク編
	無線状態	接続状態を表示します。	—	
	MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。	—	
接続確認		通信ボックスとの接続状態が確認できます。	—	94 ページ
みるだけ受信		ファクスの受信方法を表示します。押すとみるだけ受信にする/しないを設定できます。	する (画面で確認) / しない (受信したら印刷) *1	116 ページ
記録紙設定	記録紙タイプ	記録紙トレイにセットした記録紙の種類を設定します。	普通紙 / インクジェット紙 / ブラザー BP71 光沢 / その他 光沢 / OHP フィルム	62 ページ
	記録紙サイズ	記録紙トレイにセットした記録紙のサイズを設定します。	A4 / A5 / B5 / ハガキ / 2L 判 / L 判	62 ページ
全てのメニュー		本製品を使用する上で必要な、さまざまな設定メニューを表示します。	—	26 ページ

*1 みるだけ受信のお買い上げ時の設定は、MFC-J827DN/J827DWN は【する (画面で確認)】、MFC-J897DN/J897DWN は【しない (受信したら印刷)】です。

全てのメニューボタン

待ち受け画面の  【メニュー】、【全てのメニュー】の順に押して表示される画面で、以下の設定ができます。

● 基本設定

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照	
基本設定	インク	テストプリント	印刷テストを行います。	印刷品質チェックシート／印刷位置チェックシート	223 ページ
		ヘッドクリーニング	ヘッドクリーニングを行います。	ブラック／カラー／全色	222 ページ
		インク残量	インク残量を確認します。	—	204 ページ
	記録紙タイプ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	普通紙 ／インクジェット紙／ブラザー BP71 光沢／その他光沢／OHP フィルム	62 ページ	
	記録紙サイズ	記録紙トレイにセットした記録紙に合わせて設定します。	A4 ／A5／B5／ハガキ／2L判／L判	62 ページ	
	ボタン確認音量	操作パネルのボタンを押したときの音量を設定します。	切／ 小 ／中／大	68 ページ	
	世 の 画 面	画面の明るさ	画面の明るさを設定します。	明るく ／標準／暗く	72 ページ
		照明ダウンタイマー	画面のライトを暗くするまでの時間を設定します。	切／10秒／20秒／ 30秒	
	キーボード設定 (英字入力)	アルファベットのキーボードの文字配列が選べます。	QWERTY 入力 ／かなめくり入力	72 ページ	
	スリープモード	スリープ状態にするまでの時間を設定します。	1分／2分／3分／ 5分 ／10分／30分／60分	73 ページ	

● お気に入り設定

設定項目	機能説明	参照
(お気に入りボタンを選択)	お気に入り名の編集や消去をします。	50 ページ
	お気に入り名の編集	
	消去	

● ファクス / 電話

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)		参照	
ファクス / 電話	呼出ベル回数	在宅モード、留守モードのそれぞれ の状況において、電話がかか ってきてから本製品が自動 で着信するまでの呼出回数を 設定します。	在宅モード	0 ~ 15 / 無制限 (7)	44 ページ	
			留守モード	0 ~ 7 / トールセー バー (5)		
	受信設定	ファクス無 鳴動受信	電話がかかってきたときだけ 着信音を鳴らして、ファクスを 受信したときは着信音を鳴ら さないようにします。	する / しない		43 ページ
		再呼出ベル 設定	在宅モード時に電話がかかっ てきた場合の、本製品の対応動 作を設定します。【オン (電話 呼び出し)】に設定した場合は、 再呼び出しされる際の方法と その時間を併せて設定します。	再呼出ベル 設定	オン (電話呼び出 し) / オフ (ファク ス専用)	45 ページ
				再呼出方法	相手にベル / 相手 にメッセージ	
				再呼出時間	20 秒 / 30 秒 / 40 秒 / 70 秒	
		みるだけ受 信	みるだけ受信するかどうかを 設定します。	する (画面で確認) ^{*1} / しない (受 信したら印刷)		118 ページ
		親切受信	自動受信する前に電話を取っ た場合でも、7 秒後自動的に ファクスを受信する機能を設 定します。	する / しない		115 ページ
		自動縮小	【記録紙サイズ】で設定した記 録紙のサイズより長辺が長い ファクスが送られてきたとき、 自動的に縮小するかしないかを 設定します。	する / しない		119 ページ
		メモリ 受信	ファクスのメモリー受信の内 容を設定します。	オフ / メモリ保持のみ / PC ファ クス受信 ^{*2}		120 ページ 121 ページ
	レポート設定	送信結果 レポート	ファクス送信後に、送信結果を 印刷するための設定をします。	オン / オフ		125 ページ
		通信管理 レポート	通信管理レポートの出力間隔 を設定します。	レポート出力しない / 50 件ごと		124 ページ
		ファクス出力	みるだけ受信をしていない場 合にのみ、メモリーに記憶され ているファクスデータをすべ て印刷します。印刷後、デー タは消去されます。	-		122 ページ
		暗証番号	外出先から本製品を操作する ための暗証番号を設定します。	--- *		149 ページ
		通信待ち一覧	送信待ちデータなどを確認し たり解除したりできます。	-		126 ページ
		保留メロディ	電話の保留音が選べます。	メロディ 1 ~ 30 (花のワルツ)		70 ページ
	ナンバーディス プレイ	ナンバー・ディスプレイ機能の 契約状況を設定します。	あり / なし		46 ページ	

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照	
ファクス/電話	着信拒否	迷惑番号指定	着信を拒否したい相手の電話番号を本製品に登録して、電話が鳴らないように設定します。	着信履歴から登録/消去	90 ページ
		非通知着信拒否	電話番号非通知の相手先からの着信を拒否します。	する/ しない	91 ページ
		公衆電話拒否	公衆電話からの着信を拒否します。	する/ しない	
		表示圏外拒否	サービス対象地域外や新幹線の列車公衆電話からの着信を拒否します。	する/ しない	
	キャッチディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイ機能の契約状況を設定します。	あり/ なし	47 ページ	
	子機増設モード	増設子機（別売り）の ID 登録をします。登録後、増設子機が使用できます。	増設/登録子機を消去	269 ページ	
	通信ボックス接続状態	通信ボックスとの現在の接続状況を表示します。	—	94 ページ	

*1 みるだけ受信のお買い上げ時の設定は、MFC-J827DN/J827DWN は【する（画面で確認）】、MFC-J897DN/J897DWN は【しない（受信したら印刷）】です。

*2 みるだけ受信が設定されていない状態で、【PC ファクス受信】を選ぶと、転送するパソコンを選択した上で、受信データを、転送と同時に本製品で印刷するかどうか併せて設定する必要があります。

● ネットワーク

本製品をネットワーク環境で使用する場合は、「かんたん設置ガイド」および「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	
ネットワーク	無線 LAN	TCP/IP	IP 取得方法	IP の取得先を指定します。	Auto / Static / RARP / BOOTP / DHCP
			IP アドレス	IP アドレスを設定します。	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ゲートウェイ	ゲートウェイのアドレスを設定します。	[000-255].[000-255]. [000-255].[000-255]
			ノード名	ノード名を表示します。	BRWxxxxxxxxxxx (x は MAC アドレスを示す 12 桁の文字)
			WINS 設定	WINS の解決方法を設定します。	Auto / Static
			WINS サーバー	WINS サーバー (プライマリ/セカンダリ) を設定します。	—
			DNS サーバー	DNS サーバー (プライマリ/セカンダリ) を設定します。	—
		APIPA	APIPA を設定します。	オン /オフ	
		接続アシスタント	付属の CD-ROM を使用して無線 LAN 設定を行います。	—	
		無線接続ウィザード	無線 LAN の機器を検索し、接続を行います。	—	
		WPS/AOSS	WPS/AOSS™機能を使って自動接続を行います。	—	
		WPS (PIN コード)	WPS 対応の無線 LAN アクセスポイントで PIN コードを入力してセキュリティーの設定を行います。	—	
	無線状態	接続状態	無線 LAN の接続状態を表示します。	—	
		電波状態	無線 LAN の電波状態を 4 段階 (強い/普通/弱い/なし) で表示します。	—	
		SSID	接続先の無線 LAN の SSID (ネットワーク名) を表示します。	—	
		通信モード	無線 LAN の通信モードを表示します。	—	
		MAC アドレス	MAC アドレスを表示します。	—	
		NFC*1	近距離無線通信の有効/無効を設定します。	オン /オフ	
	新サービス開始通知	新サービス開始通知	インターネットからお得な最新情報を取得するかどうかを設定をします。	オン/ オフ	
ステータス		新サービス開始通知の設定状態を表示します。	—		

1) 使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

機能	設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	
ネットワーク	Web 接続設定	プロキシ設定	プロキシ 経由接続	プロキシサーバーを経由してインターネットに 接続するかどうかの設定をします。	オン/ オフ
			アドレス	プロキシサーバーのアドレスを設定します。	—
			ポート	プロキシサーバーのポート番号を設定します。	8080
			ユーザー名	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なユーザー名を設定します。	—
			パスワード	プロキシ使用時のユーザー認証に必要なパスワードを設定します。	—
	無線 LAN 有効		無線 LAN のオン/オフを切り替えます。	オフ /オン	
	ネットワーク設定リセット		ネットワークの設定をすべて初期値に戻します。	—	

*1 MFC-J897DN/J897DWN のみ

● レポート印刷

機能	設定項目	機能説明	参照
レポート印刷	送信結果レポート	ファクスの送信結果を印刷します。	125 ページ
	電話帳リスト	電話帳に登録されている内容を印刷します。	135 ページ
	通信管理レポート	現在からさかのぼって、50 件分または最大 200 件分の送・受信結果を印刷します。(印刷できる通信履歴の上限は、通信管理レポートの出力間隔の設定値で決まります。)	124 ページ
	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容を印刷します。	270 ページ
	ネットワーク設定リスト	現在動作している無線 LAN の設定内容を印刷します。	270 ページ
	無線 LAN レポート	無線 LAN の現在の接続状況を印刷します。	270 ページ
	着信履歴リスト	着信履歴を印刷します。	126 ページ

● 製品情報

機能	設定項目	機能説明	設定内容	参照
製品情報	シリアル No.	本製品のシリアルナンバーを表示します。		270 ページ
	ファームウェアバージョン	複合機本体のファームウェア (ソフトウェア) のバージョンを表示します。	Main バージョン	268 ページ
		通信ボックスのファームウェア (ソフトウェア) のバージョンを表示します。	Sub3 バージョン	

● 初期設定

機能	設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照	
初期設定	時計セット	日付	日付を設定します。	－ (2014/01/01)	35 ページ
		時刻	時刻を設定します。	－ (00:00)	
	発信元登録	ファクス	ファクスに印刷される発信元情報としてファクス番号を登録します。	－	37 ページ
		名前	ファクスに印刷される発信元情報として名前を登録します。	－	
		回線種別設定	お使いの電話回線に合わせて回線種別の設定をします。	プッシュ回線／ダイヤル 10PPS /ダイヤル 20PPS /自動設定	34 ページ
		ファクス自動再ダイヤル	相手が通話中などの理由でファクス送信ができなかったときに、自動で再ダイヤルするかどうかを設定します。	オン／オフ	127 ページ
		ダイヤルトーン設定	ダイヤルトーンの検出をするかどうかを設定します。	検知する／検知しない	261 ページ
		特別回線対応	特別な電話回線に合わせて回線種別を設定します。	一般／PBX／光・ISDN	259 ページ
		安心通信モード	通信エラーが発生しやすい相手や回線でファクスをより確実に送信・受信したい場合に設定を変えます。	高速／標準／安心 (VoIP)	260 ページ
	設定リセット	機能設定リセット	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	263 ページ
		ネットワーク設定リセット	本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	
		電話帳 & ファクスリセット	本製品の電話帳・履歴・メモリー・録音データを消去します。	－	
		全設定リセット	本製品のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻します。	－	
	その他	デモ動作設定	デモ画面を表示するかしないかを設定します。	する／しない	－
		表示言語設定	画面の表示言語を設定します。 This Setting allows you to change LCD Language to English.	日本語／英語	72 ページ
	ディスクプリント位置調整 ^{*1}	印刷時、「印刷範囲設定」で印刷する画像の位置を調整しても、印刷された画像がディスクからはみ出す場合に、ディスクの初期位置を調整します。上下左右それぞれ0.1mm刻みで2mmまで調整できます。	(0)	⇒パソコン活用編	

*1 MFC-J897DN/J897DWN のみ

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

- サービス（エラーが発生したときに、複合機本体と通信ボックスが正常に接続されている状態でのみ表示されます）

設定項目		機能説明	参照
フ ォ ー ム	データ転送	インクや記録紙がないなどの理由で複合機本体から印刷することができない受信ファクスを、別のファクス機やパソコンに転送することができます。また、通信管理レポートを転送して、通信状況（受信結果）を確認することもできます。	233 ページ
	ファクス転送		
	レポート転送		

子機

電話帳ボタン

 を押して表示される画面で、電話帳の登録 / 変更が行えます。

設定項目	機能説明	設定内容	参照
電話帳登録	子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録します。	(全 100 件)	137 ページ
(登録済みであれば登録名を表示)	変更	-	137 ページ
	消去		
	転送	電話帳に登録されている相手先を複合機本体に転送します。	139 ページ

機能ボタン

待ち受け状態で  を押して表示される画面で、録音されたメッセージを聞いたり、各機能を設定できます。

設定項目	機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照 ページ	
再生 / 消去	メモリーに保存されているメッセージを再生または消去します。		80 ページ 147 ページ	
	留守 / 会話	留守録メッセージまたは通話中に録音した会話のどちらかを選択します。		
	1 件ずつ	操作する対象 1 件を選択します。		再生 / 消去
	全件	全件を対象にします。		
留守番設定	応答切替	留守モード中に流れる応答メッセージを切り替えます。	固定メッセージ / 留守 応答 1 / 留守応答 2	146 ページ
	留守応答 1	新たな応答メッセージを 2 種類登録 (再生、消去) することができます。	録音 / 再生 / 消去	144 ページ
	留守応答 2			
	在宅応答	留守番機能がセットされていない状態で、設定された時間内に電話を取らなかったときに流れる応答メッセージを登録できます。		
	録音時間	電話の相手が残せる音声メッセージの、1 通話における録音時間を設定します。	応答のみ / 30 秒 / 60 秒 / 120 秒 / 180 秒	143 ページ
	留守録転送	留守モード中に音声メッセージが録音されると、指定した外出先の電話に転送する設定をします。	する / しない	152 ページ
留守録モニター ^{*1}	留守録中の相手の声を、スピーカーから聞く (モニターする) かどうかを設定します。	する / しない	145 ページ	
鳴動音設定	1. 着信音	着信音を選択します。	ベル / アヴェ・マリア / 大キナ古時計 / ガボット / きらきら星 / 四季 より - 春 / 花のワルツ	71 ページ
	2. 着信鳴分け	電話帳に登録した電話番号の着信音を設定します。		90 ページ
	3. ボタン確認音	ボタンを押したときの音を設定します。	ON / OFF	68 ページ

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

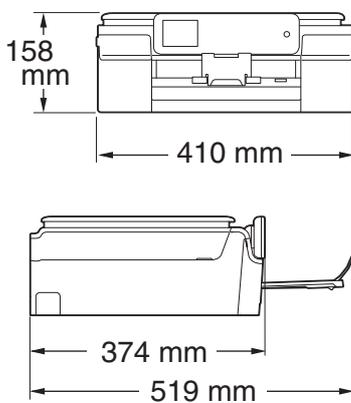
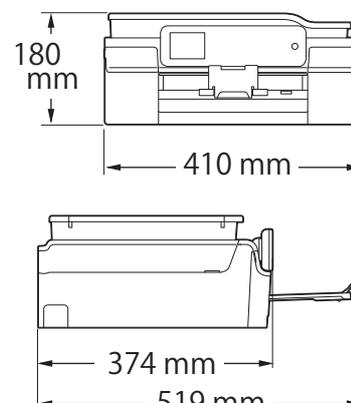
設定項目		機能説明	設定内容 (太字：初期設定値)	参照 ページ
通話音質	音質設定 1 / 音質設定 2 / 音質設定 3 / 音質設定 4	通話中の音質を回線状況に応じて調整します。	—	262 ページ
発信履歴	直近 10 件の発信履歴を表示します。			81 ページ
(履歴一覧画面 表示後 「機能 確定」 押下)	1 件消去	発信履歴から 1 件削除します。		138 ページ
	全件消去	発信履歴の内容をすべて削除します。		
	電話帳登録	発信履歴から電話帳に登録します。		138 ページ
着信履歴 ^{*2}	直近 30 件の着信履歴を表示します。			81 ページ
(履歴一覧画面 表示後 「機能 確定」 押下)	1 件消去	着信履歴から 1 件削除します。		138 ページ
	全件消去	着信履歴の内容をすべて削除します。		
	電話帳登録	着信履歴から電話帳に登録します。		138 ページ
画面コントラスト	子機の画面の明るさを設定します。	1 ~ 7 段階 (4)		72 ページ
時計設定	現在の日付と時刻を登録します。	—		37 ページ
子機増設	増設子機の ID 登録を行います。子機増設を複合機本体から行うことを示すメッセージが表示されたら、2 分以内に複合機本体で操作を開始してください。			269 ページ
回線種別	電話の回線種別が設定できます。 (通常は複合機本体から設定してください。)	プッシュ回線 / ダイヤル 10PPS / ダイヤル 20PPS		34 ページ

*1 留守録モニターができるのは、「子機 1」として登録されている子機のみです。また、「子機 1」以外の子機では、留守録モニターの設定もできません。(子機 1 台付きモデルの MFC-J827DN/J897DN では、別売りの子機を増設してご利用の場合です。)

*2 ナンバー・ディスプレイ機能の契約をしている場合は、着信履歴に電話番号が表示されます。(本製品の電話帳に名前が登録されている場合、その名前も表示)

仕様

基本設定

		MFC-J827DN/J827DWN	MFC-J897DN/J897DWN
記録方式		インクジェット式	
メモリー容量		64MB	128MB
LCD (液晶ディスプレイ)		2.7型TFTカラー LCD (6.8cm/67.5mm TFT Color LCD)	
電源		AC100V 50/60Hz	
消費電力 ^{*1}	コピー時	約20W ^{*2}	約20W ^{*3}
	稼働準備時	約3.5W ^{*4}	約4W ^{*4}
	スリープモード時	約1.5W ^{*4}	約1.5W ^{*4}
	電源OFF時	約0.2W ^{*4*5}	約0.2W ^{*4*5}
外形寸法			
製品重量 ※インクカートリッジを含む		8.1kg	9.3kg
稼働音 (音圧レベル)		動作時：50dB (A) (最大) ^{*6}	
稼働音 (音響レベル) ^{*7}		印刷時 (モノクロ)：6.06B(A) 印刷時 (カラー)：6.04B(A) スタンバイ時：2.97B(A)	
温度		動作保証温度：10～35℃ 最高印刷品質保証温度：20～33℃	
湿度 ※結露なきこと		動作保証湿度：20～80% 最高印刷品質保証湿度：20～80%	
ADF (自動原稿送り装置) 積載枚数		最大20枚 (用紙坪量：80g/m ² 、A4)	
原稿サイズ		幅：最大215.9mm 長さ：最大297mm	原稿台ガラス使用時： 幅：最大215.9mm 長さ：最大297mm ADF (自動原稿送り装置) 使用時： 幅：148mm～215.9mm 長さ：148mm～355.6mm

^{*1} 全モード USB 接続時。消費電力値は使用環境、部品磨耗などにより若干異なることがあります。

^{*2} 画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン

^{*3} ADF 使用、片面印字、画質：標準、原稿：ISO/IEC24712 印刷パターン

^{*4} IEC 62301Edition2.0 による測定値

^{*5} ヘッドクリーニングなどのために定期的に電源 OFF が解除されます。必要な処理終了後は再度電源 OFF 状態となります。

^{*6} お使いの機能により数値は変わります。

^{*7} 特性音響レベル LwAd が 6.30B(A) を超える機器の場合、事務所とは別室に設置することをお勧めします。

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

録付

印刷用紙

給紙	<p>記録紙トレイ</p> <p>■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙^{*1}、OHPフィルム^{*1 *2}</p> <p>■記録紙サイズ^{*3}： A4、レター、エグゼクティブ、B5（JIS）、A5、A6、ポストカード、インデックスカード、2L判、はがき、往復はがき、Com-10、DL封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒</p> <p>記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒51ページ「使用できる記録紙」</p> <p>■最大記録紙容量：最大100枚（80g/m² 普通紙）</p>
	<p>スライドトレイ</p> <p>■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙^{*1}</p> <p>■記録紙サイズ^{*3}： ポストカード、L判、はがき</p> <p>記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒51ページ「使用できる記録紙」</p> <p>■最大記録紙容量：20枚（0.25mm以下）</p>
	<p>手差しトレイ（MFC-J827DN/J827DWNのみ）</p> <p>■記録紙タイプ： 普通紙、インクジェット紙（コート紙）、光沢紙^{*1}、OHPフィルム^{*1 *2}、封筒</p> <p>■記録紙サイズ^{*3}： A4、レター、エグゼクティブ、B5（JIS）、A5、A6、ポストカード、インデックスカード、2L判、L判、はがき、往復はがき、Com-10、DL封筒、長形3号封筒、長形4号封筒、洋形2号封筒、洋形4号封筒</p> <p>記録紙の厚さや容量について詳しくは、下記をご覧ください。 ⇒51ページ「使用できる記録紙」</p> <p>■最大記録紙容量：1枚</p>
排紙	最大50枚（80g/m ² 普通紙）

*1 光沢紙や OHP フィルムを使用する場合は、出力紙の汚れを避けるために、速やかに排紙トレイから出力紙を取り除いてください。

*2 OHP フィルムは、インクジェット印刷に推奨のものをご使用ください。

*3 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 51 ページ「使用できる記録紙」

ファクス

型式	ITU-T Super Group3
通信速度	最大33,600bps (自動フォールバック機能付き)
最大有効読み取り幅	原稿台ガラス使用時：204mm (A4原稿読み取り時) ADF (自動原稿送り装置) 使用時 ^{*1} ：208mm (A4原稿読み取り時)
最大有効記録幅	204mm
ハーフトーン	モノクロ：8ビット (256階調) カラー：24ビット (1色につき8ビット/256階調)
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査 (モノクロ時) • 標準：3.85本/mm • ファイン/写真：7.7本/mm • スーパーファイン：15.4本/mm 副走査 (カラー時) • 標準：7.7本/mm • ファイン：7.7本/mm • 「写真」「スーパーファイン」なし
電話帳	100件×2番号
グループ登録	最大6件
同報送信	50件
自動再ダイヤル	3回/5分
メモリー送信 ^{*2}	最大320枚
メモリー代行受信 (通信ボックス) ^{*2}	最大320枚

^{*1} MFC-J897DN/J897DWN のみ

^{*2} A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 ドット×3.85 本/mm) で読み取った場合の枚数です。実際の読み取り枚数は原稿の濃度や画質により異なります。また、メモリー記憶枚数は、メモリーの使用状況によって変わることがあります。

コピー

カラー/モノクロ	対応/対応
コピー読み取り幅	204mm (A4原稿読み取り時)
連続複写枚数	スタック/ソート 最大99枚
拡大縮小	25~400 (%)
解像度	最高1200dpi×2400dpi
自動両面コピー (MFC-J897DN/J897DWN のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 記録紙タイプ：普通紙 記録紙サイズ：A4、B5 (JIS)、A5

ご利用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

デジカメプリント

互換性のあるメディア ^{*1}		<ul style="list-style-type: none"> • メモリースティック デュオ™ (16MB-128MB) • メモリースティック PROデュオ™ (256MB-32GB) • メモリースティック マイクロ™ (M2™) (256MB-32GB) (アダプターが必要です。) • マルチメディアカード (32MB-2GB) • マルチメディアカード プラス (128MB-4GB) • マルチメディアカード モバイル (64MB-1GB) (アダプターが必要です。) • SDメモリーカード (16MB-2GB) • miniSDカード (16MB-2GB) (アダプターが必要です。) • microSDカード (16MB-2GB) (アダプターが必要です。) • SDHCメモリーカード (4GB-32GB) • miniSDHCカード (4GB-32GB) (アダプターが必要です。) • microSDHCカード (4GB-32GB) (アダプターが必要です。) • SDXCメモリーカード (48GB-128GB) • USBフラッシュメモリー^{*2}
解像度		最高1200dpi×6000dpi
拡張ファイル	メディアファイルフォーマット	DPOF形式 (ver.1.0、ver.1.1)、 EXIF形式/DCF形式 (ver. 2.1まで)
	対応画ファイルフォーマット	写真プリント：JPEG ^{*3} 、AVI ^{*4} 、MOV ^{*4} メディア保存：JPEG、PDF (カラー) TIFF、PDF (モノクロ)
ふちなし印刷用紙		A4、はがき、2L判、L判 ^{*5}

^{*1} メモリーカード、アダプター、USBフラッシュメモリードライブは含まれません。

^{*2} USB2.0規格

16MB～64GBのUSBマストレージ規格

サポートフォーマット：FAT12/FAT16/FAT32/exFAT

^{*3} プログレッシブJPEGフォーマットには対応していません。

^{*4} モーションJPEGのみです。

^{*5} 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。

⇒ 51ページ「使用できる記録紙」

スキャナー

カラー / モノクロ	対応/対応
TWAIN 対応	あり (Windows® XP*1/Windows Vista®/Windows® 7/Windows® 8) (Mac OS X v10.7.5、10.8.x、10.9.x)
WIA 対応	あり (Windows® XP*1/Windows Vista®/Windows® 7/Windows® 8)
ICA 対応	あり (Mac OS X v10.7.5、10.8.x、10.9.x)
カラー階調	入力：30ビット 出力：24ビット
グレースケール	入力：10ビット 出力：8ビット
解像度	最大19200×19200dpi (補間) *2 最大1200×2400dpi (原稿台ガラス) 最大1200×600dpi (ADF (自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWNのみに搭載))
最大原稿読み取り幅	原稿台ガラス使用時 幅：最大213.9mm 長さ：最大295mm ADF (自動原稿送り装置 MFC-J897DN/J897DWNのみに搭載) 使用時 幅：最大213.9mm 長さ：最大353.6mm

*1 Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional、Windows® XP Professional x64 Edition を含みます。

*2 WIA ドライバー (Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 対応) では、最大 1200 × 1200dpi の解像度でのスキャンができます。「Scanner Utility」を使って、19200 × 19200dpi の解像度を有効にすることができます。

プリンター

解像度	最大1200×6000dpi
印刷幅 *1	204mm [210mm (ふちなし印刷) *2]
ふちなし印刷用紙 *3	A4、レター、A6、ポストカード、インデックスカード、はがき、2L判、L判
自動両面印刷 (MFC-J897DN/J897DWN のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 記録紙タイプ：普通紙 記録紙サイズ：A4、レター、エグゼクティブ、B5 (JIS)、A5、はがき

*1 A4 用紙を印刷した場合。

*2 ふちなし印刷を設定した場合。

*3 記録紙のタイプやサイズについて詳しくは、下記をご覧ください。
⇒ 51 ページ「使用できる記録紙」

ご使用前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

インターフェイス

USB ^{*1*2}	2.0m以下のUSB2.0ケーブルをご使用ください。
無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n (インフラストラクチャ通信)
NFC (MFC-J897DN/ J897DWN のみ)	あり

*1 本製品は、USB2.0 ハイスピードインターフェイスに対応しています。USB1.1 インターフェイスに対応したパソコンにも接続することができます。

*2 サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

ネットワーク (LAN)

 ネットワークの仕様について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク編」をご覧ください。

本製品をネットワーク環境に接続することにより、ネットワークプリンター機能、ネットワークスキャン機能、PC-FAX 送信機能、PC-FAX 受信機能 (Windows[®] のみ)、リモートセットアップ機能を使用することができます。

無線セキュリティ	SSID (最大32桁まで)、WEP 64/128 bit、WPA-PSK (TKIP/AES)、 WPA2-PSK (AES)
無線セットアップサポート ユーティリティ	AOSS™ 対応
	WPS 対応

通信ボックス

使用環境	温度：10～35℃ 湿度：20～80%
電源	AC100V 50/60Hz
メモリー容量	64MB
消費電力	待機時：約2.4W 通話時：約2.8W ^{*1}
外形寸法	35.8（横幅）×126.7（奥行き）×126（高さ）mm（スタンド含まず）
製品重量	245g（スタンド含まず）

*1 電波状態により異なる場合があります。

コードレス子機（BCL-D120K-BK/WH）

使用周波数	1895.616MHz～1902.528MHz
変調方式	時分割多元接続方式
使用可能距離	見通し距離約100m
充電完了時間	約12時間
使用可能時間（充電完了後） ^{*1}	待機状態：約200時間 連続通話：約8時間
使用環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%
電源	DC3.6V（子機用バッテリー BCL-BT30使用）
外形寸法	44（横幅）×29（奥行き）×163（高さ）mm
製品重量	約150g（子機用バッテリー含む）

*1 お使いの環境によっては短くなることがあります。

充電器

使用環境	温度：5～35℃ 湿度：20～80%
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約1.4W（充電中）/ 約0.5W（待機中）
外形寸法	75（横幅）×75（奥行き）×32（高さ）mm
製品重量	約125g

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

使用環境

本製品とパソコンを接続する場合、次の動作環境が必要となります。

OS		インターフェイス		プロセッサー	必要なディスク容量	
		USB ^{*2}	無線 LAN IEEE802.11b/g/n		ドライバー	その他のソフトウェア (ドライバーを含む)
Windows [®]	Windows [®] XP Home ^{*1} Windows [®] XP Professional ^{*1}	プリント PC-FAX ^{*3} スキャン リムーバブルディスク (USB 接続時) ^{*4} ネットワークメディアアクセス (LAN 接続時) ^{*4}		32 ビット (x86) または 64 ビット (x64) のプロセッサー	150MB	1GB
	Windows Vista [®] ^{*1}				500MB	1.3GB
	Windows [®] 7 ^{*1} Windows [®] 8 ^{*1} Windows [®] 8.1 ^{*1}				650MB	
	Windows Server [®] 2003 Windows Server [®] 2003 R2 Windows Server [®] 2008			なし	プリント	64 ビット (x64) のプロセッサー
	Windows Server [®] 2008 R2 Windows Server [®] 2012 Windows Server [®] 2012 R2					
Macintosh	OS X v10.7.5 OS X v10.8.x OS X v10.9.x	プリント PC-FAX 送信 ^{*3} スキャン リムーバブルディスク (USB 接続時) ^{*4} ネットワークメディアアクセス (LAN 接続時) ^{*4}		Intel [®] プロセッサー	80MB	550MB

^{*1} WIA は、最大 1200 × 1200dpi の解像度に対応していますが、[Scanner Utility] を使用すれば、最大 19200 × 19200dpi の解像度に対応できます。

^{*2} サードパーティ製の USB 機器はサポートしていません。

^{*3} PC-FAX はモノクロのみ対応しています。

^{*4} リムーバブルディスクおよびネットワークメディアアクセスはメモリーカードアクセスの機能です。

- 最新のドライバーは <http://support.brother.co.jp/> からダウンロードできます。
- 記載されているすべての会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

 CPU のスペックやメモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。

用語解説

=あ=

- **アプリケーションソフトウェア**
ワープロや表計算など、ユーザーが直接操作するソフトウェアです。
- **インクジェット**
専用のインクをプリントヘッドのノズルから記録紙に吹き付けて印刷する方式です。
- **インターフェイス**
パソコンと周辺装置のように、機能や条件の違うもの間で、データをやりとりするためのハードウェアまたはソフトウェアです。
- **ウィザード**
Windows®などで、設定作業を半自動化してくれる機能です。
- **オプション機能**
標準仕様に対し、お客様の希望に応じて変更できる機能です。

=か=

- **回線種別**
電話に使われているダイヤリングの方法です。発生したパルスを数えて検出するダイヤル式と、周波数を検出して判別するプッシュ式があります。
- **画質強調**
解像度や明るさを自動的に調整して、より鮮やかに印刷する機能です。
- **原稿台ガラス**
コピーやファクスのときに原稿を置くところです。ここから原稿を読み取ります。

=さ=

- **親切受信**
ファクスを着信したときに間違えて電話を取ってしまったときでも自動的に本製品がファクス受信を行う機能です。
- **スプリッター**
ADSL環境で必要な機器の1つです。音声信号とデータ信号を分けたり重ねたりします。

=た=

- **ターミナルアダプター**
ISDN回線で必要な機器の1つです。パソコンや電話機をISDN回線に接続するために必要な信号の変換を行います。
- **タスクバー**
Windows®の画面上にあるプログラムの起動やフォルダーの表示のためのボタンを配置してある場所のことです。
- **デバイス**
ハードディスクやプリンターのような、パソコンで使用されるハードウェアのことです。

● デュアルアクセス

1つの機能の動作中に別の機能を並行して処理できることです。

● 同報送信

同じ原稿を複数の送信先に対して一度に送る機能です。

=な=

● ナンバー・ディスプレイ

電話がかかってきたときに相手の電話番号を画面に表示する機能です。この機能を利用するには、ご利用の電話会社との契約が必要です。(有料)

=は=

● ファクス転送

受信したファクスメッセージを、指定したファクス機に転送する機能です。

● プリンタードライバー

パソコンから印刷をするために必要なソフトウェアです。

● ポスターコピー

1枚の原稿を分割し、複数の記録紙に拡大コピーします。

=ま=

● メモリー送信

ファクス原稿を初めに読み取り、それをメモリーに貯えてから送信する機能です。

● メモリー受信

受信したファクスを印刷するとともに本製品のメモリーに記憶する機能です。

● メモリー代行受信

記録紙がセットされていないときなどに、受信したデータをいったんメモリーに保存する機能です。記録紙をセットすると印刷されます。

=ら=

● リモートセットアップ

本製品に対する機能設定をパソコン上で簡単に行うことができる機能です。

● リモコンアクセス

外出先から本製品をリモートコントロールして操作を行う機能です。

● ログオン (ログイン)

パソコンやシステムへアクセスするときに行う操作です。

=数字=

● 2in1

2枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

● 4in1

4枚の原稿を縮小し、1枚の記録紙にコピーする機能です。

= A to Z =

● ADF (自動原稿送り装置)

Automatic Document Feeder の略。複数枚の原稿を連続して読み取ることのできる装置です。

● ADSL

Asymmetric Digital Subscriber Line の略。通常の電話回線 (アナログ回線) で、従来使っていなかった帯域を利用してデータを高速に伝送する通信サービスです。

● CMYK

シアン (Cyan)、マゼンタ (Magenta)、イエロー (Yellow)、黒 (Black) によって表される色の表現方法です。光の三原色、赤、青、緑 (RGB) による、加法混色に対し、補色の三原色、緑青 (シアン)、赤紫 (マゼンタ)、黄を用いた減法混色のことを指します。本製品は減法混色を行っており、印刷にはCMYに加え黒インクを併用しています。

● CSV 形式

Comma Separated Value の略。レコード中の各フィールドを、コンマ (,) を区切りとして列挙したデータ形式です。表計算ソフトウェアでは、CSV 形式でのデータ出力、データ入力機能が用意されています。

● DPI

Dot Per Inch の略で、1 インチ (2.54cm) 幅に印刷できるドット数を表す単位で、解像度を示します。

● ECM 通信

Error Correction Mode の略。通信中雑音などにより送信データが影響を受けても、自動的に影響を受けた部分だけを送り直し、画像の乱れのない通信を行います。

● IP フォン

インターネットで使用されている IP (インターネット・プロトコル) 技術を利用した電話のことです。

● ISDN

Integrated Services Digital Network の略。デジタル回線による通信サービスです。1 回線でパソコンと電話など一度に 2 回線分使うことができます。

● NFC

Near Field Communication (ニアフィールドコミュニケーション) の略で、近距離無線通信技術の国際標準規格の 1 つです。10cm 程度の至近距離なら、機器どうしを近づけるだけで双方向通信ができます。

● OS

Operating System (オペレーティングシステム) の略で、パソコンの基本ソフトウェア群です。

● PBX (構内交換機)

Private Branch eXchange の略。企業の構内などで利用する交換機です。内線電話どうしの接続や、一般回線への接続などを行います。

● PC

Personal Computer (パーソナルコンピューター) の略で、個人仕様の一般的なコンピューターです。

● PC ファクス

パソコンのアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信する機能です。あらかじめ、PC ファクスの電話帳に相手先を登録しておくことでファクスの宛先を簡単に指定できます。

● PC ファクス受信

受信したファクスを本製品と接続しているパソコン上で確認する機能です。

● TWAIN

Technology Without Any Interested Name の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。

● USB ケーブル

Universal Serial Bus (ユニバーサルシリアルバス) の略。ハブを介して最大 127 台までの機器をツリー状に接続できるケーブルです。パソコンの電源を入れたままコネクタの接続ができるホットプラグ機能を持っています。

● vCard (vcf 形式)

電子メールで個人情報やり取りするための規格。電子メールの添付ファイルの機能を拡張して、氏名、電話番号、住所、会社名などをやり取りできます。この規格に対応するアプリケーション間では、受信時に情報が自動的に更新されません。

● WIA

Windows® Imaging Acquisition の略で、スキャナーなどパソコンに画像を取り込む装置と Presto! PageManager などのソフトウェアを連携させるための規格です。TWAIN の機能を置き換えるもので、Windows® XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows® 8 で標準サポートされています。

索引

数字

2in1 コピー	161
2 ページ印刷がうまくできない	253
2 枚に分かれて印刷される (ファクス受信)	245
4in1 コピー	161

A

ADF (自動原稿送り装置)	22
ADF (自動原稿送り装置) からファクスする	97
ADF (自動原稿送り装置) 使用時の注意	65
ADF (自動原稿送り装置) に原稿をセットする	64
ADF (自動原稿送り装置) にセットできる原稿 サイズ	65
ADF (自動原稿送り装置) の原稿詰まり	64, 219
Adobe® Illustrator® で印刷できない	254, 255
ADSL のトラブル	239

B

Brother Utilities	4
BRUSB への書き込みエラー	254

C

CD/DVD/BD にプリントする	17
CD/DVD/BD のセット方法	66
CD 詰まり	220
ControlCenter	19
CPU	304

D

DPOF	175
------------	-----

E

E メール添付	282
---------------	-----

I

ID カードコピー	162
innobella	314
ISDN のトラブル	238

L

L 判	51
-----------	----

M

Macintosh	304
-----------------	-----

N

NFC (近距離無線通信)	18
---------------------	----

O

OCR	282
OHP フィルム	51
OS	304

P

PBX	131
PC ファクス受信	120
PictBridge	187
PictBridge ケーブル差し込み口	23
PictBridge のトラブル	253
Presto! PageManager のお問い合わせ	裏表紙

T

TWAIN エラー	254
-----------------	-----

U

USBxxx への書き込みエラー	254
USB ケーブル差し込み口	23
USB フラッシュメモリー差し込み口	23, 171
USB フラッシュメモリーのセット/取り出し	171, 172

W

Windows®	304
Windows® 使用時のトラブル	254

あ

相手に声が聞こえにくい/聞こえない	237
相手に声が聞こえにくい/聞こえない (子機)	241
赤目補正	181
明るさ (画面)	72
明るさ (コピー)	158
明るさ (写真プリント)	176
明るすぎる (印刷)	251
アナログポートに 1 ~ 2 回おきにしか着信しない (ISDN)	238
アフターサービスのご案内	裏表紙
暗証番号	149
安心通信モード	260

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジタルプリント

こんなときは

付録

い

一括スキャン	191
イノベラ	314
いろいろなコピー	160
いろいろなプリント	179
インクカートリッジのご注文	319
インクカートリッジの廃棄	203
インクカートリッジを交換	202
インクが乾くのに時間がかかる	253
インクがにじむ (印刷)	251
インクカバー (インクカートリッジ挿入口)	22
インク残量チェック	204
インクジェット紙	51
インク節約モード	165
印刷が明るすぎる／暗すぎる	251
印刷が汚い	222, 252
印刷が斜めになる	249
印刷された記録紙に規則的な線が入る	250
印刷できない	247
印刷できない (Adobe® Illustrator®)	254, 255
印刷できない (Macintosh)	255
印刷テスト	223
印刷の端や中央がかすむ	252
印刷の汚れ、しみ	251
印刷範囲	53
印刷面の白い筋	252
インデックスカード	51
インデックスプリント	179

う

裏写り除去	166
-------	-----

え

液晶ディスプレイ (子機)	32
液晶ディスプレイ (複合機本体)	25
エラーメッセージ (子機)	234
エラーメッセージ (複合機本体)	225

お

応答しない	237
お気に入り登録	48
お気に入りの呼び出し	50
お客様相談窓口	裏表紙
お手入れ	194
おまかせ一括スキャン	191
音量	68
音量ボタン (子機)	31, 68

か

カードスロット	23, 171
海外送信	107
外出先から操作できない	242
外出先からの操作	149
外出先に転送	152
回線種別の設定	34
外線ボタン (子機)	31
会話データを再生する (一括)	80
会話データを再生する (1件)	80
会話データを消去する (一括)	80
会話データを消去する (1件)	80
会話を録音する	80
拡大/縮小コピー	157
各部の名称とはたらき	22
画質が悪い	195, 222
画質強調 (写真プリント)	177
画像が明るすぎる／暗すぎる (印刷)	251
画像トリミング	177
画像の一部をプリントする	183
画像の周りに余白ができる (スキャン)	254
画像の乱れ (ファクス通信)	244
紙が詰まったときは	207, 219
紙が詰まったときは (記録紙)	213
紙づまり解除カバー	23
画面	24
画面の設定	72
カラーコピー	156
カラー調整 (写真プリント)	177
カラーファクス受信ができない	243
関連製品のご案内	314

き

機能一覧	278
機能/確定ボタン (子機)	31
キャッチ/着信履歴ボタン (子機)	31
キャッチホンサービス	86
キャッチホンでファクスを受ける	86
キャッチホンのトラブル	237, 244
キャッチホン・ディスプレイサービス	92
ギャップ調整	224
給紙トレイマーカー	23, 53
給紙ローラーの清掃	196
強制リセット	257
切ボタン (子機)	31
記録紙	51
記録紙うら面の汚れ	222
記録紙が重なって送られる	247
記録紙が重なって送り込まれる	249
記録紙がしわになる (印刷後)	251
記録紙がそろわない	255
記録紙下端の汚れ	255
記録紙が出てこない (コピー/ファクス受信)	244
記録紙が白紙で排出される (コピー/ファクス受信)	245
記録紙サイズの設定 (コピー)	157
記録紙サイズの設定 (写真プリント)	176
記録紙サイズの設定 (全般)	62

記録紙ストッパー	23
記録紙タイプの設定 (コピー)	157
記録紙タイプの設定 (写真プリント)	176
記録紙タイプの設定 (全般)	62
記録紙トレイ	22, 23
記録紙トレイにセット	54
記録紙のセット	54
記録ディスク	66

く

暗すぎる (印刷)	251
クリア/音質ボタン (子機)	31
クリーニング (プリンター内部)	196
クリーニング (プリントヘッド)	222
グループダイヤル	133
黒い線 (コピー、ファクス)	244, 245
黒い縦線が出る	195

け

警告音が鳴る (子機)	241
原稿	63
原稿ガイド	23
原稿が送り込まれない (ADF 使用)	246
原稿が斜めになる (ADF 使用)	246
原稿台カバー	22
原稿台ガラス	23
原稿詰まり (ADF 使用)	219
原稿のセット	63
原稿の読み取り範囲	63
原稿をセットする	63

こ

公衆電話拒否	91
光沢紙	51
光沢紙が送り込まれない	246, 250
光沢はがき	159, 178
声が大きく聞こえて話しにくい (ISDN)	238
声が途切れる	237
声が途切れる (子機)	240
コールセンター	裏表紙
子機が温かい	241
子機に何も表示されない	241
子機の清掃	200
子機の増設	269
子機のトラブル	239
子機のバッテリー交換	205
子機を置いたまま通話する	82
子機を置いたまま電話をかける	81
故障	236
個人情報の消去 (子機)	267
コピー	156
画質	157
トラブル	242
汚れ	245
コピーボタンの機能	280
コントラスト (写真プリント)	176

さ

最近かかってきた相手に電話する	81
最近かけた相手に電話する	81
再ダイヤル	95
再ダイヤルボタン (子機)	30
再ダイヤル (電話)	81
再呼出 (ベル/メッセージ/時間) の設定	45
雑音が入る (子機)	240

し

CD/DVD/BD にプリントする	17
地色除去コピー	168
自動印刷する	118
自動再ダイヤル	127
自動縮小受信	119
自動受信	113
自動送信	96
自動的に本製品が動き出す (操作なしで)	255
自分の声が響く	237
自分の声が響く (子機)	241
シャープネス (写真プリント)	177
写真の一部がプリントされない	253
写真番号 (インデックスプリント)	179
写真補正	181
写真をトリミングする	183
写真をプリントする (PictBridge)	188
写真をプリントする (デジカメプリント)	174
写真を見る	174
充電器の清掃	200
「充電中」と表示されない (子機)	241
充電できない (子機)	241
充電ランプ (子機)	31
受信したファクスの汚れ	245
受信モードの設定	39
手動受信	114
受話音質 (子機)	82
受話音量が小さい	237
受話音量 (子機)	68, 69
受話口 (子機)	30
仕様	297
使用環境	304
消去 (電話帳・履歴・メモリー・録音データ)	265
消去 (子機の個人情報)	267
消去 (ファクスをメモリーから)	122
使用済み電池の届出	206
照明ダウンタイマー	72
初期状態に戻す	263
暑中見舞印刷	15
シリアルナンバーの確認	270
白い筋 (印刷面)	252
しわ (印刷後)	251
新規送信	95
親切受信	115

ご使用の前に

電話

ファクス

電話帳

留守番機能

コピー

デジカメプリント

こんなときは

付録

す

推奨紙	52
透かしコピー	167
スキャナー（読み取り部）の清掃	195
スキャンしたデータをメディアに保存する	189
スキャンのトラブル	254
スキャンボタンの機能	282
筋（印刷面）	252
スタックコピー	160
スピーカー音量が小さい	236
スピーカー音量（子機）	69
スピーカー（子機）	30
スピーカーホンボタン（子機）	31
スピーカーホン通話ができない（子機）	237
すべての設定を元に戻す	267
スライドショー	185
スライドトレイ	23, 58
スライドトレイにセット	58
スリープモード	73

せ

清掃	194
接続エラー	254
設定内容リスト	270
設定保持（写真プリント）	177
設定保持（ファクス）	106
セットできる記録紙	51
全設定リセット	267
全設定リセットボタン（通信ボックス）	29
専用紙	52

そ

操作パネル	22, 24, 25, 29
送受信できない	242
送信結果レポート	125
送信したファクスに印刷される自分の名前と番号を登録する	37
送信できない（電話帳）	244
送信の中止	98, 110
送信待ちファクス	126
送話口（子機）	31
ソートコピー	160

た

待機中の送信中止	98
ダイヤルイン	237
ダイヤルできない	236
ダイヤルトーン設定	261
ダイヤルボタン（子機）	31
ダイヤルボタン（複合機本体）	24
ダイレクトクラブ	319
ダウンタイマー（照明）	72
他機器の呼出ベルが鳴る（ISDN）	239
タッチパネル操作	27
端子	29

ち

縮んでいる（ファクス受信）	244
着信音	70
着信音が小さい／鳴らない	236
着信音が鳴らない（ISDN）	238
着信音が鳴らない（子機）	239
着信音量（子機）	68
着信音を鳴らさず受信	40, 42
着信音（子機）	71
着信鳴り分け設定	90
着信履歴	89, 101
着信履歴から電話帳に登録	132
着信履歴から電話帳に登録（子機）	138
中央がかすむ（印刷）	252
注文	319

つ

通信エラーが増えた（ADSL）	239
通信エラーの解消（安心通信モード）	260
通信管理レポート	124
通信ボックス	29
通信ボックスの電源	33
通信ボックスのランプ	29
通話音質調整	262
通話が切れる	237
通話が切れる（子機）	240
通話を録音する	80
「ツ」音が聞こえない	237
つながらない（ISDN）	238

て

定期メンテナンス	222
ディスクガイド	23, 66
ディスク詰まり	220
ディスクトレイ	23, 66
停電	269
テキストデータ変換	282
手差しトレイ	60
手差しトレイから記録紙を取り除く	61
デジカメからプリントできない（PictBridge）	253
デジカメプリント	170, 174
デジカメプリントボタンの機能	284
デュアルアクセス	98
電源オン/オフ	33
電源が入らない	255
電源が入らない（子機）	241
電源ボタン	24, 33
転送	120, 152
電話がかけられない	34, 236
電話機コード接続	29
電話帳	95, 130
消去（子機）	267
消去（複合機本体）	266
転送（子機→複合機本体）	139
転送（複合機本体→子機）	134
登録（子機）	137
登録（複合機本体）	130

リスト	135
電話帳 & ファクスリセット	266
電話帳から送信	102
電話帳からダイヤルできない	236
電話帳から電話をかける	79
電話帳からファクス送信できない	244
電話帳ボタン (子機)	31
電話帳ボタン (子機) の機能	295
電話取り次ぎ	83
電話に応答しない	237
電話のトラブル	236
電話番号が表示されない (ナンバーディスプレイ)	237
電話をかける / 受ける	78

と

動画プリント	173
同報送信	109
同報送信の中止	110
トールサーバー	44
特別回線対応	259
時計セット	35
トリプル通話	84
トリミング	177, 183
トレイカバー	23

な

内緒話モード	82
内線通話	84
内線 / 保留ボタン (子機)	31
斜めに印刷される	249
ナンバー・ディスプレイサービス	88
ナンバー・ディスプレイのトラブル	237, 239

に

にじみ (印刷)	251
入力方法 (子機)	276
入力方法 (複合機本体)	274

ね

ネーム・ディスプレイサービス	88
ネットワーク接続診断ボタン (通信ボックス)	29
ネットワーク接続でのトラブル	256
ネットワーク接続リセットボタン (通信ボックス)	29, 258
ネットワークリモート接続の失敗	254, 255
年賀状印刷	15

は

廃棄 (インクカートリッジ)	203
排紙ローラーの清掃	198
はがき	58
はがき印刷	15
白紙が出る (ファクス受信)	245
端がかすむ (印刷)	252

パソコンから設定を変更する	19
パソコンで電話帳に登録	136
発信元登録	37
発信履歴	101
発信履歴から電話帳に登録 (子機)	138
発信履歴から電話帳に登録 (複合機本体)	132
発信履歴ボタン (子機)	30
バッテリー交換 (子機)	205
バッテリー残量 (子機)	32
番号指定プリント	180

ひ

ひかり電話のトラブル	239, 242
ビジー状態	254
非通知着信拒否	91
非通知の相手からの着信ができない	239
日付印刷	177
日付と時刻の設定	35
「ピッピッピッ」と鳴る (子機)	241
表示圏外拒否	91

ふ

ファクス	
印刷する	116, 117, 122
画質	103
原稿濃度	103
自動送信	96
受信	112
受信トラブル	243, 245
消去	117, 122
設定変更	95
送受信できない	242
送信できない (IP 網使用)	243
送信できない (電話帳)	244
送信 (電話帳)	102
通信できない (ISDN)	239
転送	120
トラブル	242
無鳴動受信	43
メモリーで受信する	121
送信中止	98
待機中の送信中止	98
ファクス受信できない (構内交換機経由)	242
ファクス受信ランプ (子機)	31, 116
ファクスに印刷される送信側の名前と	
ファクス番号を登録する / 削除する	37
ファクスボタンの機能	278
封筒	51
フォルダー保存	282
ふちなし印刷	177
普通紙	51
ブックコピー	166
プッシュ回線	34
プッシュホンサービスを利用する	82
ブラザーユーティリティ (Brother Utilities)	4
ブラテン清掃	199
プリント画質	176
プリントのトラブル	247
プリントヘッド	222

へ

ヘッドクリーニング	222
ベル（呼び出し回数）	44
ベル（再呼出時間）	45
便利なコピー設定	158

ほ

ポーズボタン（子機）	30
ポスターコピー	161
ポストカード	51
ボタン確認音量（子機）	68
ボタン確認音量（複合機本体）	68
保留音	70
保留ボタン（子機）	31
ホワイトディスクにプリントする	17
ホワイトディスクのセット方法	66
ホワイトバランス（写真プリント）	177
本製品が表示されない（Macintosh）	255
「本製品接続エラー」	254
「本製品はビジー状態です」	254
本体カバー	23

ま

マイク（子機）	31
まとめてプリント	186

み

みてから送信	99
みるだけ受信	95, 116, 118

む

無線 LAN レポート	270
-------------	-----

め

迷惑指定	90
迷惑指定の解除	90
迷惑電話拒否	85
メッセージが途中で切れている／録音できない	242
メッセージの再生／停止／消去	147
メディア保存	189, 282
メニューボタンの機能	288
メモリー	304
メモリーカードのセット／取り出し	171
メモリーカードのトラブル	254
メモリー受信	120, 121
メモリー受信したファクスを印刷する	122
メモリー代行受信	118
メンテナンス	194

も

文字切替ボタン（子機）	30
文字の入力方法（子機）	276
文字の入力方法（複合機本体）	274
文字化け、文字欠け、水平方向の線	251
文字や画像のゆがみ	250
元に戻す（すべての設定）	267

ゆ

ゆがみ（文字や画像）	250
輸送（本製品）	271

よ

用語解説	305
用紙に合わせるが使えない	246
横縞が出る	250
横縞が出る（印刷）	250
汚れ（印刷）	251
汚れ（記録紙の下端）	246, 251
汚れ（コピー、受信したファクス）	245
汚れ（本製品）	194
呼出ベル回数	44
読み取り範囲	63

り

リサイクル	271
リセットボタン	29
リセット（本製品の強制リセット）	257
リダイヤル	95, 127
リダイヤルボタン（子機）	30
リムーバブルディスクとして利用する	19
リモートセットアップ	136
リモコンアクセス	150
リモコンアクセスカード	315
リモコンコード	151
両面コピー	164
リリースボタン	23
履歴	95
履歴を消去する	117

る

留守応答メッセージ	146
留守番機能	142
留守番機能のセット	146
留守番電話応答メッセージ	144
留守モード	146
留守／録音ボタン（子機）	31
留守録データを再生する（一括）	147
留守録データを再生する（1件）	148
留守録データを消去する（一括）	147
留守録データを消去する（1件）	148
留守録転送	152
留守録モニター	145

れ

レイアウトコピー	161
レーベルプリント	17
レポート印刷	270

ろ

録音	80
録音できない	242
録音途中で切れている	242

関連製品のご案内

innobella

innobella (イノベラ) とは、ブラザーの純正消耗品のシリーズです。名前は、innovation (イノベーション：英語で「革新」) と Bella (ベラ：イタリア語で「美しい」) の2つの言葉に由来しています。革新的な印刷技術により、美しく鮮やかな印刷を実現します。特に、写真のプリントには「イノベラ写真光沢紙」のご利用をお勧めします。イノベラインクと合わせてお使いいただければ、鮮やかでキメの細かい発色、艶やかな超高画質の写真に仕上がります。高い印刷品質を維持するためにも、イノベラインク、イノベラ写真光沢紙およびブラザー純正の専用紙をご利用ください。



消耗品

インクや記録紙などの消耗品は、残りが少なくなったらなるべく早くお買い求めください。本製品の機能および印刷品質維持のため、下記の弊社純正品または推奨品のご使用をお勧めします。純正品は、弊社公式直販サイト「ブラザーダイレクトクラブ」でもご購入になれます。詳しくは、⇒ 319 ページをご覧ください。

インクカートリッジ

種類	型番
ブラック (黒)	LC111BK
イエロー (黄)	LC111Y
シアン (青)	LC111C
マゼンタ (赤)	LC111M
4個パック [ブラック (黒)/イエロー (黄)/シアン (青)/マゼンタ (赤) 各1個]	LC111-4PK
黒2個パック [ブラック (黒) 2個]	LC111BK-2PK

- 本製品にはじめてインクカートリッジをセットした場合は、本体にインクを充填させるため、2回目以降にセットするインクカートリッジと比較して印刷可能枚数が少なくなります。
- 純正品のブラザーインクカートリッジをご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。

専用紙・推奨紙

記録紙種類	商品名	型番 (サイズ)	枚数
普通紙	上質普通紙	BP60PA (A4)	250 枚入り
光沢紙	写真光沢紙	BP71GA4 (A4)	20 枚入り
		BP71GLJ50 (L判)	50 枚入り
		BP71GLJ100 (L判)	100 枚入り
		BP71GLJ300 (L判)	300 枚入り
		BP71GLJ500 (L判)	500 枚入り
マット紙	インクジェット紙 (マット仕上げ)	BP60MA (A4)	25 枚入り

- 最新の専用紙・推奨紙については、ホームページ (<http://support.brother.co.jp/>) をご覧ください。

その他

商品名	型番
子機用バッテリー	BCL-BT30

リモコンアクセスカード

外出先から本製品を操作する場合 (⇒ 150 ページ「外出先から本製品を操作する」)、下記の「リモコンアクセスカード」を切り取ってお持ちいただくと便利です。

<キリトリ線>

リモコン アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

*間違った操作を行ったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
 2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、応答メッセージが再生された場合はそのあとに、「#」「*」の順に入力します。
 3. 暗証番号を入力します。
 - ・「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されています。
 - ・無音：音声メッセージはありません。
 4. リモコンコード (うら面参照) を入力します。
 5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。
- 注意：間違った操作を行ったときは、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

*間違った操作を行ったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
 2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、応答メッセージが再生された場合はそのあとに、「#」「*」の順に入力します。
 3. 暗証番号を入力します。
 - ・「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されています。
 - ・無音：音声メッセージはありません。
 4. リモコンコード (うら面参照) を入力します。
 5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。
- 注意：間違った操作を行ったときは、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコン アクセス

暗証番号



あなたの暗証番号を
記入してください。

*間違った操作を行ったときは、「ピピピッ」という音が聞こえます。

リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って電話をかけます。
 2. ファクシミリが応答した場合は約4秒間の無音状態のときに、応答メッセージが再生された場合はそのあとに、「#」「*」の順に入力します。
 3. 暗証番号を入力します。
 - ・「ポーポー」という音が聞こえる：音声メッセージが記憶されています。
 - ・無音：音声メッセージはありません。
 4. リモコンコード (うら面参照) を入力します。
 5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。
- 注意：間違った操作を行ったときは、もう一度やり直してください。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91 (※1)
戻し (再生中から戻し)	911 (91+1)
送り (再生中から送り)	912 (91+2)
音声メッセージを消去 (※2)	93

※1：中止するときは [9] を入力してください。

※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、次のうちどちらかを示しています。

- ◆すべてのメッセージがまだ再生されていない
- ◆消去するメッセージがないため、消去ができない

操作内容		ボタン操作
受信状況の チェック (※3)	音声メッセージ	972
受信モードの 変更	留守モード	981
	在宅モード	982
終了		90

※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。

「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91 (※1)
戻し (再生中から戻し)	911 (91+1)
送り (再生中から送り)	912 (91+2)
音声メッセージを消去 (※2)	93

※1：中止するときは [9] を入力してください。

※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、次のうちどちらかを示しています。

- ◆すべてのメッセージがまだ再生されていない
- ◆消去するメッセージがないため、消去ができない

操作内容		ボタン操作
受信状況の チェック (※3)	音声メッセージ	972
受信モードの 変更	留守モード	981
	在宅モード	982
終了		90

※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。

「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

<キリトリ線>

リモコンコード

操作内容	ボタン操作
音声のメッセージを再生	91 (※1)
戻し (再生中から戻し)	911 (91+1)
送り (再生中から送り)	912 (91+2)
音声メッセージを消去 (※2)	93

※1：中止するときは [9] を入力してください。

※2：「ピピピッ」という音が聞こえたら、次のうちどちらかを示しています。

- ◆すべてのメッセージがまだ再生されていない
- ◆消去するメッセージがないため、消去ができない

操作内容		ボタン操作
受信状況の チェック (※3)	音声メッセージ	972
受信モードの 変更	留守モード	981
	在宅モード	982
終了		90

※3：「ピー」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。

「ピピピッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

子機操作早見表（通話）

◆発信履歴から発信する◆

発信履歴/P
文字 → 相手を選び → 外線

◆最後にかけた相手に発信する◆ （リダイヤル）

外線 → 発信履歴/P
文字

◆電話帳からかける◆

待機中 → (上下)
→ 相手を選び → 外線

◆着信（ベル）音量を調整する◆

待機中 →

◆受話音量を調整する◆

通話中 →

- 小さくする：左側を押す
- 大きくする：右側を押す

◆相手の声を聞き取りやすくする◆

通話中 → 音質1
クリア

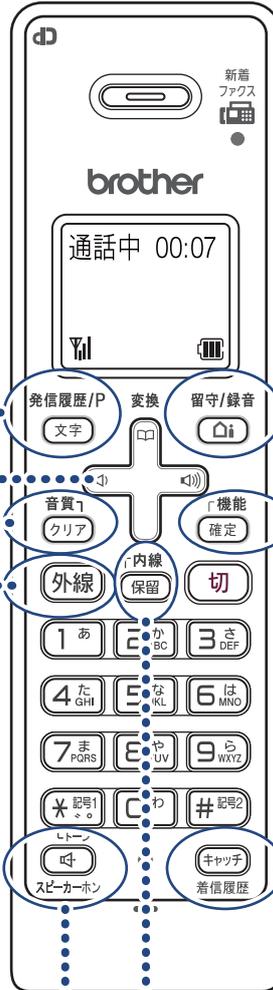
◆回線接続する◆

ダイヤル後 → 外線

◆子機を置いたまま相手と話す◆

- 発信時：ダイヤル後 →
スピーカホン
- 着信時：かかってきたら子機を充電器
から取らずに →
スピーカホン
- 子機を持って通話中：
スピーカホン

※回線接続中は、充電器に置かないでください。



◆通話中の会話を録音する◆

通話中 →
（最大180秒。機能 確定で録音終了）

◆留守モードをセット/解除する◆

待機中 →

◆ファクスを手動で受信する◆

・・・電話をとったとき、ファクス
通信音が聞こえたら・・・
機能 確定 → 【ファクス受信】を選び
機能 確定

◆着信拒否する◆

・・・通話中 / 通話（接続）前いずれも・・・
機能 確定 → 【おことわり】を選び
機能 確定

電話会社のナンバー・ディスプレイ
機能をご利用なら

◆着信履歴から発信する◆

キャッチ
着信履歴 → 相手を選び → 外線

電話会社のキャッチホン機能を
ご利用なら

◆通話中に別の電話を受ける◆

相手1と通話中 → (割込音)
→ キャッチ
着信履歴 → 相手2と通話

◆電話を保留 / 解除する◆

通話中 / 保留中 →

子機操作早見表 (設定)

各種機能の設定です。設定値は、次に設定変更するまで有効です。

上段：画面
下段：操作

時計設定	時計設定	>20XX/XX/XX	>XX:XX (24 時間制)	
	「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  ~  → 「機能 確定」		 ~  → 「機能 確定」	
画面コントラスト	画面コントラスト	好みのコントラストを選択		
	「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →			
着信メロディ	鳴動音設定	1. 着信音	好みのメロディを選択	
	「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →			
留守録メッセージ録音時間	留守番設定	録音時間	相手がメッセージを残せる時間を選択	
	「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →			
応答メッセージ録音	留守番設定	留守応答 1 留守応答 2 在宅応答	録音	
	「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →			
	 録音開始	 今録音したメッセージが再生される		
マイクに向かって 6 秒以上 20 秒以内で話す (20 秒を待たずに録音を終える場合は  または )		(最後まで再生しなくてもいい場合は )		
応答メッセージ切替	留守番設定	応答切替	固定メッセージ 留守応答 1 留守応答 2	
	「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →			
録音メッセージ・会話の再生	再生 / 消去	留守会話	1 件ずつ 全件	
	「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →  → 「機能 確定」 →			(1 件ずつを選んだ場合 ) →  でメッセージを選択
	再生	 再生		
 → 「機能 確定」 →	(最後まで再生しなくてもいい場合は )			

消耗品などのご注文について

純正消耗品は家電量販店でお買い求めになれます。また、弊社の直販サイト「ブラザーダイレクトクラブ」では、インターネットやお電話によるご注文を承っております。

● インターネットによるご注文

<p>ブラザーダイレクトクラブ <input type="button" value="検索"/></p> <p>http://direct.brother.co.jp</p>	<p></p> <p>公式直販サイト ダイレクトクラブ</p> <p>スマートフォンなどの携帯端末からは、上記の二次元コードを読み取ってアクセスしてください。</p>
--	--

● お電話によるご注文

フリーダイヤル： 0120-118-825

(土・日・祝日、長期休暇を除く 9時～12時、13時～17時)

消耗品はブラザー純正品をお使いください

印刷品質・性能を安定した状態でご使用いただくために、ブラザー純正の消耗品及びオプションのご使用をお勧めします。純正品以外のご使用は、印刷品質の低下や製品本体の故障など、製品に悪影響を及ぼす場合があります。純正品以外を使用したことによる故障は、保証期間内や保守契約時でも有償修理となりますのでご注意ください。（純正品以外の全ての消耗品が必ず不具合を起こすと断定しているわけではありません。）純正消耗品について、詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.brother.co.jp/product/original/index.htm>

インクカートリッジの回収・リサイクルのご案内

ブラザーでは循環型社会への取り組みの一環として使用済みインクカートリッジの回収・リサイクルに取り組んでおります。環境保全のため、使用済みインクカートリッジの回収にご賛同いただき回収にご協力いただきますようお願い申し上げます。詳しくは下記ホームページをご参照ください。

http://www.brother.co.jp/product/support_info/recycle/ink/index.htm

アフターサービスのご案内

お客様のスタイルに合わせたサポート

サポートサイト (ブラザーソリューションセンター)

よくあるご質問(Q&A)や、最新のソフトウェアおよび製品マニュアル(電子版)のダウンロードなど、各種サポート情報を提供しています。

サポート ブラザー 検索 

<http://support.brother.co.jp/>

故障・トラブルかんたん診断

サポートサイト内にある24時間対応の故障・トラブル診断オンラインサービスです。ステップに従って、当てはまる項目を選んでいくと解決策が見つかります。万一故障と診断された場合は、そのまま修理を申し込むことができます。

 ブラザーサポートナビ24

Brother Online マイ製品サポート

ご登録いただくと、お持ちの製品をより便利に、安心にご利用いただけるようになります。

オンラインユーザー登録 ▶ <https://online.brother.co.jp/>

ブラザーコールセンター(お客様相談窓口)

050-3786-7714

ファクスや電話等の通信に関するトラブルの場合は、本製品を電話回線に接続して動作テストを行います。お問い合わせの際は、携帯電話などをご利用くださいますようお願いいたします。

受付時間：月～金 9:00～18:00 / 土 10:00～18:00 日曜日・祝日・弊社指定休日を除きます。

※ブラザーコールセンターはブラザー販売株式会社が運営しています。

安心と信頼の修理サービス

- 製品ご購入後 1年間無償保証いたします。
※この場合、修理料金を無償とし、運送料を含むその他費用はお客様の負担となります。
- コールセンターでの診断後、修理が必要と判断された場合 ▶ 48時間以内に故障機の回収。 ※一部地域を除く
事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便により故障機を回収します。
※修理の際は故障部位にかかわらず、複合機本体、通信ボックス、子機すべてをいったん回収させていただきます。あらかじめご了承ください。
※本製品を修理にお出しいただくときは、本書の「本製品を輸送するときは」をご覧ください。
- 5日以内に修理品を返送。
弊社到着後、5日間以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

※ユーザーズガイドに乱丁、落丁があったときは、ブラザーコールセンターにご連絡ください。

※Presto! PageManager については、以下にお問い合わせください。

ニューソフトジャパンカスタマーサポートセンター

電話：03-5472-7008 FAX：03-5472-7009 10:00～12:00 13:00～17:00 (土日・祝日を除く)

テクニカルサポート電子メール：support@newsoft.co.jp ホームページ：http://www.newsoft.co.jp

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はおやめください。海外での各国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切ではない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後 5 年です。(印刷物は 2 年です)

brother

ブラザー工業株式会社
〒467-8561
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町 15-1



LEU774047

JPN

Printed in China

Version 0